キ不幸ニ遭遇セルヲ以テ、彼等ノ困惑ヲ察シ、本市ハ相當ノ陳列舘竝ニ即賣舘ヲ建設スルコト、シ出品聯合會ヲシテ此工事ヲ受負ハシメ、併セテ同會ヲシテ出品人ノ爲メニ便益ヲ圖ラシムルハ目下ノ急務ナリト信ズ。

次イデ左ノ如キ問答アリタリ。

杉原榮三郎君　今回ノ博覽會ハ戰捷後始メテノ企圖ニシテ、目下商工業界ノ不振ヲ一掃スルノ動機タルベシト信ズ。初メ東京出品聯合會ハ、本問題ヲ自ラ實行スルノ目的ヲ以テ、市ニ補助金ヲ出願シタルニ、市參事會ニ於テ種々審議ノ結果、市自ラ之ヲ行フコト、シ、聯合會ヲシテ之ヲ受負ハシムルコトニ決セリ。而シテ此團體ハ府下ニ於ケル實業家ノ資產アリ信用アルモノヲ網羅セルヲ以テ、大事ヲ託スルニ充分ナラン。今回ノ博覽會ニ際シ、景氣恢復ノ一策トシテ、東京市ガ自ラ進ンデ此美擧ニ出ヅルトキハ、以テ其從來ノ汚名ヲ一掃スルニ足ラン、願クハ即決可決アランコトヲ。

坪谷善四郎君　第一出品聯合會ハ、如何ナル人々ヲ以テ組織シ、其會長ハ何人ナルカ。次ニ陳列館ニハ出願人ノ出品全部ヲ陳列シ得ルヤ、若シ狹隘ニシテ全部ヲ陳列スル能ハズトセバ、如何ナル標準ヲ以テ出品ヲ淘汰スルヤト質問シ。

森田鉞三郎君　聯合會ナルモノハ出品者ヲ悉ク網羅スルニアラザルガ如シ、即賣舘ハ幾分ノ家賃ニテモ支拂フモノナリヤ。

松田市長　最初申出ノ坪數ハ、四千四百坪ナリシガ種々ノ都合ニ由リ千四百九十一坪五合ニ減ジタルガ、之ニ對シテ先キニ割當ヲ許可サレタル坪數四百七坪七合五勺ニシテ、差引千五十三坪七合五勺ノ不足ヲ告ゲタリ。然ルニ今本案記載ノ四百九十坪ヲ建築スルニ於テハ、尙五百坪程ノ不足ヲ生ズベキモ、之ニ對シテハ何等カノ融通方法ガ講ジ得ラルヽナラン。又建築物ノ無料貸與ハ補助ノ性質上當然ノコトナルモ、即賣館ニ陳列ヲ許シ、以テ手數料若クハ小間割ノ率ヲ立テヽ、出品人ヨリ入費ヲ取立ツルハ、總テノ經費ヲ支辨スル爲メ、已ヲ得ザルコトナルベシ。

次ニ坪谷善四郎、森田鉞三郎兩君ノ再度ノ質問ニ對シ**松田市長**ハ聯合會ハ商工業者三十五團體ヲ包括シ、知事タル千家男爵ヲ總裁トシ、職務上自身會長ノ名ヲ瀆シ、其外最モ信望アル紳士紳商ニ理事、商議員ヲ囑託セリ、又聯合會員ハ前述三十五團體ノ會員以外ヘ出品人三千何百人ノ中千二百九名ヲ數フ、但シ會員ニ非ザルモ即賣館ニ陳列ヲ許スハ勿論ナリト答ヘ。**鎌林綱男君**ハ東京府ノ補助ニ關シテ質問シ、**松田市長**ハ勸業費トシテ既ニ府會ノ決定ヲ經タル金高ハ貳萬八千六拾四圓七拾八錢、其他ニモ猶補助ノ豫定ナリト云フ。又聯合會ニ對シテモ補助スル由ニ聞及ベルガ其額ハ本案ニ比スレバ至ツテ少額ニ過ギザルベシ。更ニ東京市ガ勸業費トシテ支出セル前例アリヤトノ質問ナルガ、三年前佛蘭西大博覽會ノ出品者ニ對シ、荷造リ等ノ爲メ五千圓ヲ補助シタルコトアリト答ヘ、**坪谷君**、出品者ニシテ陳列場狹隘ナルガ爲メ、已ムナク出願ヲ見合セタルモノモ、今回ノ建增ノ結果出願ニ應ジテ許可スルヤ如何、又東京市ガ工事ノ請負ヲ爲サシメントスル出品聯合會ハ知事若クハ、市長ヲ其總裁若クハ會頭トスル以上、東京市ノ市長ガ東京市ノ工事受負人タルニ至ルベシ、是レ果シテ不可ナキカ、又知事市長ノ執レガ責任ノ當事者ナルカト問ヒ、**松田市長**ハ、勸誘ニ應ジテ出品ヲ爲ス限リ之ヲ拒ム如キコトハ爲サヾルベシ、但シ府廳ニ於テ出品物ノ檢查ヲ行ヒ、不合格品ハ之ヲ返却スルモ、是レ場所ノ狹隘ナルガ爲メニ非ズ、從テ相當ノ出品物ハ府廳ニ於テモ、之ヲ許可シ、其陳列ニ付テハ遺憾ナキヲ期スルヲ得ベシ。又聯合會ニ關シテハ其規則ノ一讀ヲ煩ハセバ、自ラ明瞭ナルヲ得ベシト述ブ。次ニ**城數馬君**ハ第一、博覽會ハ政府ノ事業ナルガ故ニ、必要ナル建物ハ政府ガ當然之ヲ築造セザルベカラザルニ拘ハラズ、

其狹隘ナルガ爲メ、市ガ別ニ小陳列館ヲ建ツルハ、東京市ガ國庫ニ向ツテ補助スルノ感ナキカ。第二、東京市ガ國庫ニ向ツテ補助スルノ感ナキカ。第二、東京市ガ任意ニ建設シタル建物ノ中ニ物品ヲ陳列シ、之ヲ政府ノ博覽會ノ一部トシテ政府果シテ許可スルヤ如何、第三、聯合會ト建築ノ隨意契約ヲ爲スト云フモ、一般東京市ノ請負規則ヨリ見テ、或ハ當業者ノ公入札、或ハ指名入札ニ依ルハ當然ニシテ、特別ノ場合ニ於ケル隨意契約モ時ニ可ナリトスルモ、土木事業ノ當業者ニアラザル聯合會ニ、隨意契約ヲ以テ建築工事ノ請負ヲ爲サシムルハ、將來ニ奇異ナル例ヲ貽スニアラザルナキカ。又同會ト工事受負或ハ無料貸借ノ關係ヲ生ズル以上、此關係ノ契約ハ何人ヲ相手トスルカ、聯合會ハ法人ニ非ズトセバ、幾千人ノ會員ヲ相手トセザルベカラザルカト質問シ、**松田市長**ハ內國勸業博覽會ハ國家事業ナリ、從テ若シ充分ニ陳列品ヲ收容シ得ベキ建物アラバ、本案ノ如キ補助ヲ爲スノ必要ナキモ、政府ガ出品ヲ勸誘シタル結果、其數非常ニ增加シタルヲ以テ、建坪ニ不足ヲ生ジ、出品者ハ割當ノ坪數ニテハ如何トモスル能ハザルニ至リタレバ、東京市ハ彼等ヲ援助スル爲メニ、已ヲ得ズ、此建築ヲ爲スモノニシテ、政府ガ之ヲ許可スルヤ否ヤノ問題ニ付テハ、東京府ニ對シテモ旣ニ許可ヲ與ヘタル以上、余ハ市ニ對シテモ之ヲ許可スルハ當然ナリト思惟ス。故ニ議決ノ上ハ相當ノ手續ヲ爲スベシ。又市ガ聯合會ヲ相手トシテ契約ヲ爲シ得ルカトノ質問ハ尤モナルガ、法人タルベキ手續ヲ經タル後發案センコトヲ希望シタルモ、急ヲ要スル議案ナルヲ以テ、之ヲ爲スニ遑ナカリキ。然レドモ組合ニ依ツテ聯合會ヲ組織スルモノナレバ、之ニ對シテ契約ヲ爲スハ可能ナリト信ズ。而カモ本案議決ノ後、若其不可能ナル事實ヲ發見セバ、相當ノ手續ヲ經ベシト辯ズ。是ニ於テ**田口卯吉君**ハ第一、四萬四千圓ノ建築費以外、東京市ハ更ニ地代其他ノ入費ヲ負擔スル如キコトナキヤ。第二建築物ガ三十五團體ニ專有セラルヽニ於テハ、他ノ出品人中ニ不平ノ聲ヲ聞クコトナキヲ保セザルガ、契約ノ際斯ル專有ヲ防止スルニ必要ナル條件ニテモ附スルヤ如何ト問ヒ、**松田市長**ハ、府廳ヨリ專任ノ官吏出張スルヲ以テ、監督

其他ハ一切之レニ委任セント欲ス。尙負擔關係ニ就テ一言セン、最早此上市會ニ對シテ出金ヲ煩ハス提案ハ爲サヾル積ナリ。又出品人ノ不平云々ニ付テハ、團體ノ不整理ヨリ起ルコト多キヲ以テ、特ニ審議ヲ重ネテ適當ナル條件ヲ附スベク、又其條件ニモ相當ノ制裁ヲ設ケントスト答辯シ、**岩谷松平君**ノ即決說アリ、**城君**ハ、今議案ヲ見ルニ九十號案ハ建物ヲ造ルニ必要ナル豫算ニシテ、九十一號案ハ建物ニ關スル請負契約ナルガ、九十號理由書中「東京出品聯合會ニ無料ニテ貸與シ云々」トアル貸與ノ條件果シテ如何、又其契約案ハ更ニ市會ニ提出シテ之ガ議決ヲ求ムルモノナリヤヲ質シ、**松田市長**ハ、九十一號ガ可決トナラバ、隨意契約ヲ以テ工事ヲ命ジ、其外ノ契約ハ、參事會限リ締結スルコト能ハザルモノニ限リ、市會ニ提出スベシト答ヘ、**森田君**ヨリ、出品人ノ不平ニ關シ重ネテ質問出デ、**松田市長**之ニ答フル所アリ、**芳野世經君**ハ、東京市自ラ建築スルノ煩ヲ避ケ、補助金トシテ支出スルヲ可ナリト信ズルガ、參事會ニ於テハ右ニ關シテ協議シタルコトナキヤト問ヒ、**中島行孝君**ハ、本案ハ前代未聞ノ議案ナレバ、咄嗟ノ間ニ之ヲ決セントスルハ早計ナリ。殊ニ市民一般ノ利益トナルベキモノニ非ズシテ全市民中千分ノ一ニモ足ラザル、千人カ千五百人ノ利益ナルヲ以テ、委員ニ附託シテ篤ト調査スベシト發議セリ。

玆ニ於テ**松田市長**ハ當初聯合會ヨリ、所要經費ヲ列擧シテ補助金ノ出願アリタルモ、市參事會ニ於テハ本市ガ自ラ博覽會內ニ建築スル方、勸業奬勵上當然ノ措置ナリト認メ、進ンデ之ガ建築案ヲ提出スルニ至レル旨ヲ陳述シ、調査委員說ヲ採決セントスルヤ、調査期限ニ對シテ條件ヲ附スベシトノ說ト二派ニ岐レタルモ、結局七名ノ調査委員ヲ擧ゲ、三日間內ニ之レヲ調査スルニ決シ、九十一號（工事請負隨意契約ノ件）モ同一委員ニ附託スルコトヽナシ、議長ハ、委員ヲ左ノ如ク選定セリ。

稻茂登三郎　森田鉞三郎　市原求　杉野秀行　中島行孝
杉原榮三郎　岩谷松平

委員ハ、**市原求君**ヲ委員長ニ推シ、調査ノ結果、十一月二十八日ノ會議ニ、左記意見報告書ヲ提出シタリ。

第九十號議案調査委員意見報告

委員ハ審議ノ末本案ノ精神ニハ同意ナルモ其方法ニ於テ欠クル所アリト認メ更ニ補助トシテ市參事會ヨリ迅速提出スルヲ至當ナリトシ本案ヲ否決セリ

市原委員長ハ、委員會ハ、本案ノ精神ニハ贊成ナリト雖モ、市ガ自ラ建物ヲ造リテ貸渡スコトハ、後日ノ爲メニ不可ナリトノ理由ヲ以テ否決シタル旨ヲ報告シ、**杉原榮三郎君**ハ、委員長ノ報告ヲ補足シ、原案ノ所謂、東京市ガ自ラ家屋ヲ建築シテ、聯合會ニ請負ハシムルコトニ就テハ、種々面白カラザル結果ヲ生ズルノ虞アルヲ以テ、勘業奬勵ノ主意ナラバ、寧ロ之ヲ補助金トシテ下付スルヲ可ナリトシ、理事者タル市長ニ對シテ協定スル所アリタルニ、最初理事者側ニ於テモ、補助金トシテ下付スル希望ナリシガ、市參事會ニ於テ議論ノ末、奇妙ナル議案ヲ提出スル結果トナリタリトノコトナリキ。併シナガラ市參事會トテモ、意見ヲ改ムルコトナキニハアラザルベシトテ、委員會ハ穩カナル態度ヲ以テ參事會ノ意向ヲ糺シタルニ、參事會ハ僅少ノ差ヲ以テ、遂ニ前說ノ如ク、東京市自ラ之ヲ建設シテ、聯合會ニ請負ハシムルヲ可トスルニ決シ委員ノ希望ニ應ゼザリシヲ以テ、委員會ハ、市參事會ガ穩健ナル我々ノ處置ヲ斥ケタル事ニ付テ、深ク之ヲ遺憾トシ、滿場一致ヲ以テ補助金ヲ可トスルノ議ヲ決シタル旨ヲ述ベ、異議ナク調査委員ノ意見ニ決シ、次イデ、同委員ノ提出セル第九十一號議案調査委員意見報告「委員ハ審議ノ末第九十號議案議決ノ結果本案ヲ否決セリ」ニ移リ、是亦異議ナク、委員報告通リ可決セリ。

▽補助金交付ノ建議　茲ニ於テ**渡瀨寅次郎君**ハ、緊急動議トシテ、今更建議スル迄モナク、之ヲ補助スルノ必要アリト認ムニ關スル發案アランコトヲ望ムト建議シ、**須藤時一郎君**ハ、

ルナラバ、市參事會ハ自ラ進ンデ提案スベキナリトノ意見ヲ述ベ、**杉原君**モ亦、市會ノ趨勢、既ニ補助金下付ニアル以上、市參事會ハ大ナル雅量ヲ示シテ發案シテ可ナリ。敢テ建議ニ及バズトノ意見ヲ述ベ、**渡瀨君**ハ、市參事會ハ飽迄モ補助案ニ同意セザル決心ナリト云ヘバ、本會自ラ補助案提出ヲ希望スル意思ヲ表示スルノ必要アリ。即チ本員ニハ發案權ナキヲ以テ、敢テ建議セントスルモノナリト辯駁シ、**松田市長**ハ、委員會モ、參事會モ、補助金下付ニハ異議ナキナリ。唯方法ニ於テ若干意見ノ相違ヲ來セルモノナルガ故ニ、既ニ建議ヲ提出サレタル以上、本職ハ適當ナル手續ヲ履ンデ、直ニ參事會ヘ提案セント欲スト述ベタルガ、採決ノ結果、渡瀨君ノ提出ニ係ル、市參事會ニ對スル提案促進ノ建議ハ、起立者少數ニシテ成立セザリキ。

▽出品聯合會補助案　十二月二日ノ會議ニ於テ、市會決議ノ精神ニ基キ、理事者ヨリ第九十九號案ヲ以テ、補助金參萬圓支出ノ追加豫算提出アリ。劈頭**市原求君**ノ補助金交付ノ條件如何ノ質問ニ對シ、**松田市長**ハ前會提出ノ四萬四千圓ヲ、參萬圓ニ減額シタル理由ハ、即賣館ヨリ陳列館ニ重キヲ置キタルモノニシテ、前議案ニ建築一坪四拾七圓トシタルハ、香川縣共進會ノ際、使用シタル古材ヲ標準トセシモノナルモ、或ハ新規建築ノ方案外廉價ナルヤモ知レズ、然レドモ共進會ノ建物ハ、古クトモ堅牢ヲ重ズルモノナレバ、其取捨ハ舉ゲテ之ヲ聯合會ニ一任スルニ決シタリ。其他ノ條件ニ就テハ、本案決定ノ上、親シク參事會ニ於テ評議ヲ遂ゲ、聯合會ニ對スル取締又ハ出品人ニ對シテハ甲乙ノ差別ナク、東京市ガ商工業奬勵ノ爲メニ出金スル趣意ノ貫徹ヲ期スベキ條件ヲ附セントスト述ベ、**關幸太郎君**ハ、參萬圓ノ標準如何、又聯合會ニノミ補助スルカ、聯合會ニ入會スルト否トニ拘ハラズ、市内一般ノ出品者ニ對シテ補助セントスルカト質シ、**松田市長**ハ、補助ハ陳列館ノ建築費ヲ主トシテ、之ヲ五拾圓ト見積リ、總額約貳萬四千五百圓ヲ要ス。然ルニ右ハ普通ノ建築物ト異リ、陳列ニ必要ナル諸種ノ構造ヲ要スルガ故ニ、是等ノ點ヲ考慮スレバ、

補助金額モ亦相當多クヲ見積ルノ必要アルヲ以テ、特ニ之レヲ參萬圓トナシタリ。而シテ補助金ハ東京市ノ總テノ出品者ニ之ヲ交付スルノ**主義**ニシテ、出品聯合會ハ、出品者共通ノ便益ヲ圖ランガ爲メニ、東京府、東京市役所其他ノ協議ニ由リ創立セルモノナリト答辯シ、**岡田榮一君**ハ曩キニ調査委員ヨリ補助案ノ交涉ヲ爲シタル際、當局ハ斷然之ヲ峻拒シタルニ拘ハラズ、其舌根ノ未ダ乾カザルニ、突如トシテ補助案ヲ提出スルニ至リタルハ、其間何等カノ魂膽アリシモノニハ非ザルカトテ其理由ヲ質問シ、**松田市長**ハ、手續上ノ疑ハ尤モナレドモ、別段魂膽ナドアルベキ筈ナシト陳辯シ、**稻茂登三郎君**ハ、本案ノ說明甚ダ明確ナラザルモ、表面上、聯合會ニ補助スルモノナルヲ以テ、聯合會ニ對シ相當ノ條件ヲ附セザルベカラザルガ故ニ、如何ニ提案ヲ急グトハ言ヘ、條件其他ニ付キ、提案前十分ニ決定シ置ケバ、其目的ガ勸業奬勵ニアル以上、全會一致、可決ヲ見ルニ至リシナラントテ、特ニ明確ナル說明ヲ希望シタリ。**須藤時一郎君**ハ先般ノ議案ノ內容ハ東京市ガ經營スルモノナレバ九十號通リニテ差支ナカリシモ、今回ノ夫レハ聯合會ヨリ補助ヲ請願セルモノナレバ、參考トシテ請願書ヲ添付シ來ルベキモノナルニ拘ラズ、終ニ其送付ナキガ爲メ果シテ如何ナル費用ニ對シテ補助セントスルカ判然セズト述ベ**丸山名政君**、亦陳列館ガ狹隘ヲ告グルニ至リシハ、抑々何人ノ責任ナリヤ、余ハ敢テ其ノ責任ヲ問ハントスルニハ非ザルモ、畢竟內國勸業博覽會ノ事務所、——農商務省若クハ東京府ニ於ケル取扱振リノ惡カリシ結果、遂ニ東京市ガ失錯ノ重荷即チ補助費ヲ負擔セザルベカラザルコトガ、今日本案提出ノ原因ナルベシト思惟ストテ、右建築ニ關シ、責任アル當局官廳ト如何ナル交涉ヲ爲シタルカ、又當業者ノ出願ヲ相當ト認定シタリヤ否ヤヲ質問シテ休憩トナリ、再開後**城君**ハ、東京市ノ出品人一同ニ補助スル精神ヲ明瞭ナラシムル爲メ、歲出第二項ノ「內國勸業博覽會東京出品聯合會補助」トアルヲ、「第五回內國勸業博覽會東京市出品人補助」ト修正シテハ如何ト問ヒ、**松田市長**ハ、本案ノ趣意ハ其通リナレドモ、箇別ニ補助スルコト能ハザルヲ以テ、聯合會ハ、出品人全體ヲ目標トナシッヽアリ。而シテ同會ヨリノ願書ハ、前議案ニ附スル筈ナリシモ、建築案ノ否決トナリタル所ヘ、博覽會事務局ヨリ、十二月中ニ建築スル筈ナレバ、速ニ着手サレタシトノ嚴重ナル督促アリタリ。仍テ倉卒ノ間ニ提案スルニ至リタル旨ヲ答ヘ、尙願書ハ印刷シアレバ追テ提出スベシト述ベ、最後ニ取締方法ニ關シ、監督官廳ハ如何ナル打合ヲナシタリヤトノ質問ニ對シテハ、幸ヒ東京府ノ吏員ガ囑託ナレバ直接夫レ等ノ人々ト相談セリ。而シテ愈々本會ノ決定ヲ見ルニ至ラバ直チニ開設地ニ建設シ得ル樣既ニ夫々協議濟ナリト說キ、**丸山君**ハ、本案ハ陳列館建設ノ爲メ補助スルモノナルガ故ニ、東京市ノ面目ヲ失スルガ如キ建物ヲ建ツル事ナキ樣希望シテ止マズ、今理事者ノ說ニ依レバ香川縣共進會ノ古建物ヲ移轉シテ間ニ合ハスト云フガ如クナルモ、折角ノ補助金ヲ有效ニ使用スルナラバ格別、萬一古材ヲ用キテ見苦シキ建物ヲ作ル樣ニテハ補助金ノ性質ヲ無視スル結果トナル。理事者ハ此等建物ノ構造方法ニ付キ、博覽會事務局ト打合セヲ爲シタリヤ如何ト問ヒ、**松田市長**ハ、取締ハ固ヨリ、規則ヲ勵行スベシ、又建物ノ構造ハ、博覽會事務局ノ認可ヲ要スルヲ以テ、聯合會ニ對シテハ、市ヨリ一應意見書ヲ徵スル考ナリト答ヘ。**坪谷善四郎君**ハ、香川縣ノ古建物ヲ用キズ、此金額ヲ以テセメテ陳列館丈ニテモ、東京市ノ面目ヲ損セザル建築ヲ爲ス能ハザルカト問ヒ、**中島行孝君**ハ、參萬圓ノ使途ニ付キ、**森田鉞三郎君**ハ、先キノ九十號案ニハ、陳列館ト即賣店ノ一個當リヲ揭出シテ、其內容ヲ明確ニ區別シタルガ、今回ノ參萬圓ハ、其說明中即賣店ニモ使用スルガ如キ數字アリテ明瞭ヲ缺クモノアリ、參萬圓ヲ、神佛ノ賽錢ト一般、聯合會ニ投出シテ事後ノ問題ハ之ヲ顧ミザル如キ說明ナルガ、即賣店ニ對シ、該費用中ヨリ之ヲ支出セズト斷言シ得ルヤ如何ト質問シ、**松田市長**ハ坪谷君ノ質問ニ對シ、**主**トシテ陳列館ノ建築ニ補助スル考ナリ、又假令古材木ヲ持込ムトモ其儘之ヲ使用スルコト能ハザルヲ以テ、構造ヲ變更シ、入口ノ如キハ相當ノ裝飾ヲ施シ、毫モ新規ノ建築ニ異ナラザルノミナラズ、價格モ亦低廉

ナルヲ以テ一擧兩得ナリト信ズ、而シテ右ニ關シテハ聯合會ノ便宜ニ一任スルコトニ參事會ニ於テ決定セリ。更ニ陳列館ノ建物ハ之ヲ即賣部ニ轉用スルガ如キコトハ爲サザル考ナリト述ブレバ、**坪谷君**ハ、再ビ古材木ヲ使用セズシテ、全然新規建築ヲ爲スコト能ハザルカト問ヒ、**松田市長**ハ、其邊ノ事ハ、補助金下付ニ當リ、一應聯合會ニ交渉スベシト答ヘタリ。

次ニ**稻茂登三郎君**ハ、理事者ガ陳列館ヲ主トスルナラバ必ズ從トスルモノナカルベカラズ。果シテ、然ラバ其中ニハ即賣店ヲモ含ムガ如キ疑ヲ生ズル譯ナルガ、陳列館以外ニハ使用セズトノ明確ナル說明アリタシ。又建築設計ノ監督如何、又聯合會ニ補助シ、果シテ東京市一般ノ出品人ニ對シ不平ナク不滿ナキヲ期スルコトヲ得ルヤ否ヤト問ヒ、**松田市長**ハ、參萬圓ニ減額シテ下付スル以上ハ、聯合會ノ便宜ナル方可ナリト認メ、即賣館ニ關係ナシトノ意味ヲ決定セル譯ニハアラズ、主トシテ陳列館ニ下付セントスト云フニ在リ。又取締ニ關シテハ、參事會ヨリ成ルベク完全ニ、本會補助ノ趣意ヲ徹底セシムル樣命令スベシト答辯シテ討論ニ入リ、**城君**ハ、前述ノ「第五回內國博覽會東京市出品人補助」トスル修正意見ヲ詳述シ、**關君**ハ、單ニ陳列館ノミニ補助スル條件ノ下ニ、貳萬五千圓トスル修正案ヲ提出シ、**坪谷君**ハ大阪ノ博覽會場ヲ視察セルニ、他ノ府縣ニ於テハ博覽會場ノ狹隘ヲ補フ爲メ、別ニ夫々陳列館ノ建造中ナリシガ、東京市ノ如ク、他ノ共進會ノ古材木ヲ運搬シテ建ツルガ如キモノハ見當ラザリキ、余ハ是等ノ事情ヲ參酌シテ相當ナル建築ヲ爲シタキ希望ナルガ故ニ、此金額ヲ以テ新規ニ之ヲ新築シ、即賣店ニハ關係ナク、專ラ陳列館ノ建築ニ使用スル意味ヲ附加スベシトノ意見ヲ述ベ、**杉原君**ハ、大體城君ノ說ニ贊成ナルガ、漫然東京市ノ出品人ト云フコトニテハ、一定ノ責任者ナキヲ以テ、補助金ハ聯合會ニ對シテ之ヲ下付シ、其條件トシテ、聯合會ハ遍ク市民中ノ希望者ヲ網羅シ、以テ等シク其補助ニ均霑セシムベシトノ條件ヲ附スベシトノ意見ヲ提出シ、**野々山君**ハ、古材木ヲ以テスル建築ト、新規建築トハ、僅カニ參圓ノ差ナルヲ以テ、五拾參圓ニテ新規ノ建築ヲナスモノトシテ、陳列館總坪數四百九十坪ニ乘ズレバ、貳萬五千九百七拾圓トナル、今之ヲ聯合會ナルモノヽ頭ニ割充ツレバ補助トナランモ、陳列館建築ニ支出スルナラバ補助ニアラズ、余ハ其支途ニ就キ彼是云ハンヨリモ、此方ガ遙カニ立派ナ話ナリトテ、貳萬五千九百七拾圓トスル修正說ヲ提出シ、**宮川鐵次郎君**ハ、出品人ハ博覽會出品間際ニ決定スルモノナレバ、現在不確定ナル出品人ニ對シテ補助セントスルハ、元來東京市ノ過ナリ。更ニ東京市ノ財政微力ニシテ、賣店トノ陳列館トヲ併セテ補助スルノ力ナシトセバ番外所說ノ如ク、先ッ陳列館ヲ主トシ、尙餘力アラバ賣店ニ及スモ可ナリトテ、五千圓削減說ニ反對シ、**靑木庄太郎君**ハ、原案ニ、**銀林綱男君**ハ貳萬五千圓說ニ贊成シ、**松田市長**ハ、敢テ議論ガマシキ陳述ヲ爲スニハアラザルモ、決議ノ後之ヲ實行スル能ハザルガ如キコトアリテハ遺憾ナリトテ、聯合會組織ノ經過ヲ詳述シ、城君修正ノ如キ結果トナラバ到底實行シ難シト辯明シ、**岩谷松平君**ノ原案贊成ニ次イデ、**田口卯吉君**ハ、陳列館ノ建築費竝ニ是ニ要スル諸費ヲ補助スル精神ニ於テ、原案ニ贊成ストノ意見ヲ述ベ、**肥塚龍君**ハ、自說ニ近キモノニ同意ストテ、先ヅ關君ノ貳萬五千圓說ニ贊成シ然ル後、新規ニ建築スベシト主張スル野々山君ノ說ヲ可ナリトスルモ、夫レニハ九百餘圓ノ差アルヲ以テ、野々山君ニモ讓步センコトヲ求ムト述ベ、**須藤君**ハ、補助金ノ性質ヲ明カナラシムル爲メ、野々山君ノ說ニ贊成シタル後、種目中ニ「陳列館建築費」ノ六字ヲ挿入スベシト發議シテ採決ニ入リ、城君ノ所謂東京市出品人補助トスル修正說、關君ノ貳萬五千圓減額說、野々山君ノ貳萬五千九百七拾圓說ニ付キ順次採決ノ結果、何レモ少數ニテ成立セズ、多數ヲ以テ原案ノ參萬圓ニ決定シ、次イデ附記ノ種目ニ陳列館建築費ト挿入スル須藤君說ト、建築費竝ニ是ニ屬スル諸費トスル田口君ノ說トニ就キ採決シタルニ、多數ヲ以テ田口君ノ說ニ決定セリ。

▽補助金ノ追加　然ルニ其後出品聯合會長ヨリ補助金追加ノ請願アリタルヲ以テ、翌三十六年三月二十六日ノ會議ノ席上、第百二十五號案ヲ以テ六千圓支出ノ追加豫算ヲ提出シ、異議ナク原案ヲ可決セリ。

附記　出品聯合會ヨリ提出セル請願左ノ如シ

御補助追加請願

轡ニ本會ノ趣旨御賛翼ヲ蒙リ多額ノ御補助ヲ仰クコトヲ得タル爲メ本會ハ第五回内國勸業博覽會場内ニ東京館ヲ建設シタルノミナラス陳列裝飾等總テ出品者ニ滿足ヲ與ヘ且ツ我カ帝國首府タルニ愧ツル所ナキ體面ヲ保ツコトヲ得ルニ至リタルハ本市ノ爲メ慶賀ニ堪ヘサル次第ニ御座候而シテ右東京館内ノ一部ハ恭クモ四月中頃　陛下御臨幸ノ際ニハ御休憩所ニ充テサセラルヘキ御内定ヲ蒙ムルコトヲ得本會ノ光榮ハ勿論又實ニ我カ東京ノ面目此上ナキ事ト被存候然ル所右便殿ニ充テラルヽ場所ト雖モ纔ニ建設シタルニ止マリテ敢テ何等ノ裝飾設備アルコトナキヲ以テ此ノ際御休憩所トシテ相當ノ裝飾設備ヲ致シ度キハ勿論尚同館一般ノ裝飾モ更ニ整備ヲ加ヘ度且又博覽會場ハ來ル四月ヨリ獨リ晝間ノミナラス夜間モ亦開場スルコトニ相成候ヲ以テ諸館悉ク電燈ヲ點スル由ナレハ我東京館モ電燈ヲ裝置シテ他ノ諸館ト同樣夜間ノ開場モ致シ度候ニ就テハ此ノ際此等裝飾設備電燈裝置ノ爲メ遽カニ數千圓ノ費用ヲ要スルニ至リタルノミナラス又看守人ノ被服給與其他ニ付キ府縣トノ釣合上之ヲ缺加スヘカラサル費用ノ爲メ當初ノ豫算額ニ數倍スルノ支出ヲ要シ候旁今般更ニ金六千圓ノ御補助追加ヲ仰キ度此段奉請願候右御詮議ノ上御聽許被下候ニ於テハ獨リ本會ノ事業終始ヲ完フスルコトヲ得テ本會ノ名譽タルノミナラス延イテ東京市ノ面目ニモ相成コトヽ存シ懇請ノ至リニ不堪候謹言

明治三十六年三月二十五日

東京市參事會
東京市長　宛

第五回内國勸業博覽會東京出品聯合會長

第貳拾壹節　墓地改葬無代交付

十一日二十八日ノ會議ニ左ノ議案上程セラレタリ。

第九十二號

墓地無代價交付ノ件

市内ニ散在スル共葬墓地ニシテ、特別ノ由緒アルモノヲ除クノ外、五箇年以内ニ於テ、市外ニ全部改葬ノ上、其土地拂下ヲ出願スル者アルトキハ、無代價ヲ以テ交付スルモノトス。

設　明　從來市内ニ散在スル墓地ニシテ、改葬ノ上拂下出願者アルトキハ、隣地價格ニ比シ、改葬ニ係ル費用等ヲ參酌シ、成ヘク減價ヲ以テ竇却シタリ。然ルニ是等出願者ノ多クハ一區域内ニ於テ有益ナル小分部ノ改葬ヲ行ヒ、自餘ノ部分ハ自然放拋スルノ傾キアルニ依リ、自今關係寺院及關係者又ハ他人ニ於テ元關係寺院及關係者ノ承諾ヲ得テ、全部拂下ヲ出願スルトキハ無代價ニテ之ヲ交付シ、以テ市内墓地ノ移轉ヲ速カナラシメントシ、本案ヲ提出ス。

劈頭**芳野世經君**ハ、由緒アル特別ノモノヲ湮滅スル虞アルヲ以テ、之レガ豫防設備ノ完成迄、暫ク延期スベシトノ意見ヲ述ベ、**佐治實然君**ハ、異議出タルモ、折角市街宅地トナルベキ等ノモノヲ放擲シ置クハ、經濟上ヨリスルモ將タ

又市ノ外觀ヨリスルモ、大ニ不可ナリトテ、原案ニ贊成シ、**野々山幸吉君**ハ元來墓地ハ市ノ邊隅ニ在リシモノナランモ、町ノ發展ニ從テ今日ハ中央トナリシモノナレバ、墓地ヲ置キタル本來ノ精神ヨリ考フルモ、矢張リ市外ニ在ルガ當然ナリ。「由緒アルモノヲ除クノ外」トアレバ、由緒アルモノヲ損スル譯ナク、寺院或ハ關係者ヨリ合議ノ上出願スル者ニハ、無代價交付ヲ爲スコトナレバ、國ハ地租ヲ、市ハ家屋稅營業稅ヲ取ルノ利益ヲ得ベシ。然ルニ墓地ニ家ヲ建テ貸家トスルガ如キハ、寺院僧侶ノ爲メ今日其利益ヲ蹂躙セラルヽモノト云フベキナリトテ、原案ニ贊成ヲ望ミ、**宮川鐵次郎君**ハ本文ニハ如何ナル者ヨリ拂下ヲ願出デ、如何ナル者ニ無代交付ヲ爲スカ明カナラズ。尤モ說明ニハ關係寺院或ハ關係者ト書シアレドモ、是レ說明ニ過ギズ、決議トナリタル曉ハ此說明ハ消滅スベシ、斯ル必要ナル條件トモ云フベキモノヲ本文中ヨリ省ケル理由如何ト問ヒ、**松田市長**ハ本案提出ノ趣意ハ論議中ニアリシ如ク ニテ別ニ異リタルコトナシ。唯明治二十五年以來今日迄ノ計算ニ依レバ、此ノ墓地ノ中僅カニ七千有餘坪ガ市有地トナリシノミ。斯ノ如クンバ容易ニ目的ヲ達シ難キヲ以テ、本案ヲ提出シタルガ、說明ニ揭ゲタル點ハ此ノ趣意ニ基キ相當ノ告示ヲ爲スベク、手續ハ其際十分ニ示ス積ナリト答ヘ、**大柴四郎君**ハ五箇年ト限定セル理由ヲ問ヒ、**松田市長**ハ奬勵ノ爲メ期限ヲ設ケタル旨ヲ答ヘ、**林謙三君**ハ拂下云々ト書シタル趣意ヲ問ヒ、**浦田助役**ハ無償拂下ト云フニ外ナラザル旨ヲ答ヘ、**銀林綱男君**ハ從來代價ヲ取リテ寺院ヘ下ゲタルハ餘程酷ナルコトヽ思ヘリ。寺院ガ墓地ヲ移轉スレバ跡地ノ無償下付ヲ最モ可トスベシ。是レ市內ノ墓地ヲ市ニ於テ移轉スルハ、寺院ガ自ラ之ヲ爲ス如ク好果ヲ得ザレバナリ。拂下云々ハ如何ニモ金ヲ出シテ買フ如ク聞ユレバ、唯無代價ヲ以テ交付スルトノ文字ノ修正ニテ、原案ニ贊成スル旨ヲ述ベ、**佐治君**ハ市內ノ墓地總坪數幾許カヲ問ヒ、**松田市長**ハ市內ニ於ケル總面積三十二萬六千三百十坪三四九ニシテ、本案ニ依テ下付スル坪數ハ、二十八萬四千六百七十一坪三七九、此ノ筆數千二百四筆ナリトノ答辯ヲ爲シ、採決ノ結果原案ヲ可決セリ。

第貳拾貳節　四谷杉大門立木伐採問題

▽**立木伐採事件ノ懲戒處分**　十一月二十八日ノ會議ニ於テ**城數馬君**ハ質問シテ曰ク、此頃新聞紙ノ報ズル所ニ據レバ助役ヲ初メ市吏員數名懲戒處分ニ附セラレ、其事ニ牽聯シテ新聞紙ノ報道ハ不可思議ナル事ノアル如クナルガ、如何ナル不始末ニ依テ如何ナル懲戒ヲ施シタルヤ、其ノ顚末ヲ明カニ報告アリタシト。之ニ對シ**松田市長**ハ其ハ四谷荒木町ノ道路敷ト民有地トノ境界ヲ定ムルコトニ關スルモノニテ、民有地ノ所有者ヨリ境界不明瞭ナルニ因リ測量ヲ出願セルガ、其ノ測量ヲ爲シ査定ヲ行フ事柄ガ相當ノ順序ヲ經ザリシ爲メ、道路敷ニ在リタル樹木ヲ伐採セルナリ。是ニ由テ部長ヲ十圓ノ科料ニ處シ、其取次ヲ爲シタル者ノ中、相當ノ手續ヲ經ザリシ一名ヲバ同樣十圓ノ科料ニ處シ、二名ヲ譴責ニ付セリト答ヘ、**城君**ハ理事者ノ答辯ヲ以テ滿足セザルモ、監査委員ニシテ調査セシコトアラバ、承知シタキ旨ヲ述ベ、**銀林綱男君**ハ四谷ノ舟町、俗ニ杉大門ト稱フル杉ノ木ノ繁茂セルモノヽ伐採ニ關シ、當月二十一日監査委員會ニ於テ、世間ノ議論喧シキ爲メ調査スル事トナリ、委員長ヨリ五名ヲ指定シ委員中ノ委員ト云フ意味ニ於テ精細ナル調査ヲ託シタリ。實地ヲ調査ノ結果、其土地ハ當年三月賣買行ハレ、高山權次郎氏ノ入手シタル地面ナリ。仍テ賣買ノ手續等ヲ調査シ、二十四日大體監査委員ノ意見ヲ決定セリ。其事ハ監査委員ノ調査ノ一部分トシテ、遠カラズ市會ニ報道ニ及ブベキ旨ヲ述ベ、**城君**ハ尙市吏員ノ不始末ニ付テノ處分ハ既ニ完結セルヤヲ問ヒ、**松田市長**ハ關係市吏員ハ悉ク處分ヲ爲シタル旨ヲ答辯セリ。

▽杉大門道路開設竝伐木ニ關スル質問　十二月一日ノ會議ニ於テ、**野々山幸吉君**質問ヲナシテ曰ク、余ノ記臆ニ依レバ四谷舟町杉大門ノ道路開設ハ昨年ノ市會ニ於テ通過シ、目下其工事中ナルガ、現場ヲ見ルニ寺院ノ山ヲ崩シ、下ノ地主ニ千坪ノ土ヲ贈與スルコトヲ約シ、地主ハ其盛土ヲ爲スタメ、三浦某ニ相談整ヒタル由ナリ。然ルニ仕事ヲ取扱フハ市ケ谷出張所ナルガ、拾圓、貳拾圓或ハ百圓、貳百圓ノ仕事スラ直營工事ハ凡テ入札ニ附スルニモ拘ハラズ、此ノ千貳百五拾參圓八拾七錢ノ工事ヲ三浦某ニ特命ヲ以テ爲サシメタリ。高山某ト三浦トノ間ハ便利ナリトシテ、當然ナルベキモ、一個人ノ高山ガ土ヲ貰ヒ、三浦ニ仕事ヲ命ジ居ル故便利ナリトテ、東京市ガ特命ヲ爲スハ何故ナルヤ解スルニ苦シム。次ニ市ケ谷出張所ニテ聞ケバ、之ヲ命ジタル主任ハ三味線堀ニ轉任セリト云フ。如何ナル譯ヲ以テ轉任セシメタルカ、不始末ニ由ルカ、將タ又榮轉ナルカ。更ニ杉大門ノ道路ニ在リタル杉ハ、聞ク所ニ依レバ高山某ガ伐採ヲ爲シタレバ、今度高山ニ過怠金ヲ申付クル由ナルモ、今朝實地檢分シタルニ、三十三本伐採サレ、中ニハ切口一尺以上ノモノ八本アリタリト。此金高如何ト。**松田市長**ハ新ニ切開キヲナス所ノ道路ノ殘土ヲ設計通リ近傍ノ地主ニ下付スルコトヽナリ高山權次郎氏ノ出願ニ依テ、東京市ヨリ其殘土ヲ無償ヲ以テ下付セルナリ。特ニ三浦政一ナル者ニ申付ケタル手續ハ取調ベタル上、書類ニ就テ答辯スベシ、次ニ三十三本ノ中ニハ他ノ雜木ヲモ混ジ居レリ。前夜城君ヨリ質問アリシ如ク、行違ヒノ上ヨリ高山權次郎氏ニ於テ伐採シ直チニ賣却セルヲ以テ、此賣却代金確カ拾四圓ニテ、其代金ヲ高山氏ヨリ本市ニ對シ納入スルコトヽナリ居レリ。尚代價ノ高低ハ調査中ナリト答ヘ、**城數馬君**ハ第一、東京市ハ從來道普請埋立等ニ土ノ出處ニ困難シ居ルニモ拘ハラズ、唯今ノ答辯ニテハ持チ行ク者アラバ無償下付セントノコトナルガ、少許ナラバ無償下付ストノ意ナルカ、或ハ又今日東京市ハ土多ク之ガ置場ニ困却スルヲ以テナルカ。第二、杉ハ市ノモノナリヤ、或ハ市ガ管理スル道路ノ木ナリヤ、兎ニ角其木ヲ高山ノ爲メニ、或ハ高山ヨリ買受ケタル者ノ爲メニ伐採サレタル損害ヲ何人ニ賠償セシムルヲ考ナリヤ、又賣リ得タル拾四圓ヲ東京市ニ納メシムルハ賠償ノ意ナリヤトテ、如何ニ價格ヲ定メ、又賠償ヲ命ズルヤヲ質問シ、**松田市長**ハ土ハ運搬ニ不便ナルモノナレバ其入用若クハ不用之ヲ一概ニ云々スベカラズ。賠償ニ就テハ樹木ノ價格ノ高低ハ取調中ナレバ未ダ其ノ眞相ヲ知ラズト雖モ、若シ損害アリトスレバ賠償ヲ爲サシムベシ。尚高山氏ヨリ漸ク近日書面ノ提出アリシモ、未ダ參事會ノ評議ニ上ラズト說明シ、**野々山君**ハ數次現狀ヲ視察セルガ、理事者ノ答辯ハ凡テ詐ナリ。杉ノ根ガ道路ニ露出シ邪魔ニナレバ伐採スルモ可ナルモ、現場ハ半分崖ニテ木ヲ伐ル必要ナシトテ、理事者ニ杉大門ノ檢分ヲ望ミ、併セテ拾四圓ハ一本ノ値段ナリヤ、三十三本ノ代價ナリヤヲ質問シ、**松田市長**ハ詐トカ事實トカハ確定シタル結果ヨリ出ヅルモノニシテ、公會ニ於テハ互ニ言辭ヲ愼ムベキナリトテ、木ハ道路上ニ生育セルニ非ラザルモ、道ノ少許下ニ根ヲ張リ居リシカバ、或ハ境界ノ木トモ言ヒ得ベシ。是ヲ切下グルハ敢テ素人設計者ノ意見ニアラズ、技師モ亦切下ゲノ必要ヲ認メ、其場合伐木ハ已ムヲ得ズト爲セリト答ヘ、尚拾四圓ハ三十三本ノ代價ナル旨ヲ補足セリ。次デ**田口卯吉君**ハ道路切開キノ請負人三浦政一ナル者ハ切開キタル土ヲ以テ埋立ヲ爲ス土地ノ地主ニハアラザルカ。又此ノ三浦政一ハ本年三月高山氏ガ三井ヨリ地面ヲ買フニ當テハ、確カニ高山氏ト聯合シテ此ノ地面ヲ買ヒタルモノナリ。然ラバ高山氏トハ餘程親密ナル關係アルニ相違ナク、其道ヲ開ク請負人ト其土ヲ以テ埋ムル地主トヲ混同セルニアラズヤ。夫レ故三浦ニ向テ此道ノ切開キヲ請負ハシムルニ付テハ如何ナル手續ヲ以テ特命セルヤ。公私混合ノ嫌ヒアリトテ、明瞭ナル說明ヲ求ムル所アリ。**松田市長**ハ三浦政一ナル者ハ本市ノ請負人ニシテ、高山氏トノ懇意ノ程度如何ヲ知ラズ。而シテ三浦政一ナル者ガ近傍ニ土地ヲ有スルコトハ之ヲ聞ケリ、三浦政一ノ地面ト高山氏ノ地面トガ相接スルガ如キコトモ亦之ヲ聞ケリ。併シ眞下ノ地面ハ餘程廣大ナレド、コハ高山氏ノ地面ト聞ケリ、過日中取調ベタル

ハ專ラ高山氏ノ地所ナリ。尚又連名ニテ質ヒタルニアラズト答辯シ、**肥塚龍君**ハ前回杉大門事件ハ結了セリトノ答辯ナリシガ、先刻來ノ質問應答ヲ聞クニ落着ハ愚カ益々紛糾セルモノヽ如シ、是レ一ノ疑問ナリトテ、三十三本ノ杉ノ木ノ落着ニ關シ、市參事會ニ於ケル成行如何ト質問シ、**松田市長**ハ前回ハ關係吏員ノ處分濟ナルヲ答辯セルモノニシテ伐木ノ一件ガ落着セル如ク聽及バレシヤ知ラザルモ、斯ノ如キコトハ是ヨリ取調ノ上發案スベキモノニシテ別問題ナリ。損害ニ關シ如何ナル要求ヲ爲スヤハ調査ノ上ノコトナレバ、或ハ其ノ邊ノコトヨリ疑ヲ生ゼルナラン。代價ノ方ハ納メ來レルヲ以テ提案セルナリト答ヘ、**肥塚君**ハ理事者ノ答辯ハ、熟考中ノコトナルガ、參事會ニ杉ノ代價見積ノ案ヲ提出セルヤ如何ト問ヒ、**城君**ハ肥塚君ト理事者トノ回答中余ガ引合ニ出デ居ルガ、余ハ前回ニハ市吏員ノ處分ニ就テ質問セルナリ。尚伐木ノ損害賠償如何ハ決定セザル旨ヲ答辯シナガラ、木ノ代金ヲ持來タレル故受取リタリトカ、或ハ受取ル樣ニナリタリトノ話ナルモ、市ガ賣リタル譯ニアラズ、市ノ杉ノ木ヲ橫合ヨリ高山ガ代ツテ湯屋ニ賣リタルナレバ、其代金ハ高山ト湯屋トノ間ノコトニシテ市ガ受取ル譯ナシ。市ガ代金ヲ受取ルハ滑稽ナル話ナリ。如何ナル考ニテ受取リシヤヲ質問シ、**松田市長**ハ最初民有地ノ上ニ生ゼル木ナル爲メ高山ハ伐採セリトノコトナルガ、其後道路付ナルコトノ判然セル時ハ、既ニ伐採シタル後ナリシカバ、賣却代金ヲ上納シ來リタルヲ以テ、其ノ書面ヲ添ヘテ拾四圓ヲ參事會ヘ提案セリト答辯シタリ。是ニ於テ**靑木庄太郎君**、去月二十八日ニ會議ヲ開キタルニ更ニ本日復又會議ヲ開キタルハ緊急議案アリタレバナリ、然ラバ其ノ方ヲ先キニシテハ如何トテ質問中止ノ動議ヲ提出スレバ、**肥塚君**ハ其ノ緊急議案ナルモノハ、必シモ今日議セザルベカラザルモノニアラズ。今夕ノ質問ハ市ノ體面、市ノ利益ニ大ナル關係ヲ有スレバ、今此質問應答ハ他日問題タルベキモノナリトテ答辯ヲ促シ、**城君**、亦質問ヲ繼續セントスル事項ハ本日ノ議案ヨリモ緊急事項ナリト信ズ、何トナレバ理事者ノ答辯ニテハ高山ヨリ拾四圓ノ金ヲ受取ラントシツヽアルナリ。之ヲ一度ビ受取ラバ問題ハ結了ス、何トナレバ之ヲ取リタル以上ハ其後損害ノ大ナルヲ知リタル時之ガ賠償ヲ求メントスルモ應ゼザルベケレバナリ。故ニ一步ヲ誤ラバ市ノ體面ニ關スルノミナラズ、市ノ不利益トナルヲ虞ルヽナリト述ベ、**渡瀨寅次郎君**ハ高山某ヨリ道路境界ノ測定ニ付テ書面ヲ出セルハ十月二十四日ト承知セルガ、調査スルニ及ンデ、伐採セルハ十月十六日頃ヨリ伐リ始メ二十六日頃杉ノ代金拾四圓ヲ受取レルヲ知レリ。然ラバ二十四日境界丈量ノ書面ヲ差出ス前ニ杉ヲ伐採セルガ如シ。理事者ノ調査如何ト質シ、**銀林綱男君**ハ切取リ土砂ノ運搬ハ豫算ニ計上セザルヤ。次ニ杉ノ代金ハ參事會限リ決定シテ徵收シタルカ、或ハ未決ナルカ、將タ又道路ハ中段ノ如キ所ナレバ削リ下グルモノナリヤヲ問ヒ、**松田市長**ハ八月二十日過ノ書面ガ十月二十四日附ニテ受付ラレアルヲ以テ、ソハ眞實八月二十日ニ差出セルモノニハアラズ。十月二十四日ニ差出セルニ相違ナシ。而シテ手續ヲ經テ十月三十日ノ日附ヲ以テ證明ノ決議ヲ爲セリ。又土ハ近傍ノ地主ニ下付シ運搬セシメントス、コハ如何ナル計算トナルヤハ不明ナリ。又代價ハ早ク納メシムルヲ可トスベシト思ヒ、市參事會ヘ提案セリ。定メシ決定サレシナラン、今一ツ道路ノ引下ハ、高山氏ノ地面ハ幾分高低ヲ生ズルナランガ、コハ未ダ着手セザルモ順序ヲ逐ヒテ整理セントスト答フレバ、**林謙三君**ハ杉代金ヲ既ニ受取リタル如キ答辯ナリシガ、ソハ損害賠償トシテナルカ或ハ損害賠償ノ一部トシテナルカヲ質問シ、**松田市長**ハ高山氏ヨリ最初民有地ニ屬スルトノコトニテ伐採セルモ、後ニ民有地ニアラズ、道路付ナリシトノコトニテ、其ノ木ハ既ニ伐リテ此ノ代金ニテ賣リタレバ其儘納付ストノ趣意ノ書面提出アリタレバ、之ヲ領掌セリ、右書面ヲ提出スルモ可ナリト答フレバ、**城君**ハ金ハ受取リシヤヲ追窮シ、**松田市長**ハ納付濟ナルヤ否ヤハ調査セザレバ判然セザルモ、書面ハ既ニ參事會ニ提出セリト答辯ス。**鹽島仁吉君**ハ民有地タリシト云フハ東京市ガ認メタルカ或ハ高山氏一己ニテ認メタルカ、高山氏ガ證明書ヲ十月ニ出スニ

八月ノ日附ナリシ事實ヨリ見レバ民有地ナリトハ冒認ニシテ、之ヲ蔽ハンガ爲メニ日附ヲ左樣ニ爲シタルモノヽ如シ。果シテ然ラバ高山氏ノ行爲ハ官地ヲ冒認シ、樹木ヲ盜伐シタルコトヽナルナリ。其ノ行爲ハ犯罪ナルニ、之ヲ告發セズ、其儘ニ放任セルハ、犯罪ト認メザリシガ爲メカト詰リ、**松田市長**ハ最初ハ高山氏ニ於テ測定ヲ願フ主意ナリシガ、若シ適當ノ吏員ガ之ニ關與セシナラン ニハ、或ハ斯カル誤モ無カリシナラン。伐木ハ民有地ニ屬スルモノト看テナシタルニ相違ナシ。然シ尙念ノ爲メ民有地ニ屬スル樹木ナリヤ否ヤ證明ヲ請ハントシテ市役所ニ書面ヲ提出セルナリ。是丈ケノ手續中果シテ刑法上ノ問題タルベキモノアリヤト云フニ、參事會ニ於テハ之ナシト認メタリ。而シテ其取扱ヲ爲シタル吏員ニ對シテハ、相當ノ處分ヲ爲シタリト辯明シ、**大柴四郎君**、木ヲ伐リタル後ニ證明ヲ願出タリトセバ、當局者ガ普通ノ能力アル以上、其時疑念ヲ生ズベキ道理ナルニ、之ヲ不問ニ附シ、又伐木代金ノ適否ハ調査中ナリトノ答辯ナリシニ、其後金ヲ受取リタル如クモ聞ヘ甚ダ曖昧ナルガ、明確ナル答辯ヲ望ムト質シ、**松田市長**ハ金ヲ受取リシヤ否ヤニ付テハ度々答辯セル如ク、之ヲ參事會ニ提出シタルニ相違ナシ。決議ヲ爲シタル後收入ノ手續ニ及ブコトナレバ、何レ收入役ノ手ニ入ルベシ。一個人ガ金ヲ受取ル如キ手續トハ異ナレバ、會計ノ帳簿ヲ見ザレバ即答シ難シ。又證明ヲ爲シタル吏員ハ木ガ伐採サレタルヲ認メザリシ故、證明ヲ與ヘタルナリト答ヘ、**芳野世經君**ハ參事會ノ議決ヲ經テ金ヲ受取ルベキコトヲ高山氏ニ達セルモノナリヤ、或ハ未ダ決議ニ至ラザルヤヲ問ヒ、**松田市長**ハ書面ノ提出サレタルコトハ判然答辯スベシ。其ノ事ハ決定セシナラント信ズ。必要ナラバ取調ブレバ直チニ判明スベク、又金ノ納付濟ナルヤ否ヤモ判然スベシト答フレバ、**芳野君**重ネテ曰ク、然ラバ參事會ノ議決如何ハ判然セズトノ答辯ナルガ如シト雖モ、參事會ノ會長ハ市長ナルヲ以テ、若シ市長ニ於テ用事アラバ助役ニ於テ代理スベキモノナル故、誰カ承知ノ者アルベシト追窮シ、**松田市長**ハ多用ナレバ代理者ノ出ヅルハ當然ナリ、唯今隣席ノ浦田助役ニ尋ネタルニ、矢張リ參事會ハ確ニ決定ヲ爲セリトノコトナリト告ゲ、質問ハ玆ニ打切リタリ。

▽**杉大門立木伐採損害賠償決議**　次イデ同日ノ會議ニ於テ、**城數馬君**ハ、先刻理事者ニ質問シタル杉大門伐木事件ニ付キ、左ノ如キ動議ヲ提出セリ。

決議案

四谷區里俗杉大門ニ於ケル立木伐採ノ事件ニ就テハ、相當ノ損害ヲ賠償セシムベキモノニシテ、賣却代金ノ納付ヲ受クベキモノニアラズ。

其理由ハ先刻述ブル如クニシテ、若シ此賣買代金ヲ受取ルニ於テハ、遂ニ高山權次郎ガ他人ノ財產ヲ始ド冒認シテ人ニ賣リタルモノヲ東京市ガ認ムル結果トナルナリ。斯ノ如キ不當ナルコトヲ市ガ認ムベキニアラザルヲ以テ、相當損害ヲ賠償セシムベキモノナリ。賣買代金ヲ市ガ受取ラバ、後日ニ至リ甚ダ不體裁ナルノミナラズ、又不利益ナルヲ以テ、此處ニ此決議ヲ爲シ、以テ理事者ニ忠告センガ爲メナリト城君ノ說明アリ、多額ヲ以テ決議案ヲ可決セリ。

附記　高山權次郎君ハ十一月二十四日市會議員竝名譽職參事會員ヲ辭任セリ。

第貳拾參節　施療病院基本金寄附

十二月二十五日ノ會議ニ於テ、左ノ議案上程シタルニ、異議ナク直チニ原案通可決セリ。

第百一號

寄附受領ノ件

一　軍事公債證書額面金拾萬圓也

右ハ三井家總代男爵三井八郎右衞門ヨリ、本市施療病院基本金トシテ寄附候樣、別紙ノ通申出アリタルニ依リ、之ヲ受領スルモノトス。

（別　紙）

寄附申込書

一　軍事公債額面金拾萬圓也

東京市ハ弊家祖先開業ノ地ニ有之、弊家ノ今日ヲ致シ候モ、市民ノ眷顧ニ依ルモノ亦不尠ト存候、就テハ此度市ニ於テ施療病院御創設ノ美擧有之候由仄カニ聞及ヒ候ニ依リ、軍事公債額面金拾萬圓也右施療病院基本金トシテ寄附致シ度、尙ホ右金額ハ左ノ條項ニ遵ヒ御使用被下度候。

一　此寄附金ハ永遠ニ東京市立施療病院ノ基本財產トシ、之ヨリ生スル利子ノミヲ右病院ノ施療ノ費用ニ供セラレタキ事

但シ將來東京市立施療病院廢セラルヽコトアル時ハ、右基本金ヨリ生スル利子ハ之ヲ基本財產ニ組入レラレ、類似ノ窮民救助的事業ノ基本財產トシ、其利子ヲ永遠ニ同一目的ニ使用セラレタキ事

一　東京京立施療病院開設ノ日ニ至ル迄、此基本金ヨリ生スル利子ハ、之ヲ基本財產ニ組入レラレタキ事

一　此公債證書償還ヲ受ケタル場合ニハ、適宜他ノ公債ヲ買入レ、次第ニ之ヲ補塡セラレタキ事

一　其他本寄附金ノ保管及本寄附行爲ノ目的ヲ貫徹スルニ必要ナル事項ハ、凡テ市ニ一任致シタキ事

右之通リ御取計ヒ被下度、此段併セテ願上候也（以下略ス）

第貳拾四節　名譽職參事會員辭任竝補缺選擧

十二月二十五日ノ會議ニ於テ、議長ハ市參事會ノ報告ニ係ル名譽職市參事會員辭任ノ屆出ヲ朗讀セシメタリ。即チ左ノ如シ。

拙者儀所感有之市參事會員辭任致候間此段及御屆候也

西澤善七

拙者儀所感有之名譽職市參事會員辭任致候條此段及御屆候也

中澤彥吉

拙者儀今般都合有之名譽職市參事會員辭任致候間此段及御屆候也

市參事會員

加藤佐兵衞

拙者儀所感有之市參事會員辭任致候間此段及御屆候也

名子新七

拙者儀都合有之市參事會員辭任仕候間此段及御屆候也

久我懋正

拙者儀都合ニ依リ名譽職市參事會員辭任致候間此段及御屆候也

伴親光

拙者儀所感有之名譽職市參事會員辭任致候條此段及御屆候也

中鉢美明

拙者都合ニヨリ名譽職市參事會員ヲ辭任致候ニ付御屆ケ及候也

今井喜八

拙者儀所感有之名譽職市參事會員辭任致候條此段及御屆候也

黒田綱彦

拙者今般所感有之名譽職市參事會員辭任致候條此段及御屆候也

野々山幸吉

市參事會員

江原素六

自分儀

不得止事故有之參事會員辭任仕度此段相願候

右

江原素六

小生微力重任ニ堪ス市參事會員辭退仕候

芳野世經

右ハ凡テ異議ナク之ヲ是認シ、直ニ之ガ補缺選擧ヲ行ヒタル結果、左ノ如ク當選セリ。（註、○印ハ再選ナリ）

任期長キ分六名ノ補缺

大岡育造　○中鉢美明

大石正己　○西澤善七

江原素六　○銀林綱男

鳩山和夫　○芳野世經

奥田義人　○野々山幸吉

任期短キ分六名ノ補缺

第貳拾五節　三十間堀埋立問題

▽市區改正事業繰延問題　本年市長助役更迭問題ヲ惹起シタル三十間堀埋立事業ニ先チ、三十五年十二月二十五日ノ會議ニ於テ、七名ノ調査委員ニ附託サレタル第百五號市區改正明治三十五年度追加豫算（金參拾七萬六千參百貳拾貳圓七拾八錢五厘）ハ、市會議決ノ權限ニ關シ、端ナクモ一大論議ヲ生ジタリ。即チ同調査委員ハ、調査ノ結果翌三十六年一月十九日附ヲ以テ、市會ニ左ノ意見報告書ヲ提出セリ。

第百五號議案調査委員意見報告

委員ハ實地ヲ踏査シ屢々集會審議ノ末、本案ノ必要ヲ認メシモ經濟ノ都合上之ヲ明年度ニ延期シ、本年度ハ歳出ニ於テ第九款調査費五千圓ノ支出ニ止メ、之ニ對スル歳入ハ第六款前年度繰越金ヲ貳千圓ト修正シ、其餘ノ參千圓ハ市參事會ノ同意ヲ得テ普通市費ヨリ補充スルコトニ決議セリ。

右及報告候也

然ルニ其後二月十六日附ヲ以テ、「委員ハ再議ノ末、前報告ヲ取消シ、更ニ原案ヲ可トスルコトニ決議セリ」トノ意見報告ヲ提出シ、二月十八日ノ會議ニ於テ議題ニ供セラルヽヤ、**岩谷松平君**ハ、委員ニ於テハ、本案ノ三線路（註、下谷區車坂町ヨリ菊屋橋、京橋區築地三丁目ヨリ新富町六丁目、神田區小川町ヨリ駿河臺北甲賀町ニ至ル道路開設）ヲ或ハ一線路ト爲サントシ、或ハ二線路ト爲サントシ、種々調査ノ末、三十五年度ハ簡單ナル調査費ノミノ支出ニ止ムルコトニ決シテ報告セルモ、種々協議ノ結果、本案ヲ可決セリトノ報告ヲ爲セリ。茲ニ於テ**城數馬君**ハ、委員長ノ報告ハ要領ヲ得ズ、一旦印刷シテ報告シタルモノヲ、再議ノ末、遂ニ之ヲ取消シタル理由如何ト質問シ。**坪谷善四郎君**ハ、元來市區改正ハ、一箇年ノ費用五拾萬圓以内ノ定メナリシモ、本年度ヨリ百萬圓迄增加スルコトヲ得ルニ至レリ。然ルニ今本案ヲ議決セバ、三十六年度ニハ百萬圓ノ外、尚參拾餘萬圓ノ事業ヲ行ハザルベカラズ、從來ノ五拾萬圓丈スラ隨分重荷ナリシヲ、三十六年度ニ於テ一時ニ百參拾餘萬圓ノ事業ヲ施行スルハ、市民ノ負擔ヲ急激ニ增加スルコトヽナリ、到底負擔ニ堪ヘザルベシ。又市ノ事業ヲ見ルモ、從來五拾萬圓以内ノ事業サヘモ遲レ勝チニシテ、竣工遲々タル經過ニ徵シ、一時ニ斯カル大事業ヲ決定スルモ、完成ハ到底困難ナルベク、又徒ニ市民ノ負擔ヲ增加シ、事業依然トシテ進捗セザルニ於テハ、市民ニ對シテ申譯ナキニ非ズヤ。故ニ本案ハ之ヲ調査費丈ケニ止メ、次年度ニ延期スルコトニ決シタリ。然ルニ市區改正事業ハ、市區改正委員會ニ於テ議定シ、市會ハ唯經費負擔ノ方法ノミ決スレバ可ナリヽ、一旦市區改正委員會ニ於テ決定シタル事業ニ立入リ、之ヲ延期スルガ如キハ、越權ノ所爲ナリトノ說モアリタリ。然レドモ縱令市區改正ノ事業ハ、市區改正委員會ニ於テ決定スルモ、其經費ハ市會ニ於テ決定スルモノナルガ故ニ、市民ノ負擔ヲ三倍以上ニ增加スルコトハ、如何ニモ穩當ヲ缺キ、又市會ノ職責トシテ妥當ナラズトノ理由ニ依レリ。又開ク所ニ據レバ、一旦市區改正委員會ニ於テ決定セル事業ヲ、市會ニ於テ繰延ベタル先例モアリト云フ。此等ノ事情ニ依リ前回報告通リ調査費丈ケヲ決定シ、最早三十六年度モ切迫シ居ル折柄ナレバ、此事業ハ三十六年度ニ施行センコトヲ欲シ、斯クハ報告シタル次第ナリ。然ルニ報告後、委員ガ再議ヲ爲スニ至リシハ、第一、內務省ニ於テ、市區改正委員會ノ決定シタル線路ヲ市會ニ於テ次年度ニ延期スルガ如キハ、越權ナルヲ以テ、斯クノ如キ事ハ許可セズ、若シ市ガ之ヲ爲サヾレバ、市區改正委員會ニ於テ原案ノ執

行ヲ爲スベキ意氣込ニテ、甚ダ當惑セル旨當局ノ說明アリ。又市參事會ノ同意ヲ得テ云々ト前報告ニ揭ゲタル一條件モ、當時ハ容易ニ市參事會ノ同意ヲ得ラルベキ傾向ナリシニ拘ハラズ、其後市參事會ハ、同意シ難シトノコトナリシヲ以テ、已ムヲ得ズ前議ヲ飜スニ至レリト辯明シ。**城數馬君**ハ、第一回報告ノ理由トナルベキ點ニ於テハ、徹頭徹尾之ニ贊成ス、然ルニ前議ヲ飜シ、第一回ノ報告ヲ取消シタル理由ニ至ツテハ甚ダ了解ニ苦ム所ナリトテ、第一、內務省ノ原案執行ハ、如何ナル法律ニ據ルモノナリヤ、第二、市參事會ノ同意ヲ得ルニアラサレバ、議案ニ修正ヲ加フルコト能ハザル規定アリヤ、又市參事會ノ同意如何ニ依ル慣例アリヤ、其ノ同意ナキ爲メ取消スト云フニ至ツテハ、市會ノ體面ニ關スルニアラズヤトノ質問ヲ爲シ。**坪谷君**ハ、內務省云々ハ浦田助役ヨリ說明スルヲ便ナリトス、次ニ市參事會ノ同意云々ハ、此市區改正事業調査費五千圓ノ內、參千圓ハ市參事會ノ同意ヲ要スルノ意味ナリシト答辯シ、**浦田助役**ハ、委員會ニ於ケル前後ノ事情ヨリ、內務省ノ市區改正委員會ニ交涉ノ顚末ヲ述ブベシト冒頭シ、左ノ如ク述ベタ。

曩ニ委員會ニ於テハ必要ナリトスルモ、年度餘リニ切迫セリト云フガ繰延ノ理由ナリキ。然ルニ三十五年四月一日ヨリ法律改正ノ結果、最低五拾萬圓、最高百萬圓ニ制限セラレタルヲ以テ、三十五年度市區改正事業ノ經常費豫算ハ四拾九萬七千餘圓ナリシモ、最低五拾萬圓ニ達セザルヲ以テ、此參拾七萬餘圓全部ノ繰延ヲ爲スハ違法ニアラザルカ、又事業ヲ議スルコトハ、參事會ニ於テモ、本會ニ於テモ其權限ナク、市區改正委員會ニ於テ之ヲ議決シ、其ノ議案ヲ市參事會ヨリ提出シテ、市會ノ決定ヲ求ムルニアルヲ以テ、四拾九萬餘圓ニ參千圓ナリ五千圓ナリヲ加ヘ、最低五拾萬圓ニ達セシメタリトスルモ、矢張市區改正委員會ノ決議ヲ以テ、本會ニ提出セザルベカラザレバ、取敢ヘズ調査費五千圓丈ヲ加フルニ決シタリト云ヘルガ報告ノ主旨ナリキ。然ルニ玆ニ於テ所謂發案權ニ關係ストノ議論出デタルヲ以テ、參事會ノ同意ヲ得バ圓滿ニ解決スベシトノコトニテ、參事會ニ對シテ協議アリタルニ、種々ナル意見突發シ、市會開會迄ニハ、委員ノ希望スルガ如キ參事會ノ同意ヲ得ルニ至ラザリシナリ、是レ質問第二項ノ點ナリトス。其後協議ヲ遂ゲ、來年度ニ事業ヲ繰延ブルハ市區改正條例ニモ背クノ嫌ヒアリ。殊ニ三十五年度ハ最高百萬圓ノ事業ヲ爲シ得ルモ、年度半ナルガ爲メ、費額ハ參拾七萬餘圓ニシテ、關係ノ電車鐵道、市街鐵道若クハ電氣鐵道等ヨリ納入スル金額拾萬圓程アリ、國稅、營業稅ヨリ徵收スルハ、貳拾萬圓位アルヲ以テ、如何ニ年度切迫ストモ、來年度ニ繰越サヾル樣セラレタシトノ市區改正委員會ヨリノ話モアリ、三十六年度ノ事業ハ、既ニ一兩日前市區改正委員會ニ於テ議定サレタルヲ以テ、來年度ニ繰延ブルコトヽセバ三十七年度ニ至ラザル限リ施行シ難ク、斯クテハ此線路ニ接續スル事業ノ順序ヲ飛バスコトヽナリ、線路擴築ニ不都合ヲ生ズベシトテ、年度ハ切迫シ居レドモ切ニ議決ヲ望ムトノ話モアリ、委員會ニ協議シタル結果、更ニ審議シタル次第ナリ。原案執行云々ハ、市町村ガ補助ヲ受クル事業ニ就テ、其事業ヲ議定セザル場合ハ、內務大臣ニ於テ其豫算ヲ直接執行スル規程アルガ如ク記憶ス、行掛リ上、事態斯ノ如キニ至ラバ、甚ダ宜シカラザルヲ以テ、强チ法律ヲ振廻スト云フ譯ニハアラザルモ、此際是非原案ノ決定ヲ望ムト云フガ市區改正委員會ノ希望ナリ。

右ノ說明ニ對シ、**城君**ハ、政府ヨリ補助ヲ受クル事業ヲ、市ニ於テ執行セザレバ、政府ガ之ヲ直營スルトハ、何レノ法律規則ニアリヤト問ヒ。**浦田助役**、判然條文ヲ言明シ難キモ、市ガ豫算ヲ議定セザル場合、內務大臣ハ直チニ之ヲ執行スルト云フガ如キコトヲ書セルヤニ記憶ス、即チ直營ノ意味ト記憶スル旨ヲ答ヘ。**城君**ハ、貳拾萬圓前後ノ工事ヲ年度內ニ完成スル能力ナキ理事者ガ、百萬、百五拾萬ノ事業ヲ、來年度內ニ竣工セシムル見込アリヤ否ヤ。理事者ハ來年度ナラズトモ、再來年度即チ三十七年度內ニ必ズ竣功セシムベシトノ責任アル答辯ヲナシ得ルヤ如何ト追窮シ、

浦田助役ハ、事業三倍以上ナレバ、三十六年度ヨリハ、工事ニ隷屬スル者モ、三倍ノ定員ヲ請求シタキ豫定ナリト答ヘ、斯テ本案ハ、委員會ノ報告ノ通可定セリ。

▽三十間堀埋立及新鑿問題　市區改正三十六年度豫算ノ調査委員報告ニ基キ、三月二十七日ノ會議ニ於テ、三十間堀川埋立及新鑿ニ關スル費用ヲ削減シタルニ對シ、內務大臣ヨリ左ノ命令アリタリ。

東丁第二四號

東京市區改正明治三十六年度歲入出豫算中、東京市區改正委員會ニ於テ議定セシ三十間堀川新鑿及埋築ノ事業ニ關スル經費ヲ加ヘ、歲入出豫算ヲ本月十一日迄ニ變更スヘシ

右明治三十年法律第三十七號第一條第一項ニ依リ之ヲ命ス

明治三十六年四月六日

內務大臣男爵　內海忠勝

東京市

右內務大臣ノ命令ニ接シ、市參事會ハ四月八日第四十八號案ヲ以テ、既定歲入出豫算高九拾七萬參千六百參拾五圓五拾參錢貳厘ヲ、三十間堀川新鑿及埋築ニ關スル費用ヲ加ヘ、百拾參萬四千七百拾九圓參錢貳厘トスル更正豫算案ヲ四月十日ノ會議ニ提出シタリ。**劈頭肥塚龍君**ハ、余ハ第十四號議案（市區改正三十六年度豫算）ノ委員タリシガ、幸ヒ委員ノ意見通リ、唯芝公園地ノ些細ナル分丈ケヲ除キ、本會ニ於テ可決ヲ見タルハ、實ニ道理アル議決ナリキ。然ルニ今內務大臣即チ監督官廳ノ命令ヲ以テ、更正豫算ヲ議スベシト云フコトナルガ、前會既ニ我々ガ可ナリト認メタル意見ハ、本會ノ同意ヲ得テ決議ヲ爲セルナリ。其理由ノ大要ハ、第一、課稅ノ激變、第二、市區改正ノ事務ノ擧ラザルコト、第三、法律ノ見解ノ相違ナリトテ順次其理由ヲ詳述シタル後、十四號議案ガ芝公園ヲ除キテ、委員會ノ意見通リ決議サレタル以上ハ、當市會ノ決議ト心得ザルベカラズ。然ルニ今突然內務大臣ヨリ此命令ヲ發セラレタリ。此ノ議案ナルモノハ、若シ之ニ同意ヲ爲サバ御無理御尤、內務大臣ノ命令ナルガ故ニ、其前ニ匍匐スルコトヽナルナリ。監督官廳ト被監督者ノ間ノ關係ナレバ、監督官廳ガ監督官廳トシテ權力ヲ持ツ以上、其權力ヲ振ハルヽニ就テハ、異議ノ申シ樣ナキ事ナルモ、我々ガ前會ニ於ケル考ハ、內務大臣ノ命令ナリト雖モ、之ヲ變ズル能ハズ、我々ハ御無理御尤ト內務大臣ノ命令ニ膝腰ヲ屈スルコト能ハザルガ故ニ、矢張我々ハ前會ノ意見通リ、今日提出サレタル四十八號議案ハ、謹デ監督官廳ニ返上スルヨリ外ナシトノ意見ヲ述ベ。**關幸太郎君**ハ、源森川ニ關スル費用約參萬圓ヲ削除セル先例ヲ擧ゲテ、內務省ノ命令ニ對シ、參事會ガ何等ノ抗辯モセズ、又何等ノ變更ヲモ加ヘズ、本案ヲ提出セル理由如何ト質問シ。**松田市長**ハ、本會ガ議定セル儘ニテ認可ヲ申請シタリ而シテ今回ノ命令ハ市區改正條例ニ非ズシテ、明治三十年法律第三十七號第一條第一項ニ依テ之ヲ命ズトアリ。左レバ參事會ハ、行政廳トシテノ東京市ニ命ゼラレタル事柄ハ、其儘市會ニ提出スベキモノト認メ、敢テ本案ヲ提出セリト辯明スレバ。**關君**ハ、本問題ハ法律ノ解釋如何ニ依ツテ決セラルベキモノナリ、市區改正委員會ハ、法律ノ命ズル所ニ依ツテ事件ヲ審議決定スルノ權能アリ、然レドモ當市會ハ別ニ豫算議定ノ職權ヲ有ス、故ニ彼ノ有スル職權ハ、當市會ニ於テモ亦之ヲ有ス、當市會ノ權限ヲ無視シテ市區改正委員會ニノミカヽル職權ヲ付與スル筈ナク、又法律ノ明文ニモ之レアルヲ知ラズ、然ラバ當市會ハ、市會ノ有スル職權ニ依ツテ、本年度ニ於テハ斯カル事件ニ要スル費用ノ支出ヲ爲スコト能ハズト、斯ク決議スルモ何等差支ヘナカルベシ。而シテ右ハ當市會ガ法律ニ依ツテ有スル所ノ職權ヲ執行スルモノナレバ、內務大臣ハ市會ノ職權ヲ無視シ、飽迄モ市區改正委員會ノ議決ニ服從セザルベカラズト命令スル權力ヲ有スルモノニアラズ、先ニ肥塚

君所說ノ如ク、十四號議案ニ對シ、當市會ハ原案ニ贊成スルカ、又ハ委員會ノ報告ニ贊成スルカニ就キ、意見ヲ闘ハシ十分研究セル際ニハ反對サルヽモ差支キガ既ニ本市會ニ於テ決議シタル以上ハ、此決議シタル所ノ權利ガ執行セラルヽカ、又ハ他ノ官廳ノ命令ニ從ヒ、市會ノ決議ヲ執行シ得ズシテ、潰滅ニ歸スルカノ分レ目ナルヲ以テ、最モ愼重ニ考慮セザルベカラズ、故ニ曩キニ此委員報告ニ反對シタル諸君ト雖モ、當市會ノ職權ヲ擁護センガ爲ニハ、今日別ニ反對ノ意見ヲ有セザル限リ、肥塚君等ノ意見ニ贊成アランコトヲ希望スト陳ベ。**鹽島仁吉君**ハ、本問題ハ速ニ復舊シテ、市區改正ノ財源ヲ國稅營業稅附加稅ニ取ルヤ、或ハ其他ニ之ヲ求ムルヤヲ議スルガ今日ノ急務ナルベシ。要スルニ前會ニ於ケル當市會ノ決議ハ誤レルモノナリシガ故ニ、今日斯ノ如キ命令ニ接シタルナリ。然ルニ尙其誤レル決議ヲ固執セントスルハ、表面頗ル嘉スベキニ似タレド、既ニ其誤リヲ發見シタル以上ハ、速カニ之ヲ改メテ復活スベキナリ。餘リニ內務省ト衝突スレバ、東京市ガ將來各種ノ事業ヲ遂行スル上ニ、惡影響ヲ被ルノ虞アルヲ以テ、確タル道理モナク、意地張リヅクニテ我ヲ張ランカ、結局ハ內務大臣ノ手ニ事業ヲ執行セラレ、東京市ハ唯々トシテ其費用ヲ負擔セザルベカラザル破目ニ遭遇スベク、斯テハ如何ニモ心許ナキガ故ニ三十間堀問題ハ、切ニ復活ヲ希望スト述ベ。**城君**ハ、廢案說ニ同意ヲ表スルモノナリトテ、曩ニ十四號議案審議ニ際シテ議論アリシ重ナル點ハ、每年度市區改正事業ハ、市區改正委員會ニ於テ議決スルモノナレバ、其費用ノ支出ヲ議決スルヲ名トシテ、費用ノ全部ヲ否決スル權能ハ市會ニ之レ無キナリ。然ルニ敢テ之ヲ强行シ、濫リニ費用ヲ否決スル結果ハ、遂ニ事業其物ヲ廢スルニ至ルベシ。故ニ一年延期ノ名ニ於テ否決スル事ハ、市區改正委員會ガ條例ニ依ツテ有スルトコロノ職權內ニ立入ルコトヽナリ、不法ノ誘ヲ免レズトノ議論ナリキ。故ニ本員等ハ、飽迄反對ノ意見ヲ述ベ、十四號議案ハ遂ニ承知ノ如キ決議トナリシナリ。若シ十四號議案議決ノ際、本會ガ執リタル意見、即チ市區改正委員會ニ於テ議決シタル事業ト雖モ、經濟

上ノ都合ニ依リ、其費用ノ支出ハ其年度ニ限リ拒ムコトヲ得ト云フ意見ガ、若モ或論者ノ說ノ如ク市區改正條例ニ戻ルモノナリトセバ、內務大臣ハ直ニ市制ノ明文ニ依リ、法律ニ違背シタル廉ヲ以テ再議ニ附セザルベカラズ。然ルニ又ニ依リ、法律ニ違背シタル廉ヲ以テ再議ニ附セザルベカラズ。然ルニ依ツテ見レバ、本員等ガ十四號議案ニ付テ述ベタル意見、即チ本會ガ曩ニ認メタル、市會ノ市區改正事業ニ關スル權限ナルモノヽ見解ハ、內務大臣モ之ヲ認メタルモノナルヲ知ルベキナリ。內務大臣ハ、市區改正條例ヲ根據トシテ再議ヲ命ズルコトナク、此點ハ市會ノ意見ヲ容レ、而シテ突飛ニモ、明治三十年法律第三十七號ナルモノニ依ツテ、命令ヲ發セルナリ、然ラバ十四號議案ニ揭ゲタル事柄ノ利害得失、或ハ市區改正委員會ノ權限如何トノ議論ハ、今日ニ於テハ最早之レナキ筈ナリ。今日四十八號議案ニ對シテハ、內務大臣ノ命令、即チ三十年三十七號ノ法律ニ依ル命令ガ至當ナルヤ否ヤノ一點ニアリ、換言スレバ、該法律ガ市區改正事業ニ關係アリヤ否ヤ、若シ關係ナシトセバ、關係ナキ法律ヲ振廻ハシテ、我々ガ市制及市區改正條例ニ依リ保有スル所ノ權限ヲ內務大臣ガ不法ニ之ヲ蹂躙セントスルモノナリトテ、鹽島君ノ所說ヲ駁スルト共ニ、明治三十年法律第三十七號制定當時、帝國議會ニ於ケル政府委員ノ說明ガ、市區改正事業ニ關係ナカリシコトヲ擧ゲ、今日ニ至リテハ最早十四號議案當時ノ如キ、事業ノ執行延期ヲ論ズル場合ニアラズ、將タ又財源ノ善惡ヲ論議スベキ秋ニモアラザルナリ。次ニ鹽島君ハ事業ノ方ハ、內務省ノ仰セニ從ヒ、歲入ハ借入金ヲ以テスルト云フガ如キ妙ナ折衷案ヲ提出サレタルモ、右ハ十四號案審議當時ニ提出スベキ議論ニテ、今日提出サルベキ議論ニアラズ。今ヤ三十七號抔ト、飛ンデモナキ法律ヲ振廻サレ、東京市ガ脅サレテ、依テ以テ本市ガ腰ヲ拔カスカ否カノ問題ナレバ、不當ナル命令ヨリ出デタル本案ノ如キハ、此儘內務省ヘ返上スルヨリ外ナシト論ジ。**下村四郎君**ハ、鹽島君ハ、前會ニ於ケル當市會ノ議決ハ誤レリト云フモ、其理由ヲ示サヾルガ如シ、余ハ飽迄モ當市會ニ於ケル前會ノ決議ヲ尊重センコトヲ望ムト述ベタルニ

對シ。**宮川鐵次郎君**ハ、余ハ市區改正委員ノ一人ナリトテ、左ノ如ク述ブルトコロアリ。

事業ハ東京市區改正委員會ガ議定シ、內務省ガ認可ヲ與ヘ、然ル後之ヲ執行スルコトハ、明カニ法律ノ規定スル所ニシテ、東京市ノ面目、市會ノ權限、乃至前決議ノ尊重ナドト云フモ、法律ニ抵觸スルコトハ斷乎トシテ避ケザルベカラズ。法律論トシテハ、既ニ市區改正委員會ニ於テ議決シタル案件ヲ、全然之ヲ抹殺スルハ誤ナリ。殊ニ東京市會ヨリ十人ノ委員ヲ出セリ。即チ市區改正委員會ニ於テハ、市會ヲ代表シテ決議ニ加ハリ居レルガ故ニ、我々ノ爲シタル決議其ノモノガ惡シトテ、不信任ノ意味ヲ以テ、反對ノ決議ヲ爲スナラバ格別、苟モ市會ノ代表者トシテ執リタル事柄ニ對シ、市會ガ之ヲ排斥セラルヽハ委員トシテ心外ニ堪ヘズ、是レ一個ノ私情ナレドモ、尙進デ之ヲ言ヘバ、市民ノ負擔力ト、市區改正事業トノ關係ナルガ、僅々六萬圓ヲ削減シ、斯テ東京市民ノ負擔力ニ相當セルカノ如キ反對論ノ云爲サルヽハ自家撞着ノ議論ナリ。經濟上ノ問題トシテ、又法律上ノ問題トシテ之ヲ論ズレバ、法律上ノ事、最モ重大ナリト云ハザルベカラズ。自治制ノ上ニ於テ、市會ニ與ヘラレタル權限ハ定マリ居レリ。然ルニ與ヘラレザル權限ニ迄立チ入リ、好ンデ監督官廳ト衝突シテ何ノ得ルトコロアリヤ、斯ノ如キハ徒ラニ事ヲ好ンデ、市民ニ害ヲ及ボスモノナリト極論スルモ過言ニアラズ。兎モ角此市區改正事業ニ對シテハ、帝都ノ體面ヲ保ツ爲メ又極メテ必要ナル事業ニシテ、又國家ガ經費ノ半分ヲ手傳ヒツヽアル事ナレバ、市民ハ多少ノ不便ヲ忍ビ、內務省ニ讓歩シテコソ法規ヲ遵守スル立憲國民タル所以ナルベシ。

次イデ、**田口卯吉君**ハ、前會ノ市會ノ決議ニ關シテ兩說アリ、然レドモ市會ノ解釋ガ是カ、內務省ノ解釋ガ非カ、夫レ等ノ問題ニ就テハ此場合市會ニ於テ十分ナル解釋ヲ付セズ、實際目前ノ必要ニ應ズル丈ノ措置ヲナスコソ肝要ナレ、而シテ其主意ヲ布衍スレバ、兎ニ角市區改正ノ速成ヲ期スルコトニ於テハ市會議員諸君一致ノ希望ナルベシ。開ク所ニ依レバ、五拾萬圓ノ限定ヲ百萬圓ト爲シタルハ、即チ當市會議員ノ希望ナリシニ非ラズヤ。斯ク金額ヲ增加シテ迄速成セシメントノ希望ヲ抱キ、以テ市區改正條例ノ改正ヲ見ルニ至リタル今日、成ルベク速カニ其事業ヲ完結スル方針ヲ執リテコソ希望ニ副フ所以ナラズヤ。唯心痛ニ堪ヘザルハ租稅ノ一點ニシテ、五拾萬圓ヲ百萬圓トシ、其百萬圓ノ總テヲ租稅ニ依ラントス、殊ニ國稅營業ニ之ヲ求メントスル結果、租稅ヲ支辨スルモノニ取リテハ大ナル苦痛ナルベシ。余ハ寧ロ他ニ適當ナル財源ヲ撚出スルヲ至當ナリト信ズルモノナレドモ、即座ニ修正說ヲ出ス能ハザルヲ遺憾トス。然レドモ水道部ニハ巨額ナル積立金ヲ有スルガ故ニ、補助金貳拾五萬圓ノ一部ハ、市區改正ノ方ニ充當シテ可ナルベシト、尙三十間堀ニ費ス金額ハ、宮川君ノ說ニ依レバ、五萬圓ニ過ギザルガ如キモ、總計スレバ拾五萬參千九百何圓トナル、故ニ右ニ對シテハ凡ソ拾六萬圓モ借入金ヲ爲サヾル足ルガ故ニ、此場合、法律ノ解釋論ノ爲メニ、當局者ト爭ハントスルハ市會ノ爲メニ取ラザル所ナリ。故ニ法律ノ解釋ハ暫ク不問ニ付シ、課稅ノ點ハ前市會決議通リトシテ、事業ハ借入金ヲ以テ執行スルコトヽセバ、紛紜モ自然結了スベク當市會ノ體面モ之ヲ保持スルコトヲ得ルノミナラズ、市民ノ休戚ヲ重ゼラル、諸君ノ主意ヲモ貫徹セシムルコトヲ得ベキナリト述ベ。**肥塚君**ハ、宮川、田口兩君ノ說ヲ駁シタル後、前會決議通リノ決議ヲ爲シ、該四十八號案ハ、內務省ニ返上スベシト主張シ。**大柴四郎君**ハ、城君ガ法律第三十七號ヲ振廻ハスハ御門違ヒナリ、市會ハ豫算ノ決議權ヲ有スルガ故ニ、事業ハ之ヲ伸縮スルモ差支ナシト云フモ、普通ノ市經濟豫算トハ異リ、特別法ヲ以テ特別ノ機關ヲ設ケタルガ、即チ市區改正委員會ナリトス、各年度ニ施行スベキ事業ヲ決定スルハ、市區改正委員會ナルガ、市會ガ其ノ豫算ヲ議決スル權ヲ振廻ハシテ、事業ヲ延期又ハ削減セントスルハ不可ナリ。斯ク明白ナル事柄ニ對シ如何ニ一旦決議シタレバトテ、飽迄之ヲ貫徹セントスル

ハ餘リニ頑固ニ失セズヤ。成程決議ヲ飜スハ市會ノ恥辱ニハ相違ナキモ、非ヲ改ムルニ吝ナルコト勿レ、一旦決議シタリト云フノ故ヲ以テ其非ヲ遂ゲントスルハ穩カナラズ、費用ノ出所ニ就テハ田口君ヨリ折衷說出デタルガ、經濟問題ハ如何樣ニテモ問フ所ニアラズ、唯事業丈ハ是非トモ進行セシメザルベカラズトテ、原案賛成意見ヲ述ベタル後、銀林綱男君ノ利害得失ハ第二トシテ、監督官廳ヨリ命令アリタル以上、是レニ服從スベキモノナリトノ意見ヲ參考ニ供シ、城君ノ田口君ニ對スル所說ヲ反駁シタリ。更ニ**松永光吉君**ハ、元來此ノ事件ハ、內務省ガ氣ニ喰ハヌト云フ所ヨリ出デタル議論ニシテ、前會一旦決定シタル以上再ビ之ヲ繰返スベキニアラズトシテ、反對者ノ口ヲ箝セントスルガ如クニ見ユレドモ、既ニ議題ニ供セラレタル以上當然之ヲ議スベク、前回ノ決議ニ服從セザルベカラズト云フハ理由ナシトテ、蔗穀ノ下ニ在ル市民ガ、僅々拾六萬圓ノ負擔ニ堪ヘズトテ、內務省ト爭ハントスルハ寧ロ滑稽ナラズヤトテ、鹽島、宮川兩君ノ說ニ賛成シ。**野々山君**ノ質問ニ對シテ、肥塚君之ニ答ヘ。**田口君**ハ、城君ノ法律問題ニ對スル攻撃ヲ反駁シ。**關君**ハ復ビ起ッテ、當市會ハ內務大臣ノ奴隷ニアラズ、內務大臣ノ命令ハ如何ナルモノニテモ從ハザルベカラズト云フコトナシ。若シ內務大臣ガ不法ノ命令ヲ下シ、強ヒテ服從セシメントスレバ、當市會ノ決議ガ正シキカ、內務大臣ノ命令正シキカ、是非曲直ヲ訴訟シテ判斷ヲ求ムルコトヲ得ベシ、內務大臣ノ命令ナレバ、一モ二モナク服從セザルベカラズトノ卑屈ナル考ヲ持スルノ要ナシ。當市會ガ十四號議案ニ削減ヲ加ヘタルハ、法律ニ背カズト信ズル以上、本案ノ命令書ヲ內務省ニ返付スルハ當然ナリト叫ビ。**有島武君**ハ、內務大臣ノ命令ニ關シテ種々ノ見解アリテ、此法律第三十七號ニ從ハザレバ、國法ニ背クカノ如ク論斷スルモノアルモ、右ハ見解ヲ誤ルノ甚ダシキモノナリ。此法律ニハ「之ガ變更ヲ命ス若シ命ニ從ハサルトキハ直ニ之ヲ變更スルコトヲ得」トアリ、即チ法律ハ從フモ宜シ、從ハザルモ宜シト命ジ居レルニ過ギザルナリ。從ハザルベカラズトハ命ジ居ラザルナリ。次ニ「前項ノ事業ノ全部若ハ一部ヲ直接ニ施行スルコトヲ得」ト、斯ル權力ヲ有スルモノニシテ、內務大臣ハ夫レヲ執行スルヤ否ヤ、又變更ヲ命ズルモ從ハザルトキハ、直接之ガ變更ヲ爲ス事モ、其ハ內務大臣ノ自由ナレバ、本會ハ前決議ヲ重ンジ變更ノ命ニ從ハザルモ可ナリ。即チ從フカ從ハザルカノ議論ナルヲ以テ、前回ノ決議ヲ重ズルナラバ、則チ之ヲ返上シテ、決シテ不都合ニハアラザルナリトノ注意的意見ヲ述ベ。議長ハ採決ヲ宣シ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ起立ニ問ヒタルニ、少數ニテ廢案ニ決定シタリ。

▽豫算更正認可ニ對スル決議　五月六日ノ會議ニ於テ、議長仁杉英君ハ、市參事會ヨリノ左ノ報告ヲ書記ヲシテ朗讀セシメタリ。

報告

東京市區改正明治三十六年度歲入出豫算ヲ東京市區改正條例第九條ニ依リ其筋ヘ認可申請シタル處今般別紙墨書ノ通リ更正認可セラレ候條、此段及報告候也。

明治三十六年四月二十一日

（別紙）

東京市區改正明治三十六年度歲入出豫算ノ件

右明治三十年法律第三十七號第二條ニ依リ、別紙墨書ノ通更正シ、東京市區改正條例第九號第一項ニ依リ之ヲ認可ス。

明治三十六年四月十八日

內務大臣男爵　內　海　忠　勝

大藏大臣男爵　曾　禰　荒　助

劈頭議長**仁杉英君**ハ、玆ニ別紙ト稱スルハ、先般ノ第四十八號議案即チ更正豫算額ト同樣ナル旨ヲ告グルヤ。**渡瀨實次郎君**ハ、內務省ノ墨書ヲ以テ命令シ來レル事柄（註、三十間堀埋立及新橋問題）ニ就テ、理事者ハ命令通リ執行スル考ヘナリヤト質問シ。**松田市長**ハ、質問ノ事柄ハ關シテハ、參事會ニ於テモ篤ト詮議ヲ爲シツヽアリ。結局市區改正ニ關シ、市區改正條例ヲ適用セズ、又市制ヲ適用セズ、而シテ彼ノ三十年法律第三十七號ナルモノヲ適用セラレタルコトニ於テハ、甚ダ穩當ヲ缺クガ如キ感アリ。然シナガラ法律ノ上ヨリ違法ノ處置トハ認メ難シ。果シテ違法ニアラザル上ハ、參事會ハ行政機關トシテ之ヲ執行スル外ナシト決定シタリト答辯スルヤ。**渡瀨君**ハ左ノ如ク論ジタリ。

內務大臣ガ墨書ノ指令ヲ發シタルハ、巧妙ナル遣リ方ナルガ、併シ本會ノ立場ヲ考フレバ、既ニ二回迄モ、本會ノ意見ヲ明カニシテ否決シタルモノニ對シ、內務大臣モ其不穩當ナリト認ムル法律第三十七號ヲ適用シテ、不法ノ命令ヲ强フルニ至ツテハ、將來本會ノ議決權ヲ確保スル上ニ於テ不問ニ附スル能ハザルナリ、海外大都市ニ於ケル市會ノ議決ガ重要視セラルヽニ鑑ミ、東京市ノ如キモ、倫敦、巴里、紐育等ノ市會ノ如ク、一旦決議スレバ動カスコト能ハザルガ如ク發達セシメシコトヲ希望スルノ餘リ、本員ハ內務大臣ニ向ツテハ、三十間堀埋立延期ヲ建議ノ意見書ヲ提出、我々ノ信任スル市ノ當局者ニ向ツテハ、本會ノ意思何レニアリヤヲ述ベテ、事業ニ着手セザランコトヲ希望シ、且ツ建議セント欲スルモノナリ。斯カル場合ニ於テ法律第三十七號ノ三條ニ依リ、內務大臣ガ事業ノ施行ヲ地方長官ニ命ズルナラバ、我々ハ唯單ニ地方長官ガ、如何ナル手腕ヲ以テ事業ヲ遂行スルカヲ傍觀セバ可ナリト。

次イデ、**關幸太郎君**ハ理事者ニ問ウテ曰ク、第一、市參事會ハ、市會ノ決議ト監督官廳ノ意見トガ相違シ、衝突シ居ルヲ認メナガラ、事業ノ執行ニ着手セントスト云ヘリ、如何ナル方法ニ據テ遂行セントスルヤ。要スルニ何故ニ市制第六十四條第一項ニ據リ、市參事會ハ府參事會ニ向テ裁決ヲ求ムルノ行動ニ出デザルヤ、第二、豫算ノ變更ヲ命ズル職權ガ、內務大臣、大藏大臣ニアルニモセヨ、事業其物ハ市ガ反對ノ意見ヲ有スル以上、市ハ事業ヲ施行スル筈ナキナリ。然ルニ市長ノ答辯ハ、市制ニ準據セズ特別法三十七號ノ法律ニ據テ命ジ來リタルヲ以テ、已ムヲ得ズ之レニ從フト云フニ至リテハ甚ダ感服スル能ハザルナリ。故ニ市ガ事業ヲ行ハントスルモノナリヤ、即チ參事會ハ、監督官廳ノ命ズル所ニ從ヒ、市會ノ決議ニ背イテ迄モ事業ヲ遂行セントスルモノナリヤト質シ。**杉原榮三郎君**ハ、市區改正事業費ヲ五拾萬圓以上、百萬圓ノ範圍ニ限定セル所以ハ、恐ラクハ土地ノ狀況、經濟ノ事情ヲ斟酌シテ着手スベシトノ趣旨ナルベシ。今ヤ比年不景氣ヲ極メツヽアル今日、重稅ヲ課セントスルハ、果シテ經濟事情ニ適スルヤ否ヤヲ疑フモノナリ。然ルニ市民ヲ代表スル市會ガ二回迄決議シタル案件ニ對シ、內務省ガ飽迄之ヲ强制セントスルハ、市民ノ意思ヲ毫モ顧ザルモノニアラズシテ何ゾヤ。市參事會ハ、市會ノ決議ニ據ツテ行動スベキモノナレバ、內務省ヨリ行政命令ニ接シタル場合、躊躇スル所ナク、直ニ該命令ヲ返戻スベキナリト述ベテ、廣瀨君ノ建議ニ贊成シ。**松田市長**ハ、關君ノ質問ニ關シ六十四條云々ハ、參事會ニ於テハ評議セザリキ、市會ノ市區改正經常費ニ對スル決議ハ、其儘內務省ニ對シテ許可ヲ申請セリ。次ニ三十年法律第三十七條云々ハ、要スルニ參事會ハ、內務大臣ニ於テ該法律ヲ適用サレタルハ違法ナリト認メズ、故ニ一般行政ノ手續トシテ之ヲ取扱ヘルナリト答辯シ。**西澤善七君**ハ、市長內務、大藏對シ兩省ニ對シテ、延期ニ關スル妥協サレンコトヲ望ムト述ブレバ。**豐島仁吉君**ハ、既ニ公布シタル今日ニ於テ、妥協セントスルハ公布ヲ取消スコトヽナルガ故ニ不可能ナルベシト云ヒ。**西澤君**ハ、如何ニ公布後ト云フト雖モ、之ヲ認可セザレバ、本年度ノ市區改正事業ノ全部ニ對シテ、壹厘ノ支出ヲモナス能ハザルガ故ニ、據ナク公布シタルニ過ギズト答フレバ、**豐島君**ハ、然ラバ參事會ガ、責任ヲ以テ公布シタルモノヲ、此建議ガ成立スレバ則チ否認スル結果トナ

ルヲ以テ、市長始メ僻職ノ決心アラバ之ニ贊成スベシト述ブルトコロアリ。

次ニ**關君**ハ番外ノ答辯要領ヲ得ズトテ、第一ハ再選ニ附シタル場合、市參事會ハ何故六十四條第一項ノ手續ヲ履マザリシヤ、第二ハ三十七號第一條ノ二項ハ、主務大臣直接施行スル場合、第三條ニ此ノ法律ニ於テ、主務大臣自カラ施行スルニアリ、乃チ此ノ法律ニ依テ、地方長官ニ代理ヲ命ズルコトヲ得ルナリ。併シナガラ市參事會ヲシテ、强ヒテ施行セシムルコトハ到底爲シ得ザル所ナリ。然ルニ不法ニアラズト認メテ、監督官廳ノ命令ニ從ヘルハ、此法律ヲ誤解セルニアラズヤト、再ビ質問ヲ繰返セバ。**松田市長**ハ、議案第四十八號ヲ提出セルハ、市制第六十四條ニ據ッテ再議ニ附シタルニアラズ。三十年法律第三十七號ニ據ッテ、內務省ヨリ命ゼラレタルガ故ニ提出セルナリ。又第三十七號第一條ニ依ル直接施行ノ說アリシモ、參事會ハ、內務大臣ノ手ヲ以テ强制セラルヽコトヲ望マズ、內務大臣ノ命令ハ、三十七號ノ第二條ニ據ッテ墨書ノ通リ更正ヲナシ、市區改正條例第九條ニ據ッテ許可スト云フニアレバ、明治三十六年度ノ東京市區改正經常費ハ、東京市區改正條例第八條第一項ニ據ッテ認可サレタルモノヽ、中ニハ、三十年法律第三十七號ノ第一條ニ據ッテ、市會ノ決議ト同等ノ効力ヲ有スル墨書モアリ、之ヲ併セテ認可サレタルモノナレバ、其認可ニ據ッテ參事會ガ執行スルモノニシテ、其執行ハ違法ト認メザルナリト辯明シ。**關君**ハ更ニ、第一ハ、市參事會自ラノ意見ヲ以テ再議ヲ命ジタルニアラザルハ明カナリ、只再議ヲ爲シタル場合、監督官廳ノ意見ト、市會ノ意見トガ衝突セバ、如何ニセントスルカヲ質シタルナリ、第二、市參事會ハ監督官廳ノ手ニテ執行セラルヽ、如キコトハ好マザルヲ以テ、監督官廳ノ命ニ從ヒ、市自ラ執行スルトノ答辯ナリシガ、然ラバ參事會ハ、內務大臣ノ命令ガ法ニ背カザルノ故ヲ以テ之ニ從フトセバ、當市會ノ決議ニ背キ、市會ノ意向ニ反シテモ、內務大臣ノ命令ニ從フモノナリヤ、內務大臣ノ命ヲ重シトスルカ、當市會ノ決議ヲ重シトスルカ、二者其ノ何レナリヤト詰問シ。**松田市長**ハ、市會ノ決議ヲ無視シテ願ミザルニアラズ、又直ニ更正豫算ヲ執行スルモノニアラズ、唯內務省ガ該法律ニ依テ處置セントスルニ對シ、參事會ガ其儘打捨テヽ遵守セザルコトハ、參事會ノ執ルベキ態度ニアラザルヲ以テ、該命令ニ依テ執行スルコトニ決定セルナリ。意見ノ相違ニ對シテハ、議論ヲスルヲ好マズト辯疏シタリ。

然ルニ**肥塚君**ハ、參事會ノ態度ハ、市會ノ決議ノ如キハ眼中ニ之レ無シト見做サヾルベカラザルヲ以テ、折角關君ノ質問ナレドモ、二者其一ヲ選ベト云フハ無用ナリ。法律第三十七號ニハ、地方長官若クハ主務大臣ガ、直接執行ストアレドモ、市參事會ヲシテ執行セシムルトハ之レナキニ拘ラズ、市參事會ハ內務大臣ノ命令トアレバ引受ケザルベカラズトノ考ヲ有スルモノナリヤ如何ト質問シ、**松田市長**ノ之ニ對スル答辯アリ、**中島行孝君**ハ、死兒ノ齡ヲ數フルニ似タリトテ建議ニ贊成シ。**銀林綱男君**ハ、余ガ參事會員トシテ、自ラ解釋スル所ニ依レバ、其ノ事業ヲ施行スル團體ニ命ズルガ本則ニシテ、內務大臣自ラ之ヲ施行シ、或ハ府縣知事ニ命ズルハ、必要アル場合ニ限ルモノナレバ、誤解ナカランコトヲ望ムト述ベ。**渡瀨君**ハ、建議ノ主意徹底セザルモノアリトテ、特ニ參事會ニ對シ、該事業ニ着手セザランコトヲ建議シ、又內務大臣ニ對シテハ、延期ヲ建議スル爲メ、起草委員五名ヲ擧ゲンコトヲ發議シ。**肥塚君**ハ、銀林君ノ法律第三十七號第一條ニ對スル解釋ハ誤レリトテ、豫算更正ノ命令ト、事業ノ執行トヲ混同シテ。議論スルニハ當ラズト駁シ、又理事者ニ對シテハ、市區改正條例第十四條ニ依テ、內務、大藏兩大臣ノ命令ニ從フヨリ外ナシ、御無理御尤ナリトシテ執行セントスル市參事會ハ、如何ニモ意氣地ナキモノナリトテ、渡瀨君ノ建議ノ趣旨ヲ確メタル後、更ニ內務、大藏兩大臣ニ對スル建議ハ無益ナリ。又市參事會ニ對シテ建議スルコトモ之ヲ好マズ、市會ニハ堂々タル六十人ノ議員アルニアラズヤ。然ルニ何故此議場限リノ決議ヲ爲サントハセザルカトテ、箇々ノ建議ハ之ヲ

避ケ、命令ニ服セズトノ決議ニ賛成サレタシト望ミタルニ。渡瀬君ハ、余ハ當局者ガ絶對ニ此事業ニ從事セザランコトヲ望ムガ目的ナレバ、讓歩スルモ差支ナシト答ヘ、大多數ヲ以テ肥塚君ノ意見ヲ可決シタリ。茲ニ於テ議長仁杉英君ハ、五月七日附ヲ以テ、市參事會市長ニ對シ、左ノ如ク報告シタリ。

明治三十六年度市區改正歳入出豫算ニ關シ、本會ニ於テ左記ノ如ク決議候條、此段及報告候也。

左記

本年度市區改正歳入出總計豫算中、前ニ本會ニ於テ否決シタル項目ハ、市參事會ニ於テ之ヲ實地施行スヘキモノニ非ス。

第貳拾六節　市會議員異動

明治三十五年六月ノ半數改選以外、同年中ニ於ケル市會議員ノ異動左ノ如シ。

選舉區	氏名	年月日	摘要
本所區	山本新平	明治三十五年一月二十二日	死亡
四谷區	今泉勝平	明治三十五年三月十二日	死亡
本所區	子爵内藤政共	明治三十五年六月五日	補缺
麹町區	男爵金子堅太郎	明治三十五年九月十九日	辭職
小石川區	石井義正	明治三十五年十月十日	失格（小石川區長就任）
本所區	子爵内藤政共	明治三十五年十一月二十二日	死亡
麹町區	高山權次郎	明治三十五年十一月二十四日	辭職

第六章　明治三十六年

第壹節　議長及議長代理者選擧

▽議長及議長代理者選擧　一月十九日ノ會議ニ於テ、議長及議長代理者ノ選擧ヲ行ヒタルニ、左ノ如ク重任セリ。

議　長　二十八票　仁杉英
議長代理者　二十八票　中鉢美明

▽議長補缺選擧　然ルニ議長仁杉英君ハ、十一月十二日附左ノ辭表ヲ提出セリ。

自分儀

辭任届

事故有之議長辭任致候間此段御届申候也

明治三十六年十一月十二日

仁杉英

東京市會御中

是ヨリ先、議長代理者中鉢美明君ハ、助役ニ就任シ、八月七日議長代理者ヲ辭任シタル爲メ、議長及議長代理者共ニ缺員トナレリ。仍テ十一月十二日ノ會議ニ於テ、年長議員**多羅尾光廣君**假議長ニ推サレ着席スルヤ。**江間俊一君**ヨリ、既ニ市會議長タル仁杉君辭職シタル以上ハ、直ニ議長選擧ヲ行フベシト發議シ。**仁杉英君**ハ、餘リニ突然ノ如クナルモ、實ハ滿一箇年ヲ目途トシテ榮職ヲ瀆セルモノニシテ、開會ナカリシ爲メ今日ニ至レルナリト釋明シタルニ、右ニ對シテ左ノ如ク希望竝ニ意見ノ提出アリタリ。

江崎禮二君　本員ハ仁杉君ニ留任サレンコトヲ希望ス。

佐治實然君　東京市會ニハ、從來市會倶樂部、公民派、中立派ノ三派アリテ、議事ノ進行上、及ビ市ノ公益上面白カラザル結果ヲ招來シツヽアリ、爲メニ先般該三派解消ノ上、議員ハ德義上協同シテ職責ヲ盡サンコトヲ協議シタリ。然ルニ今日突然議長ノ辭職アリ、同時ニ議長、議長代理者、參事會員ノ候補者ヲ觸廻ハレルモノアルニ至リテハ、何人ノ所爲ナリヤヲ知ラズト雖モ、想フニ議長今日ノ辭職モ議長ノ意思ニ非ザリシモノト想像スルニ難カラズ。斯テハ前述三派ノ申合セハ蹂躙セラレタルモノトモ言フベク、遺憾ノ極ナリ。固ヨリ前述三派ノ申合セハ私的會合ニ於テナシタルモノニシテ、市會ニ對シテ公然效力ヲ有スベキ性質ノモノニ非ズ。然レドモ德義ヲ重ゼザルモ亦甚シト言フベシ。斯クノ如キ事ニシテ頻發スルアランカ、到底議場ノ神聖ヲ保ツ能ハザルハ言ヲ俟タズ。玆ニ於テカ本員ハ本日一旦散會シ、更ニ協議ヲ遂ゲタル後、議長其他ノ役員ヲ選擧セラレンコトヲ希望シテ止マズ。

宮川鐵次郎君　余モ亦本日ノ市會ノ情勢ハ不可解千萬ト考フル者ナリ。然レドモ仁杉君ノ辭表ハ既ニ提出サレ、辭職ノ理由モ述ベラレタルヲ以テ、此ノ上今一度議長タラシメンニハ、投票ノ結果ニ依ラザルベカラズ。故ニ議長選擧ハ是非行フベキモノト考フルモ、此ハ次會ニ延期シ、本日ハ假議長ニ依リテ議事ヲ進行セラレタシ。

大柴四郎君　種々ノ說アレド、余ハ江崎君ノ意見ニ贊成シ、仁杉君ノ留任ヲ希望スルモノナリ。蓋シ三派ノ申合

セモアル事ニテ、種々混亂ヲ來ス虞アルノミナラズ、御承知ノ如ク參事會員等ノ改選期ニモ迫リ居リテ、剩ス所僅少ナルヲ以テナリ。然レドモ、若シ此ノ希望ニシテ納レラレズトセバ、佐治君ノ說ノ如ク本日ハ一旦散會シ、協議ノ上後日ノ市會ヲ期シテ選擧セラレンコトヲ希望ス。

仁杉英君　諸君ノ留任勸告ハ眞ニ感謝スルモ、既ニ辭表ヲ提出シタルヲ以テ、固ヨリ留任ノ意思ナシ。

銀林綱男君　余モ亦延期說ニ贊成ス、凡ソ議案ハ三日前ニ配布スベキコトハ市制ノ規則ニ照シテ明ナリ。然ルニ突然議長選擧ヲ耳ニシタルハ遺憾ナリ。

江間俊一君　余ハ仁杉君ニ一應ノ留任勸告ヲモナサズシテ、甚ダ突飛ナル發議ヲナシタルハ缺禮ナリシモ、結局今日議長選擧ヲ行ハントスルモノナリ。蒟蒻版刷ニ關シテ種々ノ意見アリシモ、此ハ議案ニハアラズ、故ニ諸君ニ於テ見ザレバ即チ可ナルノミ。加之、是ガ議長選擧ニ重大ナル影響ヲ及ボスベキモノトモ考ヘラレズ。更ニ苟クモ東京市會ニシテ、議長ナク、議長代理者モナキニ、本日ノ會議ヲ散會シ、議長選擧ヲ延期セントスル說ニハ、東京市會ノ面目上、遺憾ナガラ贊成スル能ハズ。尙三日前ニ議案ヲ配付スベシトノ意見ニ關シテモ、豫算ノ議案ノ如キモノトハ異リテ、吾人ノ上席者ヲ決定セントスルガ如キ場合ニハ、其儀ニ及バザルモノト解スルヲ以テ是レ亦贊成スル能ハズ。

假議長多羅尾光慮君　諸說續出シテ際限ヲ知ラズ。速ニ報告スベキ事項モアルニ依リ、之レガ終了後直チニ選擧ヲ行ヒテハ如何。

豐島仁吉君　余ノ見ル所ヲ以テスレバ、大岡君ノ如キハ議長タラントスレバ何時ニテモ議長タリ得ル人物ナリ。今日不意打的ニ議長タラズンバ、其ノ機會ヲ失スト言フベキニアラズト信ズ。否、今日强ヒテ議長タラント欲セバ、將來議事ノ整理上却テ甚ダ困難ヲ生ズル事ナキヤヲ虞ル。故ニ今日ノ議長選擧ハ之ヲ延期シ、急ヲ要スル議案ハ假議長ニ依リテ議セラレンコトヲ望ム。

靑木庄太郎君　諸說アレド、余ハ選擧ノ即時執行說ニ贊ス。蓋シ議長ニ關シテハ種々ノ意見アルモ、參事會員等ノ選擧ヲモ共ニ延期セントスルハ穩ナラズ。

大岡育造君　余ハ今不意ニ余ノ名ヲ呼バレテ驚キタリ。余ハ現在ノ議長ノ議事整理ノ手腕ヲ嘉シ、諸君ノ留任ノ勸告ニハ余モ亦同感ナリ。然レドモ今ヤ及バズトスレバ、開會通知ヲ發スル者ナカルベカラザルヲ以テ、今日ハ議長代理者ヲ選擧スルヲ以テ、最モ妥當ナリト信ズ。此ハ日程ノ配付アルヲ以テ、決シテ不意打ニ非ズ。參事會ノ選擧及ビ議長選擧ニ關シテハ、余モ亦延期說ニ贊成ス。

江崎禮二君　余ハ前議長ノ辭任ヲ深ク惜シムモノナリ。然レドモ飽迄留任勸告ニ應ゼズトセバ、議長選擧ハ本日之ヲナスベキモノト信ズ。諸君ノ中、蒟蒻版刷ニ關シテ種々ノ議論ヲナセルモ、斯ル酔狂人ノ所爲ヲ以テ議長選擧延期ノ理由ト爲ス能ハズ。本會ニハ議長代理者サヘナク、爲メニ種々ナル支障アリシナリ。故ニ枝葉末節ニ拘泥シテ之ヲ延期セントスルガ如キハ、東京市會ノ面目上、本員ノ與スル能ハザル所ナリ。

中鳴行孝君　余ハ重大問題ニ就イテ一言セント欲ス、議長ノ辭任ハ既定ノ事實ナリキ。然ルニ今日始メテ此處ニ提出サレタル理由如何。不可解モ亦甚シ。多數ノ威力トハ云ヘ、其ノ不意打ニハ驚カザルヲ得ズ。此ノ不意打ヲ策シタル諸君ハ、良心ニ恥ヅル所ナキヤ。

渡瀨寅次郎君　議長ヲ辭任シタル仁杉君ニ對シ、留任勸告モアリタルガ、一度提出シタル辭表ナレバ、已ムヲ得ザルベシ。然レドモ今日議長ヲ選擧スルハ、將來ニ種々ノ弊害ヲ釀成スルモノト信ズルヲ以テ、大岡君ノ說ノ如

ク本日ハ議長代理者ヲ選擧シ、議長選擧ハ之ヲ延期スルニ如カズ。

肥塚龍君　本日直チニ議長選擧ヲ行フニ、何ノ不都合カアル。然レドモ蒟蒻版刷ノ問題起リ、大岡君モ迷惑ノ事ト考ヘラルヽヲ以テ、君ノ說ハ極メテ變則ニ屬スルモ、事ガ變則ナル以上已ムヲ得ズ、議長選擧ヲ延期シ、議長代理者ノ選擧ヲ行ハントスル說ニ左袒ス。

斯テ採決ニ入リ、議長選擧延期說、即チ本日ハ議長代理者ノミヲ選擧スベシトノ說ハ、賛成者少數ニテ否決サレ、直ニ議長及議長代理者ノ選擧ヲ行フ事トナリタルガ、選擧ニ先ダチ**佐治實然君**ハ、議場ニ一言希望ヲ述ベテ退席セント冒頭シ、今日議長選擧ヲ行フベシトノ意見ノ多數ナリシハ、定メシ蒟蒻版刷ノ**主意**通リトナリタルモノニテ滿足ナルベシ。余ハ個人トシテノ大岡育造君ノ人物ニハ不服アルニアラザルモ、君ガ未ダ市參事會員ヲ退職シタリトノ報告ニ接セザルヲ以テ、行政官タル其一人ガ議政機關ノ議長トナルコトハ、市政ノ運用上甚ダ面白カラザルコトナリ。（先例アリト呼ブモノアリ）固ヨリ如何ナル先例アリト雖モ、惡例ハ改メザルベカラズ。從來議長代理者サヘモ市參事會員タル事ニハ議論アリシナリ、然ルニ今市參事會員タル人ヲ議長ニ推サントス。斯テハ行政、議政混淆シ、市政ノ刷新ハ期シ難カルベク、甚ダ痛嘆ニ堪ヘザルナリ。今夏以來互ニ衷心ヲ披瀝シテ協定シタル事ハ少シモ行ハレズ、將來黨派上ノ爭ハ一層激烈トナリ、遂ニハ東京市ノ利益ヲ犧牲ニ供スルニ至ランコトヲ本員ハ深ク心痛スルモノナリ。故ニ斯ル議場ニ列スルヲ潔シトセザレバ退席スト。**鹽島仁吉君**ハ、大岡君ガ議長候補者トシテ決シタル以上ハ、君ニ確ムベキコトアリ。議長當選後、尙ホ參事會員ヲ兼ヌルヤ如何ト大岡君ニ質シ。**城數馬君**ハ、議長選擧ヲ行フニ當リ、何人ヲ選擧スルカハ各人ノ腦裡ニアリ。然ルニ他人ノ肚裏ヲ臆測シ之ヲ議場ニ公言スルガ如キハ、本員ノ甚ダ遺憾トスル所ナリ、議長ハ斯ノ如キ言論ハ之ヲ停止スベシト述ブル所アリ。直チニ議長選擧ニ入リ、投票ヲ行ヒタル結果左ノ如ク當選セリ。

議　長　三十四票　大岡育造

斯テ大岡育造君議長席ニ著キ、議長代理者ノ選擧ヲ行ヒタル結果、左ノ如ク當選セリ。

議長代理者　三十一票　松長光吉

▽**仁杉前議長ニ對スル謝意**　十一月十二日ノ會議ニ於テ、議長代理者ハルヤ、**杉原榮三郎君**ハ、前市會議長タル仁杉英君ハ、就任以來公平無私、一同共下ニ在リテ、議事ニ參與シタルハ欣喜ニ堪ヘザルナリ。玆ニ謹デ同君ノ功績ヲ感謝スル決議アランコトヲ希望スト發議シタルニ、賛成者多數ニテ、議長**大岡育造君**ハ滿場一致ノ可決ト認メ、其趣議席ニ在ル仁杉英君ニ傳ヘタリ。

第貳節　保健衞生事業

▽**ベスト病豫防費豫算**　一月十九日ノ會議ニ於テ、左ノ議案ヲ上程セリ。

第百九號

東京市明治三十五年度歲入出追加總計豫算

歲入　金四萬圓

歲出　金四萬圓

內譯

歲入

第四款　前年度繰越金　三二、〇〇〇・〇〇〇円
第六款　府補助金　八、〇〇〇・〇〇〇
歳出
第八款　衛生費　四〇、〇〇〇・〇〇〇
第十四項　ペスト病豫防消毒費　四〇、〇〇〇・〇〇〇

劈頭市長**松田秀雄君**ハ、提案ノ理由ヲ左ノ如ク説明セリ。

本所區内ニ於テ發生セルペスト患者ハ、年末年始ニ渉リ續發十四名ノ内、九名死亡シ、療養中ナルモノ五名アリ。之レガ爲メ應急手段トシテ、參事會ハ本日玆ニ本案ヲ提出セリ。即チ先ヅ消毒方法ヲ行フハ勿論、鼠ノ買上ヲ實行シ、又懸賞ノ方法ニテ捕鼠ヲ勵行シツヽアリ。尚市役所内ニハペスト豫防事務所ヲ設置シ、續イテ本所押上町ノペスト發生現場ニハ出張所ヲ設ケ、他ニ隔離所ヲモ設置セリ。而シテペスト病ニ對シテハ經驗少キヲ以テ、之ガ豫防ニ方リ、專門家ヲ傭聘スルコトニ決シ、曩ニ警視廳ニ奉職セル山根正次氏ヲ顧問トシ、其意見ヲ徴シテ事務ヲ執行シツヽアリ。

次イデ左ノ質疑應答アリタリ。

杉原榮三郎君　聞ク所ニ據レバ、消毒ノ爲メ一日ニ石炭酸三四千磅ヲ費シツヽアル由、此ノ金額タル莫大ナルベシ。然ルニペスト病ノ防遏ハ、化學的ノ防遏ヨリモ燒却ヲ以テ唯一ノ手段ナリトスル輿論ナルニ、當局者ハ何故此燒却法ヲ採ラザルカ。

松田市長　燒却ハ問題ナルヲ以テ、參事會ニ於テモ十分審議シ、且顧問ノ意見ヲモ徴シ、消毒藥ノ作用、即チ化學的消毒ニ於テ十分足レリト爲シ、燒却ヲ爲サヾルコトニ決シタルナリ。

肥塚龍君　第一、病氣發生ガ十二月十七日ニシテ、豫防消毒ニ着手セルハ二十四、五日頃ナリシト聞ク。其間病人アルヲ知ラズニ經過シタリヤ。第二、消毒着手ノ時、職工三千人ノ内九百人ヲ市内ニ解放セリト聞ク、果シテ事實ナラバ危險千萬ナリ、如何。第三、警視廳ハ十丁四方ノ間、亞鉛板ヲ以テ圍繞スベシトノ命令ヲ發セリト聞ク、果シテ然ルカ。若シ事實ナラバ此命令ニ對シテ參事會ハ如何ナル應答ヲナセリヤ。

助役**浦田治平君**　第一、始メテペスト患者ノ東京瓦斯紡績會社内、即チ寄宿職工中ニ四名アルコトノ報告ニ接シタルハ二十四日ノ夜半ナリキ。第二、二十五日朝ニ至リ會社ノ門前ニ來リタル通勤職工九百餘名ニ對シ、警視廳ニ於テ健康診斷ヲ行ヒテ解放シタリト聞キ、其危險ナルコトヲ警視廳ニ談ジタルニ、九百名以上ノ者ヲ收容スル場所ナク、又ペストノ疑ナキヲ以テ健康者ト認メテ解放シタリトノコトナリキ。第三、亞鉛塀ヲ以テ十丁四方ヲ包圍シテ、鼠ノ遁走ヲ防止セントスルコトニ關シテハ、後刻市長ヨリ説明アルベキモ、事ノ起リハ舊臘二十四日來、會社以外ニハ病毒ナキモノト思ヒシニ、不幸ニシテ本月十四日ニ至リ中ノ鄕業平町橋本米吉ナル繰綿商ノ倉庫ヨリ斃鼠八頭ヲ發見セル中、鏡檢ノ結果二頭ハ有菌鼠ナルコトヲ發見セルニ因ルモノナリ。

森田鉞三郎君　聞ク所ニ據レバ橋本繰綿會社ハ平常不潔極レルモノナリト。當局者ノ之ニ對スル處置、竝ニ將來ノ對策如何。

浦田助役　橋本繰綿會社ノミナラズ、附近ヲ警戒スル必要アリ。第一、會社ヲ中心トシ、會社ノ周圍凡ソ一丁四方ヲ警戒ノ第二線トシ、其外東ハ天神川、北ハ業平橋、南ハ錦糸堀、西ハ大横川ヲ境界トシテ警戒ノ第三線トシ、警視廳ト協議ノ上消毒方法ヲ行ハントス。

岡田榮一君　年末年始ニモ拘ラズ、當局者ハ廢休ノ上、本件ニ付キ盡力アリシハ、幾重ニモ感謝ノ外ナシ。然レドモ其消毒方法ニ至リテハ、聊カ不滿ノ點ナキニ非ズ。凡ソ消毒方法中、石炭酸、昇汞水ノ撒布ノ如キハ、壁間ニ及バズ、燻蒸法、蒸氣法ヲ以テスルモ、是亦徹底ヲ期シ難シ。宜シク燒却法ヲ以テスベキナリト信ズ。此ノ際本員ノ希望ヲ述ブルコト爾リ。

青木庄太郎君　余ハ廣尾病院竝ニ月嶋隔離所ノ費目ニ付キ質問セン。聞ク所ニ據レバ本所ニ於ケル感染ノ虞ナキ所謂注意患者ヲ右ノ兩病院ニ移シ、修繕費等ヲ支出セシメタルモ、其後區ニ起リタル患者ハ其ノ區ニ於テ處置スベキモノトナシタリト。果シテ事實ナリヤ。若シ事實ナリトセバ、右兩病院ノ修繕等ノ費用ヲ支出セシメタルハ、其ノ裏面ニ運動ノ行ハレタルナキヤヲ怪シム。事實果シテ如何。

城數馬君　諸君ノ御質問ハ凡テ歸スル所ベスト撲滅ノ精神ヨリ出ヅルモノニシテ、原案ニ異議アルガ如ク見受ケザレバ、速カニ原案ヲ議決シ、一日モ早ク有用ナル施設ヲナシ、以テ市民ヲシテ其堵ニ安ゼシメンコトヲ希望ス。

肥塚龍君　第三ノ亞鉛塀ニ關スル理事者ノ答辯ハ、漠然トシテ一向要領ヲ得ズ明答アランコトヲ請フ。

浦田助役　廣尾病院ヲ隔離所トシテ、同所ニ二十三名ヲ收容セルニ、其中疑似ベスト患者一名發生シタルヲ以テ、之ヲ本所病院ニ收容シ、其他ハ潛伏期間十日ヲ經過シタレバ、解放セリ。尙引續キ收容シ得ラルヽ丈ケノ健康者ヲ廣尾ニ隔離セントシタルモ、二千名以上ニ及ビタルヲ以テ、隔離所ヲ新設スルコトニ決シ、押上町ニ二箇所、太平町ニ一箇所、都合三箇所ヲ新設シ、紡績會社ガ自費收容セル隔離所ノ健康者ヲ一昨日悉ク收容シタリ。月島隔離所ハ、警視廳所屬ニテ船舶汽車等ニテ檢疫ヲ爲シ、疑アル者ヲ隔離スル所ナリ。市ハ之ヲ借受ケ何時ニテモ收容シ得ベク修繕ニ取掛リシモ、他ニ隔離所ヲ新設シタルニ因リ之ヲ中止セリ。亞鉛塀ニ關シテハ、次ノ第百十四號議案ニ包含セルヲ以テ其際說明スベシ。

本案ハ質問以外意見ナク、直ニ原案通可決セリ。尙一月十九日ノ會議ニ於テ、左ノ三議案ヲ上程、即決可決セリ。

第百十一號

東京市明治三十五年度歲入出追加總計豫算

歲入　金壹萬八千圓

歲出　金四萬圓

但歲入出差引不足金貳萬貳千圓ハ本年度歲入剩餘金ヲ以テ之ニ充ツ

內譯

歲入

第四款　前年度繰越金	一〇、〇〇〇・〇〇〇圓
第六款　府補助金	八、〇〇〇・〇〇〇

歲出

第八款　衞生費	四〇、〇〇〇・〇〇〇
第十四項　ベスト病豫防消毒費	四〇、〇〇〇・〇〇〇

第百十二號

ベスト費支出ニ關スル件

今回ペスト病發生ニ付キ豫防消毒其他ニ要スル費用ハ、凡テペスト病豫防消毒費ヨリ支出スルモノトス。

第百十三號　　ペスト病豫防消毒費支出ノ件

一金壹千圓　　弔祭料

右明治三十五年度ペスト豫防消毒費ヨリ支出スルモノトス。

說明　駒込病院醫員橫田利三郎ペスト病ニ感染シ、本月十五日死亡シタルニヨリ、傳染病感染及死亡者手當金支給規則第五條ニ依リ、弔祭料ヲ支給スベキノ處、本人儀ハ客年十二月二十五日本所區押上町東京瓦斯紡績株式會社內ニ該病發生以來、本所病院勤務トシテ獻身患者ノ治療ニ從事シ、終ニ病毒ニ感染死亡セシニ付テハ、奉職中功績顯著ナルニヨリ、特ニ本行ノ金額ヲ支給スルモノトシ本案ヲ提出ス。

▽**亞鉛塀問題**　第百十一號乃至第百十三號議案ヲ議決シタル後、更ニ左ノ議案ヲ上程セリ。

第百十四號　　東京市明治三十五年度歲入出追加總計豫算

歲入　金五萬圓　四〇、〇〇〇・〇〇〇圓

歲出　金五萬圓　四〇、〇〇〇・〇〇〇圓

內譯

第四款　前年度繰越金　一〇、〇〇〇・〇〇〇

第六款　府補助金　五〇、〇〇〇・〇〇〇

歲出經常費

第八款　衛生費

第十四項　ペスト病豫防消毒費　五〇、〇〇〇・〇〇〇

本案ノ審議ニ入ルニ先チ、**城數鳥君**ヨリ、理事者ニ對シテ提案ノ理由ニ就キ說明ヲ求メ、市長**松田秀雄君**乃チ左ノ如ク說明セリ。

御承知ノ如ク猖獗ヲ極メタルペスト病モ、今ヤ漸ク撲滅ニ近カラントス。然レドモ清潔法實施ト共ニ、鼠族ノ發見多數ナルヲ以テ、臨時支出準備ノ爲メ、本案金額ノ議決ヲ求ムル次第ナリ。尙先刻肥塚君ノ質問ハ正ニ本案ニ關係スルモノナルヲ以テ、今答辯スル所アルベシ。一昨十七日警視廳ヨリペスト病豫防ノ爲メ清潔方法ノ施行ヲ命ズル通達アリ、其實施ハ本日ヨリ五日以內ニ完了スベシ。其範圍ハ肥塚君ノ質問ノ如ク西ハ橫川、南ハ錦糸堀、北ハ中ノ鄕業平町百八十二番地以東、柳島元町百六十六番地ニ至ル地域ノ全部ニ施行スルモノトス。而シテ其方法ハ、亞鉛板、若ハ鐵板ヲ以テ取圍ムベシトノ主意ナリ。玆ニ於テ一應衞生常設委員ニ諮ルト同時ニ、即日參事會員ニ對シテ招集狀ヲ發シ、十八日參事會ヲ開キ、審議ノ末、參事會員大石、芳野、野々山、奧田ノ四君ト共ニ官邸ニ警視總監ヲ訪ヒ、熱議ヲ爲シタルモ、其內容ニ至リテハ公開ノ席上ニテ陳述スル事ハ暫ク差控ヘ度シ。只此ノ如キ方法ヲ講ズルコトハ、傳染病豫防規則竝此傳染病豫防法ニ基キテ發セラレタル規則命令等ニ牴觸セザルヤ、又捕鼠方法トシテ適當ナリヤ否ヤ等ニ就キ審議シタル末、結局斯ル方法モ亦一手段ト認メタリ。

城數鳥君　只今市長ヨリノ答辯ニヨリ、新ニ疑ヲ生ズルニ至レリ。本案ノ提出ハ一月十七日ニシテ、警視廳ノ達モ亦一月十七日ナリト聞ク。然ラバ警視廳ノ達アリタルガ爲メニ本案ヲ提出シタルモノナリヤ、將又警視廳ノ達

トハ關係ナク、隨時支出準備ノ爲メ本案ヲ提出サレタルモノナリヤ。

松田市長　如何ニモ御質問ノ如ク兩者日ヲ同クスルモ、警視總監ヨリノ達ニ接スル前、既ニ該議案ハ參事會ニ於テ協議ヲ遂ゲタルモノナリ。即チ應急ノ爲メ支出準備ニ五萬圓ヲ決定シタルモノニシテ、警視廳ヨリ通達ノ事項モ本案五萬圓ノ內ヨリ支出シテ施行セント欲ス。

城數馬君　余ハ猶諒解ニ苦シム。元來本案ノ審議ニハ、警視廳ノ達ハ毫モ關係ナキニアラズヤ。然ルニ本案ノ說明ニ警視廳ノ達ヲ云々スルハ不可解ナリ。本案ヲ可決セバ、警視廳ヨリ命ジタル事項ノ費用モ本案金額中ヨリ支出スルコトヲ市會ガ認メタルモノト爲スヤ、或ハ又五萬圓支出ノ議案ガ議決サレナバ、其執行ニ就テハ理事者ノ責任ヲ以テ處理シ得ベシト爲スヤ。如何。

松田市長　警視廳ノ達ニ據ル支出ハ、本案ノ說明ニ所謂臨時支出ニ該當スト看做スヲ以テ、是ヨリ支出スベシ。

城君　警視廳ノ命令ニ依リテ、亞鉛塀ヲ製作スル場合ハ更ニ議案ヲ提出スル考アリヤ否ヤ。

松田市長　別ニ更メテ議案ヲ提出セズ。

肥塚龍君　本員モ一應市長ニ質サン。先刻ノ答辯ニ依レバ、本案ハ警視廳ヨリ達ノアリタル以前ニ於テ編製シタルモノナリト。然ラバ其ノ編製當時本案五萬圓ノ金額ハ如何ナル費途ニ充ツル考ナリシヤ、唯漠然ト算出シタル豫算ナリヤ、如何。

松田市長　何時如何ナル費用ヲ要スルヤモ計リ難キ現況ナルヲ以テ、五萬圓ヲ應急準備ノ爲メ要求セシモノナリ、故ニ警視廳命令ノ施設ニ要スル費用ノ如キ正ニ之ニ該當スルモノト解ス。又何時他ニ鼷鼠ヲ發見シ、更ニ如何ナル施設ヲ必要トスル場合ノ生ズルヤモ計リ難ク、之ガ費用ヲ一々市會ニ求ムル暇ナキヲ以テ、斯ル場合臨機ノ處置ヲナサンガ爲メ本案ヲ提出セルモノナリ。

肥塚君　高塀ハ警視廳ノ命令通リ、十丁四方トナスヤ、或ハ之ヲ制限シ、若クハ夫レ以上ニ擴張ヲ爲スヤ。

松田市長　命令通リニ決シタルモ、實地ニ臨ンデハ多少ノ相違アルベシ。

城君　理事者ノ答辯ニ對シ、余ノ疑惑ハ未ダ氷解セズ。然レドモ今ハ疑ハ疑トシテ存シ置キ、玆ニ一ノ條件ヲ附シ、原案ニ贊成スベシ。即チ本案執行ニ當リ、其費途ノ如何ハ理事者ノ責任ヲ以テ決定スベシ。只警視廳ノ命令ニヨル亞鉛塀設置ノ如キハ不必要ナルモノト信ズ。思フニ斯ル亞鉛塀ヲ設置シテ鼠族ノ出入ヲ防グモ、最早鼠族以外ニ傳播セルモノト考ヘラルヽ今日、ペスト豫防方法トシテノ效果ヲ疑フモノナリ。加之該亞鉛塀ニハ數個ノ出入口ヲ設ケ、之ガ出入ヲ許スニ至リテハ、其ノ手段ノ姑息ナルニ驚カザルヲ得ズ。故ニ五萬圓ハ理事者ノ責任ヲ以テ支出シ得ベシトスルモ、亞鉛塀設置ニハ遺憾ナガラ反對ナリ。

宮川鐵次郎君　余ハ本案ヲ決スルニ先チ、理事者ニ對シ一言質問アリ。本案ノ五萬圓ハ、臨時支出ノ準備金ナリトノ說明ナルモ、第百九號、第百十一號ニ於テ臨時支出ノ準備金トシテ參萬五千圓アリ。之ヲ合スレバ八萬五千圓トナリ、市ノ經濟トシテ少カラザル金額ナリ。若シ當局者ニシテ警視廳ノ命令ヲ執行スルトスレバ、幾許ノ費用ヲ要スル見込ナリヤ。

松田市長　成程第百九號、第百十一號兩議案中ノ金額ニシテ參萬餘圓ヲ今日尙剩セリト雖モ、此ハ未ダ精算ノ運ニ至ラズ。精算ノ結果ハ果シテ幾許ノ餘剩ヲ生ズルヤハ不明ナリ。尙警視廳ヨリ達ノ事柄ハ、參事會ニ於テハ必要ナリト信ズ。（此時採決々々ト呼ブ者アリ）

渡瀨寅次郎君　採決ノ聲ヲ聞クモ余ハ尙愼重審議ノ要アリト信ズ。警視廳ノ命令ニ關シテハ既ニ新聞紙上ニ於

テモ論ゼラレタル如ク、何等效果ナキ事項モ尠カラザルナリ。亞鉛塀設置ノ如キ、山根顧問モ兒戲ニ類スルモノト爲セルガ如シ。故ニ本案五萬圓中ニハ、斯ル設備ニ要スル費用ヲ含マズトノ條件ヲ附シテ議決シ度シ。其ノ結果若シ警視廳ニシテ、代執行ヲナシ、本市ニ之ガ費用ヲ請求シ來リタル時ハ、之ニ關シ充分批判スベキモノト信ズ。

銀林綱男君　渡瀨君ノ意見ノ如ク警視廳ノ命令ヲ奉ゼズシテ、警視廳ガ勝手次第ニ爲シタル代執行ノ費用ヲ矢張市民ニ於テ負擔セザルベカラザルモノトスレバ、結局同ジ結果ニ非ズヤ。成程其方法ニ就テハ不同意ノ點ナキニアラザルモ、此事ニ付テハ昨日參事會ヨリ警視廳ニ交渉ノ上、今朝內務省、警視廳、市參事會、東京府トノ各關係代表者ガ協議ノ末、壹萬圓程度ノ豫算案ヲ編製シタルモノナル由聞知セリ。此壹萬圓程度ノ支出ヲ五萬圓中ヨリ支出シ得ザルモノトセンカ、余ノ老婆心ナルモ、本市參事會ニ於テ運ビツヽアル手順ニ一頓挫ヲ來スベシ。余ハ其ノ方法ニハ不滿足ノ點アルモ、多少ノ效果ヲ擧ゲ得ルモノト信ジ、理事者ノ意見ニ同意ス。

城徹馬君　銀林君ノ議論ハ、市參事會員ノ職權ト、市會議員ノ職權トヲ混同セルガ如シ、市參事會ハ執行機關トシテ其ノ責ニ任ズベキモノニシテ、市會ハ只本案ノ可否ヲ決スレバ足レリ。

吉田幸作君　議論續出止マル所ヲ知ラザルモ、亞鉛塀設置モ亦豫防方法ノ一ト爲シ得ル以上、之ガ費用ヲ本案ノ五萬圓中ヨリ支出スルハ當然ナリ。無條件ニテ本案ヲ議決スベキモノト信ズ。

尙**關幸太郎君**モ、城君ノ說ニ反對シテ、五萬圓ノ金額ヲ臨時費トシテ隨時支出シ得ルコトヲ認メ、而シテ其支出範圍ヲ制限スルガ如キハ自家撞着ナリ。亞鉛塀ヲ設置スルモ亦其必要ニ應ジテ可ナリト、無條件可決說ヲ强調シ、採決ニ入リ、贊成者多數ニテ原案通可決セリ。

▽隔離所處分ノ件　二月十九日ノ會議ニ於テ、左ノ議案ヲ上程セリ。

第十六號

隔離所處分ノ件

一　本所區業平町及太平町ニ建設シタル隔離所ノ內、大久保病院病室ヲ移シタルモノハ、此際之ヲ賣却ス。

一　新ニ建設シタル隔離所ニシテ、其材料ノ將來必要ト認ムルモノハ之ヲ保存シ、不用ニ屬スルモノハ、適宜之ヲ賣却ス。

本案ニ對シ**大柴四郎君**ハ、第二項ニ所謂材料ノ將來ニ於ケル必要、不必要ノ鑑別法如何ト質シ。助役**浦田治平君**ハ之ニ答ヘテ曰ク、第一項ノ大久保病院ハ古キ建物ナルヲ以テ悉皆取毀ツ外ナシ。第二項ノ新ニ建築シタル部分ニ關シテハ、契約ノ初ニ於テ二月十三日頃迄ニハ地主ニ返地スベキ豫約アリ、最早期限モ經過シタルヲ以テ、是亦取毀ツ外ナシ。而シテ之ガ材料ニシテ再度使用ニ堪ヘ得ベキモノハ、未ダペスト病モ鎭靜セザルヲ以テ、近キ將來ニ於テ、之ガ必要ノ生ジタル場合ノ需要ニ充テントス。要スルニ建築ノ儘保存スルニ非ズシテ、取毀チテ、亞鉛板、柱等ヲ保存セントスルモノナリト。**宮川鐵次郎君**ハ、借地契約期間等ノ關係上隔離所ノ存置不可能ナリトセバ、理事者ハ現ニ參萬圓ノ新規支出ヲ爲シ得ル際ナレバ、更ニ隔離所ヲ新築シテ、今後ニ備フルノ意思ナキヤト問ヒ。**浦田助役**ハ、永遠ニ堪ヘ得ル隔離所ヲ建設スルヤ否ヤハ參事會ニ於テ未ダ決議ナキヲ以テ、本席ニ於テ明言スルヲ得ズト雖モ、其必要ハ之ヲ認ムルモノナリト答ヘ。**丸山名政君**ハ、余ハ第二項ノ必要ト認ムル材料ハ保管スベシトナス理由ヲ解スル能ハズ、蓋シ其材料ハ極メテ粗惡ナルモノヲ使用シタルヲ以テ、到底永ク保存スル能ハザルモノト信ズルモ、理事者ノ意見如何ト質シ。**浦田助役**ハ、永年保存ノ意ニ非ズ。若シ不幸ニシテ明年ニテモ隔離所設置ノ必要生ジタル時ニ利

用セントスルナリト答ヘ。**大柴雨**ハ、第二項ニ所謂必要ノ材料ヲ保存セントスルハ專ロ無益ナリ。理事者ノ說明ニ據レバ將來必要ノ場合ニハ之ヲ利用セントスルモノナリト、此ハ机上ノ空論ニシテ採ルニ足ラズ。依テ全部賣却スルヲ可トスト論ジタルモ、採決ノ結果、全部賣却說ハ贊成者少數ニテ否決サレ、原案通可決シタリ。

▽**ペスト病豫防消毒費追加**　三月二十八日ノ會議ニ左ノ議案ヲ上程シタルニ、原案通直チニ可決シタリ。ペスト病豫防ニ關スル追加豫算ハ其後逐次ニ提案アリテ、議題ニ供シタルモノ左ノ如シ。

第百二十三號

ペスト病豫防消毒費支出ノ件

一金壹千圓　　本所區衞生費補助

右明治三十五年度ペスト病豫防消毒費ヨリ支出スルモノトス

說明　本所區內ニ於テ曩ニペスト病發生ニ當リ、同區ハ衞生恩賜金ヲ支出シ專ラ該病毒ノ蔓延ヲ防遏スルノ方法ヲ採リシニ、今般別紙ノ通上申アリタルニ依リ、此際本行金額ヲ交付スルモノトシ、本案ヲ提出ス。

（別紙略ス）

尙五月六日ノ會議ニ左ノ議案ヲ上程、是亦原案通即決可決シタリ。

第六十二號

東京市明治三十六年度歲入出追加總計豫算

歲　入　金壹萬八千六百六拾壹圓拾四錢

歲　出　金壹萬八千六百六拾壹圓拾四錢

內譯

歲入

第五款　前年度繰越金　一四、九二八・九一二

第七款　府交付金　三、七三二・二二八

歲出　經常費

第七款　衞生費　一八、六六一・一四〇

第十四項　ペスト病豫防消毒費　一八、六六一・一四〇

六月十五日ノ會議ニ於テ、更ニ左ノ議案ヲ上程、是亦何等異議ナク原案通可決セリ。

第八十九號

東京市明治三十六年度歲出追加總計豫算

歲入　金五萬圓

歲出　金五萬圓

內譯

歲入

第五款　前年度繰越金　四〇、〇〇〇・〇〇〇

第七款　府交付金　一〇、〇〇〇・〇〇〇

歲出　經常費

明治年間　第六章　明治三十六年　第貳節　保健衞生事業

第七款　衛生費

第十四項　ペスト病豫防消毒費

次ニ八月六日ノ會議ニ左ノ議案上程、是レ亦即決可決セリ。

第百八號

ペスト病豫防消毒費支出ノ件

一金壹千圓

右明治三十六年度ペスト病豫防消毒費ヨリ支出スルモノトス

說明　本所區內ニ於ケルペスト病豫防ニ付テハ、曩ニ本會ノ決議ニ據リ前後貳千圓ヲ補助シ、專ラ病毒ノ蔓延ヲ防遏セシメンカ爲メ、今般本所區長ヨリ更ニ別紙ノ通リ申請ノ次第モ有之ニ依リ、本行金額ヲ交付スルモノトス。

（別紙略ス）

越エテ十一月十二日ノ會議ニ於テ、左ノ議案ヲ上程、是亦原案通可決セリ。

第百五十八號

東京市明治三十六年度歲入出追加總計豫算

內譯

歲入　金參萬圓

歲出　金參萬圓

歲入

第五款　前年度繰越金　二四、〇〇〇・〇〇〇圓

第七款　府交・付金　六、〇〇〇・〇〇〇

歲出　經常費　三〇、〇〇〇・〇〇〇

第七款　衛生費　三〇、〇〇〇・〇〇〇

第十四項　ペスト病豫防消毒費

第參節　明治三十六年度歲入出總豫算

▽普通會計ニ屬スル豫算

東京市明治三十六年度歲入出總計豫算

		原案額	委員會修正額	市會決定額
歲入		一、九八三、四〇一・八六一円	一、九八八、一二一・八六一円	委員會報告通
歲出	經常部	一、四三〇、五〇九・五六八	一、四三八、二七四・七八三	委員會報告通
	臨時部	五五二、八九二・二九三	五四九、八四七・〇七八	委員會報告通
	合計	一、九八三、四〇一・八六一	一、九八八、一二一・八六一	委員會報告通

二月十八日ノ第一讀會ニ於テ、**杉原榮三郎君**ノ動議ニ依リ、前年通リ議長指名九名ノ委員ニ調査ヲ附託スル事トシ、議長ハ委員ヲ左ノ如ク指名セリ。

市原求　坪谷善四郎　江崎禮二　杉原榮三郎　中澤彦吉
大柴四郎　田口卯吉　青木庄太郎　關幸太郎

委員ハ**關幸太郎君**ヲ委員長ニ擧ゲ、實地踏査ノ末、三月二十六日ノ會議ニ於テ**關委員長**ハ、委員會ノ經過ニ就キ左ノ如ク報告セリ。

第一款市役所費中汚物掃除ハ、原案ニ於テハ之ヲ全部區役所ノ仕事トナシ、區長ヲシテ其ノ仕事ニ當ラシムル事トセルモ、委員ハ周到ナル調査ヲ遂ゲタル處、從來汚物掃除ニハ、掃除監督アリ、監督長アリ、斯ル特別機關ノ具備アリシニモ拘ラズ、尚市民ニ充分ナル滿足ヲ與フル能ハザリシ次第ナリキ。然ルニ之ヲ區役所ニ一任シ、區長ヲシテ之ヲ兼任セシメ、而シテ是レガ充分ナル仕事ヲ望マントスルモ、到底滿足ナル結果ハ得ラルベキニ非ズ。右ニ關スル法規ヲ取調ベタルニ、明治三十三年法律第三十一號ヲ以テ、法規ノ制定ヲ見、其後之ニ關シ二三內務省令ノ發布アリ、其ノ結果、東京府令ヲ以テ特別規則ヲ制定シタルモノナリ。而シテ其法律規則ノ精神ヲ研究シタルニ、必ズ特別機關ノ設置ヲ要シ・兼任ヲ許スベキ性質ノモノニアラズト解スルヲ穩當ト信ゼリ。試ニ其中ノ一箇條ヲ見ルモ、巡視、監督、監督長、各制服アリ、一見シテ其當事者タル職員ナル コトヲ判別シ得ル如ク規定セラレタリ。故ニ若シ之ヲ區長ニ兼任セシメンカ、區長自ラ其制服ヲ着用シ、之ガ監督ノ任ニ當ラザルベカラズ。是レ到底不可能ノ事ニ屬ス。玆ニ於テカ委員ハ掃除監督制廢止ノ項ヲ復活シ、明治三十五年度ト同樣トセリ。尚監督長ハ、從來衞生課長ヲシテ之ヲ兼任セシメタルモ、今回之ヲ獨立セシムル事トシタリ。即チ監督長、監督、巡視ノ獨立機關ヲ設置シ、仕事ノ能率ヲ增進セシメ、充分ナル效果ヲ擧ゲシメント欲シタリ。勿論費用ノ增額アリト雖モ、費用ヲ減ジテ能率擧ラザルニ比セバ、東京市民ハ後者ヲ恐ルヽ事、前者ノ比ニアラザルナリ。故ニ法律ノ明文ニ遵據シ、且ツ能率增進ノ意味ニ於テ、原案中本件ニ關スル區役所費ヲ市役所費ニ挿入シ、監督十五名、監督長一名ヲ設置シ、之ガ徹底ヲ期スルコトヽセリ。尚特ニ一言セント欲スルハ、監督ト區長トノ衝突アリテ、事務ノ澁滯ヲ來スナキヤトノ强力ナル原案維持說ニ關シテナリ。然レドモ監督長ト區長トノ衝突ノ故ヲ以テ、事務ノ澁滯ヲ來スト言フガ如キハ、法律ノ罪ニ非ズシテ、事ヲ取扱フ者ノ罪ナリ。故ニ該法律ニモ指示セル如ク、參事會或ハ市長ニ於テ、監督其宜シキヲ得バ、區長ト監督トノ衝突ノ如キハ、監督制廢止ノ理由トハナラザルナリ。以上ノ如キ理由ニ據リ本案ヲ修正シタルナリ。

委員長ノ報告ニ對シテ二三質疑アリタルモ、他ニ意見ナク、委員會修正通可決シ、他ノ各款ニ對シテモ委員會ノ修正通可決セリ。

▽特別會計ニ屬スル豫算

市區改正歲入出總計豫算

歲入出	原案額	委員會修正額	市會決定額
歲入	一、一四五、三三〇・一一二 圓	九六一、〇三八・五七九 圓	九七三、六三五・五三二 圓
歲出	一、一四五、三三〇・一一二	九六一、〇三八・五七九	九七三、六三五・五三二

三月十六日ノ第一讀會ニ於テ、**杉原榮三郎君**ノ動議ニ據リ、議長指名七名ノ委員ニ調査ヲ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ如ク選定セリ。

宮島新七　有嶋武　中澤彦吉　城數馬　古川孝七
田村喜三郎　肥塚龍

委員ハ肥塚龍君ヲ委員長ニ推シ、審査ノ末、三月二十七日ノ會議ニ於テ、肥塚委員長ヨリ、左ノ報告アリタリ。

歳出ニ於テ、芝公園十六號地ノ取拂費(壹萬九千參百拾圓拾錢)、三十間堀新川敷及河岸地取設費(拾萬千七百五拾壹圓六拾貳錢五厘)、同橋梁費(八千百八拾八圓)、及三十間堀川埋立及新鑿費(四萬參千六百五拾九圓七拾錢)ヲ削減シ、臨時改正費ヲ(千圓ヲ五百圓ニ)半減シ、箱崎町地先埋立費竝豫備費ヲ修正シテ拾八萬圓餘ヲ減額シ、歳入ニ於テ、家屋稅原案ノ一個ニ付壹錢ヲ八厘ニ、府稅營業稅百分ノ十ヲ百分ノ七、國稅營業割百分ノ三十五ヲ百分ノ二十二ニ修正シタリ。其理由ハ、市區改正費ハ五拾萬圓ヲ限度トセルヲ、法律改正ノ結果、五拾萬圓以上百萬圓以下トナリ、河岸地ト特別稅ノ收入トヲ以テ、之レニ充ツルコトヽナリタルガ、明治三十六年度ノ豫算ハ、納付金ヲ加フレバ百拾四萬五千有餘圓トナリ、金高ニ於テ激增セルノミナラズ、昨年十二月提出ノ市區改正費參拾七萬圓ヲ加フレバ、百五拾萬圓以上ニ達スベシ。五拾萬圓ヲ限度トナシタル時代ニ於テスラ、豫算ノ金高ト事業トノ均衡ヲ失シ、年々事業ノ繰越ヲ爲セルヲ見タルニ、本案ハ豫算ノ上ニ於テ二倍、事業ノ上ニ於テ三倍以上ノ金高ニ一足飛ビニ增加セリ。以上ノ事實ニ鑑ミ、又收入豫算ニ於テ、國稅營業割トシテ參拾九萬參千七百五拾圓ヲ負擔スルハ、市ノ經濟トシテ容易ナラザルヲ以テ、結局拾八萬圓餘ヲ削減シテ、總額ヲ九拾六萬千參拾八圓五拾七錢九厘ト修正セリ。然レドモ其削減シタル事業ヲ廢止セント欲スル意味ニアラズ。唯經濟ノ都合ニ依リテ延期スル主意ナリ。

右委員長ノ報告後、本案ニ就イテ左ノ賛否ノ兩論アリタリ。

岡田榮一君　市區改正事業ハ、當時豫算貳千四百萬圓ヲ以テ明治二十一年ニ着手以來、同三十四年度迄ニ支出シタル金額五百萬圓ナルモ、殘餘ノ事業費ハ物價騰貴等ニ依リテ、壹億五千萬圓以上ヲ支出スルニアラザレバ、完成シ難キ事實ヲ發見セリ。而モ從來ノ五拾萬圓ハ、其中貳拾五萬圓ヲ水道債償還基金ニ充ツベキヲ以テ、實際毎年ノ事業費ハ、參拾萬圓內外ナリ、毎年參拾萬圓ヲ支出シテ、壹億五千萬圓ノ事業ヲ行ハントセバ、其完成ニハ殆ド千五百年ヲ要シ、百年河清ヲ待ツニ等シ。然ルニ市區改正ノ完成如何ハ、本市盛衰ニ關スルガ故ニ、昨年條例ヲ改正シテ百萬圓ト爲シタルナリ。委員長ハ增稅ヲ困難ナリト云フモ、東京市民ノ負擔力ハ、大阪、橫濱ノ次ニ在リ。勿論市區改正ハ生命ニ次グ財產ニ關係スルモノナルヲ以テ、是ニ要スル費用徵收ハ容易ナラザルベキモ、從來理事者ノ採リタル方法ハ甚ダ感服シ難ク。之ガ速成ニハ方法ヲ改メザルベカラズ。不肖職（註內務省官吏タリシナリ）ヲ擲ツテ、諸君ノ驥尾ニ附シ、微力ヲ致サントスルハ、市區改正事業ノ完成ヲ期セントスルニ在リ。元來市區改正條例ニ依レバ、市區改正委員會ハ事業ヲ議定シ、市會ハ之ガ收支豫算ヲ議スルモノニシテ、市會ハ是レ以上ニ出デ、之ガ削減ヲ爲スノ權ナシ。一二年ノ延期ハ論ズルニ足ラズト雖、若シ夫レ永年ニ亘ランカ、今日ノ十八萬圓ハ、後日何十萬圓トナルヤモ得テ知ルベカラズ。

木村莊平君　本員ハ芝公園十六號取拂費(壹萬九千圓)ノ原案復活ヲ望ム。

銀林綱男君　芝公園ノ取拂ハ訴訟繫爭中ナルモ、取拂區域內ノ寺院ノミハ承諾セリ。然ルニ移轉費ヲ支出セザルハ自家撞着ナリ、故ニ原案通復活スベキナリ。又三十間堀モ、中央停車場ノ設置決定ト共ニ必要トナリ、且ツ來年六月ヲ以テ期間滿了ノ見込ナル靑物市場ノ指定地ナルヲ以テ、之ヲ削除スルハ移轉ノ實行ヲ妨グル事トナルナリ。市區改正委員會ガ議定セルモノヲ削除シ、又ハ增加スルハ、職務ノ衝突ヲ來スモノナリ。宜シク原案ヲ復活

スベシ。

城數馬君　市區改正事業ノ繰越ハ其ノ實例ニ乏シカラズ。委員會ハ大體ニ於テ、事業ト豫算トハ相伴ハザルベカラズトノ方針ニテ、全會一致ヲ以テ決シタルモノニシテ、最モ不急ナルモノヲ選擇シタル結果、芝公園ハ往來ニ差支ナキヲ以テ、之ヲ削除シタルナリ。尚三十間堀ハ、靑物市場トハ無關係ナリ。

杉原榮三郎君　岡田君等ハ、內務省ヲ恐ルヽコト恰モ鬼神ノ如シ。先般明治三十五年度追加豫算トシテ市區改正費ノ提案セラレタル際、委員會ニ於テ之ヲ否決スルヤ、岡田君ハ內務省ニ駈付ケ、市會ガ同豫算ヲ否決シタル趣ヲ告ゲタルニ、內務省ノ某書記官ハ市會ガ左樣ノコトヲ爲サバ、內務省ハ命令權ヲ以テ執行セシメントノ威嚇シタリト聞ク。然レドモ城君所說ノ如ク、縱ヒ內務省ノ委員會ニテ決シタルモノナレバトテ、之ニ盲從セザルベカラサル理由ナシ。由來市區改正委員會ハ、其ノ組織ニ於テ東京市會ヨリ十人、市參事會員其他市ノ理事者モ加ハリ居レルモ、所謂役人ノ數多ク、爲メニ往々市民ノ經濟ヲ顧ミズ、唯法律ガ百萬圓迄ヲ許可シ居レルヲ以テ、百萬圓ノ事業ハ飽迄之ヲ執行セザルベカラズト爲セリ、從テ市民ノ困難名狀スル能ハズ。今ヤ東京市ノ經濟ハ萎靡振ハズ、市民ハ塗炭ノ苦ミヲ爲シツヽ、涙ヲ呑ンデ納稅ノ義務ヲ果スノ現狀ニ在リ。苟モ市民ヲ代表セル市會議員タル以上ハ、市民ノ利害ヲ攻究シ、出來得ル限リ經濟上ノ事情ヲ洞察スル所ナカルベカラズ。故ニ內務省ガ議定シタルモノハ、其ノ年度內ニ執行セザルベカラズトノ觀念ヲ打破セント欲スルモノナリ。

松長光吉君　東京市民ガ、市區改正費ノ負擔ニ堪ヘズト云フハ、市民ノ體面ヲ汚ス意見ナリ。又議決權ニ關シ、內務省ノ意見ヲ打破シテ、一時ノ快ヲ貪ルガ如キ發言ハ、杉原君平生ノ精神ニ背クモノナリ。尚又事業ノ遲ルヽハ理事者ノ採リタル方法ノ惡キガ爲メニシテ、能ハザルニアラズ、爲サヾルナリ。市會ノ議決ヲ實行スル能ハザルハ決シテ市民ノ罪ニアラズ。市會ノ罪ニモアラズ。故ニ市會ノ議決ヲ實行セシメザルハ、自ラ議決權ヲ蹂躙スルモノナリ。

鹽鴎仁吉君　市會ガ市區改正委員會ノ議定シタル全部ヲ削除セヾ、或ハ更ニ市區改正委員會ニ交涉スルヤ。

市長　全部削除シタル場合ハ、認可ヲ請ハザルナリ。

斯テ採決ノ結果、芝公園第十六號地ノ取拂ニ關シテハ、委員會ノ削除意見ハ少數ニテ否決サレ、原案ニ復活セリ。歲入ニ移リテ、**城數馬君**ハ、芝公園第十六號地取拂費ノ復活ニ伴ヒ、之ガ財源トシテ、家屋稅一戶當壹錢ヲ九厘（委員ノ修正ハ八厘）トスレバ、壹萬貳千五百九拾六圓九拾五錢參厘トナル故、不足ハ豫備費ヲ減ジテ補充シ、權衡ヲ取ルベシトノ意見ヲ提出シ、異議ナク城君ノ意見ニ決定、其他ハ委員會ノ修正通可決シ、三十間堀埋立及ビ新鑿ニ關スル費用ヲ削除セリ。（第五章第三節參照）

水道歲入出總計豫算

歲入出	原案額	委員會修正額	市會決定額
歲入	一九九、〇〇五・二四九圓	一九五、九一一・〇二九圓	委員會報告通
歲出	一九九、〇〇五・二四九	一九五、九一一・〇二九	委員會報告通

二月十八日ノ第一讀會ニ於テ**大柴四郎君**ノ動議ニ依リ、議長指名五名ノ委員ニ調査ヲ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ如ク選定セリ。

伊東與三次郎　鹽島仁吉　城數馬　橫田清兵衞　松長光吉

委員ハ豐島仁吉君ヲ委員長ニ推シ、審査ノ末、三月二十八日ノ會議ニ於テ、豐島委員長ハ調査ノ顚末ヲ報告シテ曰ク、技師其他ノ人件費及ビ請願巡査ニ代フルベキ守衞ノ增員ヲ爲シタリ。尙需要費ニ於テ、昨年降雨ニテ、上水ノ濁濁セルヲ沈澄セシムル爲、試驗的ニ三日間明礬ヲ投入スルコト、セルガ、成績十分ナラザリシヲ以テ、本年ハ十五日間試驗セントテ沈澱費ヲ計上シタルモ、五日間ノ費用即チ三分ノ一ニ減額セリト。大柴四郎君問ウテ曰ク、昨年ハ試驗的ナルヲ以テ費用ヲ半減シタルガ、其方法ハ淀橋ニ至リテ本員ノ檢分スル所ニ據レバ、兒戲ニ類スル方法ニシテ結果十分ナラズ。其後更ニ試驗中ト聞キシガ、其結果如何。而シテ費用ハ、一回ニ幾許ヲ使用セリヤ。又本年ノ試驗方法ハ、昨年通リナリヤ、或ハ改良シタル方法ヲ案出セルヤ如何ト。豐島委員長是ニ答ヘテ曰ク、昨年ハ雨量少カリシ爲メ充分ナル試驗ヲ爲スニ適セザリシト聞ク。本案ハ器具其他ニ參百圓ヲ計上シ、且昨年ノ經驗ニヨリ方法ヲ改良シタルヲ以テ十分功ヲ奏スル確信アリトノ說明ヲ得タリ、勿論此ノ試驗ハ姑息ナルモノナリト雖モ、試驗的ニ五日間位施行スルコトヽ爲セリト。次イデ助役吉田弘藏君ハ、昨年ハ三日間ニシテ費用參百圓ヲ計上シタリ。本年一月澗濁ノ際、始メテ一回ノ試驗ヲ行ヘルモ、十分ノ成績ヲ認ムル迄ニ至ラズ、多少不完全ノ所アリタレバ、本年ハ改良シテ、十分試驗ヲ遂グベシト辯明シ、質問以外意見ナク、本案ハ委員會ノ修正通可決セリ。

市有地經濟特別整理ノ件

本市有地ヨリ生スル收入竝ニ市有地管理ニ屬スル費用ハ、明治三十六年度ヨリ特別會計トシテ之ヲ整理スルモノトス。

歲出　市有地　自明治三十六年度　至明治四十年度　繼續歲出總計豫算　金貳拾壹萬八千七百參拾八圓九拾五錢五厘

（○印ハ委員會修正、一印ハ原案削除）

內譯

明治三十六年度支出額	五三、七一七、八五圓
明治三十七年度支出額	九〇、五一三、六五五
明治三十八年度支出額	八〇、四八四、一〇〇
明治三十九年度支出額	七四、五〇七、四五
明治四十年度支出額	六四、四七七、八五
	一二、六〇〇、〇〇
	七、四五九、一五五

市有地明治三十六年度歲入出總計豫算

歲入　金八萬八千貳百九拾圓六拾九錢五厘

歲出　經常費　金貳萬千百八拾參圓參拾七錢五厘

歲出　臨時費　金六萬七千百七圓參拾貳錢

歲出　合計　金八萬八千貳百九拾圓六拾九錢五厘

明治三十六年度歲入出追加總計豫算

		原案額	委員會修正額	市會決定額
歲入		一四、九三三、一二四圓	三〇、五〇五、八六一圓	委員會報告通
歲出		一四、九三三、一二四	三〇、五〇五、八六一	委員會報告通

以上四議案ハ三月十六日ノ會議ニ於テ、議長指名五名ノ委員ニ調査ヲ附託スルコトニ決シ、議長ハ委員ヲ左ノ如ク選

定セリ。

名子新七　岩谷松平　岡田榮一　丸山名政　下村四郎

委員ハ**岩谷松平君**ヲ委員長ニ推シ、審査ノ末、三月二十八日ノ會議ニ於テ、**岩谷委員長**ヨリ、市有地經濟特別整理ノ件ハ、原案通可決シ、市有地（自明治三十六年度至明治四十年度）繼續歳出總計豫算五箇年ノ繼續期間ヲ三箇年ト修正シタルハ、實地調査ノ結果、五箇年ト爲セバ、市モ借地人モ兩者共ニ却テ損害ヲ蒙ルガ故ナリト說明シ、異議ナク何レモ委員會ノ報告通可決セリ。次ニ市有地明治三十六年度歳入出總計豫算ニ關シテハ、**岩谷松平君**ヨリ少數委員ノ意見トシテ、豫算表中、歳出臨時費第一款第一項ニ、更ニ新佃島及月島第一號地溝渠改造費金四萬壹千百拾七圓八拾五錢、第二月島及新佃島盛土費金壹萬貳千六百圓ヲ加ヘンコトノ修正意見ヲ提出シ、採決ノ結果、多數ニテ此ノ點ノ修正アリシモ、豫算總額ニハ異動ナク、明治三十六年度歳入出追加總計豫算ハ、委員長ヨリ前表ノ如ク修正シタル旨報告アリ、是レ亦委員會ノ報告通可決セリ。

公園歳入出總計豫算

歳入出	原案額	委員會修正額	市會決定額
歳入	七六、一四七・三五八円	四三、一一三・一六六円	委員會報告通
歳出	四三、五二四・二八六	委員會報告通	委員會報告通
歳入出差引殘金	三二、六二三・〇七二	三三、〇三四・一九二	委員會報告通

但公園改良準備金ニ編入スルモノトス

本案ハ二月十八日ノ會議ニ於テ、議長指名五名ノ委員ニ調査ヲ附託スルニ決シ、議長ハ委員ヲ左ノ如ク選定セリ。

秋　虎太郎　森田鉞三郎　木村莊平　松島　剛　佐治實然

委員ハ**木村莊平君**ヲ委員長ニ推シ、審査ノ末、三月二十八日ノ會議ニ於テ、委員會ノ修正顚末ヲ報告シテ曰ク、淺草公園費中賄費ニ修正ヲ加ヘ、電燈新設ニ代フルニ、瓦斯燈ヲ以テセリト。**城數馬君**、淺草公園花屋敷ノ藤棚附近ニ、數年來仲店ヨリ一層汚キ玩具樣ノ物ヲ販賣スル店アルハ、如何ナル條件ヲ以テ許可セルモノナリヤト質シ。**松田市長**ハ、明治三十三年一月中花屋敷經營主ヨリ六區ニ通ズル場所ニ當リ、日曜其他祭日等ニ行商ノ徘徊スルニ依リ、見苦シカラザル販賣店ノ建設ヲ許可サレタシトノ出願アリ、調査ノ結果、年限ヲ十五ケ年トシ、販賣店ニハ美術品ヲ陳列スルコト、其他二三ノ條件ヲ附シテ許可シタルモノナリ。爾來條件通リ實行シ居ルヤ否ヤニ付注意ヲ拂ヒツヽアリト答ヘ。**城君**更ニ問ウテ曰ク、理事者ハ條件通リ履行シ居ルモノト認ムルヤ、又若シ條件ヲ履行セズトセバ、如何ナル處置ヲ採ランコトスルヤト。**松田市長**ハ、若シ條件ヲ履行シ居ラズトセバ立退ヲ命ズル積リナリト答ヘ。質問以外意見ナク、委員會ノ報告通可決セリ。

第四節　小松宮殿下薨去ニ付哀悼ノ意ヲ表スル爲市會休會

二月十八日ノ會議ニ於テ豫算討議ノ際、**仁杉議長**ヨリ、諸君ニ報告スベキコトアリ、而カモ皇族ニ關スル事ナルヲ以テ、敬意ヲ表スル爲メ一同起立アリタシト求メ、全員起立シタル上、左ノ報告ヲ爲セリ。

元帥陸軍大將大勳位彰仁親王殿下御異例ノ處、十八日午前三時薨去遊バサレタル趣、拜承セリ。

右報告後、議長ハ本會ハ哀悼ノ意ヲ表スル爲メ、本日ハ休會セント欲ス。尙御葬儀ニ關シテハ、有栖川宮殿下薨去ノ

際ノ例ニ做ヒテ取計フベキ旨ヲ諮リ、滿場異議ナク、議長ノ意見通リニ決セリ。

其後同妃殿下ヨリ本市ニ對シ金壹萬圓御寄附アリタルニ付、三月十六日ノ會議ニ市參事會ヨリ左ノ議案提案アリ、滿場異議ナク原案通可決セリ。

第二十八號

御寄附金受領ノ件

一金壹萬圓

右ハ今般　故彰仁親王殿下ノ御遺志ヲ繼ガセラレ、同妃賴子殿下ヨリ本市ニ御寄附相成、全市中ノ貧民救恤ノ資ニ供スヘキ御思召ヲ以テ、其施行方法ハ擧ケテ本市長ニ一任セラルヘキ趣ニ付、受領ノ上本市養育院基本財產ニ加入シ、同財產中特ニ故彰仁親王殿下御寄附金ノ科目ヲ設置シ、永遠同院經費ニ充用スルモノトス。

明治三十六年三月九日提出

東京市參事會

東京市長　松田秀雄

第五節　淺草公園煉瓦仲店借家料改正

第十九號

淺草公園煉瓦仲店借家料改正ノ件

淺草公園煉瓦仲店借家料ハ來ル明治三十七年一月分ヨリ左ノ通リ改正スルモノトス

	現在借家料	改正借家料
東側建家一坪ニ付一箇月	壹圓七拾六錢	貳圓　拾　錢
西側建家一坪ニ付一箇月	貳圓貳錢七厘	貳圓四拾錢

說明　淺草公園煉瓦仲店借家料ハ低廉ニ失スルト認ムルニ依リ、來ル明治三十六年十二月借家期限滿了ヲ待チ、本案ノ通リ改正スルモノトス。

本案ハ二月十九日ノ會議ニ上程セラレ、**佐治實然君**、仲店ノ借家料ハ一坪當ヲ揭ゲアルモ、一戶ノ料金如何。又借家人自カラ營業ヲ爲サズ、借家權ト稱シ、出願人ハ一戶拾貳圓乃至拾五圓ノ相場ヲ以テ權利ノ賣買ヲ爲シ居レル由、市ノ營造物ハ私有物ニアラザルヲ以テ、時價相應ニ賃貸スル事ナク、破格ノ廉價ニ賃貸スルガ故ニ借家權賣買等ノ弊ヲ生ズルニアラズヤ。理事者ハ今日ノ賃貸料ヲ時價相場ト認ムルヤ否ヤ、而シテ借家權ノ賣買ノ隱密ニ行ハレ居ルヤ否ヤヲ調査シタル事アリヤ如何ト質シタルモ。理事者ノ答辯ニ先ダチ、**銀林綱男君**ヨリ、三十六年度ノ公園總豫算ト同一委員ニ調査ヲ附託スベシトノ動議提出アリ、贊成者多數ニテ、銀林君ノ動議ヲ可決セリ。

斯テ委員ハ調査ノ末、三月二十八日ノ會議ニ左ノ報告ヲ爲シタリ。

第十九號議案調查委員意見報告

委員ハ再應集會審案覆查ノ末、原案ヲ以テ相當ナリト認メ可決セリ。

右及報告候也

明治三十六年三月二十一日

調査委員

秋　虎太郎　森田鉞三郎
木村莊平　松島　剛
佐治實然

東京市會議長仁杉英殿

城數馬君先ヅ問ウテ曰ク、本案ハ畢竟第七號議案、即チ公園總豫算ノ一部分ナルヲ以テ、第十九號議案ヲ提出スル必要アリトセバ、第七號議案ニ先ンジテ提出スルヲ順序トスベシ。然ルニ事實ハ之ニ反シタル理由如何ト。**關幸太郎君**ハ、料金以外、身元保證金ヲ徵收シ居レル由ナルモ、其金ハ之ヲ保存シ居ルヤ否ヤト質シ。助役**浦田治平君**ハ、豫算ヲ以テ値上ゲスルコトハ、幾分其理由ニ缺クル所アルノミナラズ。明年一月ヨリ値上ヲ爲スコトヽナリ居ルヲ以テ、豫告ト云フ意味ニ於テ、事件議案トシテ本案ヲ提出シタルナリ。尚關君ノ質問ニ關スル敷金ハ、一ケ月五圓ノ家賃ニ對シテハ、參拾五圓、即チ七ケ月分ナリト答ヘ。**城數馬君**ハ、理事者ノ答辯要領ヲ得ズトテ、更ニ說明ヲ求メタルニ、**浦田助役**ハ、本年ノ豫算ニハ一向關係ナキヲ以テ、別ニ來年一月ヨリ値上ゲスベキ提案ヲ爲シタルナリト答ヘ。**城數馬君**ハ、本年ノ豫算ニ關係ナシトハ不可思議ナリ。三十七年三月迄ハ會計年度ナルヲ以テ、理事者ノ關係ナシト云フハ七號豫算ニハ値上ゲヲ組込マズ、十九號議案ノ決定ニ依テ其結果七號議案ノ家賃ヲ增加スル意味ナリヤ如何。ト問ヒ。**浦田助役**ハ、七號議案ニ直接關係ナシト云ヘルハ失言ナリ。兩者提出ニ前後ヲ生ジタル理由ハ、普通豫算ハ號數ヲ逐ウテ提出シ居レド、本案ハ普通豫算ニアラザル爲メナリト辯シ。**肥塚龍君**ハ、豫算案ヲ先キニ提出シテ、法律案トモ云フベキ事件案ヲ後ヨリ提出スルハ順序ヲ誤レルモノナリ。理事者ノ說明ハ不得要領ナリト難ジ。**城君**ハ、七號議案ハ三十六年二月十二日、十九號議案ハ二月十八日ノ提出ニシテ、此間一週間ノ期間アリ。十九號議案議決ノ結果、縱令三ケ月分ナリ、二ケ月分ナリ、家賃增額セバ、其增額シタル家賃ヲ計上シタル豫算ヲ提出セザルベカラズ。若シ十九號議案ハ假ニ理事者ノ言フガ如ク關係者ニ告知スルニ止マルモノトセバ、本案ニ添ヘタル說明ハ不必要ナリ。仍テ本案ト豫算トノ關係ノ有無ヲ判然聞クヲ得ント質シ。**浦田助役**ハ、先ヅ事件議案トシ本案ヲ提出シ、然ル後七號公園豫算ヲ提出スルヲ以テ順序ト爲スベキモノナルヤモ知ルベカラズト雖モ、從來豫算ニ據テ、値上ヲ決議セル例アリ。然レドモ値上ゲニ就イテハ別ニ提案スルヲ相當ト信ジタルナリト辯明シ。**丸山名政君**ハ、形式上ヨリ論ズレバ議論アルベシト雖モ、實體上市會ノ權限ニ關係スル問題ニアラザレバ、速ニ本案ニ付テ可否ノ討論ニ入ルベシト望ミ。**森田鉞三郎君**ハ、如何ナル標準ヲ以テ家賃ノ高低ヲ云々スルヤ。若シ夫レ賣上高ニ依ルトスルモ、多額ノ賣上高ヲ示シツヽアル極メテ少數者有ルノ故ヲ以テ、賣上少キ多數者ノ家賃ヲ引上グルハ不合理ナリ。公園ノ仲店ハ一種特別ナル所ナルノミナラズ、本年ノ如キ、不景氣ノ際理由ナク家賃ヲ引上グルハ不當ナリトテ、否決說ヲ主張シ。**關幸太郎君**之ニ贊成シ。**坪谷善四郎君**ハ、年々交通機關ノ發達ニ依テ、地方人ノ東京ニ出ヅルモノヽ、第一ニ集マルハ、淺草ナルコトハ、鐵道馬車ノ乘客ノ增加ニ徵シテ明ナレバ、値上ゲハ當然ナリトテ、原案ニ贊成シ。**大柴四郎君**ハ、關君ノ反對說ヲ駁シテ、原案ニ贊成セリ。斯テ採決ノ結果、森田君ノ廢案說ハ少數ニテ、原案通可決セリ。

第六節　上水道事業

▽井ノ頭貯水池調査ノ件

明治紀聞　第六章　明治三十六年　第六節　上水道事業

第二十九號

水道明治三十六年度歳入出追加總計豫算

歳　入　金參千八百參拾五圓

歳出經常費　金參千八百參拾五圓

内譯

歳　入

第一款　市公債償還基金ヨリ受入　三、八三五・〇〇〇

歳　出

經常費

第一款　水道費　三、八三五・〇〇〇

第七項　水源水路費　三、八三五・〇〇〇

本案ハ三月十六日ノ會議ニ上程サレ、**吉田助役**提案ノ理由ヲ說明シテ曰ク、昨年八、九月ノ交、降雨ノ爲メ上水澗濁シタルヲ以テ、其後水源水路ヲ調査シタルニ、此ハ貯水地不充分ノ故ニシテ、之ガ豫防ニハ貯水池增設ノ必要アリ。幸ニシテ井ノ頭ヲ得タルモ、未ダ側量其他地質ノ調査等ニ着手ノ運ニ至ラズ。本案ハ是等ニ要スル豫算案ナリト。次イデ**靑木庄太郎君**ノ動議ニ依リ、水道明治三十六年度歳入出總計豫算調査委員ニ本案ヲ併託スルニ決シ、委員ハ審査ノ末、三月二十八日ノ本會議ニ於テ、左ノ報告ヲ爲セリ。

第二十九號議案調査委員意見報告

委員ハ實地ヲ踏査シ審議ノ末、原案ヲ相當ナリト認メ可決セリ。

明治三十六年三月二十三日

調査委員

鹽島仁吉　吉田幸作

伊東與三次郎　松永光吉

横田清兵衞

東京市會議長仁杉英殿

而シテ**鹽島委員長**ハ、委員會ノ調査顚末ヲ說明シテ曰ク、淀橋ノ沈澄池ハ、長時間沈澱セシムルコト能ハザルヲ以テ、澗濁ヲ豫防スルニハ井之頭ノ池ヲ中心トシテ、二十五萬坪ノ大貯水池ヲ設クル爲メ、之ガ調査ヲ六箇月間ニ亘リテ行ハント欲スルニアリ、仍テ委員會ハ原案通リ之ヲ可決シタリト。**靑木庄太郎君**ハ、今日ニ至テ濾過池ガ不完全ナリトハ、不可解至極ナリ。年々歳々、大雨ハアレド十數年來何事モナカリシニ、三十五年ニ限リテ起リタルモノナリヤ。抑〻其原因如何ト質シ。**關幸太郎君**ハ、地質調査ノ結果如何ニ拘ハラズ、貯水池ヲ設クル目的ナリヤト問ヒ。**吉田助役**、澗濁ノ際貯水池ノ水ヲ供給シ得バ、昨年ノ如キ憂ナカルベキヲ以テ、此調査案ヲ提出シタルナリ。又大貯水池ノ位置ハ、目下ノ所他ニ見出サヾルナリト答ヘ。**野々山幸吉君**ハ、第三擴張工事ノ計畫アリト聞ク。故ニ本案ハ之ヲ撤回シテハ如何ト諮ヒ。**吉田助役**ハ、第三擴張工事ハ取調中ナルモ、其中ノ沈澄池ハ僅ニ十二時間ヲ貯水シ得ルニ過ギズシテ、十日間モ沈澄シテ良水ヲ貯溜スト言フニ非ザルナリ。殊ニ井之頭ハ淀橋ニ比シテ年數ヲ要シ、豫メ設備ヲ爲シ置クニ非ザレバ支障ヲ生ズルヲ以テ、本案ヲ提出シタルナリト辯明シ。**丸山名政君**、余ハ原案ニモ亦委員ノ意見

ニモ反對ナリ。本案ハ僅カ參千餘圓ノ追加ヲ求ムルニアレド、其內容ニ至リテハ畢竟水道設計ノ不完全ナルヲ表白スルモノニシテ、設計者ノ責任問題ナルベシ。玉川ノ沿道ニ不潔ノ露渠アリテ、大雨ノ際涸濁スルハ今日ニ始リタルニアラズ。今回ノ降雨ハ四十年來ノ事ニシテ、上水涸濁ノ原因ヲ容易ニ知ル能ハザリシト云フト雖モ、斯ル事實ノ調査ヲ爲シ得ザリシトセバ、此大工事ノ遂行ヲ一任スル能ハズ。要スルニ上水ノ涸濁ハ設計ノ誤ナリ。故ニ理事者ノ說明スルガ如キ理由ヲ以テ百五拾萬圓ヲ支出シ、新ニ井之頭ヨリ水ヲ引カントスルガ如キハ、大早計ニシテ、今日ハ熟考スベキ時機ナリ、若シ夫レ理事者ガ野々山君ノ說ニ從テ撤回セザル以上ハ、之ヲ否決スベキナリト力說シ。**壁島仁吉君**ハ、此調査ハ設計ノ誤ヲ表白スルモノナリト云フモ、技師長ヲ責ムルニハ餘リニ酷ナリ。寧ロ此事實ヲ知ラザリシハ、自己ノ無學ヲ表白スルモノナリ。東京市ハ此大事業ヲ經營シ、一方ニハ水料ヲ市民ヨリ徵收シテ良水ヲ供給スルコトヲ約シタル以上、水ノ涸濁ヲ調査スル如キハ、東京市會ノ責任ナリ。調査ノ結果、大事業ヲ起スベキヤ否ヤハ他日ノ問題ニシテ、東京市ノ經濟ニ鑑ミ、大工事ヲ爲スヲ不可ナリトセバ、其時否決シテ可ナリ。然レドモ今日ハ調査ノ是非ノ問題ニシテ、調査ヲモ爲サヾルガ如キハ斷ジテ不可ナリト論ジ。贊否ノ兩論アリタルガ、採決ノ結果、丸山君ノ廢案說ハ少數ニテ敗レ、原案通可決セリ。

▽狹山其他ノ汚水排除ノ件

第九十號

東京市水道自明治三十六年度至明治三十七年度繼續歲出總計豫算

歲入出	原案額	委員會修正額
歲出	一一三、七四五・四二一	一〇四、〇一〇・八六八

內譯

	原案額	委員會修正額
明治三十六年度支出額	四六、八三〇・〇〇〇	市會決定額
明治三十七年度支出額	六六、九一五・四三〇	原案通

說明　玉川上水々路沿岸及狹山池等ノ汚水降雨ニ際シ、水路ニ流入シ爲メニ水質ヲ汚濁ナラシムルニ依リ、之ガ防備ノ方法トシテ護岸改修竝排水工事等ノ必要ヲ認メ、依テ本案ヲ提出ス。

本案ハ六月十五日ノ會議ニ上程、**壁島仁吉君**ノ動議ニ依リ、議長指名左記五名ノ委員ニ調査ヲ附託スルニ決シ、議長ハ委員ヲ左ノ如ク選定セリ。

鹽島仁吉	伊東與三次郎	杉原榮三郎	古川孝七
山口善兵衞			

委員ハ**壁島仁吉君**ヲ委員長ニ推シ、審査ノ末、七月十三日ノ會議ニ左ノ報告ヲナセリ。

第九十號議案調査委員意見報告

委員ハ實地ヲ踏査シ再應集會審議ノ末、原案ヲ相當ト認メ可決セリ。

右及報告候也。

明治三十六年七月三日

調査委員連名

議長宛

壁島委員長先ヅ委員會ノ經過ヲ說明シテ曰ク、大雨ノ際羽村及福生附近上水路排水及狹山池ノ惡水ハ、延長一里程ノ

所ヲ買收シテ之ヲ多摩川本流ニ排棄セントスル計畫ニシテ、本案ノ計畫ハ水質ヲ善良ニシ、市民ノ保健衞生上至當ノモノト考ヘ、原案ヲ可決セリト。**野々山幸吉君**ハ、水源水路費一割減ノ修正說ヲ提出セルニ。**杉原榮三郎君**ハ、委員ガ暴風雨ヲ侵シテ調査シ、而シテ原案ヲ相當ナリト認メテ可決シタルモノナルニ、一個人ノ調査セル報告ヲ以テ、議事ノ變更ヲ爲サントスルハ穩ナラズト反對シ。**青木庄太郎君**ハ、委員諸君ハ一回ノ視察、野々山君ハ數回出張シテ、熱心ニ調査シタルモノナレバ、野々山君ノ一割減ハ相當ナリト信ズト述ベ。**城數馬君**モ亦修正說ニ贊成シ、且ツ曰ク、杉原君ガ委員タリシヤ否ヤハ知ラザルモ、一個人ノ調査セル意見ニ贊成スルハ不穩當ナリトノ一言ハ、野々山君ニ對シテ甚ダ禮ヲ失シタルモノナリ、仍テ將來注意セラレタシト望ミ。採決ノ結果、野々山君ノ護岸改修汚水排除費一割削減、即チ九萬七千參百四拾五圓六拾參錢ヲ八萬七千六百拾壹圓六錢八厘トスル說ハ贊成者多數ニテ可決セリ。

明治三十六年十一月十日提出

東京市參事會

東京市長　尾崎行雄

▽保安林編入申請ノ件

第百六十一號

保安林ニ編入申請ノ件

一　山梨縣東山梨郡神金村萩原山御料林　　約三千町歩

一　山梨縣北都留郡丹波山村小菅村東京府有林　　二百三十二町二反五畝二十歩

右本市水道ノ水源涵養ノ爲メ保安林ニ編入ノ申請ヲ爲スモノトス

明治三十六年十一月十日提出

東京市參事會

東京市長　尾崎行雄

說明　右山林ハ本市水道ノ水源トシテ多大ノ關係アルニ拘ラス、漸次荒廢ニ歸シ、府有林ノ如キ目下造林ニ着手中ナルモ、尙現狀ニ安ンスヘカラザルモノアルヲ以テ、之カ營林及保護ノ途ヲ講スルノ必要ヲ認メ、本案ヲ提出ス。

本案ハ十一月十二日ノ會議ニ上程サレ、**宮川鐵次郎君**、本案ノ保安林ニ編入セントスル土地ハ、東京府ニ於テ最早拂下ヲナシタルヤニ聞クモ事實果シテ如何ト質シタルニ。助役**丸山名政君**、入札無效トナリ、拂下ハ未シト答辯セリ。斯テ他ニ意見ナク、直チニ原案通可決セリ。

▽上水道擴張豫算

水改第四百四十一號

東京市區改正（自明治二十四年度至明治三十九年度）臨時費中（自明治三十六年度至明治三十九年度）繼續歲入出總計豫算

歲入　金七拾九萬參千四百六拾五圓四拾八錢貳厘

歲出　金七拾九萬參千四百六拾五圓四拾八錢貳厘

內譯

明治三十六年度支出額	四九、九三一・四八七	圓
明治三十七年度支出額	五二五、五三六・八一〇	
明治三十八年度支出額	一八五、六五三・九七八	
明治三十九年度支出額	三二、三四三・二〇七	

豫算表

歳入

第一款　市公債募集金	七一六、〇〇〇・〇〇〇円
第二款　市水道準備積立金ヨリ受入	七七、四六五・四八二

歳出

第一款　水道改良費	七九三、四六五・四八二円
第一項　給水線路費	三八〇、三七七・〇二〇
第二項　淀橋淨水場增築費	三六一、六一〇・二一二
第三項　事務費	二四、四七八・二五〇
豫備費	二七、〇〇〇・〇〇〇

說明　本市水道布設ハ大略其工ヲ竣リタルモ尙ホ擴張布設ヲ要スル部分アルト、給水ノ量漸次增加シ淀橋淨水場現時ノ設備ニテハ不足ヲ感スルヲ以テ、沈澄池一個、及ヒ濾過池四個ノ增設ヲ要スルニ依リ本案ヲ提出ス。而シテ之ニ對スル歳入ハ、本鄕、芝兩給水場喞筒機設備ノ設計ヲ廢止セシニ依リ、之ニ充テタル費額七拾壹萬九千圓、及水道準備積立金ノ內ヲ以テ充用スルモノトス。

本案ハ十一月十二日ノ會議ニ上程、**今井喜八君**ノ動議ニ依リ、議長指名七名ノ委員ニ調査ヲ附託スルニ決シ、議長ハ、委員ヲ左ノ如ク選定シタリ。

江崎禮二　有嶋武　江間俊一　中澤彥吉　松嶋剛
關幸太郎　石川顯一郎

委員ハ**江崎禮二君**ヲ委員長ニ推シ、審議ノ末、整明治三十七年七月十九日ノ會議ニ調査委員ノ意見報告アリタルモ延期トナリ、更ニ明治三十八年五月二十九日ノ會議ニ於テ、原案通可決セリ。

▽水道事業監査委員設置ノ建議　十二月二十三日ノ會議ニ於テ、**江間俊一君**ヨリ、水道事務ニ關シ、左ノ建議ヲ提出セリ。

市制第二十三條ニ據リ、本市水道事務ガ、果シテ市會議決通リ執行サレツヽアリヤ否ヤ、或ハ收入支出ノ正否如何、事務ノ管理妥當ナリヤ否ヤ等ニ關シテ調査セント欲ス。其理由ハ、嘗テ水道第三期擴張ニ付キ調査スル所アリシニ、第一期以來ノ總括的ノ計算モナク、其他種々ナル點ニ付キ理事者ノ處理其宜キヲ得ザルモノアリキ。兎角水道ハ大事業ニシテ、判然區別サレタル事務ナルヲ以テ、第一期第二期ガ如何ナル計算トナルヤ、數字ノ決算ニ就テハ毎年之ガ報告ヲ受クルモ、事務ノ成績ニ至リテハ明瞭ナラザルモノアルヲ以テ、此等ノ點モ調査セント欲ス。殊ニ新聞紙上、砲兵工廠ニ引用スル水道ガ臺帳ニ記載ナシトカ、或ハ多量ノ水ヲ使用スルモ水料ヲ徵收セズトカ傳フルモ、果シテ斯クノ如キ事實有リヤ否ヤ、此等ノ點ヲ調査スル爲メニ、九名ノ委員ヲ設ケラレンコトヲ希望ス。

右ニ對シ、**渡瀨寅次郎君**ハ、江間君ノ說ニハ、了解シ難キモノアリ、余モ新聞ノ記事ニ重キヲ置カザルニハアラザルモ、新聞ニ出デタリトノ理由ヲ以テ監査委員ヲ置ク如キハ、輕率ノ議ヲ免レザルベシ。殊ニ監査委員ハ、一年前ニ設ケラレタリ、其際十分調査シタランニハ、今日斯カル患ヒアリヤ否ヤ判然シ居ルベキ筈ナリ。殊ニ江間君ノ如キ、當時監査委員ノ一人タリシヲ以テ、十分職責ヲ盡サレタランニハ、帳簿ガ明瞭ナリシヤ否ヤ知悉サルベキ筈ナラズヤ、加之、水道擴張ニ關シテハ、既ニ委員ヲ設置シテ調査シツヽアルヲ以テ、其報告ヲ俟チ、眞ニ必要アラバ、其時

改メテ之ヲ設クルモ可ナルベシ。然ルニ今日突如建議ヲ提出シテ委員ヲ設ケントスルハ輕率ナリトテ、次會迄延期ヲ主張シ。**江崎禮二君**ハ、余ガ本建議ニ贊成ノ理由ハ、新聞ニ基クニアラズ、調査委員會ニ於テ、當局者ノ說明要領ヲ得ズ、第一期第二期ノ決算報告ノ如キ、數字ハ年々市會ニ報告アレド、物品ノ決算報告ヲ聞キタルコトナシ。水道事業ノ如キハ擴張ノ出來得ル限リ之ガ普及ヲ望ンデ止マザルモノナレバ、委員會ニ於テモ速ニ擴張セント欲スルモ、當局ノ答辯常ニ要領ヲ得ズ、參事會ヨリ物品ノ決算報告ヲ求メタルモ報告ナシ、因テ監査委員ノ設置ヲ至當ト認メテ贊成シタリト陳ベ。**江間君**ハ、余ニ對シ先年監査委員タリシ當時、充分其職責ヲ盡サヾルガ如キ攻擊アリシモ、幷ハ甚ダシキ見當違ナリ、嘗テ東京市ガ設ケタル監査委員ハ、云ハヾ總論ノ如キモノニシテ、市政全體ニ對シテ調査セシモノナレバ、各部毎ニ調査スルコト能ハザリシナリ。因テ今回ハ特ニ水道部ニ限リ精密ナル調査ヲ試ミントスルモノナリト辯明シ。滿場異議ナク之ヲ可決シタリ。（第七章第十二節參照）

第七節　月嶋及新佃嶋地料改正問題

第六十五號

月島及新佃島市有地貸渡料ノ件

京橋區月島及新佃島市有地貸渡料ヲ左ノ通相定ムルモノトス

一　等　地　壹坪ニ付一ケ月　金四錢五厘

二　等　地　壹坪ニ付一ケ月　金參錢

三　等　地　壹坪ニ付一ケ月　金壹錢五厘

本案ハ五月六日ノ會議ニ上程、左ノ贊否兩論アリタリ。

松長光吉君　本案ハ先般豫算ニ於テ引下ゲタルヲ、今回更ニ引上ゲントスルモノナルガ、斯クノ如キハ朝令暮改モ甚シキモノニシテ、市會ニ定見ナキヲ表白スルモノナリ。由來月島ノ地料ニハ不可思議ナル沿革アリ。明治二十五年十月、始メテ月島竝新佃島ノ地所貸渡規則設定セラレタル當時ハ、一等地一ケ月參錢、二等地貳錢、三等地壹錢ナリシガ、二ケ年後ノ二十七年十月ノ改正ニ於テ一等地貳錢壹厘、二等地壹錢四厘、三等地七厘ニ減額サレタリ。爾來三十四年迄ハ其儘ナリシヲ、七年程經過シタル後、一等地參錢貳厘、二等地貳錢壹厘、三等地壹錢壹厘ニ値上ゲシタリ。然ルニ昨年三月ノ議決ニ依リ、三十六年一月ヨリ、一等地四錢五厘、二等地參錢、三等地壹錢五厘ニ値上ゲトナリシヲ、先頃ノ豫算ニ於テ引下グルニ決シ、又モヤ今回ノ事件議案ヲ以テ値上ゲセントスルハ、如何ニモ市會ノ無定見ヲ曝露スルノ結果トナルベシ。カヽル議案ヲ提出シテ、之ガ可決ヲナサシメントスルハ市會ヲ侮辱スルモ亦甚シト言フベシ。月島及ビ新佃島ノ貸渡規則ハ十年ヲ期限トシテ契約成立シ、民法上ノ關係ヲ有スルモノナレバ、地料ノ更新期間ヲ三年若ハ三年以內ト決定スルガ至當ナルベシ。初メ月島ノ設備整ハザル頃ハ、借地人トテモ無カリシガ故ニ、保護ノ主意ヲ以テ規則ヲ設定セルモノナルベシト雖モ、今日ニ於テ依然當時ノ規則ヲ維持スルハ適當ナラズ。又借地人トノ間ニハ、適法ノ契約ヲ締結セシモノナシ。故ニ規則ヲ改正シタル後値上ヲナスヲ以テ最モ妥當ナリト信ズ。然レドモ先決問題ハ貸渡規則ノ改正ニシテ地料ノ改正ハ第二ノ問題ナリ。故ニ宜シク本案ヲ撤回スベシ。

西澤壽七君　規則ノ改正ハ當然ニシテ、後日理事者ヨリ提案センコトヲ望ム、然レドモ今日ハ三十四年度ノ議決

ヲ重ンジ、原案ニ贊意ヲ表スレドモ「但シ本年度ニ限リ左ノ通リ減額ス」トノ但書ヲ加ヘ、其減額ノ値段ハ本年市會議決ノ値段（註、一等地參錢貳厘、二等地貳錢壹厘、三等地壹錢壹厘）ト爲サント欲ス。是レ本年度ニ限リ、設備完成セザル爲メ、市會特別ノ決議ニ依リ低廉ナル値段ニ据置カントスルモノニシテ、盛土モ三分ノ一位ハ竣工シ、水道鐵管モ敷設サルヽ頃ニ値上ゲスルヲ以テ最モ妥當ナリト信ズ。

坪谷善四郎君　土地ノ貸地料ヲ上下スルニ五箇年ノ期限ヲ設クルハ、概ネ四隣ノ形勢、自然ノ發達或ハ盛衰ニ依テ增減ヲ爲ス場合必要ナルモノニシテ、月島ノ如キハ僅カ十七萬坪ノ所ニ參四拾萬圓ヲ投ジツヽアルコトナレバ、著シクソノ面目ヲ改ムルニ至ルベキヲ以テ、自然ノ形勢ニ依リ地價ニ高低ヲ生ズルモノトハ同一視スベキニアラズ。故ニ月島及ビ新佃島ノ如ク年々急激ナル改良ヲ爲シ、同時ニ其面目ヲ一新スル土地ノ貸渡規則中ニ、五箇年ヲ經過セザレバ地代ヲ增減スルコト能ハザルガ如キ窮屈ナル規定ハ、先決問題トシテ改正スルノ必要アリトノ見地ニ於テ、松長君ノ貸渡規則改正說ニ贊成スベシ。

野々山幸吉君　松長君ヨリ法律關係ノ說明アリシモ、开ハ法律家ニ一任シ敢テ容喙セザルベシ、併シナガラ余ガ事實ニ就テ取調ベタル所ニ依レバ、月島ノ地代ノ高價ナルヲ唱フルモノアルモ、成程借地ハ表面一等地ガ四錢五厘ナリ。然レドモ其借地ヲ轉貸シ居ル相場ハ如何ト云フニ、最高貳拾錢、次ガ拾六錢壹厘、七錢八厘、市ガ二等地トシテ參錢ニ貸付ケタル所ヲバ、四錢四厘、參錢七厘ノ割合ニテ轉貸ヲ爲シ、三等地モ之ニ準ジテ地料ヲ徵收シツヽアリ。故ニ地代ノ値上ニ依テ困難ヲ感ズトナスハ直接市ヨリ借地シタル者ガ自己ノ收益減ヲ苦慮スルノ謂ヒニシテ、實際地所ヲ使用シツヽアル者ハ、地代ノ增減ヲ重視セズ、一日モ早ク水道ノ敷設、溝渠ノ設備ヲ希望シツヽアリ。尙東京市ノ執ラントスル態度ノ無理ナラザル證據ハ、十有餘人ガ既ニ條件ヲ承諾シテ契約濟ナルノ事實之ヲ證シテ餘リアリ。先頃偶〻四千坪ノ返地ヲナスモノアリシガ、同時ニ又借用ヲ出願スルモノアリ。併シ何レモ入札ニ依リ高價ニ貸付ケンガ爲メ、未ダ貸付ヲ爲サズ、況ンヤ三十六年度ヨリ、月島ノ設備ニ要スル金額ハ議決トナリシモノヽミニテモ、貳拾八萬圓內外ニ達ス。個人ノ所有タルト、自治體ノ所有タルトヲ論ゼズ、貳拾八萬圓ノ支出ヲ爲シ、而モ昨年ノ決議ヨリ地代ヲ引下グルノ理由何所ニアリヤ。余ハ原案ニ贊成スルト同時ニ、規則改正ニ同意スベシ。

松長君　余ハ四錢五厘トスルヲ以テ過酷ナリト述ベタルニアラズ。野々山君ノ言フガ如ク京橋ノ目拔通ヲ四錢五厘、或ハ參錢ト云フガ如キ低廉ナル地料ヲ以テ貸渡スコトハ可能ニアラズトノ說ニハ同感ナリ。然レドモ今日決定セバ、五年間改正スルコト能ハザルガ如キコトナク、二年乃至三年ニテモ改正シ得ル事トシテ、拾錢ナリ、貳拾錢ナリニ決定スベシ。舊規則ノ儘ニテ地料ヲ決定セントスルハ、市經濟ノ爲メ不利益ナレバ、之ヲ決定スル前、是非共規則ノ改正ヲ先決問題トシテ決定スベシ。從テ本案ハ之ヲ延期スルヲ可トス。

關幸太郎君　豫算ニ於テ決議シタルモノヲ、公共ノ利益ヲ害スルトカ、又ハ規則ニ反スルトカ云フナラバ、正々堂々再議ニ付シテ可ナリ。然ルニ敢テ此ノ擧ニ出デズ、曖昧ナル名目ヲ以テ再議ニ付スルハ、當議場ヲ瞞着セントスルモノナルガ故ニ、不都合ナリ。否決ノ外ナシ。

銀林綱男君、規則ノ改正モ亦必ズシモ不可ナシ、然レドモ現ニ今借地人ヲ控ヘテ新ニ規則ヲ制定シ、而シテ之ヲ審議セントスルハ奇異ナリ。又年限ノミヲ改正スルモ要領ヲ得ザルガ如シ。本市ノ總テノ土地ハ、五箇年毎ニ增減スルヲ例トシツヽアルニ拘ラズ、二年乃至三年ノ短期間ニ於テ屢〻地代ヲ增減セバ、啻ニ煩雜ナルノミナラズ、市ノ不利益トナルナキヲ保セズ、更ニ本案ノ提出ハ違法ナリトノ說アリシモ、元來豫算ハ徵收ノ見込ヲ計上

セルモノニシテ、後年ニ渉ル事柄ヲ議決スルニハ、都合惡シカルベシ。仍テ本員ハ原案ニ贊成ス。

大柴四郎君ハ　形式ニ於テハ成程要領ヲ得ザル案ナルガ如キモ、事實ハ然ラズ。一方ニ於テ收入ヲ減ズル結果、一年ニハ壹萬有餘圓ノ損失トナル。而モ五年ヲ經過スルニアラザレバ値上ゲスルコト能ハズトセバ、七萬餘圓ノ損失ナリ。百五十萬ノ市民ハ、渺タル月島ニ對シテ、四拾幾萬ト言フ大金ヲ支出セザルベカラズ、而シテ其利益ニ均霑スルモノハ、借地人ノ中幾人ナリヤ。一部分ノ人ヲ救ハンガ爲メニ、多數市民ノ膏血ヲ絞ラザルベカラザル理由何處ニカアル。

斯クテ採決ニ當リ**野々山君**ヨリ、市制第四十三條「議員ハ自己及其父母兄弟若クハ妻子ノ一身上ニ關スル事件ニ付テハ市會ノ議決ニ加ハルコトヲ得ス」トアルニ依リ、月島ノ地所ニ關係アル議員ハ、市制ノ明文ニ依リ、又德義上ノ問題トシテ退席スベキナリトテ、氏名ノ表示ヲ求メタルモ。**中鉢美明君**ハ、從來斯ル場合ニ退席セズ、其儘決議ノ數ニ加ハリシ先例アレバ、德義上退席スルナラバ格別、强ヒテ退席ヲ求ムルハ穩ナラズトノ意見ヲ述ベ。**佐治實然君**ハ、先例ハ如何ナリトモ、本會ヲ高潔ナラシムルハ望マシキ事ナレバ、無論常識ニ訴ヘテ利害關係人ノ退席スルヲ相當ト スト述ベ。**肥塚龍君**ハ、元來先例ガ不都合ナレバ、市會ノ體面ヲ重ンズル爲メ之ガ打破ニ努ムベキハ當然ナリト說キ、**渡瀨寅次郎君**、決議ヲ爲サズ、穩ニ退席ヲ望ム旨ヲ述ベ。**今井喜八君**ハ、關係議員モアルベシ。然レドモコハ一個人ノ事ニシテ、他ノ借地人ノ權利ニ關スル決議ニ加ハルコトヲ得ズトノ德義ノ解釋ハ不都合ナリトノ意見ヲ述ベ。**仁杉議長**ハ、德義ニ訴フルコトハシ、强ヒテ決議ヲ爲ス迄モナカルベシトテ採決ノ順序ヲ述ベ、松長光吉君ノ規則改正ヲ先決問題トスル延期說ヲ採決セシニ、少數ニテ成立セズ、廢案說ハ贊成者ナキ爲メ採決セズ、西澤善七君ノ但書ヲ加フル修正案ヲ採決シタルニ、同樣少數ニテ敗レ、結局原案通可決セリ。

第八節　會議細則改正ノ建議

三月十六日ノ市會ニ於テ、青木庄太郎君外四名ハ、贊成者八名ヲ得テ、會議細則改正ノ建議ヲ提出セリ。

會議細則改正ノ建議

本會會議細則第九條中「午後第四時ニ始リ午後第九時ニ畢ル」トアルヲ「午後第一時ニ始リ午後第五時ニ畢ル」ト改正ス

青木庄太郎君ハ建議ノ趣旨ヲ述ベテ曰ク、議員中ニハ遠方ヲ夜間ニ歸宅スルヲ迷惑トスル者モアルベシ、或ハ休憩後ノ流會ヲ氣遣ヒ、喰止策ヲ爲ス等、不都合ノコトモアレバ、午後一時ヨリ五時迄ト改正セバ、會社銀行ノ重役諸君ニハ支障アランカナレドモ、近頃ハ市會モ月二三回ニ止マリ且ツ新聞紙ノ報道モ議事ノ遲ルヽニ於テハ、翌日ニ聞ニ合ハザル等、旁ミ以テ改正ヲ必要トスト述ブルヤ。**渡瀨寅次郎君**ハ之ニ反對シ、名譽職ニ從事スル以上ハ、本業ニ支障ナキ時間ヲ以テセンコトヲ希望ス。新聞紙ノ爲ニ議事ヲ爲スニアラザレバ、否決スベシト述ベ。**須藤時一郎君**、議事規則ノ改正ヲ提出シテ、即刻之ヲ議セントスルハ不同意ナリ。贊成者モアルコトナレバ、議案トシテ印刷ノ上配布シタル後審議スベシト述ベ、議長ハ、之ヲ次回ノ問題トナスベシト告ゲ、四月十三日ノ會議ニ於テ、議長ハ之ヲ議題ニ供セントシタルニ、青木君ハ欠席シタルヲ以テ、次會ニ延期トナリシガ、本建議ハ其後遂ニ議題ニ供セラレザリキ。

第九節　市納金小切手納付規程

四月十三日ノ會議ニ於テ、市稅其他ニ小切手ヲ使用セシメントスル左記議案ヲ提出アリタリ。

市納付金小切手使用規程設定ノ件　（○印ハ原案削除　○印ハ委員會修正）

東京市告示第　　號

（本）東京市ニ對スル納付金ニ小切手ヲ使用セントスル者ハ左ノ規程ニ依ルヘシ左ノ通之ヲ定ム但都合ニ依リ其使用ヲ拒ムコトアルヘシ

東京市納付金小切手使用規程

第一條　市稅及ヒ市ノ徵收スル國稅ノ納付ニ小切手ヲ使用セントスル者ハ此規程ニ依ルヘシ但都合ニ因リ其使用ヲ拒ムコトアルヘシ

第二條　納稅ニ使用スル小切手ハ左ノ條件ヲ具備スル小切手ハ之ヲ市稅及ヒ市ノ徵收スル國稅ノ納付ニ使用スルコトヲ得要ス

一　納稅者自己ノ振出ニシテ裏書ナキコト

二　支拂人ハ銀行營業者ニシテ東京交換所手形交換ニ加盟シ又ハ加盟者ニ交換ヲ委託シタルモノナルコト

三　東京市ヲ支拂地ト定メタルコト

第三條　前條ノ條件ヲ具備スル小切手ト雖モ左ニ揭クルモノハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

一　振出日附ヨリ起算シ二日ヲ經過スルモノ

二　稅金額ニ對シ手形金額ノ過剩又ハ不足スルモノ

三　納付セントスルヘキ稅ノ納期限內ニ呈示シ得ヘキ日附ヨリ起算シ二日ヲ經過スルモノ

第四條　此規程ニ依リ小切手ヲ使用シタル者ノ納稅義務ハ手形金額ノ支拂アリタル時ニ完了ス若シ呈示期間內ニ其支拂ヲ求メサリシトキハ呈示期間滿了ノ時ニ於テ納稅義務ハ完了シタルモノト看做スシ小切手ニ付テハ商法第四百四十四條ノ權利ヲ行フ

第五條　納稅ニ使用シタル小切手ノ支拂人ニシテ其手形金額ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ拒ミタルトキハ其小切手ハ納稅人ニ還付シ之ニ代ルヘキ現金ヲ納付セシム此場合ニ於テハ納稅人ニ交付シタル領收證書ハ支拂ヲ受ケタル全部又ハ一部ニ付其効力ヲ生セス

第六條　此規程ハ使用料其他市ノ收入ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ納付セシムル現金ハ租稅徵收ニ關スル規定ニ依リ之ヲ徵收ス

第七條　此規程ニ依ル納付ハ郵便遞送ニ付スルコトヲ得ス

劈頭**大柴四郎君**ヨリ、五名ノ調査委員附託說出デタルガ。**中澤彥吉君**ハ、第二條第二ノ「稅金額ニ對シ、手形金額ノ過剩、又ハ不足スル」トアルモ、手形交換所ノ交換ハ錢位ナレバ、厘位ノ場合ハ現金ヲ以テスルヤ如何ト問ヒ、**松田市長**ハ、稅金ハ分納ヲ許サヾルヲ以テ本條ヲ設ケタルナリ。然レドモ本件ヲ實行スル以上厘位モ差支ナキ樣ニ照會スル積ナリト答辯シ。**田口卯吉君**ハ、本規程第一條第一號ニ「納稅者自己ノ振出ニシテ、裏書ナキコト」トアルモ、自己ノ振

出シタルモノナラバ裏書ノアルベキ筈ナシ、其ノ裏書ナキコトハ如何ナル意味ナリヤト質シ。**松田市長**ハ、自己ノ振出ニテモ裏書ハ可能ナルヤニ聞クモ、本條ノ趣旨ハ單ニ納稅ニ對スル振出ヲ意味シ、世間ニ往々ニシテ存スル融通手形ノ性質ノモノハ、他トノ關係上手數ヲ要スルヲ以テ、一切裏書ヲ許サズ、自己ノ振出ニ限ルト爲スモノナリト答ヘ。**田口君**ハ、自己ノ振出ニ限ルト言フ趣意ナラバ、余モ亦之ヲ解スルヲ得ベシ。然レドモ元來小切手ニ裏書スルハ如何ナル場合ナリヤ。小切手ヲ振出シ、他ニ之ヲ交付スルトキニハ自己ノ裏書ナルモノハ無キ筈ナリ。將又轉輾流通ノ末、自己ノ裏書ヲ爲ス場合ヲ生ズト云フヤ。蓋シ其ノ意ヲ解シ難シ。恐ラクハ本案起草ノ當初ハ裏書ヲ禁ゼントスルノ趣意ナリシガ如キモ、自體斯程ノ小切手ニハ裏書ナキニ非ズヤト說キ。**吉田幸作君**、余モ亦田口君ト同一ノ疑問ヲ有ス。納稅ノ爲メ振出シタル小切手ハ轉輾流通スルノ理ナキヲ以テ、余ハ他人ノ小切手ヲ裏書讓渡スルハ不可ト言フ意味ナリト解スルノ外ナシト信ズト述ベ。**石川謙一郎君**、余モ亦之ニ關シ、不審ヲ抱ク一人ナリ。余ハ理事者ノ答辯ト異リ、直接市稅金取扱所ニ宛テタル小切手ヲ意味スルモノト解スルガ如何ト質シ、**松田市長**ハ、前言ヲ繰返シ、裏書アルモノト二樣ノ小切手存スルモ、其裏書アルモノハ之ヲ許サザル旨ヲ述ベ、**有島武君**、納稅者自身ノ小切手ヲ以テ直接ニ市稅金取扱所ニ宛テタルモノナラザルベカラザル意ナルコト、即チ間接ヲ禁ジタルモノナルコトヲ述ベ、次イデ**關幸太郎君**、本文但書ニ關シ其ノ如何ナル場合ニ適用サルベキヤヲ質シ、松田市長ノ說明アリ、議長ハ大柴君ノ動議ニ係ル五名ノ調査委員設置說ヲ氏名點呼ニ諮ヒ、其結果調査委員設置ニ決シ、議長ハ委員ヲ左ノ如ク選定シタリ。

吉田幸作　仁科粂四郎　今井喜八　松長光吉　關幸太郎

委員ハ**關君**ヲ委員長ニ推シ、審査ノ末、五月六日ノ本會議ニ前記ノ如キ修正意見報告ヲナシタリ。劈頭委員長**關幸太郎君**ヨリ、委員調査ノ顚末ヲ報告シタルニ、下ノ如ク應答アリタリ。**田口卯吉君**ハ、第三條第三號ノ示ス如ク、小切手ヲ以テ納稅セントスル者ハ納稅期限ノ三日前ニ爲サザルベカラザルモノトセバ、現金ヲ以テ納稅セントスル者無キニ至ルベシ。若シ斯ノ如キ事實ヲ生ズル事アランカ、小切手ヲ以テ納稅シ得ルノ規定ヲ設ケタル趣旨ヲ沒却スルニ至ルベシ。**關君**、此ノ事ニ就イテハ研究ヲ重ネタルガ、三日前ニセザルベカラザルコトナレバ、田口君ノ說ノ如ク、納稅者モ小切手ヲ以テスルヲ不便トスベシト論ジタルモ、理事者ニ於テ三日ノ期間ヲ存セズンバ、取扱ニ困難ヲ來スヲ以テ止ムヲ得ザル由ナリシヲ以テ、修正ヲ爲サザリキ。**佐治實然君**、「但都合ニ因リ其使用ヲ拒ムコトアルベシ」ノ意義如何。此意義曖昧ナルヲ以テ、區役所出張ノ銀行員ト納稅人トノ間ニ見解ノ衝突ヲ惹起スル虞ナキヤ。**關君**、一見曖昧ナルガ如キモ、寧ロ適當ナル規定ト言フベシ。小切手ニハ信用アルモノト之ナキモノトアリ。信用ナキ小切手ハ之ヲ受取ラザラントスルモ、納稅者ニ對シテ信用ナキヲ以テ受取ラズト直言スルハ議論ヲ生ジ易ク、甚ダ穩當ナラズ。故ニ本但書ヲ設ケテ之ニ依ルモノトセバ最モ適當ニ之ヲ拒ムコトヲ得ベシ。右ハ實際取扱上ノ問題ナリ。**田口君**、三日ヲ二日或ハ其レ以下ニ短縮シテハ如何。助役**浦田治平君**、本問題ニ關シテハ、理事者側ト納稅者側トハ立場ヲ異ニスルヲ以テ、此兩者ヲ滿足セシムルハ到底不可能ノ事ニ屬ス。因テ双方ノ都合ヲ考慮シテ、三日トナセルナリト答フ。以上ノ質疑アリテ後、**大柴四郎君**、修正第二條ノ要件ヲ具備セザルモノハ、拒絕スルコトヲ得ベキニ依リ、但書ハ不用ナルベシト論ジ、**關君**ハ、表面要件ヲ具備スルモ、振出シタル後、支拂銀行ニ預金ナキ場合アルヲ以テ之ヲ存シタリト答ヘ、**佐治君**ハ、但書ノ使用ヲ拒ム一項ヲ省クベシトノ意見ヲ述ベ、委員ノ一人タル**吉田幸作君**ハ、不渡リノ場合ヲ說明シタル後、素人ニハ解シ難カルベキモ我々ノ如ク商賣上經驗アル者ヨリ見レバ、斯クノ如キハ往々ニシテ之アリ、又田口君ハ納期末日ニ至リ

テ小切手ノ通用セザルトキハ、折角便利ナル方法ヲ作リナガラ、一方ニ於テ之ヲ妨グルガ如キ結果トナルガ如何トノ疑ハ尤ナルモ、成程市稅ノミヲ取扱フ場合ニ於テハ、納期末日ニテモ支障ナケレド、國稅ノ如キハ、翌日交換所ニ於テ、交換結了ノ上ニアラザレバ、大藏省ニ於テ承認セザルヲ如何セント辯明シ、結局委員會修正通可決セリ。

第拾節　故須藤時一郎君表彰ノ件

五月六日ノ會議ニ於テ、「淺草區一級選出市會議員須藤時一郎君本年四月十五日死亡ノ旨當該區長ヨリ報告アリタリ」トノ報告アリ。**仁杉議長**、例ニ依ツテ議長ヨリ弔辭ヲ呈シタル旨ヲ告グルヤ、**松長光吉君**ハ、須藤君ハ市會創設以來、引續キ今日迄議員トシテ列席シ、東京市政ニ盡瘁セラレタルコト、多ク比儔ヲ見ザル所ナリ、就テハ其ノ偉大ナル功勞ヲ認メ、感謝狀ヲ贈ラントスト發議シ、滿場一致ヲ以テ之ヲ可決セリ。茲ニ於テ議長ハ右市會ノ決議ニ基キ、左ノ感謝狀ヲ贈呈セリ。

肅啓

去六日開會ノ市會ニ於テ、故須藤時一郎君ノ功勞ニ對シ謝意ヲ表スヘキ旨決議有之候ニ付、別書呈上仕候間御受納相成度候。　敬具

五月九日

須藤壯一郎殿

東京市會議長　仁杉英

（別書）

故須藤時一郎君カ明治二十二年市制施行ノ當初、市會議員トナリ、以來選擧毎ニ當選シ、或ハ名譽職市參事會員ヲ兼ネ、或ハ市會議長ニ推サレ、今日ニ至ル迄、十四年餘ノ久シキニ亘リテ、終始渝ラス、市政ニ貢獻シ、公共ニ盡瘁セラレタル事歷ハ、洵ニ顯著ニシテ、其功勞決シテ尠少ニアラサルナリ。茲ニ本會ノ決議ヲ具シ、同君ノ功勞ヲ表彰シ、謹ミテ感謝ノ辭ヲ呈ス。

明治三十六年五月九日

東京市會議長　仁杉英

第拾壹節　教育會補助金問題

第六十四號

豫備費支出ノ件

一金參千圓

右明治三十六年度市豫備費ヨリ支出スルモノトス

說明

東京市教育會長江原素六ヨリ別紙ノ通出願ニ付、前年ノ例ニ依リ本件金額ヲ交付スルモノトシ本案ヲ提出ス。

東京市教育會補助金

本案ハ五月六日ノ會議ニ提出サレ滿場異議ナク、可決セラレタルガ、其後六月十五日ノ會議ニ於テ、左ノ議案提出アリタリ。

第七十四號

豫備費支出ノ件

一金五百圓

右明治三十六年度豫備費ヨリ支出スルモノトス

說明

帝國教育會長辻新次ヨリ別紙ノ通請願ニ付、前例ニ依リ本件金額ヲ交付スルモノトシ本案ヲ提出ス。

第七十六號

豫備費支出ノ件

一金參百圓

右明治三十六年度豫備費ヨリ支出スルモノトス

說明

日本體育會長子爵加納久宜ヨリ別紙請願ニ依リ、本件金額ヲ交付スルモノトシ本案ヲ提出ス。

右兩案ハ一括シテ三名ノ調査委員ニ付託セラレタリ。即チ左ノ如シ。

松嶋剛　石川顯一郎　大柴四郎

委員ハ大柴君ヲ委員長ニ推シ、審査ノ末、兩案共否決スルニ決シ、別ニ補助方針ニ關スル建議ヲ提出スルコトニ決セリ。

帝國教育會補助金

日本體育會補助金

補助金ニ關スル建議

右提出候也

明治三十六年七月十三日

提出者　松嶋剛　大柴四郎

石川顯一郎

贊成者　稻延利兵衞　外二十五名

東京市會議長仁杉英殿

補助金ニ關スル建議

近來些少ノ緣故ヲ引援シ、本市ニ對シテ補助ノ請願ヲ爲スモノ尠カラス。當局者亦其請願アル毎ニ市會ニ發案シ、昨今ノ如キハ每會必ラス補助案ヲ見ルノ狀況ニシテ、殆ト底止スル所ヲ知ラサラントス。抑モ東京市ハ帝國ノ首府トシテ施設ヲ要シ、完成ヲ期スヘキ事業實ニ枚擧ニ遑アラス。然ルニ其事業中現ニ新設若クハ改良ノ急ヲ告クルモノ數多アルニモ拘ハラス、今尙ホ之ニ着手シ能ハサル所以ノモノハ、畢竟財政ノ許サヽルニ在リ。故ニ本市今日ノ務ハ當ニ冗費ヲ省キ、要費ヲ節シ、以テ此等ノ急ニ應セサル可ラス。然ルニ今之ヲ措テ他ノ請願ヲ許容セントスルハ、本來輕重ヲ誤リ、失當ノ甚シキモノナリ。以上ノ事由ニヨリ自今萬已ヲ得サルモノヽ外ハ、本市幾多ノ事業完成ヲ告ケ、財政稍ヤ餘裕ヲ生スルニ至ル迄ハ一切補助セサルノ方針ヲ採ランコトヲ望ム。

本建議ハ七月十三日ノ會議ニ提出サレ、**青木庄太郎君**ハ曩ニ汚物掃除ノ建議ヲ提出セル際ノ前例ヲ擧ゲ、印刷ニ附シタル後、他日提出センコトヲ望ミ。**渡瀨寅次郎君**亦喞噦ノ間ニ議セントスルハ惡例ヲ貽スノ虞アリトテ、延期ヲ主張スレバ、**大柴四郎君**ハ、本日議題ニ供セラルベキ議案ニ關聯スルモノアルモ、次會ニ延期スベシト述ベテ延期ニ決シ、次イデ**大柴委員長**ハ、第七十四號、第七十六號兩案ヲ否決シタル理由ヲ說明スル所アリ。**渡瀨君**ハ、帝國教育會ノ補助金ニ關シ書籍館不足ノ折柄、僅カノ金ヲ吝ンデ否決スル如キハ、本市教育事業ノ爲メニ採ラザル所ナリトテ、原案贊成說ヲ主張シ、**宮川鐵次郎君**ハ、東京市ニ對シテ直接關係ヲ有スルカ、然ラズンバ特別ニ必要ナル事業ニシテ、幾分ナリトモ東京市ニ利益ヲ與フルモノニアラザレバ、斷然補助ヲ排除スベシト論ジ、採決ノ結果、調査委員報告通リ廢止ニ決シ、日本體育會補助ニ關シテハ、是亦**渡瀨君**ヨリ、右ハ日比谷新公園內ニ體育ノ設備ヲ爲サントスルモノナルヲ以テ、體育奬勵ノ趣意ヲ體シテ可決スベシト、原案贊成ノ希望アリ、二三意見アリタル後、是レ亦調査委員報告通リ廢止ニ決シタリ。

越エテ八月六日ノ會議ニ於テ、曩ニ延期シタル、補助金ニ關スル建議ヲ議題ニ供シ、朗讀終ハルヤ滿場異議ナク直チニ之ヲ可決シタリ。

第拾貳節　市長助役參事會員總辭職

▽**市長助役參事會員總辭職**　三十間堀埋立問題（第五章第貳拾五節參照）ハ、市會ガ前議ヲ固執シタルニ拘ハラズ、參事會ハ內務、大藏兩大臣ノ更正認可ヲ得タル上、三十六年度市區改正豫算ヲ公布セシカバ、理事者ハ一方監督官廳ニ對シテハ、豫算執行ノ責任アリ、又他方市會ハ更ニ該豫算中、本會ニ於テ否決シタル項目ハ、之ヲ施行スベキニアラズトノ決議ヲ爲セルヲ以テ、市會ノ決議ヲ尊重セザルベカラザル政治的責任アリ。監督官廳ト市會トノ間ニ立チテ、進退兩難ノ苦境ニ陷リ、遂ニ市長、助役、參事會員ノ總辭職ヲ見ルニ至リ、五月二十一日ノ會議ニ於テ、之ガ報告アリタリ。

報　告

本市市長助役竝ニ名譽職參事會員ヨリ、別紙ノ通退職ノ義申出候條、此段及報告候也。

明治三十六年五月十九日

東京市長　松田秀雄

東京市會議長　仁杉英　殿

退職申立書

明治三十六年度市區改正豫算中、主務大臣ニ於テ市會カ否決シタル京橋區三十間堀川開鑿竝ニ埋築工事ニ關スル歲入出豫算ヲ更正認可セラレタルノ結果トシテ、本年度市區改正豫算全體ノ執行ニ關係ヲ及ホシ、將來市行政上運用ヲ缺キ候ニ付、退職致度此段申立候也。

明治三十六年五月十五日

東京市長　松田秀雄

東京府知事男爵千家尊福　殿

退職申立書

明治三十六年度市區改正豫算中、主務大臣ニ於テ市會カ否決シタル京橋區三十間堀川開鑿竝ニ埋築工事ニ關スル歳入出豫算ヲ更正認可セラレタルノ結果トシテ、本年度豫算全體ノ執行ニ關係ヲ及ホシ、將來市行政上運用ヲ缺キ候ニ付、退職致度此段申立候也。

明治三十六年五月十五日

助役　佐藤正輿
同　吉田弘藏
同　浦田治平

東京市參事會
東京市長松田秀雄殿

辭職届

東京市區改正明治三十六年度歳入出豫算中、京橋區三十間堀川改鑿事項ニ關シ思フ所有之、東京市參事會員辭職仕候。此段及御届候也。

明治三十六年五月十五日

抽者　儀
奥田義人
銀林綱男
中鉢美明

東京市長松田秀雄殿

仁杉議長ハ市長助役ノ退職ニ就テハ、之ヲ後日ニ延期シ、市參事會員ノ辭任ヲ承認シ、直ニ全部ノ補缺選擧ヲ行ハンコトヲ議場ニ諮リタルニ、滿場異議ナク、直チニ選擧ヲ行ヒ、左ノ如ク當選セリ。

任期長キ分六名ノ補缺

大岡育造
辻新次
江原素六
渡瀬寅次郎
野々山幸吉
芳野世經
西澤善七
大石正己
鳩山和夫

法學博士　奥田義人(再)
江原素六(再)
大石正己(再)
中鉢美明(再)

任期短キ分六名ノ補缺

附　記　任期短カキ分ハ六月十五日ヲ以テ任期滿了トナルモノナルガ、右ニ先チ杉原榮三郎君ハ六月三日ヲ以テ辭職屆出ヲ爲シ、他ノ五名ト共ニ六月十五日改選ヲ爲シタリ。

▽市長助役退職承認　六月十五日ノ會議ニ於テ議案ノ審議終リタル後、**仁杉議長**ハ市長助役ノ退職ニ關スル件ニ付キ、之ヲ承認スルヤ否ヤヲ議場ニ諮リタルニ。**關幸太郎君**ハ、是迄ノ慣例ニ於テ報告ノアリシ場合ニ異議ナケレバ承認シタルモノトスル例ナリ。即チ前會議長ヨリ報告アリシ場合異議ナカリシハ、之ヲ承認シタルモノト見ザルベカラズ、當時議長ノ宣告ハ稍ミ明瞭ヲ缺キシヤニ覺ユルモ、要スルニ市長助役ノ事ハ後ニ讓リ、參事會員ノ選擧ヲ先ヅ行フベシトノ意味ナリシガ如シ。然レドモ參事會員ノ總辭職ニ就テハ、正當ノ理由アリヤ否ヤ、即チ之ヲ承認スルヤ否ヤヲ本會ニ諮ハズシテ、直ニ之ガ選擧ヲ行ヒタリ。之ト同ジク市長助役ノ辭職ニ就テモ、報告アルト共ニ、何人モ異

關　幸太郎
山根正次
銀林綱男(再)
渡瀨寅次郎(再)
西澤善七(再)
芳野世經(再)
野々山幸吉(再)
杉原榮三郎(再)

議ヲ申出デズ、次ノ問題ニ移リタル以上ハ、即チ辭職ヲ承認セルモノナリトノ理論ニ歸着スルヲ以テ、特ニ今日此問題ヲ議題ニ供シ、認否ヲ決スベキモノニアラズトノ意見ヲ述ベシガ。**仁杉議長**ハ、前會ハ報告ヲ朗讀セルノミニテ、之ニ對シテ何等意見ヲ議場ニ諮フコトナク、次會ニ廻ハス旨ヲ述ベ、次ニ名譽職參事會員ノ總辭職ニ付テ意見アルヤ否ヤヲ議場ニ諮ヒ、意見ナカリシヲ以テ選擧ヲ行ヒタルナリト辯明シ。**渡瀨寅次郎君**ハ、市會ニ於テ市長助役ノ辭職ヲ承認セズトノ決議ヲナスモ、何等當人ノ意思ヲ拘束スルノ力ナシ。若シ市會ガ承認ノ決議ヲ爲スニアラザレバ、知事ガ內務省ニ申達スルコト能ハズトノコトナルモ、市長ガ辭表ヲ提出セル時、市會ガ沈默セルハ、即チ之ガ承認ヲ意味スルモノトセバ、市長助役ノ辭職ノ上ニ好都合ナルベシトテ、前會沈默セルハ承認ヲ與ヘタルモノナリトノ決議ヲ爲セバ可ナルベシト提議シ。議長ハ起立ヲ煩ハスベシトテ市長退職ヲ承認スル贊成者ノ起立ヲ求メタルニ議場騷然トシテ發言ヲ求ムル者多カリシガ。**田口卯吉君**ハ、既ニ承認シタル積ナリシモ、議長ノ辯明ニ由リ、議長ノ見解ヲ正當ト看做シ、改メテ宣告ニ從テ決ヲ採ルベシト述ブレバ。**關幸太郎君**之ニ反對シ、飽迄モ今日改メテ承認スル必要ナシト主張シ、議長ハ、前宣告通起立ヲ求メタルニ、議場再ビ騷然トシテ起立明カナラズ。**大柴四郎君**ハ、更ニ採決スルヤ否ヤヲ先決問題トシテ採決スベシト提議シ。**丸山名政君**之ニ贊成シタルモ、議長ハ市會ハ既ニ承認シタルヲ以テ、改メテ承認スルニ及バズトノ關君ノ說ニ就テ採決シタルニ、少數ニテ否決サルヽヤ。**丸山君**ハ、改メテ承認スルコトノ動議ヲ提出シ。**大柴君**ハ、先決問題ノ提議ヲ取消シタレバ、丸山君ノ動議ニ就テ採決シタルニ、多數ニテ之ヲ可決シ、次ニ助役退職承認ノ延期說出デシモ、少數ニシテ成立セズ、多數ヲ以テ承認ニ決セリ。

▽前市長助役慰勞金及感謝狀贈呈　六月十五日ノ會議ニ於テ市長助役ノ退職ヲ承認スルヤ、**中島行孝君**ハ慰勞金贈

呈ノ件ヲ市參事會ニ於テ提案セラレタシト提議シタルニ、異議ナク滿場一致ヲ以テ可決セリ。右決議ニ基キ、市參事會ハ六月二十四日ノ會議ニ左ノ議案ヲ上程シ、異議ナク可決セラレタリ。

第九十六號

特別慰勞金支出ノ件

一金壹萬六千五百五拾圓

右明治三十六年度豫備費ヨリ支出スルモノトス

說明　今般市長助役退職ノ處、各就職以來刻苦勵精本市ノ爲盡瘁セラレシ功勞尠カラス、依テ此際特ニ前記ノ金額ヲ目途トシ、慰勞金ヲ贈興セントス。

次イデ**野々山幸吉君**、松田君及ビ二名ノ助役ハ特別市制當時ヨリ、東京市ニ盡瘁セラレ、又他ノ一名ノ助役ハ就任日尙淺キモ、職務ニ忠實ナリシハ議場ノ認ムル所ナルヲ以テ、此際右四名ニ對シ懇篤ナル感謝狀ヲ贈呈スル事トシ、其文案ハ參事會ニ一任セント欲ストノ動議ヲ提出シタルニ、滿場一致之ヲ可決セリ。

附記　右市會ノ決議ニ基キ、市參事會ハ、左ノ感謝狀ヲ添ヘテ慰勞金ヲ前市長ニ贈呈セリ。

明治三十一年特別市制廢止セラレ、君始メテ東京市長ノ職ニ就キ、爾來市政ニ軼掌セラルヽコト多年、其功勞尠シトセス。今ヤ辭職セラルヽニ當リ、市會ノ決議ヲ經テ、特ニ金七千五百圓ヲ贈リ玆ニ慰勞ノ意ヲ表ス。

明治三十六年六月二十七日

東京市參事會
東京市長代理
名譽職市參事會員　江原素六

松田秀雄殿

尙三助役ニ對シテモ、左ノ感謝狀ヲ添ヘテ夫々慰勞金ヲ贈呈セリ。

明治三十一年君助役ノ職ニ就キ、爾來市長ヲ補佐シ、勤勉多年、其勞尠シトセス。今ヤ辭職セラルヽニ當リ、市會ノ決議ヲ經テ、特ニ金（浦田參千七百五拾圓／佐藤參千圓）ヲ贈リ玆ニ慰勞ノ意ヲ表ス

明治三十六年六月二十七日

東京市參事會
東京市長代理
名譽職參事會員　江原素六

浦田治平殿

佐藤正興殿

明治三十三年君助役ノ職ニ就キ、爾來市長ヲ補佐シ、勤勉多年、其勞尠シトセス。今ヤ辭職セラルヽニ當リ、市會ノ決議ヲ經テ、特ニ金貳千參百圓ヲ贈リ玆ニ慰勞ノ意ヲ表ス。

明治三十六年六月二十七日

東京市參事會
東京市長代理
名譽職參事會員　江原素六

吉田弘藏殿

第拾參節　市場移轉廢止ノ建議

一　市場移轉廢止意見書

右提出候也

明治三十六年五月六日

提出者

杉原榮三郎　桑原謹三
田口卯吉　鹽島仁吉
森田鉞三郎　銀林綱男
本吉傳次郎　仁科粂次郎
稻延利兵衛　松長光吉
吉田幸作　下村四郎
丸山名政　田村喜三郎
關幸太郎　宮川鐵次郎
肥塚龍　有島武
中島行孝　福島豐

東京市會議長仁杉英殿

意見書

明治二十二年東京府告示第三十九號ニ東京市區改正事業ノ內、鐵道、魚鳥市場、靑物市場、獸畜市場及火葬場ニ係ル諸費ハ凡テ其設立者又ハ所用者ニ於テ負擔スヘキモノトストアリ、而シテ右各市場ノ移轉期日ハ追々切迫スルヲ以テ、警視廳ハ當業者ニ對シ、頻リニ市場ノ移轉經營ヲ迫ルト雖モ、當業者ハ薄資ニシテ其ノ負擔ニ堪ヘサルノミナラス、指定地ノ土地建物ヲ買收スルニ當リテモ、私人タル當業者ニ於テハ土地收用法、若クハ東京市區土地建物處分規則ヲ適用スルコト能ハサルヲ以テ、結局當業者ヲシテ市場ノ移轉經營ニ任セシムルハ不可能事タラスンハアラサル也。是ニ於テカ先ニ東京市區改正委員會ニ於テハ市場全部ヲ市區改正設計中ヨリ削除セントスルノ議アリ、又明治二十二年東京府告示第三十九號ヲ廢止セントストノ議アリ、尋テ東京市區改正委員會ハ東京市自ラ市場ノ移轉ヲ經營センコトヲ希望スル旨ヲ決議シ、其ノ決議ニ基キテ市區改正委員長ヨリ東京市參事會ヘ協議ニ及ハレタリト聞ク。然レ共元來市場ノ移轉經營ハ其ノ性質ニ於テ市區改正ノ事業ニ屬セス、且現行法規ニ於テハ市場ノ移轉ヲ市區改正ノ事業トシテ經營スルヲ許サヽルモノアリ、又東京市ノ財政ハ今日ノ場合到底數百萬圓ヲ要スルカ如キ市場ノ移轉經營ニ任スルヲ得ス、而シテ當業者モ亦自己ノ資力ヲ以テ經營スル能ハサルコト前述ノ如クナルヲ以テ、市場問題解決ノ方法ハ現在ノ場所ニ於テ相當ノ改良ヲ加ヘシムルニ在ルノミ。元來市場ノ移

今井喜八　市原求
杉野秀行　坪谷善四郎
野々山幸吉　松崎權四郎

轉ハ衞生上ニ基因スト雖、現在ノ場所ガ市場ニ適セサルニアラスシテ、其ノ設備ノ完全ナラサルカ爲ナリ。左レハ移轉決定當時ノ議事錄ニモ歐米ノ「マーケット」ノ如キ設備ナレハ、日本橋京橋區ノ中央ニ置クモ不可ナシトアリ。然レトモ歐米ノ「マーケット」ハ庶民一般ノ集合シテ貨物ヲ賣買スル場所ナリト雖、我カ各市場ハ僅ニ商人ノ集會取引スル場所タルニ過キサレハ、之ニ相當ノ改良ヲ加フレハ、以テ衞生上何等ノ支障アルヘカラス。要スルニ移轉ハ改良ノ途ナキ場合ニ於テ決行スヘキモノニシテ、現在ノ市場ハ充分ニ改良ノ餘地アルモノナレハ、斷然市場ノ移轉ヲ廢止シ、現在ノ地域ニ於テ相當ノ改良ヲ加ヘシムルコトニ御詮議アランコトヲ希望ス。

右ハ本市ノ公益ニ關スル事件ニ付、市制第三十三條ニ依リ意見書提出候也。

東京市會議長　仁杉英

内務大臣男爵内海忠勝殿

本案ハ五月二十一日ノ會議ニ於テ議題ニ供セラレ**鹽島仁吉君**ハ、提出ノ理由ヲ左ノ如ク說明セリ。

明治二十一年發布ノ市區改正設計ハ尨大ナルモノニシテ、其内市區改正費ヲ以テ支辨スル事業ト、個人ノ設立者或ハ當業者ノ支辨トスル事業ト、經費ノ點ニ於テ區別アリ。此經費ノ點ヲ明ニスル爲メ、市區改正委員會ハ内務大臣ニ建議ヲ爲セル結果、明治二十二年東京府告示第三十九號ハ發布セラレ「鐵道、魚鳥市場、青物市場、獸畜市場、屠場及火葬場ニ係ル諸費ハ、總テ其設立者又ハ所用者ニ於テ負擔スベキモノトス」トアリ、而モ市場ノ移轉ハ果シテ當業者ニ於テ實行シ得ルヤ否ヤニ關シ議論アリテ、當業者ニ之ヲ一任シテハ其實行ヲ見ルコト困難ナルニヨリ、市區改正縮少設計協議ノ際、市場ヲ設計中ヨリ削除セントノ論アリシモ、終ニ少數ノ爲メ否決トナリタリ。其後浦田君ノ發議ニ由リ、市場ノ移轉ヲ市區改正ノ事業タラシメントスル建議出デタルヲ以テ、調査ヲ爲シタルモ、告示ヲ取消シ、市區改正事業トシテ、東京市民ノ負擔ニ歸スル市區改正ノ費用ヲ以テ、斯ル性質ノ異ル一個人ノ營業ニ屬スル如キコトヲ施行スルハ、假令市區改正委員會ニ於テ決議スルモ、實行ノ効力ヲ生ゼズ。告示ヲ取消シタルノミニテ、法律ヲ以テ定ムルニアラザレバ、實行不可能ナリトシテ、建議ハ否決サレタリ。然レバ斯ル狀態ニテハ市場問題ハ解決ノ日無キガ故ニ、東京市ガ法人トシテ自ラ進ンデ、市場經營ノ任ニ膺ルノ意思ナキカヲ市區改正委員會ヨリ參事會ニ交涉シタルニ、參事會ハ經費多端ノ際ナリトテ、之ヲ拒絕シタリシカバ、今日ハ市場問題ヲ解決スル方法無ク、殆ド行詰リノ狀態ニテ、内務省或ハ警視廳トテモ、規則ノ命ズル所ニ據リ當業者ニ迫ルト雖モ、實ハ解決ニ苦ミツヽアルナリ。然ラバ移轉ヲ爲サヾルベカラズトノ必要ノ有無ハ、各人見ル所ヲ異ニスルモ、市區改正設計當時移轉ヲ決セルハ、主トシテ衞生上ノ見地ニ基キ、日本橋ノ中央ニ魚市場ヲ置クハ甚ダ不潔ニシテ、市民ノ保健上有害ナリトスルニアリキ。而モ設備ニ相當ノ改良ヲ加ヘテ清潔ヲ期スレバ、他ニ移轉スル必要ナク、殊ニ數百年來自然ニ成立セル市場ヲ、一朝ニシテ他ニ移轉スルハ容易ニアラズ。故ニ今日市場問題解決ノ方法ハ、現在ノ場所ニ於テ其設備ニ相當ノ改良ヲ加フルヨリ外他ニ途ナキモノト信ズ。

次ニ**野々山幸吉君**、余ハ曩ニ移轉論者ナリシモ、實地檢分ノ結果、一朝一夕ニ移轉ノ行ハレザルコトヲ看取シタリ。警視廳及ビ内務省ノ方針ハ、恐ラク卓上論ヨリ來リシモノナルベシ。今日市區改正ニ伴ヒ、魚市場ノ移轉ハ、當業者ノ力ニテハ、到底實行不可能ナリ。而モ東京市ガ之ヲ引受ケテ、改良スルトセンカ、獨リ魚市場ニ止ラズ、火葬場ニ對シテモ、青物市場ニ對シテモ、亦同一方針ヲ以テ之ニ臨マザルヲ得ザルニ至ルベク、是レ到底本市經濟ノ堪フル所ニアラズ。故ニ前說ヲ捨テ、非移轉論者ト化シタリトテ、前年濱町ニ魚鳥市場ヲ移轉セントシテ失敗シタル例ヲ擧ゲ、且ツ其不潔ヲ攻擊スル者アルモ、是レ東京市ガ掃除ヲ怠ルガ爲メニシテ、十分トハ言フヲ得ズト雖モ、九分通リ

ハ現場ニ於テ改良ヲ爲シ得ベシト論ジ、實地ヲ檢分シテ賛否ヲ決セラレタシト望メリ。

鎭林綱彦君ハ、當初内務省ノ見解ハ土地收用法ヲ適用シ得ベシトノコトナリシヲ以テ、余ハ之ニ賛成シタルモ、今日ニ於テハ土地收用法ヲ適用シ得ル事項ハ、法律ヲ以テ規定シアレバ、之ガ適用ハ不可能ナリ。既ニ土地收用法ノ適用不可能ナル以上、如何ナル資産ヲ有スルモ自ラ進ンデ移轉セシムルハ、到底困難ナリ。然レドモ此儘ニ放任セバ、一方ニ於テハ警視廳ハ年期ヲ限リテ移轉ヲ命ズルガ故ニ、家屋ノ修繕モ爲シ得ザル場合モアルベク、結局、市ノ大不利益ヲ釀スニ至ルベシ。故ニ此際移轉ノ可否ヲ決定スル必要アリト說キ。**大柴四郎君**ハ、本員ハ市會ガ又シテモ斯カル沒條理ノ行動ヲ爲スコトヲ悲シムモノナリ。研究問題ナラバイザ知ラズ、市制第三十三條ニ依テ意見書トシテ提出スルモ、内務大臣ノ採ラザルコト明々白々ナルニ拘ラズ、之ヲ敢テセントスルハ慨嘆ニ堪エズ。昨年市區改正縮少設計會議ノ場合ノ如キモ、猛烈ナル運動アリシニモ拘ラズ、非移轉說ハ極メテ少數ニテ敗レタリ。而モ非移轉ハ市民全體ノ聲ニアラズト信ズルモ、非移轉論者トシテ二十有餘人ノ連名ヲ見タルハ、實ニ一驚ヲ喫スルノ外ナシ。余ハ眞ノ市民ノ聲ヲ代表シテ敢然反對スベシト述ブ。**丸山名政君**ハ大柴君ノ議論ハ移轉ノ理由トシテ、些ノ感服スルニ足ルモノナシ。余ハ先ヅ本問題ノ爭點ヲ明カニセザルベカラズトテ、内務省ノ解釋ハ昨年市區改正設計變更ノ際ト今日トハ大ニ相違シ、現在ニ於テハ同省ノ意見ハ東京市ニ於テ市場ノ經營ヲ爲スニアラズンバ、移轉ハ不可能ナリトシテ、市ヲシテ之ヲ執行セシメントスルニアリ、是レ土地收用法ハ一個人ニ在リテハ適用スル能ハザルモ、東京市ハ之ガ適用ヲ爲シ得ベケレバナリ。然レドモ東京市參事會ノ解釋ニ依レバ、土地收用法ノ適用ハ不可能ナリト爲スモノ多シト聞ク、今日ノ場合土地收用法ノ適用如何ハ法律ノ解釋ニ依ルガ故ニ、各人ノ判斷ニ一任スルヨリ外ナシ。縱令收用法ヲ適用シテ、東京市ガ市場ノ設備ヲ經營シ得トモ、東京市ガ今日ノ場合五箇ノ魚鳥市場ヲ移轉セシムルニ足ル土地ヲ買收シ、家屋ヲ移轉セシメ、尙其上ニ建設物ヲ建造シ得ル資力アリヤ否ヤ、是レ一ノ問題ナリ。土地收用法ニ依レバ、土地ト建設物トハ同一人ニ屬セザルベカラザルヲ以テ、東京市ガ設備ヲ爲ス以上ハ、完全ナルモノヲ建造セザルベカラズ、從テ之レニ要スル金額ハ少クトモ五百萬圓ニ達スベシ。玆ニ於テ問題ハ東京市ガ今日五百萬圓以上ノ金額ヲ五ケ所ノ市場ノ爲メニ支出スルノ能力アリヤ否ヤニ在リテ、此問題ヲ解決セバ、市場問題ハ直ニ解決シ得ベキナリ。勿論本員トテ市場ノ改良ヲ希望スル點ニ於テハ諸君ト同感ニシテ、今日ノ如ク都府ノ中央ニ於テ不潔ナル臭氣ヲ放チ、又道路ノ妨害ヲ爲ス如キ、都府ノ體面ヨリスルモ、將又衞生上ヨリスルモ、是非共改良ヲ爲サヾルベカラザルナリ。然レドモ斯ル改良ハ個人ノ爲ス能ハザル所ナルニ因リ、東京市ガ之ニ當ル場合ニ於テ、五百萬圓以上ノ市費ヲ投ズルコトハ我々市民ノ代表者トシテ果シテ承認シ得ルヤ否ヤヲ考ヘザルベカラズ。三十間堀ノ埋立開鑿ヲ否決セル際、如何ナル議論アリタルカヲ想起セバ、本員ハ斯ル金額ヲ支出スル餘裕ナキヲ斷言スルモノナリ。然ラバ市場ヲ現在ノ場所ニ置キ、單ニ之ヲ改良スルノ可能ナルヤ否ヤノ問題ニ關シテ一言センニ、固ヨリ完全ナル市場ヲ建造スルコトハ到底不可能ナルベシト雖モ、當業者ノ力ニ堪ヘ得ル程度ノ改良ハ、爲シ得ザルコトナシト信ズトテ、現場改良論ヲ力說シテ建議案ニ賛成シ。**青木庄太郎君**ハ、絕對ニ反對スルニアラザルモ、三十間堀問題ノ如ク不始末ノ結果ヲ招來スルナキヲ期シ、愼重ニ調査ヲ爲シタル上、市會ノ意思ヲ決定スルヲ可ナリトス。市區改正ノ如キ不生產的事業多キモ、三十間堀ニ至テハ埋立地所ニ依テ地代ヲ收納シ得ルガ故ニ、左程收支償ハザル事業ニモアラザルヲ以テ、銀行預金ヲ一時繰替使用セバ、市民ニモ迷惑ヲ及ボサヾリシナラン。然ルニ行掛上之ヲ否決シ、其結果市長助役及ビ參事會員ノ總辭職トナリ、市民ノ迷惑一方ナラザリシナリ。余ハ今又本問題ノ爲メ同樣ノ事態ヲ惹起スルヲ好マザレバ、本會ノ意見ヲ決スル爲メ、十五名位ノ調査委員ヲ設ケ、十分調査ヲ遂グベシト說ケリ。次ニ**肥塚龍君**ハ、本問題ヲ以テ三十間

堀問題ヲ非難スルノ材料ニ供スルハ避クベキナリ。本案ハ移轉、非移轉ニ關スル議論ノ歷史ヲ有スルガ、元來中央政府ハ卓上論ヲ以テ事ヲ議スルノ惡癖ヲ有シ、租稅ノ如キモ其取立ヲ爲スコトヲ知リテ、納稅者ノ事情ヲ顧ザルガ常ナリ。三十間堀然リ、本案亦然リ、東京市ガ執行スル市區改正事業スラ、容易ニ進捗セズ、二年モ三年モ遷延セルモノアリ。然ルヲ魚商ニ向テ移轉先キヲ指定シアルニ由リ、其地主ト交涉シテ、土地ヲ買受ケテ移轉スベシト云フモ、到底實行シ得ルモノニアラザルコトハ明瞭ナリ。既ニ實行不能ナルコトヲ悟ラバ、人民ノ困憊ヲ察シ、空論ヲ吐イテ彼等ヲ苦マシムベキニアラズ。今日魚河岸ノ商人ハ商賣ノ安全ヲ失ヒツヽアリト信ズルガ故ニ、東京市會ハ此大問題ヲ馬耳東風ト聞キ流ス能ハザルナリ。本案ハ實地ト理窟トノ符合セル建議案ナルヲ以テ、速カニ可決スベシト論ジ、反對說委員附託說共ニ贊成者ナク、意見書ハ原案通可決セリ。

第拾四節　交通機關問題

▽鐵道會社合併ニ關スル調査　六月十五日ノ會議ニ於テ、**野々山幸吉君**ハ、建議ヲ爲シテ曰ク、近時新聞紙上ニ東京市街鐵道ト東京電車鐵道トノ合併談アルヲ散見スルガ、一割近キ配當ヲ爲ス電車鐵道ト無配當ノ街鐵トノ合併ハ、公納金ニ利害關係ヲ有スルコト尠カラザレバ、此際委員五名ヲ擧ゲテ、利害得失ノ調査ヲ爲サシメラレンコトヲ望ム、**坪谷善四郎君**ハ、現在電車鐵道ガ一割乃至一割五分ノ配當アルモノトスルモ、收入ナキ新シキ會社ト合併セバ、市ニ對スル納付金ノ減ズルハ、野々山君所說ノ如キモ、更ニ市街鐵道ガ第二期第三期ノ新事業ニ着手スルニ於テハ、今後數年間ハ市納付金ノ收入ヲ得難カルベシ。會社ノ利害ニ關シテハ喙ヲ容ルベキニ非ズト雖モ、公納金ノ如何ハ市ノ利害ニ關スル大問題ナレバ、今日兩社ノ合併ハ市ニ如何ナル利害ヲ及ボスヤヲ調査スルヲ至當トスベシトテ、委員設置ニ贊成シ、**青木庄太郎君**ハ、社債ノ名義ヲ以テ公納金ヲ免レントスルガ如キコトナキニシモアラザルベケレバ、併セテ此點ヲモ調査スベシト希望シ、調査委員五名ヲ議長指名ニテ設置スルコトニ決シ、議長ハ左ノ如ク之ガ指名ヲナセリ。

坪谷善四郎　田口卯吉　松長光吉　下村四郎　野々山幸吉

委員ハ**松長光吉君**ヲ委員長ニ推シ、審査ノ末八月六日ノ會議ニ左ノ意見報告ヲ爲セリ。

鐵道會社合併ニ關スル調査委員意見報告

本委員等爾來種々審査講究セシモ、本會カ會社ノ合併ニ對シテ容喙シ得ヘキ場合ヲ認メス、隨テ之カ利害ヲ調査スルノ要ナキモノト決シタリ。

明治三十六年六月十七日

東京市會議長　仁杉英殿

調査委員連名

松長委員長ハ、會社ニ對スル內務省ノ命令書等モ調査シタルニ、合併ニ關シテハ何等ノ規定ナシ。固ヨリ會社カ合併ヲ爲スハ商法ノ規定竝ニ內務省下付ノ命令ノ範圍內ニ於テ行動スルモノニシテ、如何ナル結果ヲ見ルモ市會トシテ容喙スル必要ヲ認メザレバ、今日ノ場合調査スルニ由ナシトノ意見ヲ以テ、報告書記載通リ決定セリトノ說明ヲナシ、異議ナク委員會ノ報告通可決セリ。（本節電車市營決議ノ項參照）

▽市內交通機關質錢ニ關スル建議　六月十五日ノ會議ニ於テ、前項鐵道會社合併ニ關スル調査委員設置ノ件ヲ議了

シタル後、坪谷善四郎君外三十二名ノ提出ニ係ルノ左ノ建議ヲ附議シタルニ、滿場異議ナク直ニ之ヲ可決セリ。

市内交通機關賃錢ニ關スル建議

一　東京市内ノ道路ニ軌道ヲ敷設スル電車及馬車鐵道ノ各會社ハ、新タニ賃錢ヲ定メ、若クハ在來ノ賃率ヲ變更スル場合ニハ、主務官廳ヨリ豫メ本市會ニ諮問セラレンコトヲ望ム。

理由

本市ハ市民ノ交通ニ便ナラシメンカ爲ニ、私設會社ヲシテ市内道路ノ最要部ニ軌道ヲ敷設シテ之ヲ使用スルノ權利ヲ獨占セシメ、且ツ本市ハ市區改正ノ事業ヲ進行スルニ當リ、力メテ先ツ此等ノ軌道敷設ノ部分ヲ急キ、以テ市内交通機關ノ速成ヲ幇助セリ。本市ガ此等ノ會社ニシテ縱マヽニ賃銀ヲ定メ、如何ナル額ヲ徵收スルモ市民ハ之ニ抗スル能ハサランカ、其弊ノ頗ル恐ルヘキモノアリ、是レ本建議ヲ提出スル所以ナリ。

▽**鐵道馬車稅ノ賦課**

第百九號

鐵道馬車稅賦課ニ關スル件

東京電車鐵道株式會社カ特許線路中一部ノ動力變更ヲ爲シタル場合ニ於テ、其變更シタル部分ニ對シテハ特別稅ヲ賦課シ得ヘカラサルモノナルモ、便宜同會社ト協議ヲ爲シ、其動力全部ノ變更ヲ爲スマテノ期間ハ、總テ特別稅ニ相當スル金額ヲ本市ニ納付セシムヘキノ公約ヲ締結スルモノトス。

本案ハ八月六日ノ會議ニ上程、劈頭坪谷善四郎君ハ、公納金トナスト特別稅トナスト、本市ノ損益如何ト質シ。丸山助役ハ、特別稅ニ依ルトキハ會社ノ總收入ノ割合ニ對シテ徵收シ、公納金ハ歩合ニ依リ、七朱三分ノ一トナルヲ以テ之ガ得失ニ就テ調査セルニ、第一、營業開始ニ至ラザル今日、營業費ノ判然セザルト、第二、營業費ニ就テモ電車ノ部分ト馬車鐵道ト實際ニ於テ分割シ難ケレバ、固ヨリ正確ナル計算ヲ爲シ得ザルモ、想像上分割ヲ試ミタル所、會社ノ營業費ヲ四割ト見レバ、馬車鐵道稅ニテ徵收スルハ、不利益ニシテ、公納金ヲ以テ徵收スルヲ得策トス。若シ營業費ニシテ、四割五分或ハ五割以上ヲ要スレバ、公納金ハ不利益ナリ。何レニシテモ大差ナク、今年中ニハ品川ヨリ上野淺草迄全部變更ヲ竣ハル筈ニシテ、短期間ナルガ故ニ、如上ノ公約ヲ締結セントスルモノナリト說明シ。坪谷君ハ、全線完成期限内ニ竣工セザルトキハ、尚此儘繼續スル意思ナリヤヲ質問シ。丸山助役ハ、馬車鐵道會社ノ重役ハ年内ニ全部落成ノ筈ニシテ、芝線ハ八月ニハ開業ノ豫定ナリトノ談ナリキ。又年内ニ竣工セザル場合ハ、止ムヲ得ズ竣工セル部分ノミヲ本案ニ依テ實行スルヨリ外ナシト答フレバ。坪谷君ハ、期限通ノ竣工ハ保シ難キヲ以テ、若シ市ノ爲メ不利益ナルコトノ發見セラレタル場合ハ、市ノ利益ト爲シ得ル樣、原案第二行ノ終「其動力全部ノ變更ヲ爲スマデノ期間ハ」トアルヲ「便宜同會社ト協議ヲ爲シ當分ノ間」ト改ムベシトノ修正說ヲ提出シタルモ、修正ノ意味徹底セズシテ、不明ナリトノ聲起リシカバ、然ラバ議長指名五名ノ委員ニ附託スベシト述ベ、大柴四郎君亦之ニ和シ、遂ニ委員設置ニ決シタルヲ以テ、議長ハ左ノ如ク指名セリ。

鹽島仁吉　有島武　中澤彥吉　稻延利兵衞　石塚剛介

委員ハ鹽島仁吉君ヲ委員長ニ推シ、調査ノ末、原案ヲ相當ナリト認メ、其旨九月十四日ノ本會ニ報告シタルニ、異議ナク可決セラレタリ。

▽**市街鐵道事業調査及電車市營決議**　九月十四日ノ會議ニ於テ、劈頭杉原榮三郎君ハ刻下ノ問題タル街鐵ノ合併ハ

本市ニ重大ナル利害ヲ有スルニ鑑ミ、市長ハ本市ニ諮問ヲ爲スベク内務大臣ニ申告ヲ爲セルヤニ聞ケルモ、之ガ眞否及ビ其後ノ狀況如何トノ質問ヲ爲セルニ。**尾崎市長**ハ、七月二十九日兩會社ノ合併ニ對シ新ナル特許命令ノ交付、又ハ既定ノ命令書ノ變更、其他諸般ノ事項ニ關シ、總テ本市ニ諮問セラレタキ旨書面ヲ以テ照會シ、尙自身内務大臣ニ面會シテ陳情セリ。素ヨリ答辯ヲ得ベキ筋ノモノニアラザルガ故ニ、希望トシテ之ヲ述ベシニ止ル。其後注意ハ怠ラザルモ、未ダ相當ノ手續ヲ經テ内務大臣ニ迫ルベキ時機ニアラズト考フト答辯シ。**杉原君**ハ、尙一層ノ注意ヲ拂ヒ、或ル場合ニハ催促ヲ爲スコトヲ希望スル旨ヲ述ブ。次イデ左ノ建議案議題ニ供セラレタリ。

建　議　案

東京市街鐵道會社ノ紛擾未タ熄マス、爲ニ市内交通機關ノ速成ヲ妨ケ、開業ノ遲緩ヲ來シ、市ノ公益ヲ損スルノ虞アリ。故ニ東京市會ハ委員七名ヲ擧ケテ、該會社事業ノ實況ヲ調査シ、市内交通機關ノ速成ヲ促カシ、且ツ市ノ公益保護ノ爲メ適當ノ方法ヲ講センコトヲ期ス。

右及建議候也。

明治三十六年九月十四日

提出者

中島行孝　坪谷善四郎

宮川鐵次郎　杉原榮三郎

松島剛　銀林綱男

和田亀關　幸太郎

下村四郎　大柴四郎

賛成者

肥塚龍　外九名

秋虎太郎君ハ、本員ハ固ヨリ建議ニ賛成ナルモ、今ヤ會社ハ頻リニ紛擾ヲ重ネ、本市ガ希望スル速成ニ背反スルガ如キ狀況ニ在ルヲ以テ、若シ出來得ベクンバ此際進ンデ市ノ直營ニ移スノ可否ヲモ調査セラレタキ旨希望スル所アリ。**仁杉議長**ハ、秋君ノ趣旨ハ「市ノ公益保護ノ爲メ適當ノ方法ヲ講ゼラレムコトヲ期ス」トアル文字中ニ包含サルヽニアラズヤト答ヘ。**佐治實然君**ハ、建議案調査委員七名ヲ九名ニ增員スベシト提案シ之ニ決シタレバ、議長ハ左ノ如ク選定セリ。

秋虎太郎　稻茂登三郎　江崎禮二　宮川鐵次郎　松島剛

林謙三　古川孝七　青木庄太郎　佐治實然

委員ハ**江崎禮二君**ヲ委員長ニ推シ、調査ノ結果、左ノ決議案ヲ作製シ、九月二十五日ノ會議ニ意見報告ト共ニ之ガ報告ヲナシタリ。

東京市街鐵道株式會社事業ニ關スル調査委員意見報告

右及報告候也

明治三十六年九月二十二日

調査委員連名

東京市會議長仁杉英殿

決議案

本市交通機關ノ速成ハ、本市ノ公益上必要ナルニ拘ハラス、現今ノ如ク會社ノ内部紛擾ヲ極ムルニ於テハ、事業ノ遷延ヲ來スノミナラス、將來ニ於テモ公益ヲ害スル恐レアルニ依リ、本市ハ斷然自ラ經營スルヲ得策ナリト認ム。故ニ此際市參事會ニ於テ、速ニ之カ實行ニ就テ適當ノ方法ヲ講センコトヲ望ム。

本案ガ議題ト爲ルヤ、**江崎委員長**ハ、委員會ガ愼重審議ノ末、市内交通機關ヲ市ノ直營ト爲スベシト決議シタル趣旨ヲ大要左ノ如ク說明セリ。

街鐵會社ニ於テハ、合併非合併ニ關シ相拮抗シツヽアルヲ以テ、委員會ニ於テハ非合併派ノ雨宮敬次郎、合併派ノ藤山雷太兩氏ニ交ゝ出頭ヲ求メタリ。雨宮氏ハ詳細ハ立川勇次郎ヲシテ答申セシムベシトノコトナリシカバ、雨宮、立川兩氏ノ出席ヲ請ヒ、第一、紛爭ヲ以テ本業ト爲セルガ如キ觀アル今日、充分ニ豫定ノ事業ヲ進行シ得ルヤ。又目下數寄屋橋、神田橋間ニ於テ一哩以上ノ線路ヲ設計シタルニ就イテハ、之レガ經費如何。又合併派、非合併派ノ間ニ於テ參錢均一ヲ唯一ノ武器トシテ利用シツヽアルガ、是レ單ニ戰略ノ具ニ過ギザルカ、若クハ公益ノ爲メ實行スルノ覺悟ナルカ。又合併非合併ノ兩派ハ會社、若クハ株主間ノ利益ハ暫ク措キ、公益上如何ナル利益ヲ目的トスルカトノ質問ヲ爲セルニ、第一、市民ノ利害關係ニ於テ大切ナルハ、參錢均一ノ行ハルヽヤ否ニアルナリ。而シテ參錢均一ノ成否ハ投資如何ニアリ、多額ノ資本ナレバ五錢七錢ノ乘車賃テニモ猶不足ナルベキモ、資本額少ナケレバ參錢ノ賃率ハ實現不可能ニアラズ、然ラバ如何ニシテ資本ヲ節約シ得ルカト云フニ鐵道事業ニ要スル器具材料ノ買入ハ、公入札ヲ以テスルトキハ非常ニ廉ナリ。故ニ此方法ヲ以テ買入ルヽニアラズンバ不利益ナリ。第一期線タル數寄屋橋、神田橋間ノ工費概算ハ六萬七千圓、其他發電費等ヲ加フルモ、八萬何千圓位ナレバ、第一期線ヲ通ジテ經費ハ拾貳參萬圓内外ナルベシ。第二期線ニ至テハ、市區改正費ヲ要スル爲メ拾五萬圓内外ナラン。斯ノ如クンバ參錢均一ハ責任ヲ以テ實行シ得ベシト信ズ。之ガ實行ヲ不可能ナラシムルノ因ハ費用ノ點ニアリテ、電車鐵道ノ既成線ハ貳拾五萬圓内外ヲ要シ、品川線ノ新規敷設費貳拾參萬圓内外ヲ要スルガ故ニ、實行困難ト爲ル。而モ特約ニ依テ材料ヲ購入スル爲メ斯ク高價ナル敷設費ヲ要スルモ、市街鐵道ハ入札ニ依ルノ外、買入ヲ爲サヽル爲メ、拾五萬圓内外ヲ以テ完成スル確信アリトテ、參錢均一ハ實行シ得ルトノ說明ヲ爲シ、又紛擾ノ爲メ遷延スルヲ以テ、市ニ引渡スベシトノコトナレバ、已ムヲ得ザルコトニテ何時ニテモ引渡スベシトノ挨拶ナリキ。次ニ藤山雷太氏ノ出席ヲ求メ、紛爭ノ爲メ事業遷延ノ虞ナキヤヲ問ヒタルニ、決シテ遷延セズト答ヘタリ、然ラバ參錢均一ヲ實行シ得ベキヤ否ヤヲ問ヘルニ、此點ハ全ク役員間ノ問題トナリ居ラズ、大ニ熟考ヲ要スベシトノコトナリキ。然レドモ今日參錢均一ヲ以テ百哩ヲ乘車シ得ルヤ否ヤハ、市民ノ利害ニ關係スル一大問題ナリ。然ルニ重役ニ於テ之ヲ重視セザルハ、餘リニ冷淡ナラズヤト云ヘバ、其ハ一個トシテノ考ナリトノコトナリシモ、一個ノ考ヲ聽カンガ爲メ臨場ヲ求メタルニアラザル旨ヲ告ゲ、結局熟考ヲ要スルコト、爲リタルガ、大體論トシテハ、是迄ノ電車鐵道ノ乘客數ノ上ヨリ研究シテ、小區間ノ乘客最モ多キヲ占ムルガ故ニ、參錢均一制ハ彼等ニ取リテハ迷惑ナルニアラズヤトテ、遂ニ不得要領ニ終レリ。次ニ電車鐵道ノ牟田口元學氏ノ臨場ヲ求メ、第三回ノ委員會ヲ開キタルニ、牟田口氏ハ何ガ爲メニ余ヲ斯ル場所ヘ招喚セリヤト云フガ如キ冷然タル態度ヲ以テ出席シ、答辯モ不得要領ニシテ報告ヲ爲スニ足ルベキモノナシ。斯クテ其他ノ調査モ結了セルヲ以テ、審議ノ結果、今日ノ如ク一會社ガ紛擾ヲ事トシ、役員ノ爭奪、會社ノ利益ニノミ沒頭シテ公益事業ノ本質ヲ忘却シ、最モ必要ナル敷設ヲ等閑ニ附スルニ於テハ、到底交通機關ノ完成ヲ期スベカラザルヲ以テ、寧ロ事業ヲ本市

ニ移シ斷然自ラ經營スルノ外ナシト全會一致ヲ以テ決定セリ。

此說明ニ對シ、**中島行孝君**ハ、委員ノ勞ヲ感謝シ、滿場異議ナク委員會報告通リ決定セリ。

▽**市有問題ニ關スル秘密會**　其後十一月十二日ノ會議ニ於テ、**江崎禮二君**ハ、前會ニ市ノ交通機關、即チ市街鐵道ヲ本市ノ直營ト爲スコトヲ全會一致ヲ以テ決議セリ。而シテ之ガ解決ヲ市參事會ニ一任シタルガ、爾來今日此問題ガ如何ナル過程ニアルヤヲ知ル能ハズ、因テ秘密會トシテ市長ヨリ今日迄ノ經過ヲ報告セラレタシト發議シタルニ、**杉原榮三郎君**ヨリ、議案終了後ニ延期スベシトノ意見出デ、多數ノ賛成ニテ之ニ決シ、當日ノ議案全部ヲ議了シタル後、**江崎君**ハ、再ビ經過報告ヲ要求シタル結果、全員委員會ヲ開クニ就キ、之ヲ秘密會ト爲スヤ否ヤニ關シ、種々意見出デ、**尾崎市長**ハ、報告スベキ事柄ハ敢テ秘密ヲ要スルコトニアラザルモ、事ノ性質上行政當局者トノ關係アルヲ以テ、秘密會ト爲スベキモノナルベシト告ゲ、結局秘密會トシテ全員委員會ヲ開キ、市長ヨリ報告ヲ聽取スル所アリタリ。

▽**電車市有問題ノ成行**　十一月二十六日ノ會議ニ於テ、水力電氣市營ノ建議ヲ可決スルヤ。**田口卯吉君**ハ、同發議者ノ意見中街鐵市有問題ハ不可能ナルガ故ニ、水力電氣ノ市有ヲ建議セリトノコトナリ。前會ニハ出席セザリシモ、元來市會ハ市長ニ對シテ街鐵ヲ市有ニスルコトノ調査ヲ建議セルモノナレバ、之ニ對シテ市長ヨリ公然回答ナキ中ニ、市會ガ取消ヲ爲スハ最モ不適當ナルベシトテ、市長ノ回答如何ヲ質問シ。議長**大岡育造君**ハ、過日江崎禮二君ノ質問ニ基キテ開キタル、全員委員會ニ於テ、市長ハ其顚末ヲ詳細報告セルモ、其結果ニ付キ本會ニ對シテハ何等報告ナシト告ゲタルニ、**田口君**、然ラバ市長ハ未ダ本會ニ回答セザルモノト認ムト述ブレバ。**尾崎市長**、前會ハ全員委員會ノ席上、秘密會ニ於テ報告ヲ爲シタリ。故ニ其顚末ヲ議長ヨリ報告アレバ足ルト信ズト辯ジ。**岡田榮一君**、余ハ市長ト見解ヲ異ニス。何トナレバ、前會市長ノ報告ハ市營ノ許可ガ可能ナルガ如ク可能ナラザルガ如ク、曖昧模稜ノ說明ナリシヲ以テ、余ハ問題ハ未ダ解決セラレザルモノト思惟セリ。然ルニ今市長ノ答辯ニ依レバ、殆ンド完結セルモノト見做スガ如キモ、公開ノ席上、此問題ハ絕望ナリトカ、困難ナリトカ報告アラザル以上、此儘ニ葬リ去ル能ハザルヤニ考フト述ベ。**田口君**ハ、市長ハ委員會ニ對シテ報告ヲ爲シタルノミナレバ、本會ニ於テ簡單ニモセヨ、答辯ヲ希望スト說キ。**大岡議長**ハ、水力電氣ニ關スル建議ノ餘波トシテ疑問ヲ生ジ、之ヲ確メントスルモノナリト考ヘタルヲ以テ、滿足ヲ與フル爲メニ質問ヲ許セシモ、今新ニ之ヲ問題ト爲サンニハ、議事ノ順序トシテ、別ニ提議アリタシト告ゲタル後、次ノ日程ニ移リ、當日ノ市會ニ再ビ論議セラレズシテ止ミタルガ、越エテ十二月二十三日ニ於ケル此年最終ノ會議ニ於テ、**田口君**ハ更メテ、街鐵市有問題ニ關スル市會ノ建議ニ對シ、當局者ハ市會ノ全員委員會ニ於テ答辯アリシヤニ聞ケルモ、未ダ公然本會ニ於テ、答辯若クハ報告ヲ爲サズ、是レ市會ノ體面上ヨリ考フルモ、誠ニ遺憾ニ堪ヘザルナリ。全員委員ニ對スル報告ハ、市會ニ對スル報告ニアラズ。余ハ前會ニモ答辯ヲ要求シタルモ、當時議事ノ都合ニ依リ延期トナリタリ。願クハ今日市會ニ於テ、市長ヨリ公然答辯アリタシト希望シ。**尾崎市長**ハ、余ハ市會ノ規則ヲ熟知セズ、衆議院ノ規則ニ慣レタル爲メ、全員委員會ニ報告スレバ、全員委員長ガ改メテ、議長席ニ着キタル時、其經過ヲ報告スルヲ以テ正式ノ報告ナリト心得タリシモ、市會ニハ全員委員長ナルモノナケレバ、議長ガ其席ニ於テ報告スレバ、全員委員長ノ職ヲ假リニ議長ガ執リタルモノトシテ、其時ノ全員委員長ヨリ、改メテ議場ニ報告スベキモノト思惟セリ。然レドモ議長ニ於テ、更ニ本職ヨリ報告スベシトノコトナレバ、余ハ再ビ陳述スベシ。即チ市街鐵道會社ト屢ミ交涉ヲ試ミタルモ、同社ガ今日マデ募集セザリシ株金ノ募集期モ目下已ニ切迫シタレバ、買收價格モ昂騰シ、市ガ引受ケントスル標準ト合致セザルコトヽナリツヽアリ。斯ル交涉ハ會社ノ資本額ノ增加セザル間ニ進捗スルニアラズンバ成功ノ望ナシ、何トナレバ是レ畢竟金錢上ノ問題ナル

ガ故ニ、市ガ引受クルニシテモ、巨額ノ資金ヲ要スルトキハ損失ヲ免レザレバナリ。然ルニ先般來當局者ニ交渉中、先方ハ急ヲ要シ、當方ハ遷延シタル爲メ、遂ニ千五百萬圓迄增資スルコトニ決シタルヲ以テ、此上交渉ヲ進ムルモ、市ノ事業トシテ有利ナル結果ヲ收ムルコト能ハザルベシトノ見込ヲ立テ、全員委員會ニ於テ之レガ經過ノ概略ヲ報告セリト述ベ、斯クテ電車市有問題ハ一先ヅ終結ヲ告ゲタリ。

第拾五節　日比谷公園音樂堂建設

第九十三號

繼續日比谷公園豫備費支出ノ件（○印ハ委員會修正　—印ハ委員會削除）

一金　五千八百參拾壹圓五拾壹錢八厘　○
　　四千九百八拾七圓六拾八錢

音樂堂建設費

右明治三十六年度繼續日比谷公園豫備費ヨリ支出シ、日比谷公園內ヘ音樂堂ヲ建設スルモノトス。

明治三十六年六月十五日提出

東京市參事會

東京市長　松田秀雄

本案ハ六月十五日ノ會議ニ上程サレ、劈頭**渡瀨寅次郎君**、音樂堂建設ニハ贊成ナリ、然レドモ之ガ建設ヲナシタリトテ、樂隊ヲ雇ヒ、毎週何回演奏ストノ計畫ナキ以上ハ、建設ノ效果ナシ。既ニ效果ナキモノヲ建設スルハ早計ナラズヤ。故ニ當局者ニ於テ充分調査ノ上立案シ、然ル後建設ノ擧ニ出ヅルヲ可ナリト信ズルヲ以テ、本案ノ撤回ヲ望ム。然ラズンバ其時迄延期スベシトノ意見ヲ述ベ。**吉田助役**ハ、目今陸海軍ノ音樂學校ニ對シ、土曜若クハ日曜ヲ利用シ、一ケ月二三回位無料ヲ以テ奏樂ヲ依賴スベク計畫ヲ樹テ、折角照會中ナリト答ヘ、**丸山名政君**ハ、音樂堂ハ曩キニ日比谷公園設計當時、委員會ニテ尙早ナリトシテ、削除セルモノナリ。立派ナル音樂堂ノ建設ハ固ヨリ望ム所ナレドモ、今日ノ程度ニ於テハ、日本人中公園ニ赴キテ音樂ヲ聽カントスル趣味ヲ有スル者鮮少ナルベシ。日本人ノ解シ得ル音樂ハ、依然義太夫、長唄ノ類ナリトスベキモ、之ヲ演ズルハ困難ナリ。而モ日曜ニ音樂隊ヲ賴ミ、西洋音樂ヲ演奏スルモ、差シタル效能モナカルベケレバ、五千圓ヲ支出シテ鐵骨位ノモノヲ建設スルヨリハ、寧ロ他日國民ノ音樂趣味向上シタル時、立派ナルモノヲ建設スルヲ勝レリトストテ否決說ヲ主張シ。**中島行孝君**亦否決ニ贊成シタルモ、**大柴四郎君**ノ發議ニ依リ、議長指名五名ノ調査委員ヲ擧グルニ決シ、議長ハ委員ヲ左ノ如ク選定シタリ。

秋　虎太郎　吉田幸作　江崎禮二　城數馬　横田清兵衞

委員ハ**秋虎太郎君**ヲ委員長ニ推シ、調査ノ結果、七月十三日ノ會議ニ、**秋委員長**ヨリ口頭ヲ以テ左ノ如ク報告シタリ。

大體ニ於テ指定箇所ニ建設スルコトニ同意セリ。設計ニ就テハ、特ニ技師ノ說明ヲ求メタルニ、音樂堂ノ天井ヲ單ニ漆喰塗ト爲シ置クハ、體裁モ宜シカラザレバ、塗天井ニ要スル百四拾壹圓七錢ノ內譯豫算ヲ削除シ、板張リ即チ寄木ニスベキ設計ヲ爲シ、九百八拾四圓九拾錢八厘ヲ加ヘタル結果、總額ヲ五千八百參拾壹圓五拾壹錢八厘ト修正シタリ。

右ノ報告ニ對シ、**渡瀨寅次郎君**ハ建設後ノ計畫ニ就テ質問シ。**秋君**ハ、先般理事者ヨリ答辯アリシ如ク、音樂學校、

若クハ陸海軍ヘ交渉中ナリシトノコトナルモ、之ヲ以テ足レリトセズ、將來如何ナル方針ヲ執ルヤヲ確メシニ、理事者ハ無論計畫ヲ爲ストノ答辯ナリシヲ以テ、同意ヲ與ヘタルナリト答ヘ、異議ナク委員會報告通可決定セリ。

第拾六節　市長助役選擧

▽**市長候補者選擧**　六月二十四日市長選擧ノ爲メ會議ヲ開キ、議長ハ先ヅ市參事會ノ報告ヲ朗讀セシム。

市長候補者推薦ニ關スル內務大臣ノ命令書、別紙及傳達候也。

明治三十六年六月二十日

東京市參事會東京市長代理
名譽職參事會員　江　原　素　六

（別　紙）

東京市會議長仁杉英殿

東　京　府　東京市會

其市市長松田秀雄本月十五日退職ニ付、市長候補者三名推薦スヘシ。

明治三十六年六月十八日

內務大臣　男爵　內　海　忠　勝

杉原榮三郎君ヨリ、緊急動議トシテ市長選擧ハ、東京市全般ニ亙ル重大ノ問題ナレバ、他ニ參事會員其他ノ選擧、若クハ議案等アルモ、市長ヲ迎フルニ禮ヲ厚フセンガ爲メ、市長、助役選擧其他緊急議案以外ハ此日ノ會議ニ附議セザランコトヲ希望スト述ベ、異議ナカリシヲ以テ、議長ハ、市長候補者三名ノ選擧ニ關シ、投票ノ手續等ヲ說明シ、順次投票ヲ行ヒタリ。開票ノ結果左ノ如シ。

第一回（總數四十七票）
四十六點　尾崎行雄
第二回（總數四十七票）
三十點　神鞭知常
第三回（總數四十七票）
二十九點　小幡篤次郎

右當選ノ結果ハ、直チニ議長ヨリ內務大臣宛上申ノ手續ニ及ビタルニ、七月十三日ノ會議ニ於テ內務大臣ヨリ左ノ傳達アリタル旨報告アリタリ。

右東京府東京市長就任ノ義本日裁下ヲ經タリ
明治三十六年六月二十九日

正三位　尾崎行雄

內務大臣　男爵　內　海　忠　勝

▽**市長年俸ノ改正**　尾崎市長就任ト共ニ、市參事會ハ從來ノ市長年俸五千圓ヲ六千圓ニ改正スル爲メ、七月十三日ノ會議ニ左ノ如キ議案ヲ提出シタリ。

第百十一號

市吏員給料改正ノ件

市吏員給料額ノ內左ノ通リ改正スルモノトス

一市　長　年俸六千圓

市參事會員**大岡育造君**、市長年俸增加ノ必要ヲ認メ、本案ヲ提出シタルヲ以テ贊成アランコトヲ求ムト說明シタルニ。**城數馬君**ハ、說明十分ナラズ、市長ニ限リ特別ニ千圓增額ヲ爲サヾルベカラザル理由如何ト質問シ、說明ノ必要ナシト叫ブ者アルヤ。**城君**ハ、然ラバ說明ヲ待タズシテ意見ヲ述ブベシ、本案ノ理由ガ、東京市長從來ノ俸給額ハ市長ノ體面ヲ保ツベク餘リニ少額ナレバ、今少シク增額セザルベカラズト云フニアラバ、無論贊成ナリ。併ナガラ此精神ハ兎モ角トシテ、今日ハ市長ノ年俸ノミヲ議スベキ時機ニアラズ。六千圓ノ給料額ハ、東京市トハ比較ニナラザル他ノ小都市ノ市長スラ受ケ居レルヲ以テ、此等ノ權衡上、十分ニ俸給ヲ與フル精神ナリトセバ、更ニ增額スルモ不可ナシ。又斯ノ如キ精神ナラバ、市長俸給增額ノ件ハ普通ノ議案ト異ルガ故ニ、今日蒟蒻版ヲ以テ配付シ、而シテ今日直ニ之ヲ議スル程ノ必要ナク、普通ノ議事法ニ依リ、三日前ニ議案ヲ配付シ、次回ノ會議ニ上程スルモ可ナリ。殊ニ未ダ議場ニハ現ハレザルコトナレドモ、諸君ハ今ヤ助役問題ニ付テモ頭ヲ惱マシツヽアルニ非ズヤ。即チ助役ヲ幾人トナスヤ、又部長ヲ置クヤ否ヤ、之ニ關シ理事者ニ於テ、先ヅ大體ノ方針ヲ定メ之ニ依テ助役數、俸給等ヲ立案スベキナリ。然ルニ今獨リ市長ノ俸給ノミヲ增額セザルベカラザルノ理由何處ニアリヤヲ解スルニ苦シムトテ反對シタルモ、贊成者ナク原案通可決シタリ。

▽助役選擧　六月二十四日ノ會議ニ於テ、市長候補者選擧ニ次イデ、助役選擧ニ移リ、高級助役一名ノ投票ヲ行ヒタル結果、左ノ如ク當選セリ。

（總數四十七票）

三十二點　丸山名政

右選擧終ハルヤ、**杉原榮三郎君**ノ發議ニテ、他ノ二名ハ當分延期スルコトニ決セリ。而シテ助役ニ當選セル**丸山名政君**ハ、六月二十五日東京府知事ノ認可ヲ受ケ就職シタレバ、市會議員ノ資格消滅セル旨、九月十四日ノ會議ニ於テ報告、續イテ助役選擧ヲ行ハントシタルモ、**松長光吉君**ノ發議ニ依リ、又モヤ延期トナリ、八月六日ノ會議ニ於テ、**松長君**ヨリ一級俸ヲ與フル助役一名ヲ選擧シ、他ノ一名ハ暫ク延期スベシトノ動議出デ、異議ナク一名ノ投票ヲ行ヒタリ。開票ノ結果左ノ如シ。

（總數三十五票）

三十四點　中鉢美明

右助役ニ當選セル**中鉢美明君**ハ、八月七日東京府知事ノ認可ヲ受ケ就任セルニ付、市會議員及名譽職參事會員ノ資格消滅セル旨、九月十四日ノ會議ニ於テ報告アリタリ。

▽助役定員減員ニ關スル條例　助役定員三名中二名ノ選擧ヲ了シ、一名ハ缺員ナリシモ、助役ハ二名トスル方針ニ決シ、九月十四日ノ會議ニ於テ、市參事會ヨリ左ノ議案提出アリ、異議ナク之ヲ可決セリ。

第百十九號

助役定員減員ニ關スル條例設定ノ件

本市助役定員ヲ左ノ如ク減員ス

一助役　貳名

第拾七節　土木常設委員設置

▽土木部長選任ノ質問　九月十四ノ會議ニ於テ、**野々山幸吉君**ハ、先般助役選擧ノ際、丸山助役ハ、市長ハ即チ大臣ノ如ク、助役ハ總務長官ノ如キモノニシテ、此觸頭（フレガシラ）ノ數多キハ不可ナルヲ以テ之ヲ一人トシ、其代リ各部ニ部長ヲ置キ、之ニ指揮命令シテ、事務ノ能率ヲ擧ゲザルベカラズ。從ツテ從來ノ如ク、助役ノ兼任制ヲ廢シ、專門ノ部長ヲ置クニ就テハ、千貳百圓ノ俸給ニテハ適任者ヲ得難キニ依リ、之ヲ貳千圓位ト爲シタシト希望シタレバ、余ハ之ニ贊成シ、又其ノ人ヲ得ルノ途ハ、內務省ニ於テ技術ニ熟達スルモノ、或ハ地方ニ於テ土木事業ニ經驗アルモノヲ依賴スルヨリ外ナカルベシトノコトニテ、之ニモ亦贊成シタリ。然ルニ其後部長選任ノ有樣ヲ見ルニ、市參事會ノ未ダ決定セザルニ先ダチ、市會ノ重ナル者ト協議シテ、前小石川區長ニシテ年俸九百圓ヲ受ケタル者ヲ一躍千八百圓ノ高給ヲ以テ土木部長ニ任ゼリ。何處ノ土木學校ヲ卒業シ、如何ナル地方ノ土木事業ヲ經驗セシヤヲ知ラズト雖モ、余ヲ以テ之ヲ見レバ經驗アル者トハ思ハレズ、否、其經歷ニ就イテ聞ク所ニ據レバ、全然素人ト見ルノ外ナキナリ。前ニ助役ノ兼務セル時ニ比スレバ、閱歷其他ノ點ニ就イテ甚シキ遜色アルノミナラズ、事ロ其懸隔ノ餘リニモ著シキモノアルニ驚ケリ。東京市ノ土木事業ハ經常費五拾萬圓、割栗道路拾五萬參千圓、市區改正其他ヲ加算セバ、恐ラク百萬圓以上ニ達スベシ。此大事業ヲ司ル所ノ部長ノ頭ガ白紙同樣ノモノニテハ、今後ノ事業遂行上如何ナル損失ヲ來スヤモ測リ知ルベカラズ。又衞生方面ニ於テハ、其豫算僅ニ貳拾參萬四百餘圓、其內貳拾壹萬五千餘圓ハ區役所、病院、其他消毒所ノ豫算ニシテ、餘ス處僅カ壹萬五千餘圓ガ專ラ東京市衞生部ノ豫算ナリ。斯ル小規模ノ事務ニ對シ、顧問ヲ設ケテ之ニ貳千圓ト云フ第一級ノ報酬ヲ給シ、而シテ百萬圓ノ土木事業ヲ掌ル所ノ部長ニハ、第二流ノ千八百圓ノ給料ヲ與フルニ至テハ其眞意ヲ了解スルコト能ハス、市長ノ所見如何トノ質問ヲ爲シタルニ對シ。**尾崎市長**ハ、野々山君ノ質問ハ事ロ詰問ニ屬スベキ事柄ニシテ、判然答辯シ難キモノアリ。人事ノ選任ニ關シ、私席ニ於テ如何ナル談話アリシヤ承知セザルヲ以テ、一々答辯ノ必要ナカルベシ。又金ノ使用高ト、部長若クハ顧問ノ俸給ノ釣合ヲ得ザルコトハ如何ニモ尤ノ如クナルモ、實際ノ仕事ノ上ニハ、釣合ヲ保持スルコト必ズシモ必要ニ非ザルベシト信ズト說明シ。尙山根君（註、衞生顧問）ハ就任後一兩日ヲ經テ報酬ヲ辭退セラレタリト附言セリ。**野々山君**ハ、改メテ土木部長ニ關スル答辯ヲ求メタルニ對シ。**尾崎市長**ハ、土木部長ヲ推薦セルハ市長ナリ。而シテ助役及ビ參事會員ノ贊成ヲ得タルハ勿論ナレドモ、其是非ニ付テハ、主トシテ余ニ於テ、其責ニ任ゼントス。現在ノ土木部長ノ土木事業ニ對スル頭腦ハ、或ハ白紙ノ如キモノナルヤモ知レズ。然レドモ書キ汚シタル草紙ヨリモ、白紙ノ方ハ可ナルベシ。蓋シ是ヨリ手習ヲ爲サバ、將來良キ字ヲ書キ得ベケレバ、事ロ之ヲ擇ブニ如カズト考ヘタリ、即チ各官廳又ハ各府縣ノ土木事業ニ從事シテ、不良ナル手習ヲ爲シタル者ヨリモ、白紙ノ方可ナルベシトノ理由ニテ選定セルナリ。其結果、若シ東京市ニ不幸ヲ及ボス如キコトアラバ、其災未ダ大ナラザル以前ニ、斷然處分スル覺悟ナリト說明シタルニ。**野々山君**ハ、責任ヲ以テ當ラルヽコトハ諒解セリ。併シナガラ世ノ諺ニモ、物ヲ知ラザル者ヲ素人ト云ヒ、物ヲ知レル者ヲ玄人ト稱スレド、草紙ノ如ク字ヲ書シアルノ故ヲ以テ、强チ不可ナルコトモナカルベシ。成程白紙ニテモ其心懸ケト稽古次第ニテハ立派ナル文字モ書クコトヲ得ベシ。東京市ヨリ千八百圓ノ俸給ヲ受ケ、百萬圓足ラズノ金ヲ使ウテ稽古ヲ爲サンニハ、稽古スル者ニ取リテハ誠ニ好都合ナルベキモ、稽古セラルヽ者ハ、甚ダ迷惑ナリ。目下稽古中ナルハ恐ラクハ

ろは程度ナラン、先般月島ノ下水ヲ入札シタルモ、其買入材料ノ値段モ杜撰、工事ノ設計モ杜撰、全ク所謂ノ如ク白紙ナリトテ、其實例トシテ尚日本橋富澤町ノ下水、龜島町ノ護岸、道路ノ割栗工事、淺草聖天町ノ下水等ヲ擧ゲテ全ク文字通リ白紙ナルコトヲ攻撃シ、東京市ノ土木事業ノ設計ハ總テ杜撰、物品ハ高價ニ買入ルヽコト斯ノ如シ。本員モ理事者同樣ニ責任ヲ負ヒ、決シテ根據ナキコトヲ述ブルニアラズト力說シ、尚月島ノ三ヶ年繼續事業ノ實況ヲ說キ、水道及ビ下水等ノ關係ニ就キテ、東京市ノ事業ニ統一ナキ弊ヲ痛言シ、理事者ニシテ眞ニ責任ヲ負ハントナラバ、仕事ヲ習得セシメラルヽ樣希望シテ止マズ。尚又參事會ニ於テモ、白紙先生ノ提出シタル議案ニハ盲判ヲ捺スコトナク、工事ハ大切ナルヲ以テ、忙中煩ヲ厭ハズ十分審査ヲ望ム旨ヲ附言セリ。最後ニ**田口卯吉君**ヨリ衞生顧問ニ關シテ、所見ヲ陳ベテ、土木部長及ビ衞生顧問ニ關スル質問ヲ了レリ。

▽**土木常設委員設置ノ建議**　九月十四日ノ會議ニ於テ、土木部長及ビ衞生顧問ニ關スル質問應答アリタル後、**青木庄太郎君**ハ口頭ヲ以テ左ノ建議ヲ爲セリ。

本市ノ土木事業ハ、逐年其費額ヲ增加スル情況ナルヲ以テ、本事業ノ進捗ヲ圖ル爲メ、土木常設委員ヲ設置スルコトノ必要ヲ認ムルニ依リ、至急其組織權限等ヲ取調ベ、發案アランコトヲ望ム。

同時ニ左ノ建議モ併セテ之ヲ提出セリ。

市區改正事業ハ土木事業ト同樣ナルヲ以テ、從來ノ市區改正常設委員ヲ廢止スベシ。

之ニ對シ、**田口卯吉君**ハ、東京市ノ土木部ガ種々ノ點ニ於テ不行屆ナル事實ヲ耳ニシ、今又野々山君ノ所說ヲ聞キテ慨歎ニ堪ヘズ。蓋シ是レ當局ノ十分ニ精神ヲ入レザル結果、斯ノ如キ不都合ヲ生ズルモノナルベシ。而シテ常設委員ヲ設ケ此弊ヲ矯正セントセバ、常設委員ヨリ生ズル弊害ノ更ニ甚シキモノアルナキヤヲ慮ルヽナリ。是迄服務規律ヲ奉ゼザル名譽職ガ、市吏員ノ仕事ニ立入リ、其間種々ノ風聞ヲ生ゼリ、東京市會ヲ腐敗セシメタルハ、重ニ土木事業ニ關係シタル事柄ナリキ。此ノ利權ヲ伴フ事業ガ市會ヲ腐敗セシムル事多キ今日、常設委員ノ如キモノヲ設ケ、請負人等ト互ニ私邸ニ往復シタランニハ、殆ンド拾收スベカラザル事態ヲ釀生スルノ恐ナキヤ。萬一六十人ノ同僚間ニ於テ、種々ナル惡弊ヲ生ゼンニハ、何ヲ以テ制裁ヲ加フベキカ。是レ篤ト熟考ヲ請ハザルベカラザル所ナリトテ、建議ニ反對シ、**城數馬君**ハ、田口博士ノ口調ヨリスレバ、市ノ事業ニ付テ調査委員ヲ設置スルコトハ絕對ニ廢止セザルベカラザルニ歸着スベシ。東京市ハ現ニ養育院竝ニ衞生ニ關シ、常設委員アリ、又市區改正ニ關スル常設委員モ長期ニ亘リ設置シ來レリ。然ルニ田口博士ハ、此等ノ委員ノ弊害ヲ指摘スルコトナシ。彼ノ市區改正ノ如キ、土木事業ノ一部ナルニ拘ラズ、常設委員ニ弊害アルヲ聞カザレドモ、名儀ヲ變ジテ土木事業ノ常設委員トナルニ於テハ弊害ヲ生ジ、市區改正ナラバ年々百萬圓ノ金高ヲ取扱フモ弊害ナキガ如クニ聽取セラレ、議論一貫セズ。斯ノ如キ議論ノ爲メ建議ノ通過ヲ妨ゲラルヽハ遺憾ナリト言フヤ、**田口君**ハ、市區改正常設委員ハ今日其必要ヲ感ジ居ラズ。併シ金額モ土木程ニアラズ、事柄モ大ナラザルガ故、余ハ之ヲ見逃スモ苦シカラズ。然レドモ若シ之ヲ廢止セントスル議論出ヅルコトアラバ、何時ニテモ贊成スベシ。更ニ進ンデ土木常設委員ヲ設置スルニ至テハ、常設委員ガ檢分シ、市參事會ガ調査シ、更ニ又市會ノ委員ガ調査ヲ爲スコトヽナルガ、斯ク重複シテ委員ヲ設クルノ必要ナク、且ツ之ガ爲メニ弊害生ジ又委員タラントスル競爭起リ、遂ニ如何トモスベカラザルニ至ルベシト述ブレバ、**城君**ハ復亦前說ヲ繰返ヘシ市區改正委員トシテ、弊害ナキモノガ、土木常設委員トシテ何故弊害ヲ生ズルヤ、辯明ナキ以上、田口博士ノ論ハ何等ノ根據ナシ、弊害云々ハ別トシテ、不必要ヲ唱フルニ至ツテハ驚クノ外ナシトテ、田口博士ノ反省ヲ促ガス旨ヲ述ベ、**野々山幸吉君**ハ、土木ノ方ハ平常ハ不必要ナルヤモ知ラザレドモ、今日ノ如キ白紙先生ガ其衝ニ當ル時ハ、常設委員

ヲ置クノ必要アリトテ賛成シ、**豊島仁吉君**ハ凡ソ政治ハ、事ヲ議スルニ當テハ多數ヲ以テ之ヲ決シ、而シテ之ヲ行フニ當テハ少數ニ委スルヲ原則トス。今日市町村ニ於ケル弊害ハ、此ノ事務ヲ分任スル點ヨリ生ズルナリ。殊ニ尾崎市長其他助役等ニ於テモ、就任日尚淺ケレバ、市政ニ不馴レナルベシ。然レドモ未ダ失錯モ見ザルニ不馴レナレバトテ常設委員ヲ設ケザルベカラズトナスハ如何アルベキ、萬一今日ヨリ不安心ナリトセバ、寧ロ進ンデ不信認案ヲ提出スベキナリ。市長モ更迭シタル斗リノ際ナレバ、餘リ干渉ヲ爲サズ、暫ラク一任シテ其手際ヲ見ルヲ可トスベシトテ、常設委員設置ニ反對シ、**肥塚龍君**、亦市長ガ責任ヲ負フコトノ言葉未ダ乾カザルニ、市會ガ進ンデ其責任ヲ分タントスルハ、何タル事ゾヤ。又土木ノ事タル常設委員ヲ置クニアラザレバ、調査ヲ爲ス能ハザルヤト言フニ左ニアラズ。又土木常設委員ニハ必ズ弊害ヲ伴フベキモノニアラズ、市會議員諸君モ亦自ラ弊害ヲ釀ス如キコトナカルベシト雖、全國到ル處ニ收賄ノ聲頻リナリ。殊ニ東京市ガ醜聞醜態ヲ現ハセル本源何所ニアリヤト言ハヾ、土木事業ソノモノナリ。田口君ガ土木事業ハ危險ナリト云フ考ヲ起セルハ無理ナキコトナリトテ反對意見ニ賛成シ、**佐治實然君**ハ、土木常設委員ナルモノハ、恰モ學務委員ノ如キモノナレバ、市會ガ責任ヲ負フモノニアラザルベシト力說シ、肥塚龍君ニ對シテ辯明スル所アリ。**肥塚君**ハ、行政部ニ全責任ヲ負ハシムルヲ以テ、自治機關ヲ運轉スル至當ノ順序ナリトノ考ヨリ反對スルモノナル旨ヲ述ベ、**渡瀬寅次郎君**ハ理事者ニ向テ、初ヨリ詰問的質問ノ續出セルヲ悲シム者也ト前提シ、今ヤ市長ヲ初メ助役部長ニ至ル迄就任日尚淺ク、市政ノ改良ニ孜々汲々タル際ニアラズヤ、從前ヨリノ仕事ニ關シテハ矯正スベキモノアランモ、今之ヲ捕ヘテ彼是云フハ好マシカラザル所ナリ。市會議員ハ當局者ヲ助ケテ、市政ノ圓滿ナル運用ヲ圖ルベク、常設委員ノ設置モ亦此ノ精神ニ外ナラザルナリトテ、滿場一致ノ可決ヲ望ミ、採決ノ結果、靑木庄太郎君ノ土木常設委員設置ノ建議ハ多數ヲ以テ可決サレタリ。

右市會ノ決議ニ基キ、十一月二十六日ノ會議ニ於テ左ノ三案提出セラレタリ。

第百六十六號　土木常設委員設置ノ件

第一條　本市ニ土木常設委員ヲ置ク

第二條　委員ハ左ノ人員ヲ以テ組織ス

委員長　一人
市參事會員　三人
市會議員　四人

第三條　委員ハ土木事業竝ニ市區改正事業執行ニ關スル事務ニ參與ス

第四條　委員長ハ委員會ノ整理ヲ掌ル

第五條　委員ノ任期ハ一ケ年トス但滿期後再選セラルヽコトヲ得

說明　本年九月十五日本市會決議ノ趣會ニヨリ本案ヲ提出ス

第百六十七號　市區改正常設委員廢止ノ件

本市ニ設置セル東京市區改正常設委員ヲ廢止ス

第百六十八號　豫備費支出ノ件

一金七百五拾圓

但別紙内譯表ノ通リ

右市明治三十六年度豫備費ヨリ支出スルモノトス

說明　第百六十六號議案ノ結果本案ヲ提出セリ

内譯

第六款　土木費	七五〇・〇〇〇円
第十一項　市土木常設委員費	七五〇・〇〇〇

右三案ヲ一括シテ議題ニ供スルヤ、**江間俊一君**ノ發議ニ由リ、七名ノ委員付託ニ決シ、議長**大岡育造君**ハ委員ヲ左ノ如ク指名セリ。

市原求　江崎禮二　木村莊平　宮川鐵次郎　仁杉英
關直彥　青木庄太郎

委員ハ**仁杉英君**ヲ委員長ニ推シ、調査ノ結果、土木常設委員設置ノ件ハ修正ヲ加ヘ、其他ノ二案ハ原案ヲ可決シ、之レガ意見報告ヲ十二月二十三日ノ會議ニ提出シタリ。

第百六十六號

土木常設委員設置ノ件

（○印ハ委員會修正　―印ハ同削除）

第一條　本市ニ土木常設委員ヲ置ク

第二條　委員ハ左ノ人員ヲ以テ組織ス

委員長　一人
市參事會員　三人
市會議員　六人　四人

第三條　委員ハ土木工事竝ニ市區改正事業執行ニ關スル事務ニ參與從事ス

第四條　委員長ハ委員會ノ整理ヲ掌ル

第五條　委員ノ任期ハ一箇年トス但滿期後再選セラルヽコトヲ得

委員長仁杉英君、區長就任ニ依リ資格消滅セシカバ、**江崎禮二君**、代ッテ報告ヲ爲シテ曰ク、

人員ノ上ニ於テ市會議員ヲ六人トシ、第三條「事務ニ參與」ヲ「從事」ト修正シ、第五條ノ委員ノ任期ハ市參事會ト市會トニテ組織スルモノナレバ、必要ナシト認メテ之ヲ削除シ、尙第百六十七號市區改正委員廢止ノ件、第百六十八號常設委員會費豫備費支出ノ件ハ原案ヲ可決セリ。

田口卯吉君ハ、本案ハ前會ニ於テ委員付託トナリタレバ、委員ハ當局者ノ意見ヲ聽取セルナラン。併シ我々市會議員ハ未ダ當局者ガ如何ナル意思ヲ以テ本案ヲ提出セルヤヲ聽取スル機會ヲ得ザリキ。當初市會ガ建議ヲ爲スニ方リテハ市ノ當局者殊ニ土木當局者ハ、事務ニ不馴ニシテ種々ノ缺點アリ、之ヲ傍觀スルニ忍ビズト言フヲ其ノ主ナル理由トシテ、常設委員ヲ設置シ、土木ノ監督ヲ爲サシメントスルニ在リタリ。然ルニ當局者ヨリ本案ノ提出アルヲ見レバ、當局者ハ自ラ土木事業ヲ處理スルコト能ハザルヲ自白セルモノヽ如シ。併シナガラ余ハ當局ガ斯ノ如キ意味ヲ以テ提

案シタルモノトハ信ゼザルモ、何故市會ヨリ委員ヲ擧ゲントスル意見ヲ抱クニ至リタルカ。此點十分說明アランコトヲ望ムト述ベ、**尾崎市長**ハ、吾々當局者ハ市會ノ建議ハ必ズシモ田口君ノ述ベラレシ一點ノミニ依ッテ成立セルモノトハ認メザルナリ。建議ノ成立セル理由ニ至ッテハ種々ノ經緯アルベシト雖モ、要スルニ土木常設委員ノ設置ハ、大多數ノ希望ナルコトヲ認メタルナリ。既ニ市會大多數ノ希望タル以上ハ、其事柄ガ市ノ公益上ニ大害ヲ及ボス虞ナキ限リ、輿論ヲ尊重スルコトガ市政運用ノ妙諦ナリト信ジタルニ依ル。決シテ自ラ無能ヲ表白スル意味ニハアラズト辯明シ、**銀林綱男君**ハ土木事業ハ本市事業中金額ニ於テモ殆ンド半額ヲ領シ、又事務ノ繁多ナル點ヨリスルモ、殆ンド市ノ事務ノ半ヲ占ムルヤニ考ヘラルヽナリ。斯ク重要且ツ繁雜ナル事務ニ對シ、常設委員ヲ置イテ處理スルコトヽナラバ、該常設委員ハ、毎日或ハ隔日ニ市役所ニ出勤シテ事務ヲ執ルニアラザレバ、却テ今ヨリ延滯ノ虞アリ。今ヤ東京市ノ豫算ハ他ノ府縣ノソレニ數倍セリ。而シテ其金額ノ半ニ達スル土木事業ヲ、名譽職ノ片手間ニ處理セシメントスルハ無謀ナリト謂フベシ。由來本市ハ市長、助役、部長、或ハ課長等ノ專任者ヲ置キテ事務ニ當ラシメツヽアリ、然ルニ此ノ專任者以外、別ニ名譽職ヲシテ之ガ任ニ當ラシムルハ難キヲ强フルモノニアラズシテ何ゾヤ。本案ハ市長、助役竝部長ニテハ土木事業ヲ行フニ不十分ナリト認メタルヲ以テ、特ニ常設委員ヲ置キ之ヲ處理セシムルニアラザレバ、十分實績ヲ擧ゲ難シト認メタル爲メナルガ如ク、其他ニ明瞭ナル理由アルヲ聽カズ。果シテ然ラバ、市長助役ニ於テモ之ニ甘ズル譯ナカルベシ。理事者ノ態度不十分ナリトシ、更ニ委員ヲ置キテ適當ナル刺戟ヲ與ヘ、能ク其ノ重任ニ堪ヘシメントスルハ甚ダシキ見當違ヒナリ。斯クノ如クンバ事ロ理事者ヲ更迭スルニ如カズ。此ノ事ハ市ノ永久ノ利害ニ大關係ヲ有スルヲ以テ、篤ト熟考ノ上決議スベキモノナレバ、廢案ヲ希望ストノ意見ヲ述ベタルニ、**江間俊一君**ハ、本會ガ委員設置ノ建議ヲ爲シテヨリ僅ニ四十日ヲ經過セルノミ。然ルニ今之ヲ否決セントスルハ市會ノ面目上面白カラズ。尙理事者無能トナラバ追放スルノ途モアルニアラズヤトノ議論アリシガ、理事者ニシテ事實無能トナラバ余等ト雖モ敢テ遠慮ハセザルナリ。本案ノ常設委員設置ハ斯ル場合ヲ意味スルニ非ズ、土木事業ハ金額ノ多キ大事業ナルガ故ニ、敢テ援助ヲ爲サントノ趣意ヨリ出タルモノナリト辯疏シタリ。之ニ對シ**肥塚龍君**ハ本會ガ之ヲ否決スルトモ毫モ市會ノ面目ニ關スルコトナカルベシト主張シタルガ。此時議長**大岡育造君**ハ、重要議案ナレバトテ第二讀會ヲ開クヤ否ヲ採決シタルニ、多數ヲ以テ可決サレ直チニ第二讀會ニ入リタリ。

第二讀會ニ於テハ**下村四郎君**ノ第二條中市會議員六人トアルヲ、十五人トスル修正說ヲ採決シタルニ、少數ニテ成立セズ。第三讀會ニ於テ**關幸太郎君**ハ第三條中「事務ニ參與ス」ト修正シタリ、然レドモ余ハ更ニ「事務ヲ監査ス」ト修正スベシトスル意見ヲ述ブレバ、**渡瀨寅次郎君**ヨリ監査ハ全クソノ性質ヲ異ニス、若シ「從事」ノ文字ガ不可ナリトスレバ「處理」ト修正スベシトノ說出デ、之ガ採決ニ先ダチ、鹽島仁吉君ノ廢案說ヲ採決シタルニ少數ニテ敗レ、次イデ渡瀨君ノ第三條中委員會修正ノ「從事」ヲ更ニ「處理」ト修正セントスル說ハ採決ノ結果多數ヲ以テ成立シ、他ハ委員會修正通可決シタリ。次ニ第百六十七號市區改正常設委員廢止ノ件、第百六十八號豫備費支出ノ件ハ兩案共委員會報告通リ即チ原案通リ可決サレタリ。

是ニ於テ土木常設委員中市會議員ヨリ選出スベキ六名ノ委員ノ選擧ヲ行ヒ、左ノ如ク當選セリ。

岡田榮一　稻茂登三郎　秋山虎太郎　江崎禮二　石塚剛介

杉野秀行

第拾八節　市會議員當選取消ノ訴願

十一月十二日ノ會議ニ於テ、市會議員江間俊一當選取消ノ訴願二件ヲ議題ニ供セリ、即チ左ノ如シ。

市會議員補缺選擧當選取消訴願

東京市下谷區下谷御徒町一丁目六十五番地　平民無職業

訴願人　大澤常正

弘化三年二月十五日生

一定ノ要求

明治三十六年九月三十日東京市下谷區役所ニ於テ爲シタル東京市會議員補缺選擧ニ當選シタル江間俊一ハ曩ニ公權停止ニ付セラルヘキ輕罪ニ付公判ニ付セラレ選擧名簿調製及確定ノ當時市公民權ヲ失ヒ選擧名簿ニ登錄セラレサルモノナリ故ニ江間俊一ハ其選擧ニ關係スルコトヲ得サルモノナルニ右選擧ニ當選シタリトノ告知ヲ受ケタルハ違法ナルニ付之レカ取消ヲ請求スルニ在リ

判相成度

不服ノ要點

事實及理由

明治三十六年九月三十日東京市下谷區役所ニ於テ爲シタル東京市會議員補缺選擧ニ當選シタル江間俊一ハ曩ニ公權停止ニ付セラルヘキ輕罪ニ付公判ニ付セラレ選擧名簿調製及確定ノ當時市公民權ヲ失ヒ選擧名簿ニ登錄セラレサルモノナリ故ニ江間俊一ハ其選擧ニ關係スルコトヲ得サルモノナルニ右選擧ニ當選シタリトノ告知ヲ受ケタルハ違法ナルニ付之レカ取消ヲ請求スルニ在リ

江間俊一ハ明治三十六年九月三十日東京市下谷區役所ニ於テ爲シタル東京市會議員選擧ニ於テ七百五十四點ヲ以テ當選シ即日選擧掛長下谷區長横田一郎ヨリ當選告知ヲ受ケタリ而テ江間俊一ハ明治三十五年中公權停止ヲ付セラルヘキ輕罪ニ付公判ニ付セラレ明治三十六年九月二十五日無罪ノ判決確定シタリ故ニ右選擧ニ關スル選擧原簿及選擧名簿調製ノ當時ハ市公民權ヲ失ヒ該名簿確定ノ期日ハ明治三十六年九月二十日ニシテ江間俊一カ公民權ヲ回復シタルハ同年同月二十五日無罪ノ判決確定ノ日ナルヲ以テ同人ハ確定選擧名簿ニ登錄セラレサリシモノトス從テ江間俊一カ明治三十六年九月三十日東京市下谷區役所ニ於テ爲シタル東京市會議員補缺選擧ニ關係スルコトヲ得サルハ明瞭ナル事實ナリ然ルニ同人カ該選擧ニ於テ市會議員ニ當選シタルハ市町村制ニ違犯スルモノナルヲ以テ一定ノ要求ニ於テ申立タル如ク該當選取消ノ裁決ヲ受クル爲メ本訴願ニ及ヒタル次第ナリ

訴願

東京市下谷區上野町一丁目十二番地　平民呉服商

訴願人　伊藤重兵衛

安政四年九月十九日生

東京市下谷區下谷二長町三十五番地　平民金屬製造業

訴願人　山本襲二

慶應三年十月十日生

東京市會議員補缺選擧當選者江間俊一ノ被選擧權有無ニ關スル訴願

理由

一、明治三十六年九月三十日下谷區ニ於テ執行シタル東京市會議員補缺選擧ニ付選擧掛長ハ同日江間俊一ヲ當選者ナリト決定セリ

二、右江間俊一ハ明治三十五年十一月以來詐欺取財犯罪ノ嫌疑ニ依リ靜岡地方裁判所ノ豫審ヲ終テ同裁判所輕罪公判ニ附セラレ爾來明治三十六年九月二十六日東京控訴院ノ判決確定ニ至ルノ間公民權ヲ停止セラレタル者ニシテ今回執行セラレタル選擧ノ基礎タル選擧人確定名簿ニ登錄セラレザリシ者ナリトス

三、選擧人名簿ハ選擧ノ基礎ニシテ其之ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選擧ニ關スル事ヲ得サルハ市制第十八條ノ明示スル處而シテ選擧ニ關スル事ヲ得ズトハ獨リ選擧權ヲ行フ事ヲ得ザルノミナラズ被選擧權ヲモ有セサルコトヲ意味スルハ蓋シ疑ナキ所タリ

四、選擧權ヲ有スル市公民ハ總テ被選擧權ヲ有スルハ市制第十五條ノ規定スル處ニシテ或ル少數者ヲ除キタル外汎ク選擧權アル市公民中ヨリ適任者ヲ選擇スルコトヲ得セシムルト同時ニ選擧權ト被選擧權トハ同體同量ナルコトヲ示シ從テ選擧權ナキ者ハ被選擧權ナキコトヲ明定シタル法條ナリ

五、純理ヨリ論ズレバ市公民タル者ハ總テ選擧權ヲ有スルガ故ニ苟クモ選擧ノ終ニ至ル迄ノ間ニ於テ市公民タルノ要件ヲ具備シタル者ハ何レモ皆選擧權ヲ附與スベキヲ當然トス然ルニ法律ガ選擧前六十日ヲ限リ選擧人名簿ヲ作成セシメ選擧前十日ヲ限リ之ガ修正ヲ許シ其之ニ登錄セラレサル者ハ選擧ニ關スルコトヲ得ザラシメタル所以ノモノハ實ニ選擧ニ付起ルベキ幾多ノ煩雜ヲ避ケンガ爲メニ外ナラズ故ニ是ガ爲メニ或ル市公民ガ其權利ニ制限ヲ受クルコトアルベキハ固ト法律ノ豫想スル處ナリ換言スレバ市ニ於テ選擧ヲ執行スルニ際シ其之レニ加ハリ得ベキ者ノ範圍ヲ限定シ其限定ヲ基礎トシテ選擧ヲ執行シ以テ選擧ノ秩序ヲ保タント期シタルニ在リトス是レ即チ選擧人名簿確定ノ效力ナリ

六、於是乎市制第十八條第一項ハ同第七條ノ要件ヲ具備シ第十八條ノ選擧人名簿ニ登錄セラレタル第十二條ノ選擧權アル市公民ニシテ始メテ被選擧權ヲ有スルコトヲ規定シタルモノナリト解釋セザルベカラズ否ラザレバ法律ガ嚴密ニ確定名簿ノ效力ヲ規定シタル趣旨ハ全ク沒了セラルヽニ至ルヲ如何セン

七、且夫レ選擧權ト被選擧權トハ同體同量ナル以上ハ一ハ確定名簿ニ登錄セラルヽコトヲ要シ一ハ之ヲ要セズトスルノ理由存セザルノミナラズ法條ニ於テ「何人タリトモ選擧ニ關スルコトヲ得ズ」ト規定シタル文意ハ單ニ選擧權ナキコトヲ示シタルニ止マラズシテ其效果ヲ受クルコトヲ得ザル旨ノ規定タルハ文理解釋上些ノ疑ヲ容ルヽノ餘地ナシ若シ然ラズトセバ「何人タリトモ」「關スル」等ノ文字ヲ使用スルノ要ナケレバナリ

以上ノ理由ニ依リ江間俊一ハ被選擧權ヲ有セサルニ係ハラズ是ヲ當選者ト爲シタルハ不服ニ付及訴願候也

一定ノ要求

明治三十六年九月三十日下谷區ニ於テ執行シタル東京市會議員補缺選擧當選者江間俊一ハ被選擧權ヲ有セザルヲ以テ其當選ヲ取消スベキ樣御裁決奉仰候也

明治三十六年十月五日

右

伊藤重兵衛㊞

山本襲二㊞

、東京市長尾崎行雄殿

右ニ對シ**杉原榮三郎君**ハ、裁定書調製等ノ爲メ、先例ニ依リ、五名ノ調査委員ニ附託セントスル動議ヲ提出シテ、委員附託ニ決シ、議長ハ、委員ヲ左ノ如ク選定シタリ。

稻茂登三郎　**關直彥**　杉原榮三郎　林謙三　石川甚作

委員ハ**關直彥君**ヲ委員長ニ推シ、審査ノ結果、兩訴願トモ理由ナキモノト決シ、十一月二十六日ノ會議ニ對シ、之ガ意見報告書ヲ提出セリ。

大柴四郎君ヨリ、二ツノ訴願中、一ハ二十五日ニ確定シ、一ハ二十六日ニ確定セリトノ兩種アリテ確定期日判然セザルモ、調査委員ハ如何ナル方法ニ依リ調査セルヤ又實際ノ期日果シテ如何ト質問シ、**關委員長**ハ、調査ノ結果控訴院ニ於テ、江間俊一君ニ對シ、無罪ノ宣告ヲ下セルハ九月二十二日ニシテ、夫ヨリ三日ヲ經テ、二十五日上告期間終結シタルヲ以テ、二十六日ヨリ無罪ト確定セルモノナリ。而シテ選擧ハ三十日ナレバ、九月二十六日ニハ一旦停止セラレタル公民權ノ恢復セルヲ以テ、假令確定名簿ニ登載ナシトスルモ、確定名簿ニ登載セルモノニアラザレバ、選擧ヲ行フコトヲ得ストノ條文ハ、選擧ノ規定ヲ定メタルモノニテ、確定名簿ニ登載無キモノハ絕對ニ公民權ナシト云フモノニアラズト解釋シ、且行政裁判所ノ先例モアルコトナレバ其資格アリト決定シタリト辯明シ、異議ナク委員ノ裁決書案ノ通リ可決セリ、即チ左ノ如シ。

裁定書

東京市下谷區下谷御徒町一丁目六十三番地　平民無職業

訴願人　大澤常正

右大澤常正ガ明治三十六年十月二日附ヲ以テ提起シタル訴願審理ヲ遂クル處

訴願ノ要旨ハ明治三十六年九月三十日東京市下谷區役所ニ於テ爲シタル東京市會議員補缺選擧ニ當選シタル江間俊一ハ曩ニ公權停止ヲ附セラルヘキ輕罪ニ付公判ニ付セラレ選擧名簿調製及確定ノ當時市公民權ヲ失ヒ選擧名簿ニ登載セラレサルモノナリ故ニ江間俊一ハ其選擧ニ關係スルコトヲ得サルモノナルニ右選擧ニ當選シタリトノ告知ヲ受ケタルハ違法ナルニ付之カ取消ノ裁決ヲ請求スルト云フニアリ

依テ審按スルニ江間俊一ハ訴願人申立ノ如ク公民停止ヲ附セラルヘキ輕罪公判ニ付セラレ選擧名簿調製及確定當時ハ市公民權停止中ニ屬シ選擧名簿ニ登錄セラレサリシハ事實ナリト雖モ選擧前公民權ヲ回復シ選擧權ヲ得タルモ亦事實ナリ而シテ市制第十八條第二項未段ニ規定セル確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選擧ニ關スルコトヲ得ストノ條文ハ選擧權行使ノ上ニ制限ヲ加ヘタルモノニシテ事實選擧權ヲ有スル者ト雖モ確定名簿ニ登錄セラレサルトキハ其權ヲ行使スルヲ得ズト云フニ過キス要スルニ該條文タル選擧手續ノ煩雜ヲ防クカ爲メニ外ナラスシテ絕對的ニ公民權ナシトノ精神ニアラサルヤ明カナリ然ラハ即チ本件當選人江間俊一ハ選擧前ニ公民權ヲ回復シ選擧權ヲ得タル者ナレハ確定名簿ニ登錄ナキガ爲メ其權ヲ行使スルコト能ハサリシモ選擧セラルヽニハ毫モ妨ケナキモノトス

右ノ理由ニ依リ裁決スルコト左ノ如シ

訴願人ノ訴願ハ相立タス

明治三十六年　月　日

弘化三年二月十五日生

裁決書

東京市下谷區上野町一丁目十二番地　平民呉服商
訴願人　伊藤重兵衛
安政四年九月十九日生
東京市同區下谷二長町三十五番地　平民金屬製造業
山本襲二
慶應三年十月十日生

右伊藤重兵衛山本襲二ヵ明治三十六年十月五日附ヲ以テ提起シタル訴願審理ヲ遂クル處訴願ノ要旨ハ明治三十六年九月三十日下谷區ニ於テ執行シタル東京市會議員補缺選擧當選者江間俊一ハ公民權停止ノ爲メ今回執行セル選擧人名簿ニ登錄セラレサリシ者ニシテ該人名簿ニ登錄セラレサル者ハ市制ノ規定上獨リ選擧權ヲ行フコトヲ得サルノミナラス被選擧權ヲモ有セサル者ナルヲ以テ其當選取消ノ裁決ヲ要求スルト云フニ在リ

依テ審按スルニ江間俊一ハ訴願人申立ノ如ク公民權停止ノ爲メ明治三十六年九月三十日下谷區役所ニ於テ執行シタル東京市會議員補缺選擧人名簿ニ登錄セラレサリシト雖モ選擧前公民權ヲ回復シ選擧權ヲ得タルモノトス而シテ市制第十八條第二項末段ニ規定セル確定名簿ニ登錄セラレサル者ハ何人タリトモ選擧ニ關スルコトヲ得ストノ條文ハ選擧權行使ノ上ニ制限ヲ加ヘタルモノニシテ事實選擧權ヲ有スル者ト雖モ確定名簿ニ登錄セラレサルトキハ其權ヲ行使スルヲ得スト云フニ過キス要スルニ該條文タル選擧手續ノ煩雜ヲ防クカ爲メニ外ナラスシテ絕對的ニ公民權ナシトノ精神ニアラサルヤ明カナリ然ラハ即チ本件當選人江間俊一ハ選擧前ニ公民權ヲ回復シ選擧權ヲ得タル者ナレハ確定名簿ニ登錄ナキガ爲メ其權ヲ行使スルコト能ハサリシモ選擧セラルヽニハ毫モ妨ケナキモノトス

右ノ理由ニ依リ裁決スルコト左ノ如シ

訴願人ノ訴願ハ相立タス

明治三十六年　月　日

東京市會議長　大岡育造

第拾九節　市長議長ノ肖像ニ關スル建議

宮川鐵次郎君外八名ハ、十一月十二日ノ會議ニ於テ、市長及議長ノ肖像ニ關スル左ノ建議ヲ提出セリ。

（○印ハ委員會修正　―印ハ削除）

市長及議長ノ肖像ニ關スル建議

東京市會開設以來議長ヲ更フルコト七人又特別市制撤廢以來選ハレテ本°市市長トナリシモノ先ニ松田氏アリ今尾崎氏アリ是レ皆東京市民ヲ代表スル榮職ニ就キタル人々ナルニ依リ東京市ハ永ク其人物ヲ記念センカ爲メ之カ肖像ヲ畫キ市長ノ分ハ市役所議長ノ分ハ議事堂内適當ノ場所ニ掲ケ置クヲ可トス而シテ這ハ啻ニ既往及現在ノ人

ノミナラス將來ニ於テモ其人ヲ新ニスル毎ニ之カ記念肖像ヲ掲ケルヲ例トセンコトヲ望ム

渡瀬寅次郎君ハ、本案ニハ賛成ナルモ、先例ニ據レバ斯ル建議ハ印刷ニ付シ配布シタル後、議スルヲ順序トス、然ルニ本案ハ朗讀ニ依リ初メテ承知セルモノナルヲ以テ、次回ニ延期センコトヲ望ムト述ベ、異議ナク延期ニ決シ、十一月二十六日ノ會議ニ於テ議題ニ供セラレタリ。冒頭**關島豐君**ハ、委員附託說ヲ述ベタル後、就職中刑事問題等發生シ萬一有罪ト決スルガ如キコトアラバ、斯ル人ヲ肖像トシテ掲グルハ、他ノ有功者ニ對シテ不都合ナリ。殊ニ年末議長ニ就職シ翌春早々更迭セバ、僅々二十日間、議長タリシ故ヲ以テ其肖像ヲ掲グル事トナラン、旁々調査ノ爲メ委員ニ附託シタシト述ベ、**調直彥君**、市長議長ニハ氣之毒ナルモ、斯カル問題ハ不必要ナリ。特ニ東京市ニ功勞アル人ナラバ市長タルト、議長タルト、市會議員タルトヲ問ハズ、之ガ肖像ヲ掲グルモ敢テ不可ナシ、去リナガラ市長タリ議長タルガ故ニ悉ク之ヲ掲ゲザルベカラズトセバ、議場廣シト雖モ、殆ンド其餘地ナキニ至ランノミ。故ヲ以テ特ニ著大ナル功勞者アラバ之ヲ掲グル事トシ、議長ノ肖像ハ大概ニシテ止メテハ如何トノ意見ヲ述ベ、**肥塚龍君**ハ、市長ニセヨ、議長ニセヨ、信用ヲ博スルコト夫レ自身ハ肖像ノ有無ニ關セザルナリ。現尾崎市長ハ如何ニ考ヘラルヽカ知ラザレドモ、腹ノ中ニテハ賛成セザルナラントテ、關君ノ說ニ賛成シタルガ、採決ノ結果廢案說ハ少數ニテ成立セズ、多數ヲ以テ五名ノ調査委員附託ニ決シ、議長ハ委員ヲ左ノ如ク選定シタリ。

仁科粂次郎　堀田生次郎　福島豐　稻延利兵衛　横田清兵衛

委員ハ**關島豐君**ヲ委員長ニ推シ、調査ノ結果十二月二十三日ノ會議ニ於テ、前文ノ如ク修正シタル旨報告スルヤ、**坪谷善四郎君**ハ、議長ト市長ト兩方ノ肖像ヲ掲グトセバ、一考ノ價値アルモ、議長ヲ省キ市長ノミトナレバ、前市長ガ先般辭任シタル後ヲ承ケテ、現市長ガ其職ニ在リ、今後如何ナル功績ヲ擧ゲラレ、或ハ肖像以外ノ功勞ヲ表彰スルニ至ルベキヤ知ルベカラサレバ、早計ノ嫌ヒアリトテ廢案ヲ**主張**シ、採決ノ結果、遂ニ廢案ニ決定セリ。

第貳拾節　水力電氣市營ノ建議

水力電氣市營ノ件ニ付、肥塚龍君外十四名ヨリ、市會開會ノ請求アリタルニ依リ、十一月二十六日會議ヲ開ク、二三報告ノ後、**江崎禮二君**ハ、東京市ノ水道ニ屬スル、多摩川用水ヲ以テ、本市自ラ水力電氣事業ヲ經營スルノ件ニ付、市會開會ヲ要求シタリ。多摩川ノ水力タル、約十年前民間ヨリ出願アリ、當時本會ニ諮問サレタル際、民業ヲ以テ事ヲ起スハ、大切ナル飲料水ニ障礙ヲ及ボストノ理由ノ下ニ不同意ヲ表シタリ。然ルニ今本會ガ之ヲ決議シテ内務大臣ニ稟請シタランニハ、他人ノ時ニハ害アリト云ヒ、市自身ノ經營ニ對シテハ害ナシト云フ、其點甚ダ矛盾スト云ハルヽノ廣アレドモ、水道事業經營者タル東京市ガ、水力電氣ヲ利用スル以上、相俟チ相扶ケテ彼我ノ障礙ヲ除クノ便アルト共ニ一大財源トモナリ、又沿岸ノ保護等水道ニ障礙ヲ及ボス憂ヒナシ、殊ニ十年前ニ比スレバ學藝技術モ進歩シ居レバ、油ヲ流ス位ノコトハ害無キ樣設備スルコトヲ得ベシ。前年出願者アリシ際ノ調査ニ依レバ、其電力ハ七千馬力内外ナリシガ、今日ニ於テハ十萬乃至十五萬馬力ヲ得ルコトナルベシ。前キニハ本市ノ財源トシテ全會一致、市街鐵道ノ市營ヲ決議セルガ、今日ニ至テハ到底望ミナキガ如シ、仍テ市街鐵道ノ如ク經營繁雜ナラズ、又一旦費用ヲ投ズレバ水道ヨリモ有利ナル水力電氣事業ヲ起サントスルモノナリ。該事業ノ利害ニ就テハ、一割五分乃至二割ノ配當ヲ得ル決心ヲ以テ、民業ニ許ストスレバ、擧ツテ之ガ出願アル事ナルモ、本市ニ於テ之ニ同意セザル爲メ、

何時モ計畫アリテ實現ヲ見ルニ至ラザルナリ。本市ハ一割五分二割等ノ利益ヲ望ム株主ヲ求メズトモ、六朱ノ公債ニ應募スル者ヲ求ムレバ可ナルガ故ニ、利益如何ハ論ズル迄モナキ所ナリトテ、街鐵市有問題ノ成行ヲ述ベタル後チ、本件ハ秘密ヲ要スルコトナク、認可ヲ得タル者即チ本市自ラ經營スル水道ニ伴フ事業ナレバ、水道ニ障礙ヲ及ボサヾル樣經營センニハ、當局者モ不同意ハナカルベシト信ズ。因テ多摩川ノ水力電氣事業ヲ直營トシテ起業スルコトノ賛成ヲ求メ、同時ニ市參事會ニ於テ、二週間モ調査スルニ於テハ、凡ソノ方法モ判明スベケレバ、調査ノ結果提案アランコトヲ望ムト述ベ、**肥塚龍君**ハ、余ハ市會開會請求ニ賛成シタルガ、元來東京市ニ於テハ自ラ經營スベキ事業ヲ民業トシテ實行セシメツヽアルモノ少カラズ、手近キ例ヲ擧グレバ、市街鐵道ノ如キ、過般來種々紛擾ヲ惹起シ、本會ニ於テモ之ガ調査ヲ行ヒタルコトアリ。然ルニ又多摩川ノ水力電氣ニシテ紛擾ヲ起ス如キコトアラバ、迷惑甚ダシキヲ以テ、同僚中水力電氣ヲ市營タラシメン意見ヲ有スル者アルヲ幸ヒ、余モ亦同感ナリトテ賛成セルナリ。即チ多摩川ノ水流ヲ、水力電氣ニ使用スルコトハ、本市會ニモ歷史アルコトニテ、前年諮問案ニ對シ、有害ナリトテ否決シタルハ事實ナルモ學術モ追々進歩シ、最近ニ於テハ之ヲ電氣ニ使用スルモ飲料水ニ無害ナリトノ說アル程ナレバ、兎モ角モ屢紛擾ヲ惹起サヾル中ニ、參事會ヨリ之ヲ提案シテ、飲料水ニ有害無害ナリヤ否リヲ調査シ、無害ナリト決定スレバ無論市ニ於テ經營センコトヲ希望スルナリ。馬力ガ果シテ五萬十萬ノ出力アリヤ否ヤハ不明ナルモ、七千八千ノ馬力ノ出ヅルハ容易ナルベシトノ意見ヲ述ベタリ。

此時**坪谷善四郎君**ハ余モ請求者ノ一人ナルガ、大體江崎君ノ所說ニ同意ナルモ、水力電氣ヲ營業スル會社ノ實績ニ徵シ、彼等今日ノ窮境ハ流量ノ違算、電力ノ不足等ニ起因スルコトヲ看破スルトキ、僅々二週間以内ニ於テ流量、落差、工費、發電水力、販賣價額等ノ調査ヲ求ムルハ無理ナル注文ニシテ、今年一杯位ノ餘裕ヲ置クニアラザレバ、精確ナル調査ヲ爲ス能ハザルベキヲ以テ案其モノニハ賛成ナルモ、調査期間ノ延長ヲ切望スト發議シ、**江崎君**之ニ同意シ、**青木庄太郎君**モ、右ハ水力電氣ノ專門家ヲシテ、充分責任アル調査ヲナサシムルノ必要アルヲ以テ、二三週間ニシテ完全ナル設計ヲ望ムコト困難ナルベシ。仍テ專門家ニ託シテ充分ナル實地調査ヲ遂ゲシメタル後速カニ提案アランコトヲ望ムト述ベ、**有島武君**ハ、余ハ調査期限ノ長短ヲ論ズルモノニアラズ、唯此水力電氣事業ヲ起シテ市ノ公益ト收入ヲ增加シ、將來市稅ノ一助タラシメントスルニ於テハ何人モ賛成セザルモノアラザルベシ、故ニ之ガ調査ハ愼重ヲ要シ、切ニ誤ナカランコトヲ望ムト陳ベ、**江間俊一君**ハ、反對者ナキヲ以テ、滿場一致ト認ムルモ、速カニ之ガ提案ヲ希望スルニ就テハ設計其他ニ關シ、專門學者ヲシテ實地踏查ヲ爲サシメザルベカラザルガ故ニ、此等ノ費用及設計費等ハ理事者ニ於テ、豫備費ヨリ假支出ヲ爲シ、直チニ着手センコトヲ希望スト提議シ、**渡瀨寅次郎君**ハ、水力電氣ノ直營ニ就テハ、利益アルモノナラバ勿論賛成ナルガ、聞ク所ニ依レバ參事會ニ於テモ既ニ調査中ナリト云フ。今日ノ市會招集ハ只水力電氣直營ノ件トアルノミニテ事態甚ダ漠然タリ、本來右ハ他ノ建議ト同ジク、書面ヲ以テ提出スベキモノナレドモ、時既ニ遲ク止ムヲ得ザルモノアルヲ以テ採決ニ當リ此等ノ點ヲ判然タラシメンコトヲ望ムトノ意見ヲ提出シ、**杉原榮三郎君**ハ、至極同感ナリ、余モ亦開會請求者ノ一人トシテ左ノ建議ヲ提出セントス。江崎君モ同一意見ナルベケレバ、之レヲ問題トシテ決定アリタシト述ベタリ。

市會ハ水力電氣ヲ市ノ直營トスルヲ必要ト認メタルヲ以テ市參事會ハ速カニ相當ノ審議ヲ爲シ提案アラムコトヲ望ム

秋虎太郎君ハ、先ヅ參事會ニ於テ調査費用ヲ取調ベタル上速カニ發案スベシトノ意見ヲ提出シ**議長大岡育造君**ハ、採決ヲ爲ス前明瞭ナラザル點アリトテ、先刻本建議ガ、口頭ヲ以テ提出サレタル爲メ、明瞭ヲ缺クトノコトナリシガ、

水力電氣ノ調査ヲ行フ水路ニ付テ、原案者ノ意思ハ、單ニ多摩川ニ限ルガ如キモ果シテ然リヤ否ヤ。其他ニ適當ナル場所アリトモ夫レハ採用セザル考ヘナリヤ、將又杉原君發議ノ如ク、場所ヲ一定セズ只市ノ事業トシテ水力電氣ヲ經營スル方法ヲ、汎ク調査シ發案スベシトノ意味ニ解シテ可ナルベキヤト諮リ、**杉原君**ハ、然リト云ヘバ、**肥塚君**ハ、水力電氣デサヘアレバト云フニ至テハ、東京市ハ宛ラ水力電氣ノ營業者ノ如クニテ、迷惑ナリトテ、多摩川ナル區域ニ限定スベシト**主張**シ、**田口卯吉君**ハ、最初建議者ノ意見ヲ聞クニ多摩川ト指定シタルガ如シ。然ルニ今他ノ水流ヲ調査スルガ如キ說モ出デタル樣ナルガ、市會議員ヨリモ鋭敏ナル徒少カラズシテ他ノ水流ハ既ニ大概占領セラレツヽアリ。萬一此等ノ者ヨリ買收スルコトヽナラバ、他日必ズ紛擾ヲ來スヘキヲ以テ、多摩川ニ限定セバ贊成スベキモ、其他ニ及バヾトスルナラバ、遺憾ナガラ反對ナリト力說シ、**江崎君**ハ、**飽迄多摩川ニ限定スルモノナルコトヲ言明シ、有島君**ハ市ノ爲ニ利益ナリトノ調査ノ結果ヲ得バ、其多摩川タルト然ラザルトヲ問フモノニアラズトノ意見ヲ述ベシガ、採決ノ結果**江崎君**ノ發議ハ多數ヲ以テ可決セラレ、提案期限ニ就テハ、二週間說ヲ取消シ、成ルベク速カニ提案スルコト、決シ、尙調査費ニ關シ、江崎君ハ、莫大ナル費用ヲ要スルモノニモアラザルベシトテ、大體市ガ直營トシテ利益アリヤ否ヤヲ見ルニ止メ、之ニ要スル相當支出ハ、參事會ヲ信賴シテ事後承諾トスルコトノ發議ヲ爲シ、是又異議ナク決定シタリ。

第貳拾壹節　市會議員異動

明治三十六年中ニ於ケル市會議員ノ異動左ノ如シ。

選舉區　氏名　年月日　摘要

選舉區	氏名	年月日	摘要
下谷區	江間俊一	明治三十六年二月十九日	失格
淺草區	須藤時一郎	明治三十六年四月十五日	死亡
下谷區	田村喜三郎	明治三十六年六月十四日	死亡
京橋區	岩谷松平	明治三十六年六月十五日	失格
日本橋區	丸山名政	明治三十六年六月二十五日	失格(市助役就任)
麹町區	末吉忠晴	明治三十六年七月十日	死亡
京橋區	高島德右衞門	明治三十六年七月二十三日	辭職
芝區	中鉢美明	明治三十六年八月七日	失格(市助役就任)
日本橋區	仁杉英	明治三十六年十二月四日	失格(深川區長就任)
神田區	宮崎新七	明治三十六年十二月九日	辭職
麹町區	石塚剛介	明治三十六年一月二十日	補缺
小石川區	桑原謹三	明治三十六年一月二十日	補缺
麹町區	有島武	明治三十六年一月二十一日	補缺
本所區	古川孝七	明治三十六年三月十日	補缺
日本橋區	石川甚作	明治三十六年九月三十日	補缺
京橋區	關直彥	明治三十六年九月三十日	補缺

京橋區　大岡育造　明治三十六年九月三十日　補缺
下谷區　江間俊一　明治三十六年九月三十日　補缺
下谷區　安藤豫吉　明治三十六年九月三十日　補缺
淺草區　堀田生次郎　明治三十六年九月三十日　補缺
麹町區　金澤三右衛門　明治三十六年十一月二十日　補缺
芝區　松村祥一郎　明治三十六年十一月二十日　補缺

第七章　明治三十七年

第壹節　議長及議長代理者選擧

一月十三日本年最初ノ會議ヲ開キ、議長及ビ議長代理者ノ選擧ヲ行ヒタルガ、其ノ結果、左ノ如ク兩者共重任セリ。

議　長（三十八票）大岡育造
議長代理者（三十四票）松長信氏

附記　同日ノ開會劈頭、本所區選出市會議員松長光吉君、信氏ト改名ノ件、當該區長ヨリ報告アリタル旨ノ市長ノ通牒發表セラレタリ。

第貳節　多摩川水力電氣問題

一月十三日ノ會議ニ於テ、議長及ビ議長代理者其他ノ選擧ヲ終ハルヤ、**坪谷善四郎君**ハ發言ヲ求メテ曰ク、先般（三十六年第二十三節參照）水力電氣市營ノ調査報告ヲ求メタルニ、理事者ガ此ノ要求ヲ容レ、速ニ多摩川水力電氣事業

ニ關スル取調書ヲ參考トシテ提出セルハ滿足スル所ナリ、生憎年末ニ際シ、詳細ナル說明ヲ聽取スルノ時間無カリシヲ以テ、今日之ガ說明ヲ請ハント欲スト。然ルニ議場ハ之ヲ日程終了後ニ讓ルコトニ決シタレバ、其終ルヲ待テ、坪谷君ハ改メテ說明ヲ請求セリ、仍テ**尾崎市長**ハ左ノ如ク答ヘタリ。

此問題ハ多クハ技術ニ關スルヲ以テ、余ハ十分ナル說明ヲ爲ス能ハズ、若シ技術上ノ事ヲ詳細ニ調査スルノ希望アラバ、擔任技師ヲ出席セシムベキヲ以テ、委員ヲ選定セラルレバ便利ナラン。本調査ヲ爲スニ付キ技術者トシテ最モ困難ヲ感ジタルハ、水量調査ノ明確ナルモノ無キコト、落差ノ調査不完全ナルコト、又水路ノ測量十分ナラザルコト等ニシテ、從テ目下正確ナル提案ヲ爲シ難キヲ以テ、先般ハ單ニ參考資料ノ提出ニ止メタリ。其中第一、算出ノ根源トナルベキ水量ハ不充分ナガラ、先年ノ水道部ノ調査ニ基キテ水量ヲ定メ、第二、落差ハ農商務省ノ地質調査ニ依リ、第三、水路ノ測量發電所ノ位置等ハ參謀本部ノ地圖ニ依リ、學術上爲シ得ル範圍ノ推定ヲ下セルモノナリ。孰レニシテモ技術者トシテハ無論滿足スベキ基礎ト言フ能ハザルヲ以テ、正確ヲ期スル爲メ市自カラ調査ニ着手セントス、而モ此調査ハ、少ナカラザル費用ト歲月ヲ要スルヲ以テ、他日成案ヲ得バ之ヲ市會ニ提出シテ、協贊ヲ求ムベシ。水量調査ノ時期ハ渴水期ヲ最モ適當トシ、且ツ之ニ要スル經費モ、比較的少キガ故ニ、取敢ヘズ參事會ノ決定ヲ以テ、氷川及ビ三田村ノ二箇村ニ於テ調査ニ着手スルコトヽセリ。

坪谷君更ニ問ウテ曰ク、本事業ハ他ノ行政事務ト異リ、必ズ實行セザルベカラザル事柄ニアラズシテ、目的ハ市ノ財源ニ在ルガ故ニ、採算上有利ナリヤ否ヤガ問題ノ主眼ナリ。就テハ工事費以外ノ營業費、販賣價格、賣上高、純益及ビ市內ニ供給シツヽアル從來ノ瓦斯及ビ電力トノ比較ヲ初メ、他ノ水力電氣會社ニ於ケル賣上高及ビ建設費ニ對スル利益割合等ニ關スル報告ヲ得ルニアラザレバ、企業ノ適否ヲ判斷スルニ困難ナリ、其ノ邊ノ調査如何ト。次ニ**江崎禮二君**ハ、參考書ノ趣旨ハ我々ノ意見ト異ルガ故ニ、其說明ヲ受クルモ滿足シ難カルベシ、故ニ玆ニ七名或ハ九名ノ委員ヲ設ケ其調査ノ結果ヲ本會ニ於テ審議スルニ如カズ。而シテ若シ委員設置ノ同意ヲ得バ、曩ニ範圍ヲ多摩川ニ限リタルモ、今改メテ之ヲ廣ムルノ要アル旨ヲ述ベタルニ對シ、**尾崎市長**ハ答ヘテ曰ク、各地ニ於ケル電力賣價ノ概略ヲ調査シタルモノヲ見ルニ、東京電燈會社一箇年一馬力凡ソ百八拾圓、但シ小賣ト多量供給トハ計算ニ相違アリ、米澤ノ水力電氣會社ハ一箇年（毎日十二時間使用）一馬力七拾貳圓、京都水力電氣會社一馬力百參拾六圓、但シ百馬力以上四拾八圓ノ割合ニテ地方ニ因リ相違セリ。此ニ於テ東京及ビ各地ノ相場ヲ平均スレバ、一馬力ノ價九拾圓內外トナリ、之ヲ基調トシテ算出スレバ、七千九百九十二馬力、即チ新宿マデノ送電ハ多少ノ漏電アリト見ルモ、七拾壹萬九千何百圓ノ收入アル豫算ニシテ、經常費準備金ヲ差引キ、純益トナルベキモノ一箇年六拾萬圓餘、之ニ要スル資本金四百餘萬圓ニ此純益ヲ割當ツルトキハ、一箇年一割四分強ノ割合トナル。然レドモ大體工事費ノ四百何拾萬圓ナルモノハ推定ニ基ク計算ナレバ、固ヨリ正確ナリト云フヲ得ズ。又損益ノ割出シニ付テモ、單ニ多摩川一線ノミヲ基礎トシテ之ヲ算定スルハ不完全ナリトス、何トナレバ縱令多摩川一線ノミ存在スル場合ニハ利益アリトスルモ、將來桂川、日光若クハ利根川筋ニ有力ナル水力電氣起リテ競爭ヲ見ルニ至ラバ、忽チ不利益トナルコトヲ保セズ、故ニ各地ヨリ東京ニ引込ミ得ベキ水力ノ概略ヲ調査比較シ、且ツ又東京ニ於テ一年間ニ消費スル電力量ト對照シ、始メテ眞正ノ損益ヲ打算シ得ベケレバ、自然今少シク調査ノ範圍ヲ廣ムル必要アルベシト。

次ニ**宮川鐵次郎君**ハ委員設置ハ尙早ナリトノ意見ヲ述ベ、**江崎禮二君**ハ敢テ自說ヲ固執セザルモ、願クハ調査範圍ノ擴張ニ同意セラレンコトヲ望ムト說キ、**大岡議長**ハ江崎君ノ意見ハ建議ナルカト問ヒ、**江崎君**、希望ナルモ贊成ヲ得ザレバ詮ナシト答フルヤ、贊成ノ聲起リタレバ、**議長**ハ、然ラバ今少シク範圍ヲ廣メテ調査スルコトニ

異議ナキモノト認ムベシト宣セリ。

▽**水力電氣調査費**　超エテ五月十一日ノ會議ニ第五十五號水力電氣調査費參千參百九拾圓豫備費支出ノ件ヲ提出シタルガ、之ニ關シ**江崎禮二君**ハ本案ハ事後承諾ヲ求ムルモノナリヤ否ヤヲ質問セルニ、**尾崎市長**ハ今迄水量調査等ハ市參事會ノ決議ヲ以テ施行セシモ、更ニ高低測量ニ着手シ、且ツ全體ノ設計ニ關スル調査ヲ遂ゲンガ爲メ、本案ヲ提出セルナリト答ヘ、異議ナク原案通リ決定セリ。

其後八月二十二日ノ會議ニ於テ**江崎君**ヨリ此調査ノ進行程度ニ關シ質問アリ、**尾崎市長**ハ當初ノ豫定通リ、大體九月中旬頃迄ニ調査完了ノ見込ナリト答辯セリ。而モ事實トシテハ、此調査報告書ハ二年ヲ經テ、三十九年五月ニ到リ、始メテ市會ニ送付セラレタリ。但シ其内容ハ頗ル周密且ツ具體的ニシテ、多摩川水力電氣事業計畫、同水路計畫及ビ其工事費豫算、本市水道トノ關係ニ付テノ意見等ヲ包括シ、市營ノ必要ヲ主張セリ、（同年公文彙輯參照）、尚本問題ニ關シテハ、三十九年ニ到リ略記スル所アルベシ。（第三卷、第二章、第九節、電氣事業參照）

第參節　教育問題

▽**小學校長更迭ノ件**　一月十三日ノ會議ニ於テ、**杉原榮三郎君**ハ口頭ヲ以テ建議シテ曰ク、近來小學校々長若クハ教員ノ罷免轉任等ニ付キ、世上大ニ物議ヲ釀セリ。仍テ其事實ノ眞相ヲ調査スル爲メ、議長指名九名ノ委員ヲ設置スベシト。**坪谷善四郎君**ハ學校教員ノ任免ニ關シテハ勅令アリ、文部省令アリ、又府縣令モアレバ、此等法律ノ明文ニ基キテ決行セラレタルコト勿論ナルベシ、然ルニ之ニ對シテ、尚調査委員ヲ置ク如キハ、市會トシテ干渉ノ嫌ナキニアラズヤトテ、本建議ニ反對セシモ、多數ヲ以テ委員設置ニ決シ、議長ハ左ノ如ク委員ヲ指名セリ。

鹽島仁吉　江崎禮二　城數馬　大柴四郎　杉原榮三郎　松嶋剛　關直彥　岡田榮一　松村祥一郎

委員ハ**江崎禮二君**ヲ委員長トシテ調査ノ末、七月十九日ノ會議ニ左ノ決議案ヲ提出セリ。

決議案

昨年十二月斷行シタル市立小學校長更迭ニ關シ、市長ガ府知事ニ爲シタル申請ハ、事輕率ニ失シ妥當ヲ缺キ詮衡其宜キヲ得サルモノト認ム。

右決議ス

右議題ニ供セラルヽヤ、**江崎委員長**ハ委員會ノ經過ニ關シテ、左ノ如ク報告セリ。

曩キニ執行セラレタル學校長ノ更迭任免ニ關シ、十五區ヲ通ジテ不平ノ聲囂々タリシガ、此問題ニ關シ、我々調査委員ハ審議研究ノ結果、遂ニ本決議文ヲ可決セル次第ナリ、蓋シ文部省令其他ノ法律ニ據レル校長ノ更迭ニ關シテハ、市長ハ區長ニ内議シ、若クハ諮問スルノ必要ナク、直ニ府知事ニ申請スルヲ得ルハ論ナキ所ナリ。然レドモ本市ニ於テハ市長ガ豫メ區長ニ事情ヲ聽キ、内議ヲ行フハ十數年來ノ慣例ナリ。而シテ校長及ビ教員ノ給料ナルモノハ、各區共ニ區費支辨ニ屬シ、區ニ於ケル重ナル費用ハ、此教員費ナリトス、從テ今回ノ如ク全然其區ニ諮ラズシテ、獨斷專行セル結果ハ、校長ノ給料五拾圓ノ豫算ニ對シ六拾圓ヲ以テ之ヲ聘スルガ如キコトアリ。又其更迭ニ就テハ敢テ盡ク不當ナリトハ言ハザルモ、玆ニ最モ奇怪ナルハ、三箇月前ニハ上席教員トシテ無能ナルガ爲メ之ヲ免職セントノ上申アリシニ拘ハラズ、三箇月後ニハ敏腕家トシテ校長ニ昇進セル者アルコト是ナ

リ。孰レニセヨ、委員會ニ於テハ、今回ノ更迭ヲ以テ妥當ヲ缺クモノナリト認メタリ。尙一應十五區ニ照會シテ其意見ヲ徵シタルニ、區長、學務委員、又ハ區會議長等ヨリ書面若ハ口頭ヲ以テ意見ノ陳述アリタルガ、之ニ據レバ、一區トシテ此更迭ヲ喜ブモノナク、孰レモ反對ノ意ヲ表明シ、多年ノ習慣ヲ破リ、何等ノ照會モナク咄嗟ノ間ニ斯ル更迭ヲ斷行スルコトハ區トシテ甚ダ迷惑ナリ。但シ今日ニ於テ復舊ヲ望ムモ、實行不可能ナルベシトノ希望ヲ表明セリ。斯クテ委員會ハ此簡單ナル決議文雖モ、將來斯ル場合ニハ必ズ區長ニ內議ヲ遂ゲラレタシトノ要求ヲ爲スコトヲ決議セリ、即チ理事者ハ將來自治制度ヲ提出スル以外ニ、本會ニ於テ口頭ヲ以テ當局者ニ左ノ要求ヲ爲シタル申請ハ從來ノ慣例ヲ破リタルモノニシテ穩カナラト其習慣トニ重キヲ置キ、教員ノ任免更迭ノ如キ場合ニハ、必ズ區長ニ內議スベキコト是ナリ。蓋シ教員ノ給料ハ區ヲシテ之ヲ支辨セシメ、其ノ任免黜陟ハ市長隨意ニ之ヲ行フガ如キコトハ、穩當ヲ缺クノ甚キモノナレバナリ。

以上ノ說明ニ對シ、**江間俊一君**修正意見ヲ述ベテ曰ク、委員長ノ報告ニ據レバ、將來ノ希望ヲ述ブルガ如キモ、決議文ハ即チ市長不信任ヲ含意シ、其趣旨大ニ矛盾セリ。若シ決議文ノ如ク、市長不信任ノ意ナレバ、余ハ之ニ贊成スル能ハズ。仍テ委員長ガ口頭ヲ以テ述ベタル意味ニ從ヒ、將來ノ希望トシテ、此決議案ヲ次ノ如ク修正スベシ。「昨年十二月斷行シタル市立小學校長更迭ニ關シ市長カ府知事ニ爲シタル申請ハ從來ノ慣例ヲ破リタルモノニシテ穩カナラサル處置ト認ム」ト。次ニ**肥冢龍君**ハ單ニ辭令ガ穩當ヲ缺クト缺カザルトニ依テ、信任ト不信任ヲ異ニスルモノニアラザルモ、本案ハ決シテ市長不信任ノ趣旨ニアラズトシテ原案ニ贊成シ、**鹽島仁吉君**ハ委員ノ一人トシテ原案ヲ維持シテ曰ク、我々ハ本案ニ依テ市長ノ信任ヲ問ハント欲スルモノニアラズシテ、昨冬ニ於ケル小學校長更迭ニ對シ、本會ノ意思ヲ明カニセントスルニ過ギズ。然レドモ江間君ノ修正案ハ、不充分ノ感ナキ能ハズ。我々ノ決議ハ、一々事實ニ立脚スルモノナリ、例ヘバ申請ハ事輕躁ニ失シ云々ハ、愼重ナル詮衡ヲモ行ハズシテ、倉卒ニ決行セルガ故ニシテ、次ニ妥當ヲ缺ク云々ハ、事甚ダ穩ナラザレバナリ、又詮衡宜キヲ得ズ云々ハ、任免黜陟玉石ヲ別タザレバナリ。故ニ本案ハ詮衡宜キヲ得ザリシトノ市會ノ意思ヲ表示セントスルニ止マル。若シ他日我々ガ市長ノ信任ヲ問ハザルヲ得ザルニ至ラバ、改メテ不信任案ヲ提出スベシト。次ニ**佐治實然君**ハ反對論ヲ述ベテ曰ク、東京府知事ノ職權ニ屬スル小學校教員ノ轉免ニ對シ、市長及ビ教育課ノ責任トシテラザルナリ。余ハ曾テ校長ノ一二ヲ更迭スルモ本市教育ノ刷新ヲ期シ得ベキニアラザレバ、本市ノ校長ヲシテ悉ク適任者タラシムル爲メ、大更迭ヲ行フコトヲ得ザルカトノ個人的意見ヲ或ル要路ノ人ニ話シタルコトアリ。昨年十二月ノ大更迭ハ、即チ幾分カ此ノ理想ノ實現ヲ見タルモノナリ。中ニハ或ハ同情ニ値スルモノアルベキモ、之ヲ一轉機トシテ東京市ノ教育費ヲ統一スルノ端緒ヲ開クヲ得ルヲ以テ、今回ノ更迭ニハ大ニ贊成ナリト。**大柴四郎君**ハ、委員ノ一人トシテ佐治君ノ說ヲ反駁シ、府知事ノ權限ナルヲ以テ市會ガ喙ヲ容ルヽコト能ハズトハ奇怪ナリ、市民ノ休戚ニ對シテ大責任ヲ有スル我々ハ、市民全體ノ利害得失ニ關シテハ、十分意見ヲ開陳スル權能ヲ有ス。是レ即チ婉曲ナル本決議案ノ提出ヲ見タル所以ナリ。併シ本案ハ當局者ノ不信任ヲ意味スルニアラズ、唯市民ヲ激昂セシメタルコトハ當局者トシテ穩カナラズトノ趣旨ナリト辯明シ、**城數馬君**ハ委員ノ一人トシテ一言シタシトテ左ノ如ク論ゼリ。

本案ハ決シテ市長及ビ助役ニ對スル不信任ノ意味ヲ含マズ、然レドモ江間君ガ云フ如ク、若シ形式ノ上ヨリ强テ不信任ノ意味ヲ含ムモノナリトセバ、恐ク市長ニアラズ助役ニアラズシテ、島田教育課長ニ對スル不信任ナルベシ。余ノ此言ハ實ニ已ムヲ得ザルニ出ヅ、而シテ今其理由ヲ說明セン、法律ノ正面ヨリ言ヘバ、教員ノ更迭ハ

府知事ノ名ヲ以テ決行シタルモ、實ハ市長ノ內申ニ基ケリ。而カモ此內申ノ資料ハ主トシテ島田教育課長ノ提供シタルモノナルハ勿論ナルガ、吾人ハ彼ガ奇妙ナル頭腦ノ持主タルコトヲ思フトキ、大ニ不安ヲ感ゼザルヲ得ズ。今其一例ヲ擧ゲンニ、市內北部某區ノ小學校長ガ、他ノ區ノ大ナル學校ニ榮轉セル事實アリタルヲ以テ、其理由ヲ理事者ニ質問セルニ、島田教育課長ハ、市長ヲ代表シテハ答辯スル能ハズト拒絕セリ、併シ教育課長トシテノ答辯ニ曰ク、該校長ハ少シク不敬ニ渉ル如キ行動アリシコト其理由ノ一ニシテ、又選擧等ニ關係シテ政治上ノ運動ヲ爲シタル如キコト其二ナリ、而モ此等ノ事實ハ畢竟當人ノ手腕ニ餘力アルニ起因ス。若シ彼ヲシテ全力ノ傾注ヲ要スル大舞臺ニ立タシメバ、必ズヤ一意奮勵好成績ヲ擧ゲ得ベシト信ジタルヲ以テ、彼ヲ榮轉セシメタリト。余ハ之ヲ聞キ、呆然トシテ言フ所ヲ知ラザリキ。是レ果シテ島田課長ノ本心ナルカ、或ハ又背後ニ黑幕ノ人アリテ彼ヲ操縱シタルカ、兎ニ角當局者ノ措置其當ヲ得ザリシコトハ疑フベカラズ。

次ニ**銀林綱男君**ハ本案ハ國ノ行政ニ關スルコトナルガ故ニ、縱令市長ヨリ意見ヲ具申シタリトテ市會ニハ關係ナシ。市會ニ關係ナキ事項ヲ議決スルハ、固ヨリ其職分ニアラザルベシ。但シ市ノ利害ニ關シ、意見書ヲ監督官廳ニ提出スルコトハ、市制ノ認ムル所ナルガ故ニ、曩ニ議決セル街鐵ニ關スル意見書ト同樣ニ、本案モ亦意見書トシテ提出スルコトトスベシトノ意見ヲ述ベ、**松田秀雄君**亦市制ノ命ズル市會ノ議決權ノ範圍外ナリトテ、本案ニ反對シ、**豐島仁吉君**ノ駁論アリシガ、採決ノ聲起リタレバ、大岡議長決議案ノ賛否ヲ起立ニ問ヒシニ、多數ヲ以テ之ヲ可決セリ。

▽**尋常小學校補助金交付ノ建議**　一月十三日ノ會議ニ於テ、前記小學校長更迭ニ關スル調査ノ建議ノ外、石川顯一郎君外五名ヨリ、松崎權四郎君外二十二名ノ賛成者連署ノ下ニ提出サレタル左ノ建議ヲ議題ニ供シ、提出者ヨリ簡單ナル說明アリテ讀會ヲ省略シ異議ナク之ヲ可決セリ。

尋常小學校補助金交付ニ關スル建議

各區尋常小學校增設ニ就テハ明治三十二年度以降補助金ヲ交付シ、區ニ於テモ鋭意其事業ニ着手シ已ニ三十有餘校ノ增設ヲ見ルニ至レリ。然レトモ學齡兒童ノ增加ニ伴ヒ現在ノ校舍ニテハ尙不足スルコト甚シク兒童收容上常ニ困難ヲ感シ各區ニ於テモ其必要ニ迫ラレ續々新設ノ計畫ヲ立テ、三十六年度ニ於テハ補助金ヲ請求スルモノ甚多ク依テ既定ノ豫算額九萬圓ノ外事情止ムヲ得サル區ニ對シ次年度ノ分ヲ繰上ケ支出シ漸ク一時ヲ補ヒタルカ如シト雖モ、目下尙既ニ建設ニ着手シ若クハ計畫ノ定マレルモノニシテ補助金ノ請求ヲナスモノ尠カラスト聞ク。惟フニ斯ノ如キハ本市小學教育上尤モ喜フヘキ現象ニシテ、此際豫算ナキノ故ヲ以テ補助金ノ交付ヲナサス空シク其工事ヲ追次年度ヲ延ハサシムルカ如キハ決シテ策ノ得タルモノニアラスト認ムルニ依リ、既定ノ歲出ニ屬スル尋常小學校補助金ハ此際之ヲ一時ニ支出シ以テ是等ノ急需ニ應シ、兒童收容上ノ利便ヲ計ランコト尤モ緊急事ナリト信ス。市參事會ハ本件ニ關シ速ニ提案アランコトヲ望ム。

▽**東京府教育會補助金**　三月七日ノ會議ニ於テ第百八十九號、東京府教育會補助費六百圓支出ノ三十六年度追加豫算ガ議題ニ供セラルヽヤ、**豐島仁吉君**ハ時局ニ鑑ミ歲出ノ節約ヲ計ル場合、第一ニ節減スベキモノハ補助金ナルニ拘ハラズ、他ノ必要ナル經費ヲ削リ、市ノ當然爲スベキ事業スラ之ヲ縮少シテ補助金ヲ支給スル如キハ、不當ノ措置ナルガ故ニ、斷然否決スベシトテ之ニ反對シ、**杉原榮三郎君**ハ本日開會ノ東京府會ニ於テハ、補助ノ出願ニ對シ、之ヲ許可スルコトニ決セリ、其理由ハ軍國多事ノ際ナリト雖モ、文部大臣及ビ東京府知事ハ、教育竝ニ勸業ヲ奬勵スルノ趣旨ヲ以テ、各所ニ演說シ、又ハ屢々訓諭ヲ發シツツアリ、故ニ大多數ヲ以テ本案ノ可決ヲ希望スル旨ヲ述ベ、**渡瀨寅次郎君**ハ、本案ノ出願ハ昨年五月二十日ナリ、然ルニ之ガ提案ヲ今日マデ延期シタル理由如何、或ハ曩ニ本會ガ補

助金廢止ノ建議ヲ議決シタルガ故ニ、其鋒鋩ヲ避クルノ目的ヲ以テ、暫ク之ヲ握潰シ、此年度末ニ至リテ提案セルニ非ザルカ。元來教育竝ニ勸業ノ補助ハ望ム所ナルモ、請願書ニ據レバ、其目的ハ教員講習、若ハ家事教員ノ教習ヲ爲スニ在リ、從テ本會ガ府會ノ如キ性質ノモノナラバ喜ンデ之ニ應ゼンモ、市會トシテハ少シク筋違ノ感ナキ能ハズ。蓋シ教員ノ養成ハ東京府ノ責任ニ屬スルガ故ニ、市會トシテハ金額ノ多少ニ拘ハラズ、一々之ヲ補助スルノ必要ナシトテ反對論ヲ主張シ、**野々山幸吉君**ハ、教育ノ奬勵ニハ贊成ナルモ、責任者ニ非ザル本市ガ補助金ヲ支出スルコトハ、本市現下ノ財政狀態ニ鑑ミ反對セザルヲ得ズト論ジ、**大柴四郎君**ハ東京府知事ノ演說ハ、杉原君ノ言ヘルガ如キ趣旨ニ非ズシテ、軍國多事ノ際ト雖モ、學齡兒童ノ就學ハ大ニ奬勵セザルベカラズ、併シ校舍ノ新築ノ如キハ暫ク延期セザルヲ得ズト云フニ在リ、市ガ大節約ヲ爲スノ時、斯ル補助ヲ爲スノ必要ナシトテ否決ヲ主張シ、**江間俊一君**ハ、市會議員ハ大臣、知事ノ演說ニ因テ必ズシモ左右セラルベキニ非ザルモ、本案ハ金額モ少ナケレバ、口角沫ヲ飛バシテ反對スルノ價値ナカルベシトテ原案ヲ維持シタルガ、採決ノ結果、起立者正ニ半數ナリシカバ、大岡議長ハ慣例ニ依テ直ニ再議ニ附シタルニ、**豐島仁吉君**ハ今些々タル金額ノ必要ニ迫レルガ如キ教育會ヲ補助スルモ如何ナル效果カ之アラン、又教育會ハ教員養成ヲ云々スルモ、今日東京ニ於テ教員ハ果シテ缺乏セル乎、假ニ然リトスルモ教育會ハ多數ノ會員ヲ有スベケレバ、之等會員ニシテ國家ニ貢獻スルノ希望アラバ、各自必要ナル金額ヲ分擔醵出スベキナリ。東京市ハ時局多端ノ際ナレバ經費ヲ節減スベキニ、之ガ補助ヲ爲ス如キハ惡例ヲ作ルモノニシテ、穿ツテ言ヘバ、教育社會ノ一種ノ寄生蟲ヲ養フノ資タルニ外ナラズトテ極力否決ヲ主張シ、**野々山幸吉君**モ亦軍國多事ノ今日、參事會ハ豫算審議ニ當リ、壹圓貳圓ノ減額ノ爲メニモ深夜マデ調査ヲ續行スルガ如キ狀態ナレバ、六百圓ガ六拾錢ナリトモ、今日ノ場合否決スベシト望ミ、採決ノ結果、遂ニ多數ヲ以テ本案ヲ否決セリ。

▽市立圖書館設立ノ建議　三月七日ノ會議ニ於テ坪谷善四郎君ハ松崎權四郎君外三十名ノ贊成ヲ得テ左記市立圖書館設立ノ建議ヲ提出シ異議ナク可決セリ。

市立圖書館設立ノ建議

一　日比谷公園ニ市立圖書館ヲ建設スル爲ニ理事者ハ案ヲ具シテ提出アランコトヲ望ム

理　由

圖書館ハ普通教育機關トシテ尋常高等ノ各小學ト竝ヒ立チ兒童ヲシテ任意ニ自ラ學ハシムル所、マタ圖書館ハ高尙ナル學理ノ研究所トシテ各種專門學校ト並ヒ立チ普ク研究者ヲシテ望ム所ノ圖書ヲ自在ニ涉獵セシムル所、而シテ圖書館ハマタ公園ト相待チ公衆ノ娛樂場トシテ何人モ暇アル每ニ就テ好ム所ノ圖書ヲ讀ミ精神ヲ慰ムヘキ所ナリ、況ヤ圖書館ハ公私ノ必要事項調査所トシテ何人モ知ラント欲スル事ハ就テ知ルヲ得ヘキ社會公共ノ常設顧問所タルヘク、マタ世ニ貴重ナル圖書ヲ藏シテ安全ニ之ヲ保管シ何人ノ縱覽ニモ供スルハ正ニ書籍博物館タル任ヲモ兼ヌ。故ニ歐米各國ノ都市ニハ皆ナ數十ノ圖書館ヲ備ヒ大ナル町村ニモ又之ヲ設ク。我政府モ蚤ニ其必要ヲ感シ從來數シハ法令ヲ發シテ其設立ヲ奬勵シ全國各市若クハ大ナル市街ニハ近來漸ク其新設ヲ見ルモノ多シ。而シテ特リ我カ東京市ニハ未タ一ノ市立圖書館ナク僅カニ帝國圖書館ト一二ノ私立圖書館アルモ皆ナ附近小區域ノ閱覽者ヲ收容スルノミニテ既ニ日々定員ヲ滿タシ他ノ全市民ハ圖書館利用ノ幸福ヲ享有スル能ハサルナリ。是レ市民ノ一大不幸ニシテ又東京市ノ缺點トス。故ニ今先ツ一館ヲ日比谷公園ニ設立セント欲ス。是レ同公園ハ從來市內ニ於テ圖書館ノ利便最モ少ナキ南部各區ノ市民ヲシテ最モ多ク其利ヲ享ケシムルノミナラス近傍ヲ過ル市街鐵道ノ便ハ全市民モマタ就テ出入スルノ便多シ。況ヤ公園ノ內ニ在ルカ故ニ入テハ古今ノ書ヲ讀ミ出テハ花木ノ間

ニ散歩スルノ便ヲ兼ネ殊ニ園内ニハ方今恰モ之ヲ設立スルニ足ル餘地ヲ存ス。是レ首トシテ同公園ヲ選ミタル所以ナリ。若シ夫レ其設計ハ華美ヲ避ケテ實用ヲ旨トシ漸ク其數ヲ增シ他日全市ノ各地ニ設立セラルヽノ期アランコトヲ望ムナリ。

▽**代用小學校補助問題**　三月二十九日ノ會議ニ左ノ議案提出セラレタリ。

第三十二號

代用小學校補助金支給方法更定ノ件

代用小學校補助金支給方法中第二項ヲ左ノ通更定スルモノトス

二　代用小學校補助金ハ當該學校ノ學級數ニ應シテ之ヲ交付スルモノトス

本案ハ直ニ議長指名五名ノ委員ニ調査ヲ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ如ク指名セリ。

市原求　木村莊平　宮川鐵次郎　青木庄太郎　佐治實然

委員ハ**佐治實然**君ヲ委員長ニ推シ、調査ノ結果、原案ヲ相當ナリト認メテ可決セル旨五月十一日ノ本會ニ報告シタルガ、其際委員長缺席ノ爲メ、**宮川鐵次郎**君代テ報告ノ趣旨ヲ說明シテ曰ク、兒童數ニ依テ補助スルハ種々弊害ヲ伴フガ故ニ、委員ノ多數ハ原案ノ如ク學級數ニ依テ補助スルニ如カズト認メタリト。**松村祥一郎**君ハ、支給方法ヲ更正ストセバ、經費ノ增減如何、又現在ノ學級數及ビ一學級ノ定員如何ト質問シ、**宮川**君ハ一學校ニ於テ少ナキハ一學級、多キハ六學級ニシテ、即チ平均二學級ナリ。又經費ノ點ハ學級數ニ依ルモ兒童數ニ依ルモ同樣ニシテ、豫算額ハ貳萬餘圓ト記憶スル旨ヲ答ヘ、**青木庄太郎**君ハ校主ヲシテ條件ヲ勵行セシメバ、從前通リニテ差支ナシ、只怠慢ナルガ爲メ弊害ヲ生ズルノミ。今之ヲ學級數ニ依テ補助スルコトニ改ムルモ、代用小學校ノ校主等ハ更ニ種々ノ運動ヲ試ミ、百弊之ニ伴フニ至ルベシ、故ニ本案ハ考慮ノ餘地アリト述ベ、尙質問アリシ爲メ、審議ヲ後刻ニ讓ルコトヽシ散會直前ニ及ンデ、**宮川鐵次郎**君ハ再ビ理事者ノ答辯ヲ促ガシタレバ、**中鉢助役**ハ三十六年度補助ノ學校數三十八校、此兒童數八千四百九十三、補助金額貳萬參百八拾參圓貳拾錢、三十七年度ニ補助スベキ校數三十四校、此學級數百十六學級、即チ補助金額貳萬八百八拾圓、前年度ニ比シ四百九拾六圓八拾錢ノ增額トナルト說明シ、異議ナク原案ニ決定セリ。

第四節　日進春日兩艦回航歡迎問題

▽**日進春日兩艦回航員ノ歡迎**　英國ニ於テ建造セル日進春日兩艦ノ本邦回航ニ付キ、一月二十八日會議ヲ開キ、尾崎市長、兩艦回航員歡迎ノ爲メ提案セル旨ヲ述ベ、且原案ニ訂正ヲ加フベキ點アリシヲ以テ、書記ノ朗讀セルモノヲ原案トサレタシトテ、左ノ議案ヲ朗讀セシメ、全會一致直ニ之ヲ可決セリ。

第百八十二號

日進春日回航員歡迎費支出ノ件

今回日進春日兩艦回航ニ付回航員歡迎ノ爲メ其費用ヲ市參事會限リ適宜本年度豫備費ヨリ支出スルモノトス

此歡迎會ハ二月十九日日比谷公園ニ於テ盛大ニ擧行セラレタルガ、翌月ニ至リ、本問題ニ關シ、左ノ如キ質問アリタリ。

△**日進春日兩艦回航員歡迎費ノ質問**　三月七日、本會議ヲ終ハラントスルヤ、**有島武**君ハ日進春日回航員歡迎會ノ

計算ニ關シ、追テ當局者ヨリ精細ナル報告アルベキヤヲ質問シ、**尾崎市長**ハ歡迎會評議員會ノ議ヲ經テ、追テ報告スベシト答ヘシガ、次回三月二十九日ノ會議ニ於テ**城數馬君**問ウテ曰ク、曩ニ全會一致ヲ以テ參事會限リ支出ヲ決議シタル日進春日回航員歡迎會ノ費用ニ關シ、兩三日前某新聞紙上ニ傳フル所ニ據ルニ、或者ガ請負者ト結托シ、之ヲシテ必要以上ノ金額ヲ請求セシメ、其間不正ノ行爲アリタルカノ疑アリ。更ニ又同一種類ノ仕事ヲ二人以上ノ請負者間ニ分割シタル場合アリタルガ、彼等請負金額ノ單價ハ甚キ相違アリテ、或請負者ハ他ノ請負者ヨリ參百圓モ高價ナリシトノ風評アルガ、是レ果シテ事實ナリヤ。又理事者ハ之ニ對シ、現ニ如何ナル處置ヲ採リツヽアリヤト。**尾崎市長**答ヘテ曰ク、本件ニ關スル總テノ計算書ガ支拂濟トナリシハ三四日前ト記憶ス、但シ此計算ハ今少シ早ク完結スベキ筈ナリシモ、橫須賀ニ殘留セル伊太利人ノ機關師二名ト、吳カ佐世保ニ行キタル乘込士官等ヲ一人モ漏ナク歡迎シタル爲メ遲延スルニ至レリ、從テ總テノ計算書ヲ豫期ノ如ク先キノ參事會ニ提出スル能ハザリシ爲メ、本日之ヲ提出セリ。參事會ガ此計算書ニ對シテ如何ナル決定ヲ爲スカハ豫知シ難キモ、已ニ世間ノ疑惑ヲ惹起シタル以上ハ、飽迄事實ノ眞相ヲ調査スル必要アリ、仍テ歡迎會當時幹旋ヲ依賴セル專務委員ノ諸君ニ、明朝今一應參集ヲ請ヒ、計算其他ノ事ニ關シ、果シテ新聞紙ノ傳フル如キ事實アリヤ否ヤヲ充分調査シ、然ル後本會ニ報告スル所アルベシ、今日ニ於テハ世間ニ傳ヘラルヽ如キ事實ノ有無ニ付キ、判然答辯スル能ハズ、不日一件書類ヲ具シテ答辯スベシト。

越エテ七月十九日ノ會議ニ於テ**城數馬君**ハ本問題ニ關シ、再ビ質問ヲ試ミテ曰ク、本年第三回ノ市會ニ於テ、有島君ノ質問ニ對シ、市長ハ評議員會ノ議ヲ經テ決算報告ヲ爲スベシト明答セリ。而シテ本員ハ第四回ノ本會ニ於テ、當時新聞紙上ニ不正支出アルカノ如キ報道アリシヲ以テ此點ニ關シ質問ヲ爲シタルニ、市長ハ今即答スルヨリ、他日受取證其他一件書類ヲ具シテ、明細ニ答辯スルニ若カズト答ヘタリ、其後市會ヲ開クコト二三回ニ及ベルモ、市長ヨリ之ニ關シテ何等ノ報告ナシ、然ルニ聞ク所ニ據レバ、專務委員ヨリハ既ニ報告アリ、又市參事會ニ於テモ、疾クニ調査委員ガ其支拂ノ當否ニ就テ取調ヲ了シ、其報告アリタルモノヽ如シ、果シテ然ラバ市長ガ本件ノ如何ナル質問ニ對シテモ答辯ヲ爲シ得ルノ準備疾クニ成レルニ非ズヤ、而カモ催促ヲ爲ス迄答辯ナキハ抑々如何ト、之ニ對シ**尾崎市長**ハ評議員會ニ報告ヲ爲セルハ先月ノ何日ナリシカヲ記憶セザルモ、今日迄答辯ノ遷延シタルハ、要スルニ調査ノ結果ヲ報告シ得ルニ至リタル後、市會ノ開會ナカリシ爲メ、終ニ其機會ヲ得ザリシニ由ルト辯明シタル後、進ンデ概要左ノ如ク報告セリ。

曩ニ評議員會ヲ開キテ云々ト答辯シタルハ事實ナルガ、其後取調ヲ了リ、專務委員會ヲ開キテ協議シタル結果、評議員會ハ一ノ私的會合ニシテ、出席者極メテ少數ナルガ常ナレバ、形式的ニ之ヲ開クノ煩ヲ避ケ、報告書ヲ發送シテ其返答ヲ求ムルニ若カズトノ意見多數ヲ占メタルヲ以テ、先月中旬決算書ヲ發送シテ、二十五日迄ニ回答ヲ得ルコトヽシテ、計算調書ヲ終了セリ。

次ニ取調ノ概要ヲ報ゼンニ、新聞紙上ニ現ハレタル非難ハ第一、市吏員中不正行爲アリ、即チ營業者ト結托シテ賄賂ヲ收授セリトノコト、第二、買入品ニ對シテ高價ナル支拂ヲ爲セリトノコト是ナリ、第一ノ不正行爲云々ハ殊ニ重大ナル點ナルヲ以テ、專務委員中ヨリ設ケシ委員モ愼重ニ之ヲ調査シタルガ、兩樣委員ノ報告ハ、共ニ不正ノ形跡ヲ認メザルナリ。次ニ高價ノ支拂ヲ爲セリトノ點ニ關シテハ、委員ハ天幕、筵、提灯、旗等ニハ稍高價ナルモノモアリタリト報告セリ。但シ此ハ總ジテ然リト云フニアラズシテ、裝飾ヲ分擔シタル三會社中ノ一會社ガ他ノ會社ヨリ比較的多額ヲ要求シタルコトヲ、專務委員中ノ一員ガ指摘シタルニ過ギズ。併シ此二種ノ價格ノ高低ヲ判定スルハ頗ル困難ニシテ、同ジク天幕ト云フモ、式場用又ハ假小屋用等其種

類用途ニ各々相違アレバ、其價格モ亦一定スルヲ得ザルナリ。此點ニ關シテハ會長ノ責任トシテ能フ限リ取調ベタルモ、其結果ハ少シハ高價ナルモノアリシヤモ知レズト云ヒ得ル位ノ程度ニテ、必ズ高價ナリト斷定スルニハ材料不充分ナリ。何トナレバ當時使用シタル品物ハ皆其形跡ヲ消失セルヲ以テ、今日ニ於テ其價ノ高低ヲ比較スルコト能ハザレバナリ、故ニ會長トシテハ通常斯ノ如キ場合ノ下ニ支拂ハルヽ金額トシテ、他ニ多クノ類例ノアリ得ル程度ニ於テ支拂ハレタルモノト判斷ヲ下スノ外ナシ。

市長ハ更ニ進ンデ、幹事ガ專務委員ノ監督ノ下ニ在ルヲ以テ、獨斷專行スル能ハザル點ヲ指摘シテ、不當ノ處置無カリシ所以ヲ縷述シタルガ、之ニ對シ城數馬君ト市長トノ間ニ猶一二問答アリタル後、**城君**ハ、元來市會ノ番外席ニ著テ答辯ヲ爲ス者ハ、參事會ヲ代表セルモノト信ズルガ、市長ノ今ノ發言ハ、參事會ヲ代表シタルモノナリヤト質シ、**尾崎市長**ハ其點ニ關シテハ慣例ヲ熟知セザルガ、今ノ答辯ハ參事會ノ代表者トシテ爲シタルニ非ズシテ、市ト他ノ公共團體ト寄附者トヨリ成ル會ノ會長トシテ爲シタルトノ辯明スレバ、**城數馬君**ハ飽迄參事會ヲ代表シテノ答辯ヲ要求ス。是ニ於テ**尾崎市長**ハ今ノ報告ハ參事會員中ノ委員ノ調査ニ基クモノナルモ、細目ニ就テハ未ダ評議セザリシト記憶ス、故ニ參事會ヲ代表シテノ答辯ヲ爲スニハ、尚一回評議ヲ遂グル要アリト述ベ、**城君**ハ番外席ニ在ッテ一個ノ市長トシテ答辯シ得ベキモノナリヤ否ヤヲ議長ニ問ヘバ、**大岡議長**ハ從來ノ慣例ハ職務上當然市參事會ヲ代表シテ答辯スルコトトナリ居レリト告ゲ、**城君**ハ然ラバ次回ニ於テ質問スベシ、新聞記事以外ニ奇怪事アルモ、今ハ其事實ト人名トヲ言明セザルベシ、次回ニハ參事會ヲ代表シテ答辯シ得ル樣用意セラレタシト望ミ、**市長**ハ事實ヲ知ルベキ端緒ニテモ示サルレバ幸ナリト請ヒタルモ、**城君**ハ既ニ市長ノ耳ニ入レル筈ナリト述ブルニゾ、**市長**ハ然ラバ已ムヲ得ズ、耳ニ入リタルモノ、中此事ナラントノ推定ヲ以テ追テ答辯スルノ外ナシト述ベ、當日ノ質問ヲ終リタルガ、次イデ七月二十八日ノ會議ニ於テ、**城君**ハ前會ニ於テ要求セル、市參事會ヲ代表シテノ答辯ヲ促セバ、**尾崎市長**ハ左ノ如ク答辯セリ。大略前會ニ述ベタル如ク、諸支拂中ニハ今日ヨリ見レバ多少高價ナルモノ絕無ナリト云フヲ得ズ。併シ斯ノ如キ場合、動モスレバ有リ得ル程度ノモノナレバ、必ズシモ高價ナリトシテ今日之ヲ追究スルノ價値ナキガ如シ。更ニ今一ッノ事柄ハ事項ヲ明示セラレザルヲ以テ前會ニ述ベタル如ク、推察ニ依テ答辯スルノ外ナキガ、恐ラク萬安（料亭）ノ受取證ニ加筆セル問題ニアラザルナキ乎。

市長ノ此答ニ對シ、**城君**ハ、文字改刪ノ調査ヲ求メタルニアラズト答フ。是ニ於テ市長ハ更ニ左ノ如ク言明セリ。是迄調査セル所ニ據レバ、此等ノ受取中、他ニ疑ハシキモノヲ發見セズ、又紛失シタルモノナシ、稍異樣ニ感ゼシハ、前述ノ受取證ノ文字ノ改竄ナリ。苟モ市役所保管ノ文書ニ筆ヲ加ヘ、文字ヲ改ムル如キコトハ金額ノ多少若ハ價格ノ高低ニ拘ハラズ、放任ス可キニアラザルヲ以テ、嚴ニ調査ヲ爲シタリ。其概略ヲ述ブレバ、此受取ハ金額拾四圓五拾錢ナルガ其慶不慶ハ金額ニ對スル人數ノ如何ニ係ル、然ルニ此受取證ニ在ル四名樣ノ四ノ字ヲ變更シタル形跡アリ、是レ問題ノ骨子ナリ。而シテ當時ノ一說トシテハ元來三ト書キシヲ四ト改メタル欺瞞策ナリトノ推定ナリキ。然ルニ變改ノ文字ヲ透視スルニ三ヲ四ト改メタルニ非ズシテ、五ヲ四ト改メタル形跡アリ。尚又萬安ノ原簿ニ就テ調査シタルニ、明白ニ五名樣トアリ、出席者ノ人名モ判明セルガ、其內四人ハ先着シ、後ニ一人遲レテ參加セリ。此等ノ事實ヨリ推ストキハ、改竄ノ目的ガ必シモ惡意ニ出デタリト言フヲ得ズ。且ツ何人ガ如何ニシテ斯ノ如キ擧ニ出デタルカハ未ダ分明ナラザルガ、執レニセヨ、保管書類ニ加筆スルハ不都合千萬ナルガ故ニ、目下嚴重ニ調査中ナリ。尚將來斯ル失態ヲ再演セザルコトヲ期スベキハ勿論、本問題ニ關シテモ、搜査ノ結果事態判明セバ、必ズ相當ノ處置ヲ爲スベシ。

▽**調査委員設置ノ建議**　右市長ノ說明終ハルヤ、**大柴四郎君**ハ日進春日ノ歡迎費用ニ關シ、今春來屢バ問題トナレルガ、若シ其間總テノ疑惑ヲ時ト共ニ有耶無耶ニ葬リ去ルガ如キコトアラバ、兩艦歡迎ノ意ヲ表セル市民ノ熱誠ニ應フル所以ニ非ザルヲ以テ、議長指名調査委員五名ヲ設クベシト發議シ、贊否ノ聲アリシガ採決ヲ爲セルニ、起立少數ニテ成立セズ。玆ニ於テ**城君**ハ、番外ノ答辯ヲ不滿足ナリトシ、歡迎會ノ專務委員及ビ市參事會ノ調査委員ノ報告ノ明示ヲ求メ、**尾崎市長**ハ此報告ハ長文ニシテ、全部ノ朗讀ニハ時間ヲ要スルヲ以テ、議長ノ手許ニ之ヲ差出スベケレバ、結論ト思ハルヽ所ヲ書記ニ朗讀セシメテハ如何ト述ベ、適當ノ機會ニ之ヲ朗讀セシムルコトヽナリタリ。次イデ**城君**更ニ曰ク、先刻大柴君ノ提出セル日進春日歡迎費全部ノ調査委員ヲ設クル動議ハ、不幸ニシテ敗レタルガ、本員ハ日進春日歡迎費ノ中、其支出ニ關シ、市吏員ノ不正行爲ノ有無ニ就テ、調査委員ヲ設クルノ動議ヲ提出スト述ベ、此動議モ亦成立セズシテ一時休憩ト爲リ、再開ト同時ニ**大岡議長**ハ、市長提出ノ報告書ヲ書記ヲシテ朗讀セシメタルニ、**大柴四郎君**ノ發議ニ依リ、之ヲ印刷シテ次會迄ニ議員ニ配付スルコトヽナリ、議長ハ八月十六日各議員ニ此調書ヲ配付シタルガ、日進春日歡迎費本問題ハ爾後重ネテ議題ト爲ルコトナカリキ。

第五節　汚物燒却場埋立問題

▽**汚物燒却場埋立豫算**　去年十二月二十三日ノ會議ニ、第百七十九號明治三十六年度追加豫算提出セラレタルガ、本案ハ歲入出共ニ貳千貳百七拾六圓八拾錢ニシテ、歲入ハ前年度繰越金ヲ以テ之ニ充テ、歲出ハ臨時費ニシテ、深川區平久町ニ設置セントスル汚物燒却場埋立費ナリ。

本案ハ**鵜飼豐君**ノ發議ニ由リ、直ニ議長指名五名ノ調査委員ニ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ委員ヲ指名セリ。

木村莊平　桑原謹三　今井喜八　石川甚作　金澤三右衞門

委員ハ**今井喜八君**ヲ委員長ニ推シ調査ノ末、本年三月七日ノ會議ニ左ノ報告書ヲ提出セリ。

第百七十九號議案調査委員意見報告

委員ハ實地ヲ踏査シ再應集會審議ノ末原案ノ場所ハ汚物燒却場トシテ適當ナラスト認メ之ヲ否決セリ其詳細ハ口頭ヲ以テ陳述スヘシ。

本報告書ガ議題ト爲ルヤ、**今井委員長**ハ、否決ノ理由ヲ說明シテ曰ク、本場所ヲ實地調査シタルニ、東ハ遊廓地、西ハ人家稠密、將來有望ノ場所ナレバ、斯カル所ニ僅ニ千餘坪ノ燒却場ヲ設クルコトハ甚ダ不利益ナリ。故ニ參事會ハ中川綠或ハ大島附近ニシテ人家ニ接近セザル場所ヲ選定シ、必要ナル豫算ヲ具シテ本會ニ提出スベシトノ理由ヲ以テ原案ヲ否決セリト。之ニ對シテ**丸山勳役**ハ原案ヲ維持シテ曰ク、參事會ハ最初月島ノ市有地ヲ以テ之ニ充ツル豫定ニテ設計ヲ爲セルモ、近隣ノ苦情モアリ、且ツ商業地トシテ將來有望ナルヲ以テ、遂ニ豫定ヲ變更シテ、平久町ニ之ヲ設クルコトヽセリ。中川綠ハ運送ニ不便ナル爲メ、大ニ經費ヲ要スベシ、故ニ平久町以上ノ遠距離ノ地ハ不適當ナリトス。當局者トシテハ、今日迄種々苦心セシモ、適當ノ場所ヲ發見スル能ハザルガ故ニ、可成原案ノ可決ヲ望ムト。**大柴四郎君**ハ委員ノ一人トシテ否決ノ理由ヲ敷衍シテ曰ク、委員長ノ報告ハ否決ノ第一ノ理由ナルガ、更ニ第二ノ理由トシテハ、本案ハ地所ノ選定ニ止マリ、建築費ヲ伴ハザルガ故ニ、若シ後日建築案ノ提出ニ際シ、其否決ヲ見ルガ如キコトアレバ、本案モ水泡ニ歸スベシト云フニ在リ。尙第三ニ、京橋區民ノ反對運動ノ結果終ニ轉ジテ深川ニ場所ヲ選定セルハ贊成シ難シ、以上ハ本案否決ノ理由ナルガ、之ニ代ルベキ場所ニ就テ

ハ、不日建議ニ及ブベシト。次ニ**野々山幸吉君**ハ原案ニ賛成シテ曰ク、初メ月島ノ如キ市有地ヲ適當ナリト認メタルモ、多クハ貸附濟ナルニ因リ、四隣ニ關係ナキ所ヲ求ムレバ、平久町ヲ措テ他ニ是ナシ。故ニ已ヲ得ズ一時燒却場ヲ此處ニ設ケテ、成績ヲ見ルノ外ナシ。此頃風說ニ依レバ、三十七年度ニ於テハ、下總ノ請負人ハ聯合シテ、從來ノ金額ニテハ汚物ノ掃除ヲ爲サズトノ申合ヲ爲セリト、燒却場ハ斯ル手段ノ對策タルノミナラズ、流行病ノ豫防ニモ亦必要ニシテ、戰後流行病ノ襲來スルコトアルハ、外國ノ例ニ徵スルモ明白ナレバ、燒却場ノ建築ハ目下ノ急務ナルベシ。汚物ノ搬出先キニ苦シム今日、明年度丈ケニテモ燒却ヲ試ミルノ考ヲ以テ原案ニ賛成アリタシ。又月島ヲ平久町ニ變更シタルハ、京橋區民ノ運動ノ爲メナリトノ說アルモ、是レ事實ニ非ズシテ全ク當初平久町ニ想到セザリシナリ。船着運漕其他何レノ方面ヨリ見ルモ此地ハ最モ適當ニシテ、若シ其否決ヲ見ルニ至ラバ、塵芥處分ノ方法ハ盡キタリト云ハザルヲ得ズト。**桑原謹三君**ハ該埋立地ハ立ロニ繁華ナル土地トナリ、相當利益ヲ收メ得ベケレバ、其利益ヲ以テ他ノ土地ヲ買收スルカ、又ハ他ノ方法ヲ取リテ可ナリトテ否決ニ賛成シ、討論終結ニ付テ議論アリタル末、採決ノ結果、調査委員ノ報告ハ少數ニテ敗レ、其結果原案ノ復活ヲ見タリ。

▽**平久町地先埋立速成ノ建議**　上記塵芥燒却場調査委員タリシ今井喜八君外四名ハ、三月七日ノ會議ニ左記平久町地先埋立速成ノ建議ヲ提出シテ異議ナク可決セリ。

深川區平久町地先ニ設ケ在ル土捨場ハ市內各河川浚渫ノ土砂ヲ捨ツル場所ニシテ一見土捨場タルニ過キサルカ如シト雖モ去ル明治三十一年十一月本會カ決議シタル右土捨場築造費豫算ノ說明ヲ見ルニ「一ハ以テ河川ヲ浚渫シテ貨物ノ運漕ヲ便ニシ一ハ以テ有價ノ土地ヲ築造セントスルニ由ル」トアリテ最初ヨリ市有地築造ノ計畫ナリシヤ明ナリトス而シテ今ヤ既ニ其過半ノ埋立ヲ終ヘ加フルニ堤防完成シ居レリ且一方ヲ顧レハ土砂停滯シテ船舶通行上不便ヲ感スル河川澁カラサル實況ニ依リ此際大ニ河川浚渫ヲ勵行シ併セテ該埋立ヲ速成セシメンコトヲ望ム

第六節　市內交通機關問題

▽**電車線路變更ノ諮問**　三月七日ノ會議ニ於テハ、市街鐵道ノ兩國橋架換ニ伴フ特許線路變更ノ諮問第一號案ヲ、五月十一日ノ會議ニ於テハ、市街鐵道ノ木挽町二丁目蓬萊橋間線路追加ノ諮問第二號案及ビ市街鐵道ノ本所橫網町車庫地連絡線路敷設特許ノ諮問第三號案、竝ニ東京電氣鐵道ノ芝土橋ヨリ內幸町ヲ經テ赤坂溜池ニ至ル外濠線連絡ノ敷設特許ニ關スル諮問第四號案ヲ、又タ七月二十八日ノ會議ニ於テハ市街鐵道ノ吳服橋ヨリ西河岸通ヲ經テ、元四日市町ニ至ル、一時假軌道敷設ノ諮問第五號案ヲ、孰レモ即決セルガ、十一月十七日ノ會議ニ提出セラレタル市街鐵道ノ牛込線一部變更ノ諮問第六號案ニ對シテハ、**關幸太郎君**ノ發議ニ由リ、議長指名五名ノ委員ニ調査ヲ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ如ク指名セリ。

坪谷善四郎　桑原謹三　中澤彥吉　城數馬　橫田清兵衞

委員ハ**坪谷善四郎君**ヲ委員長ニ推シ、審査ノ結果、十二月二十三日ノ本會議ニ左ノ意見報告書ヲ提出シ、本會ハ直ニ之ヲ可決セリ。

一、線路變更ハ支障ナキモ命令書第一條第六項ヲ「九段坂下ニ起リ飯田橋ヲ渡リ江戶川ニ沿ヒ江戶川橋際ニ於テ左折シ牛込天神町角ヲ左ニ肴町ヨリ(原案肴町ヨリ直線飯田橋トアルヲ)白銀町津久土前町ヲ經テ飯田橋ニ至

ルヿトシテ許可セラルヽ樣致度事

▽連結車竝賃錢ニ關スル意見書　七月十九日ノ會議ニ於テ、**佐治實然君**ハ發言ヲ求メ、大柴四郎君外三名ノ贊成ヲ得テ提出セル市街鐵道ニ關シ、內務大臣ニ左記意見書ヲ提出スル建議ヲ日程前ニ附議セラレンコトヲ望ミ、滿場之ヲ容ルヽヤ、**佐治君**ハ提出ノ理由ヲ詳述シ、直ニ其可決ヲ見タリ。

意見書

本會ハ刻下本市ノ一問題タル東京市街鐵道株式會社連結車許否及賃錢ニ關シ左ノ希望ヲ有ス

一　連結車ヲ適度ニ應用スルハ市民交通上及市納金徵收上利益アリト認ムルヲ以テ速ニ許可アランコトヲ望ム

一　連結セル附屬車ヲ上等階級ノモノト爲シ賃錢ヲ引上ケントスルノ風說アルモ這ハ本市交通機關ノ現狀ニ照ラシ市民ノ不利益ト認ムルヲ以テ依然參錢均一ノ現制ニ據ランコトヲ望ム

右市制第三十三條ニ依リ意見書提出致候也

明治三十七年七月十九日

內務大臣宛

議長

第七節　東京市明治三十七年度歲入出總豫算

▽普通會計ニ屬スル豫算

東京市明治三十七年度歲入出總計豫算

種別	原案	委員會修正	市會議決
歲入	一、三九六、六五四・四八八	一、四〇二、八九九・七四六	委員會報告通
歲出經常費	一、二六四、〇五三・二三八	一、二七七、五九八・四九六	委員會報告通
臨時費	一三二、六〇一・二五〇	一二五、三〇一・二五〇	委員會報告通
通計	一、三九六、六五四・四八八	一、四〇二、八九九・七四六	委員會報告通

本案ハ三月七日ノ第一讀會ニ於テ、第百八十五號新佃島及ビ月島下水竝盛土豫算ト共ニ、議長指名九名ノ調査委員ニ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ如ク委員ヲ指名セリ。

鹽島仁吉　坪谷善四郎　江崎禮二　城數馬　大柴四郎

石川甚作　青木庄太郎　關幸太郎　石川顯一郎

委員ハ城數馬君ヲ委員長ニ推シ、審査ノ結果、前表ノ如ク修正スルニ決シ、其旨三月二十九日ノ本會ニ報告シタルガ、其際城委員長ハ修正理由ヲ左ノ如ク說明セリ。

大體約六千圓ノ增加ヲ必要ト認メテ修正ヲ加ヘタリ、即チ原案百參拾九萬六千六百五拾四圓四拾八錢八厘ヲ修正シテ、百四拾萬貳千八百九拾九圓七拾四錢六厘ニ增加シタルガ、今其理由ヲ略說センニ、第一ニ、委員會ハ歲出ニ於テ第一款市役所費ノ部長年俸貳千四百圓ヲ削除シタルガ、是レ原案ニ於テハ水道部ノ外ニ土木部長及ビ衞生部長ノ專任ヲ置クコトヽシタルヲ、委員ハ其必要ナシト認メ、理事者トモ交涉ノ上、之ヲ置カザルニ決シタルガ爲メナリ。又收入役ニ對スル慰勞手當ヲモ削除シ、其他交際費參千圓ヲ半減セルハ、三十六年度ノ實際ニ依ルナ

リ。第二款區役所費ニ於テ、原案ハ書記及ビ雇員ノ人員ヲ減ジタルモ、區役所ノ實況ハ行政整理ノ餘地ナク、其事務ハ年々煩雜ヲ極ムル有樣ナレバ、委員會ハ書記九人、雇員三十人ヲ增加シ、又書記俸給平均原案貳拾參圓トアルヲ貳拾五圓ニ增加シ、慰勞手當ヲモ增額シタルヲ以テ、總計約貳萬圓ヲ增加セリ。第六款ノ修正トシテハ、川淺ヒ二廉ヲ削リ、新ニ一廉ヲ增加セリ。第七款衞生費ニ於テ、第十二項ノ掃除費ヲ多少增加シタル理由ハ從來汚物掃除ノ成績完全ナラザルヲ以テ、其原因ヲ調査シタルニ、請負金額ノ少キニ失スルニ由ルモノヽ如ク、從テ之ガ成績ヲ擧ゲンニハ、各區割當金額ヲ增加スルノ必要ヲ認メ、幾分其增額ヲ爲シタルガ爲メナリ。第十六款精神病者費ハ一萬圓ヲ削減シ、臨時費第二款教育費ニ於テ、特殊學校運動場新設ノ爲メ、敷地ノ買入ハ本年必ズシモ實行スルノ要ナシトシテ、全部之ヲ削除セリ。第五款補助費即チ東京市教育會及ビ日本體育會ノ補助ハ、曾テ市會ガ建議セル主意ニ基キ、且ツ萬々一必要アラバ、市自カラ之ニ當ルベシトノ意見ヲ以テ、是レ亦其全部ヲ削除セリ。此等修正ノ結果、歲入ニ於テ帝國議會ガ將ニ議了セントシツヽアル戰時特別稅ノ負擔其他ヲ參酌シ、前年度ヨリ割合ニ輕キ府稅營業稅及ビ府稅雜種稅ノ附加稅率原案百分ノ十五ヲ百分ノ二十トシ、國稅營業稅附加ニ於テ、百分ノ一ヲ減シ尙過不足ニ備フル爲メ、豫備費ニ於テ千圓以內ヲ增加セリ。歲入第十一款（市有地經濟ヨリ組入）ノ修正ハ、市有地豫算ノ修正ニ伴フ自然ノ結果ナリ。又第九款第二項家屋稅附加ノ一個當一、五トアルヲ一、八七五ト修正セルハ、府稅家屋稅ノ其後ニ於ケル修正ノ結果、本稅ニ對スル割合ノ自然ニ變化セシ爲メナリ。第八款水道經濟ヨリノ受入金貳萬貳千五百圓ヲ壹萬九千圓ト修正セルハ、水道經濟ノ豫算ニハ壹萬九千圓トアリテ、其間參千五百圓ノ相違アルハ、或ハ多少ノ理由ノ存スルアランモ、錯雜ヲ避クル爲メ、此修正ヲ爲セリ。

之ニ對シテ溝渠費及ビ築港調査費等ニ關シ質問アリタル後、第二讀會ニ移リ、區役所費ノ增額ニ關シ、**渡瀨寅次郎君**ハ當局ガ改革ヲ行ヒ減員シテモ事務ヲ執リ得ルト云フニ拘ハラズ、本會ガ增員增額ヲ決議スル必要ナシトテ原案ニ贊成シ、**江崎禮二君**ハ區役所事務ハ從來漸次煩劇ト爲リツヽアリシガ、殊ニ戰時動員令實施ノ爲メ、著シク忙殺ノ度ヲ加ヘタリトテ修正意見ニ贊成シ、**野々山幸吉君**ハ、一時ノ繁忙ハ雇員ノ日給ヲ增セバ可ナリ、戰爭ノ爲メニ、獨リ區役所ノミガ繁ニシテ市役所ガ閑ナルニアラズ。但シ各區ニアル兵事義會等ノ仕事ハ、區吏員ヲシテ之ヲ爲サシムルモ、年末ニハ此等ノ團體ヨリ相當ノ謝禮ヲ爲スガ故ニ、勞務ニ對スル報酬ナシトセズ。又市役所ニテモ軍隊ヲ送ル爲メニ、新宿或ハ新橋ニ吏員ヲ派遣スルモ、是亦決シテ無償ニアラズ。理事者ハ一旦本款計上ノ金額ヲ以テ足レリト爲シタルニ、今委員ガ人員ヲ增スノ要アリト言ヘバ、直チニ之ニ同意ス、無見識モ亦甚シト謂フベシ。提案當時ノ精神ヲ以テ終始說明シタランニハ、委員間ニ增額論ヲ見ルガ如キコトナカリシナラント切言シ。**田口卯吉君**ハ市會議員ガ自ラ進ンデ當局ノ要求額以上ヲ與フルハ、當局ノ責任ヲ輕カラシムルノ習慣ヲ招致スルノ虞アルガ故ニ、決シテ增額スベキニアラズ、若シ其必要アル場合ニハ、當局者ハ宜ク責任ヲ以テ別ニ追加豫算ヲ提出スベシトテ、渡瀨寅次郎君ノ意見ニ贊成シ、尙多少ノ討論ノ後、採決シタルニ、調査委員ノ修正案ハ多數ニテ可決セラレタリ。

次ニ臨時費第二款教育費第二項萬年壽常小學校々地買入費（四千圓）ハ、委員會ニ於テ削除ニ決シタルヲ以テ、**中鉢助役**ハ本會ニ於テ原案ノ復活ヲ希望シテ曰ク、他ノ特殊學校ハ五百坪以上ノ敷地ヲ有スルニ、獨リ萬年小學校ハ三百坪ニ過ギズ、殊ニ生徒數モ四百人以上ヲ算シ、二部敎授ヲ爲シツヽアルニ拘ラズ、體操場ハ漸ク百坪未滿ナリ。故ニ校舍モ運動場モ共ニ狹隘ナリト言ハザルベカラズ、切ニ原案ノ復活ヲ望ムト。**杉原榮三郎君**ハ下谷ノ所謂貧民窟タル萬年町ニ、特殊學校トシテ造ラレタル本校ニ於テハ、現ニ生徒充滿セル爲メ、日々新入學者ヲ謝絕シツヽアルノ慘憺タ

ル有様ナルモ、委員會ニ於ケル番外ノ說明甚ダ不充分ナリシ爲メ、終ニ本項ハ削除セラレタリ、復活ヲ哀願スト述ベ
城委員長ハ、番外ノ說明ハ必シモ不充分ナリシニアラズシテ、其意ハ今年之ヲ買入ズンバ、來年又ハ爾後ニ於テ、
何レカノ地所ヲ一度ハ買入レザルベカラザルガ、其時果シテ今日求ムルト同樣ノ地所ヲ求メ得ルヤ否ヤ、又假リニ求
メ得ルトシテモ、或ハ價額ノ高騰ヲ見ルコトナキカト云フニ在リキ。然モ委員會ハ道路橋梁下水等ノ改修ニ關シテ
モ、危險ナキ限リハ一二年間之ヲ延期スルニ決セル此際ニ於テ、運動場ニ充ツル爲メニ、此地所ノ買入ヲ是非共必要
トスルヤ否ヤヲ充分研究シタル結果、一時ノ延期ハ已ヲ得ズトシテ削除シタル旨ヲ辯明シ、佐治實然君ハ市學務委員
トシテ、萬年學校ニハ特ニ注意ヲ拂ヒツヽアルガ、二部教授ヲ施サヾルヲ得ザルノ事實アルニ拘ハラズ、他ノ特殊小
學校ニ比ベテ、運動場頗ル狹キハ兒童訓練上宜シカラズトテ、理事者ガ原案維持ノ爲メ、更ニ有力ナル說明ヲ爲サ
ンコトヲ望ミ、江間俊一君ハ下谷區選出ナルガ故ニ、地方的感情ノ爲メ議論スルニアラザルガ、他ノ費用ハ調査委員
ノ修正ニ贊成スルヲ以テ。是丈ケハ復活ニ贊成アリタシト述ベ、豐島仁吉君ハ萬年小學校運動場ノ擴張ハ可ナリトス
ルモ、本年度ニ之ヲ行フガ如キハ、東京市ノ威嚴ヲ損スルモノナリ。何トナレバ今日ノ時局ニ鑑ミ、學校ノ改築新築
等ヲ爲スベカラザルコトヲ各區ニ訓令セル東京市ガ、其直接ニ支配スル學校ノ運動場ニ限リ、之ヲ取擴ゲントスル
ハ、斷ジテ市ノ威嚴ヲ保ツ所以ニアラザレバナリトテ、削除說ヲ主張シ、松長信氏君ハ、時局ハ固ヨリ節儉ヲ要求スル
モ、此程度ノ問題ニシテ、而カモ國家ノ爲メ緊要ノ施設ヲモ中止スルハ固ヨリ不可ナリ。況ンヤ學校ヲ建テタレバト
テ、東京市ノ威嚴ニ關スルト言フガ如キハ、驚キ入リタルコトナリトテ、原案復活ニ贊成シ、青木庄太郎君ハ杉原榮
三郎君ニ對シ第二十五號案ノ市區改正豫算ニ於テ、本所區龜澤町一丁目二丁目ノ大道路ニ通ズル御竹藏通リヲ、坪當
貳拾壹圓ニ修正セルニ、下谷萬年町ノ貧民窟ヲ坪當貳拾圓ハ高價ニシテ權衡ヲ失セリ、之ヲ削減スル考ナキヤト質

シ、杉原君ハ原案ハ之ヲ可決スルモ、實施ニ當リ出來得ル限リ低價ヲ以テ、運動場ノ敷地ヲ買收センコトヲ希望スル
旨ヲ辯明シ、坪谷善四郎君ハ、市ノ學務委員トシテハ成ルベク學校ノ完全ナランコトヲ望ムモ、豫算委員トシテハ此
削減ヲ已ヲ得ズト認メタリ。特殊學校ノ建設ハ、五箇年ノ繼續事業ナルヲ以テ、假令不完ニモセヨ、卒先之ヲ建設シ
得タル區ハ幸福ナリ。然ルニ斯ル既設學校ノ運動場ガ狹隘ナリトテ、之ヲ擴張セントスルハ、不幸ニシテ未ダ特殊學
校ヲ有セザル他區ノ立場ヲ察セザルノ甚キモノナリト論ジ、中鉢助役ハ、他ノ特殊學校ノ校地ト比較シテ、二百坪ヲ
增加スルノ必要ナル所以ヲ述ベ、重ネテ原案復活ヲ希望シタルモ、採決ノ結果、多數ヲ以テ調査委員ノ修正通リニ決
定セリ。

第五款補助費(參千參百圓)中第一東京市教育會ノ補助參千圓ニ關シ、中鉢助役ハ同會創立ノ由來ヨリ、其事業トシテ
ノ講談會及ビ女子技藝學校經營ノ狀況ヲ說キ、第二體育會ノ補助參百圓ニ關シテモ、會ノ內部ノ紊亂ハ加納子爵ニ依
テ整理セラレ、其日比谷公園ニ寄附シタル運動器械ノ盛ニ利用セラレツヽアル狀況ヲ說明シテ、原案ノ復活ヲ望ミタ
ルガ、大柴四郎君ハ調査委員ハ昨年市會ガ全會一致ヲ以テ補助金廢止ノ建議ヲ爲セル主義ニ基キ、且ツ必要ノ施設ハ
市自カラ之ヲ經營スベシトノ意見ニ鑑ミ、殊ニ種々事業ヲ中止セントスル此際ニ於テ、他ヲ補助スルノ餘裕ヲ認メザ
ルヲ以テ、之ヲ削除セリトテ、飽迄削除ヲ主張シ。渡瀨寅次郎君及ビ今井喜八君ノ原案贊成、城委員長ノ辯明等アリ
シモ、採決ノ結果、委員修正通リ削除ニ決セリ。此時歲入ノ討議ニ先チ、普通豫算案ト共ニ附託トナリタル第百八十五
號新佃島及ビ月島下水竝ニ盛土ノ更正豫算ニ對スル調査委員ノ修正意見報告ヲ上程シ、城委員長ハ修正ノ理由ヲ說明
シテ曰ク、第十號案ノ總豫算ノ土木費中、川淺二箇所ヲ削除シテ、新ニ一箇所ヲ加ヘテ其差引ノ結果、川淺ヨリ生ズル
土ノ坪數減少シ、且ツ神田川ノ川淺ノ土砂モ見込ヨリ減少スベシトノ理事者ノ說明ニ依リ、第百八十五號案ノ目的ト

スル盛土事業ハ、本年原案通リ進捗セザルコト明瞭ト爲リタルヲ以テ、已ヲ得ズ三十七年度ニ於テ約一割ノ金額ヲ減ジ、三十八年度三十九年度ニ於テ、此減額ノ半分宛ヲ增加スルコトニ修正セリト、滿場異議ナク之ヲ可決シ、次ニ市有地及ビ水道ノ各豫算ヲ議了シタル後、三十七年度豫算ノ歳入ニ移リ、讀會ヲ省略シテ一瀉千里、委員修正通リニ確定セリ。

▽特別會計ニ屬スル豫算

公園歳入出總計豫算

歳入	原案	委員會修正
歳出經常費	八四、四二五・六七二円	市會議決
	三六、六五〇・四三〇	委員會報告通
	三六、五八二・四四〇円	委員會報告通

歳入出差引

殘金四萬七千八百四拾參圓貳拾參錢貳厘ハ公園改良準備金ニ編入

本案ハ三月四日第一讀會ニ於テ議長指名七名ノ調査委員ニ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ指名ヲ爲セリ。

仁科粂次郎　木村莊平　西澤善七　今井喜八　岡田榮一

古川孝七　金澤三右工門

委員ハ**西澤善七君**ヲ委員長ニ推シ、審議ノ末、前表ノ如ク修正スルニ決シ、其旨同月二十九日ノ本會ニ報告シテ異議ナク可決セラレタリ。

墓地歳入出總計豫算

歳入	原案	委員會修正
歳出經常費	一五、二八一・九三八円	市會議決
	四、七四九・一六九	委員會報告通
	四、七四九・一六九	委員會報告通

歳入出差引

殘金壹萬五百參拾貳圓七拾六錢九厘但墓地準備金ニ編入

本案ハ公園豫算ト同一委員ニ附託セラレ、三月二十九日ノ本會ニ於テ、委員報告通リ原案可決セラレタリ。

基本財產河岸地歳入出總計豫算

歳入	原案	委員會修正
歳出	一九六、八五八・七七六円	市會議決
	一八、一五一・六六七	委員會報告通
	二〇、一五一・六六七	委員會報告通

歳入出差引

殘金拾七萬八千七百七圓拾錢九厘ハ市區改正費ニ編入

本案ハ三月四日第一讀會ニ於テ、議長指名五名ノ調査委員ニ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ如ク指名セリ。

秋　虎太郎　森田鉞三郎　有嶋武　和田屯　山口善兵衞

委員ハ**森田鉞三郎君**ヲ委員長ニ推シ、審議ノ末、前表ノ如ク修正スルニ決シ、其旨三月二十九日ノ本會ニ報告シテ、修正通リ可決セラレタリ。

市有地歳入出總計豫算

		原案	委員會修正	市會議決
歲入		七三、二四三・〇〇一円	一五、五五四・五三八	委員會報告通
歲出	經常費	一五、五五四・五三八	一七、二七九・六七〇	委員會報告通
	臨時費	四一、四二〇・〇〇〇	三九、七七八・〇〇〇	委員會報告通
計		五六、九七四・五三八	五七、〇五七・六七〇	委員會報告通

歲入出差引

殘金壹萬六千百八拾五圓參拾參錢壹厘（市會決定額）ハ本市經濟ニ編入

本案ハ前記河岸地豫算ト同一委員ニ附託セラレ、同樣ノ經過ヲ以テ、前表ノ如ク確定セリ。

神田上水歲入出總計豫算

		原案	委員會修正	市會議決
歲入		一、三一六・六〇一円	一、三一六・六〇一	委員會報告通
歲出經常費		一、三一六・六〇一	一、三一六・六〇一	委員會報告通

本案ハ三月四日第一讀會ニ於テ、議長指名五名ノ委員ニ調査ヲ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ如ク指名セリ。

市原求　杉野秀行　杉原榮三郎　松嶋剛　堀田生次郎

委員ハ市原求君ヲ委員長ニ推シ審議ノ末、原案ヲ相當ト認メ、其旨同月二十九日ノ本會ニ報告シテ其可決ヲ見タリ。

養育院歲入出總計豫算

		原案	委員會修正	市會議決
歲入		六二、五八四・八一一円	一七、二七九・六七〇	委員會報告通
歲出經常費		六二、五八四・八一一	三九、七七八・〇〇〇	委員會報告通
歲出臨時費			五七、〇五七・六七〇	委員會報告通

本案ハ三月四日第一讀會ニ於テ、議長指名五名ノ委員ニ調査ヲ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ如ク指名セリ。

吉川仙太郎　桑原謹三　松村祥一郎　福嶋豐　石川顯一郎

委員ハ福嶋豐君ヲ委員長トシテ審議ノ末、原案ヲ相當ト認メ、其旨同月二十九日ノ本會ニ報告シテ其可決ヲ見タリ。

養育院感化部創立費歲入出總計豫算

		原案	委員會修正	市會議決
歲入		一、三〇七・〇七九円	一、三〇七・〇七九	委員會報告通
歲出臨時費		一、三〇七・〇七九	一、三〇七・〇七九	委員會報告通

本案ハ前記養育院豫算ト同一委員ニ附託セラレ、同樣ノ經過ヲ以テ原案ヲ可決セリ。

水道歲入出總計豫算

		原案	委員會修正	市會議決
歲入		一六八、四一六・九三五円	一六七、一五〇・九三五円	委員會報告通
歲出經常費		一六八、四一六・九三五	一六七、一五〇・九三五	委員會報告通

本案ハ三月四日ノ本會ニ於テ、神田上水豫算ト同一委員ニ附託セラレ、委員會ニ於ヲ前表ノ通リ修正シテ、之ヲ同月二十九日ノ本會ニ報告シ、直チニ可決セラレタリ。

水道準備積立金歳入總計豫算

歳入	原案	委員會修正	市會議決
	一六、三九三・六五七円	原案通	委員會報告通

本案ハ前記水道豫算ト同一委員ニ附託セラレ、同樣ノ經過ヲ以テ原案ヲ可決セリ。

市區改正歳入出總計豫算

歳入	原案	委員會修正	市會議決
	一、〇三〇、一六〇・六一九円	一、〇二八、一六〇・六一九円	委員會報告通
歳出經常費	一、〇三〇、一六〇・六一九	一、〇二八、一六〇・六一九	委員會報告通

本案ハ三月四日第一讀會ニ於テ、議長指名七名ノ委員ニ調査ヲ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ如ク指名セリ。

市原求　木村莊平　杉原榮三郎　宮川鐵次郎　多羅尾光應

關直彥　稻延利兵衞

委員ハ多羅尾光應君ヲ委員長トシテ審査ノ末、前表ノ如ク修正スルニ決シ、其旨同月二十九日ノ本會ニ報告シテ可決セラレタリ。

市區改正（自明治二十四年度至明治三十七年度）臨時費中明治三十七年度歳出總計豫算

臨時費	原案	委員會修正	市會議決
	二、四九一・一六〇円	原案通	委員會報告通

本案ハ三月四日第一讀會ニ於テ、前記水道豫算ト同一委員ニ附託セラレタルガ、委員會ニ於テハ原案ヲ相當ト認メ、之ハ同月二十九日ノ本會ニ於テ委員報告通リ可決セラレタリ。

公債償還基金歳入出總計豫算

歳入	原案額	委員會修正額	市會決定額
	二、六四一、二〇五・一六三円	原案通	委員會報告通
歳出經常費	一、〇八〇、二九六・九三五	一、〇七九、〇三〇・九三五円	委員會報告通
歳入出差引	百五拾六萬貳千百七拾四圓貳拾貳錢八厘		
殘金	百五拾六萬九百八圓貳拾貳錢八厘		

本案ハ三月四日ノ第一讀會ニ於テ、前記水道豫算ト同一委員ニ附託セラレタルガ、委員會ハ審議ノ末、前表ノ如ク修正スルニ決シ、其旨同月二十九日ノ本會ニ報告シテ其可決ヲ見タリ。

第八節　年賦金納付猶豫問題

▽年賦金納付延期願ノ否決　三月七日ノ會議ニ於テ、鐵管問題ニ關スル左ノ議案上程セラレタリ。

水改第四百四十六號　年賦金納付延期ニ關スル件

明治三十年四月二十一日本市ト雨宮敬次郎阿部彥太郎トノ間ニ締結シタル和解契約ニ基キ右兩人ヨリ本市ニ納付スヘキ年賦金殘額拾萬六千圓ヲ左ノ方法ニ依リ延期納入ノ義別紙ノ通リ出願セリ右ハ別段本市ニ損害ヲ與ヘサルモノト認ムルヲ以テ特ニ之ヲ聽許スルモノトス

一　明治三十五年十二月ヨリ延期シタル元金參萬六千圓及之ヵ延滯利子ヲ即納スルコト

一　同三十六年十二月納付スヘキ參萬六千圓ノ内壹萬八千圓ヲ本年五月十五日限リ納付スルコト但右延期ノ日子ニ對シ年六朱ノ割合ニテ利子ヲ付スルコト

一　殘額五萬二千圓ハ明治三十八年ヨリ四箇年間ニ毎年十二月十五日限リ壹萬參千圓宛納付スルコト但利子ニ付テハ前項但書ニ依ルコト

劈頭、**大柴四郎君**曰ク、本問題ハ數回顯ハレタル問題ニシテ、第一回ハ三十五年三月三十一日ノ會議ニ上リ、否決セラレタルニモ拘ハラズ、同年十一月會社ハ再ピ請願書ヲ提出シ、時ノ當局者ハ之ニ關シテ市會ニ發案サレシカバ、本員ハ斷乎トシテ大ニ其非ヲ鳴ラセシモ、如何セン滿場ノ多數ハ會社ニ同情シテ、市民ノ利害ヲ閑却シ、遂ニ其通過ヲ見ルニ至レリト。斯クテ同君ハ進ンデ當時、本年ニ限リ延期スルコトノ條件ヲ以テ可決セル顚末（三十五年第五節參照）ヲ詳述シタル後、更ニ曰ク、縱令當時ノ當局者ハ更迭セルニセヨ、丸山、中鉢ノ兩助役ハ此條件ニ存スルコトヲ知悉スル筈ナルニ、市會ノ意思ニ反シテ斯カル提案ヲ爲セルハ遺憾ナリト。**芳野世經君**其否決說ニ贊成シタルガ**吉田幸作君**ハ、若シ相當ノ抵當品ヲ提供シ、且ツ延期毎ニ相當ノ利子ヲ附スルトセバ、此程度ノ請願ハ之ヲ許容シテ可ナリトテ、原案贊成ノ意見ヲ述ベ、擔保品及ピ利子等ニ關シ、質問應答アリ、青木庄太郎君、渡瀨寅次郎君、岡田榮一君等ノ原案贊成說ニ對シ、大柴四郎君ノ辯駁アリタル末、採決ノ結果多數ヲ以テ本案ヲ否決セリ。

▽年賦金納付ノ猶豫　超エテ五月十一日ノ會議ニ更ニ左ノ提案アリタリ。

水改第四百五十三號　年賦金納付猶豫ニ關スル件

年賦金延期ニ關シ曩ニ雨宮敬次郎阿部彥太郎兩人ヨリ出願ニ對シ本會議決ニ基キ詮議ニ及ヒ難キ旨指令シタル處

更ニ明治三十六年十二月二日納付スヘキ元金參萬六千圓ノ内壹萬八千圓ハ本年十二月十五日迄猶豫セラレタキ旨別紙ノ通出願セリ右ハ延期ノ日子ニ對シ年六朱ノ利子ヲ付スルニ於テハ差支ナシト認ムルニ依リ之ヲ聽許スルモノトス

（別紙略ス）

本案ノ朗讀終ルヤ、**大柴四郎君**ハ是レ屢ミ提出セラレテ議場ヲ騷ガス問題ニシテ、市會ノ決議ヲ無視セルモノナレバ、當局ヲ責メザルヲ得ズ。當局者ハ先般會社ノ爲ニ年賦金方法ヲ立テ、提案シタルモ、本會ハ之ヲ否決セリ。然ルニ會社ハ今又半金ヲ入ルヽヲ以テ、殘餘ノ半金ノ延期ヲ請フト云フガ如キハ、前ノ請願ト形ヲ異ニスルモノニテ、其本質ハ相同ジ。市會ノ體面ヲ重シズル爲メニ、速カニ本案ヲ否決スベシト力說シ、**松長信氏君**ハ當事者ノ一人タル阿部彥太郎氏死亡セリトノコトナレバ已ヲ得ザルベシトテ原案ニ贊成シ、**豐島仁吉君**ハ一刀兩斷ノ處分ニ出ヅル爲調査委員ヲ設置スベシトノ意見ヲ述ベシモ、採決ノ結果、反對說ハ少數ニテ敗レ、遂ニ原案ニ決定セリ。

第九節　市有地貸渡規則ノ改正

▽市有地貸渡規則ノ改正　三月二十九日ノ會議ニ左ノ議案提出セラレタリ。

第二十六號　市有地貸渡規則改正ノ件

洲崎辨天町、神田橋本町、本郷本富士町、月島、新佃島地所貸渡規則左ノ通リ改正スルモノトス

月島、新佃島、洲崎辨天町、橋本町、本郷本富士町　十一°°　市有地貸渡規則

（○印ハ委員修正ノ朱書　左傍ノ｜ハ削除）

第一條　本規則ハ市有ニ屬スル左ノ土地ニ適用ス

神田區橋本町
京橋區月島
同　區新佃島
本郷區本郷本富士町
深川區洲崎辨天町

第一二條　公入札ニ依リ落札シタル者若クハ第三條ノ規定ニ依リ土地ヲ借用セントスル者ハ其位置坪數使用ノ目的及ヒ地料ヲ記載シ圖面ヲ添ヘ保證人連署ノ上區長ヲ經由シテ當廳ノ許可ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ使用ノ目的ヲ變更セントスル場合ニ準用ス

第一三條　左記各號ノ一ニ該當スル場合ニハ公入札ニ依ラスシテ貸渡スコトアルヘシ

一　宅地ヲ爲スニ足ラサル土地ヲ接續借地人ニ於テ借用セントスルトキ
二　借地內ニ在ル造設物ノ所有權ノ全部若クハ一部ヲ取得セル者借用セントスルトキ
三　一時土地ヲ借用セントスルトキ
四　第十八條第二項ノ規定ニ依リ借用セントスルトキ

第一四條　土地貸渡期限ハ明治三十七年一七月一日ヨリ起算シ滿十箇年トス

期限內ニ於テ借地ノ許可ヲ受ケタルトキハ其殘期ヲ以テ期限トス

第一五條　借地ハ轉貸スヘカラス

第一六條　借地人ハ借地後一箇年內ニ使用ニ必用ナル設備ヲ完成スヘシ但當廳ノ許可ヲ受ケタルモノ者ハ此限ニ在ラス

第一七條　借地內ノ造設物ハ左ノ制限ニ遵フヘシ

一　家屋ハ道路ノ彊界線ヨリ二尺以上ノ距離ヲ存スヘシ
二　庇ハ借地外ニ出スヘカラス
三　屋上及ヒ煙筒ハ不燃質ノ材料ヲ用ユヘシ
四　月島新佃島ニ於テ初メテ家屋ヲ建築セントスルトキハ當廳ノ指揮ニ從ヒ盛土ヲ爲スヘシ但當廳ニ於テ盛土ヲ爲シタル場所及ヒ左ノ箇所ハ此限ニアラス

月島西河岸通一丁目乃至三丁目同四丁目一番地乃至四番地西中通一丁目二番地四番地六番地八番地同二丁目二番地四番地六番地乃至十二番地同三丁目四丁目一番地乃至四番地新佃島西一丁目二番地乃至十九番地二十二番地二十三番地二十四番地

第一八條　造設物ノ新築改築及ヒ增築ハ着手竣成トモ當廳ニ屆出ツヘシ但地盤ノ變更ヲ要スル場合ハ豫メ當廳ノ許可ヲ受クヘシ

第一九條　地料ハ本規則實施ノ日ヨリ五箇年ヲ經過スルトキハ當廳ノ見込ニヨリ變更スルコトアルヘシ

新タニ貸付地ニ編入シタルモノヽ地料モ亦前項ト同時期ニ於テ變更スルコトアルヘシ

第二〇條　地料ハ每月二十八日迄ニ其月分ヲ當該區役所ニ納付スヘシ但同年度ニ屬スル地料ハ數箇月分ヲ合セ前納スルコトヲ得

第九十一條　借地一箇月ニ滿タサルモノヽ地料ハ左ノ規定ニ依リ計算ス

一　月ノ十五日以前ニ借地シタル者及ヒ十六日以後ニ返地シタル者ハ一箇月分

二　月ノ十六日以後ニ借地シタル者及ヒ十五日以前ニ返地シタル者ハ半箇月分

第十二條　借地人本市ニ住所ヲ有セサルトキハ借地ニ關スル一切ノ行爲ヲ代理スヘキ代理人ヲ選定シ當廳ヘ屆出ツヘシ

代理人ハ本市ニ住所ヲ有スル能力者タルコトヲ要ス

第十一三條　保證人ハ本市ニ住所ヲ有シ土地又ハ家屋ヲ所有スル者ニ限ル

第十二四條　保證人ハ當廳ノ見込ニヨリ變更セシムルコトアルヘシ

第十三五條　保證人ノ債務ハ借地人ト連帶トス

第十四六條　保證人左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ借地人ハ新タニ保證人ヲ立テ當廳ノ許可ヲ受クヘシ

一　第十一三條ノ要件ヲ欠キタルトキ

二　死亡シタルトキ

三　失踪ノ宣告アリタルトキ

四　無能力者トナリタルトキ

第十五七條　借地人ハ借地期限滿了後繼續借地スルコトヲ得但當廳ニ於テ必要アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十六八條　借地人期限內ニ返地スルトキハ當廳ノ承認ヲ受クヘシ

前項返地ニ際シ其跡地ヲ借用セントスル者ハ連署ノ上第一二條ノ規定ニ依リ當廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十七九條　借地人左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ借地契約ヲ解除シ返地セシムルコトアルヘシ

一　當廳ノ許可ヲ經スシテ使用ノ目的ヲ變更シタルトキ

二　三箇月以上地料ヲ滯納シタルトキ

三　借地內ニアル造設物ノ所有權ノ全部若クハ一部ヲ喪失シタルトキ

四　第三五條乃至第六八條第十二條及ヒ第十四六條ノ規定ニ違背シタルトキ

五　第九條及ヒ第十二四條ノ規定ニ應セサルトキ

第十八二十條　返地スル場合ハ三ケ月以內ニ造設物ヲ撤去シ當廳ノ指揮ニ從ヒ土地ヲ原狀ニ復スヘシ但當廳ノ見込ニヨリ現形ノ儘返地セシムルコトアルヘシ

第二十一條　借地人前條ノ期限內ニ造設物ヲ撤去セス又ハ土地ヲ原狀ニ復セサルトキハ當廳ニ於テ之ヲ執行シ其費用ヲ徵收ス

前項ノ場合ニ於テ如何ナル損害ヲ生スルモ本市ハ賠償ノ責ニ任セス

附　則

第十九二十二條　本規則ハ明治三十七年七月一日ヨリ實施ス

第二十三條　本規則實施前ヨリ借地セル者ハ第一二條ノ手續ヲ要セス但使用ノ目的ヲ定メサリシ者ハ此際其目的ヲ定メ屆出ツヘシ

第二十一四條　本規則實施ノ當時現存セル造設物ニ對シテハ第五七條第一號及ヒ第三號ノ制限ヲ適用セズ

第二十五條　月島及ヒ新佃島ニ對シテハ第六條ノ設備期限ヲ本規則實施ノ日ヨリ向フ一ケ年間猶豫ス

第二十二條　本規則ノ施行ニ必要ナル規定ハ市參事會之ヲ定ム

本案ハ**大柴四郎君**ノ動議ニ由リ、議長指名五名ノ調査委員ニ附託スルニ決シ、議長ハ左ノ如ク指名セリ。

松田秀雄　關直彥　堀田生次郎　石川甚作　安藤兼吉

委員ハ**松田秀雄君**ヲ委員長ニ推シ、調査ノ末、前記ノ修正ヲ加フルニ決シ五月十一日ノ本會ニ其意見報告書トシテ此修正案ヲ提出シタルガ、之ガ議事ニ入ルヤ、**松田委員長**ヨリ修正理由ノ詳細ナル說明アリ。次デ**大岡議長**ハ直ニ第二讀會ヲ開ク旨ヲ告ゲタルモ、大柴四郎君及ビ今井喜八君ヨリ種々ノ修正意見出デシカバ、逐條審議ヲ行フコトヽナリ、第二條ニ於テ、**大柴四郎君**「借地人其使用ノ目的ヲ變更セントスルトキ又同ジ」トノ修正說ヲ提出シタルニ、**關幸太郎君**ノ原案贊成說アリ、採決ノ結果修正說ハ少數ニテ原案ニ決定セリ。第四條ニ於テ、**今井喜八君**ハ土地貸渡期限「明治三十七年七月一日」ヲ「貸渡シタル日ヨリ起算シ」云々トノ修正意見ヲ述ベ、借地人ノ既得權ニ關聯シテ契約期限ニ關シ種々ナル意見出タル末、同君ハ遂ニ四條ノ修正說ヲ取消シ、第十八條ニ於テ、**大柴君**ハ「前項」ノ下ニ「ノ」ヲ入レ、字句ヲ明瞭ナラシメント發議セルニ、**關君**ハ唯連署ノ上ニテハ不完全ナレバ、「前借地人ト連署ノ上」トスベシトノ修正說ヲ述ベ贊成者アリ、大柴君ハ關君ノ說ヲ容レ、十八條ハ關君ノ修正通リニ多數ヲ以テ決定セリ。第二十三條ニ於テ、**大柴君**ハ「此際目的ヲ定メ」トアルヲ「其目的ヲ定メ本規則實施期日ヨリ一箇月以內ニ屆出ヅベシ」トスル修正說ヲ提出シ、異議ナク修正通リニ決定ス。第二十五條ニ於テ、**渡瀨寅次郎君**ハ六條ニ「當廳ノ許可ヲ受ケタル者ハ此限ニ在ラズ」トアルヲ以テ、本條ヲ入ルヽ必要ナシトテ削除說ヲ提出シ、**宮川鐵次郎君**同說ナル旨ヲ述ベ、**丸山助役**モ削除ヲ望ム所アリシガ、**關直彥君**ハ一箇年ノ猶豫ヲ與フルハ相當ナリト論ジ、贊否兩說アリタル後、多數ヲ以テ二十五條全部ヲ削除スルコトニ決シ、第三讀會ヲ開キテ第二讀會決定通リ確定セリ。

▽**市區改正所屬地貸渡條例設定案ノ撤回**　市區改正所屬地ノ貸渡ニ關シテ、三月二十九日ノ市會ニ於テ別ニ第二十九號市區改正所屬地貸渡條例設定ノ件ト題スル議案ヲ提出シ、第二十六號案ノ市有地貸渡規則改正ノ件ト同一委員ニ附託セラレタルガ、調査ノ進行中。四月二十日、市長ヨリ都合ニ因リ之ヲ撤回ストノ通知アリタリ。

第拾節　戰捷祝賀

▽**戰捷祝賀ノ準備**　五月十一日ノ會議ニ於テ諸般ノ報告終ルヤ、**尾崎市長**ハ第六十二號案ハ本日辛ジテ配布スルヲ得タルガ、右ハ旅順方面ニ於テ近ク大捷ノ報ニ接スベキ狀勢ト爲リタルヲ以テ、其際ニハ市ヲ代表スル祝賀會ヲ開催スル爲メ、緊急議案トシテ提出セリ。而シテ其經費ニ關シテハ先般來參事會員中ニ三名ノ委員ヲ設ケテ調査セル結果約貳千圓ヲ要スルノ見込ナルヲ以テ、參事會限リ豫備費ヨリ之ヲ支出シ得ルコトノ即決ヲ請フト陳ベテ即刻議題ニ供シ異議ナク決定セリ、此議案ハ左ノ如シ。

第六十二號　戰勝祝賀ノ爲メ豫備費支出ノ件

日露戰役中我軍大捷ノ公報到達セル場合ニ於テ適當ノ日ヲ定メ戰勝祝賀會ヲ催シ之ニ要スル費用ハ市參事會限リ豫備費ヨリ支出スルモノトス

▽**祝捷會ノ事故ニ對スル御下賜金**　尙同日休憩後ノ會議ニ於テ**尾崎市長**ハ去ル八日ノ夜開催セラレタル東京市民ノ祝捷會(各新聞社發起)ノ際、意外ニモ不幸ナル死傷者ヲ生ゼシガ、之ニ關シテ宮中ニ於テ御懸念ヲ給ハリ今日百五拾

圓ノ御下賜金ヲ拜受セリ、成ルベク速ニ死者及傷者ニ配付セヨトノ御沙汰ナル故、直ニ東京府及警視廳ニ照會シタルガ、確實ナル調査ヲ要スルヲ以テ、今尚各區ト警察署トニ於テ取調中ナリ、從ツテ今日配付ノ運ニ至ラザルモ、明日ハ之ヲ爲シ得ベシト信ズ、取敢ヘズ右有難キ思召ヲ報告スル旨ヲ告ゲ、**芳野世經君**ハ御禮參內ノ事ヲ全會一致ヲ以テ可決センコトヲ望ミ、滿場一致ヲ以テ市長ヲシテ參內セシムルコトヲ決議シ、**尾崎市長**ハ明日配付ノ手續ヲ終了スルト同時ニ、御禮ト御報告ヲ兼ネテ參內スベシト告ゲタリ。

▽**傷病兵士ノ慰問**　七月二十八日ノ會議ニ於テ、**松長信氏君**發言ヲ求メテ曰ク、過日來戰地ヨリ歸還セル負傷竝疾病ノ將卒等ガ豫備病院其他ニ收容セラレツヽアリ。本市會ハ彼等ヲ慰問スル義務アルベキヲ以テ、炎暑ノ際議長ヲ煩ハスハ恐縮ニ堪ヘザルモ、願クハ市會ヲ代表シテ彼等ヲ慰問セラレタシト。滿場之ニ贊シ、一致ヲ以テ可決セリ。而シテ八月二十二日ノ會議ニ於テ、**大岡議長**ハ報告シテ曰ク、余ハ過日陸軍病院ニ到リ、本市會決議ノ趣旨ヲ傷病者ニ傳達シタルニ、一同大ニ喜悅セリ。又本市寄附ノ餘興モ頗ル歡迎セラレタリ。　余ハ同日午後澁谷ノ病院ヲ訪問セリト。次ニ日程ニ先チ、**稻茂登三郎君**ハ本日御歸京ニナリタル伏見若宮殿下ガ、本月十日、旅順口港外ニテ御勇戰中、御負傷アラセラレタリトノコトナルヲ以テ、本會ハ議長ヲシテ御機嫌ヲ奉伺セシムベシト建議シ、滿場一致ヲ以テ之ヲ可決セリ。而シテ九月五日ノ市會劈頭ニ於テ**大岡議長**ハ、曩ニ本會ノ決議ニ依リ、博恭王殿下ノ御凱旋ニ際シ、御慰問申上ゲタルニ、其結果トシテ府知事ヨリ左ノ通達アリタル旨ヲ報告シ、書記ヲシテ之ヲ朗讀セシメタリ。

伏見若宮殿下御負傷ニ付東京市會ヲ代表シ御見舞トシテ御殿ヘ參上相成候段殿下ニ於テ深ク御滿足被遊候旨本日眞木別當ヲ以テ態々御挨拶御下命相成候間此段通牒候也

明治三十七年八月二十四日

東京府知事　男爵　千家尊福

▽**天機奉伺及戰捷祝賀**　九月五日戰捷賀表捧呈ノ爲開會セル市會ニ於テ、日程ニ先チ、**大柴四郎君**ハ希望ヲ述ベテ曰ク、今回遼陽ノ占領ニ付キ、今日臨時ニ市會ヲ召集セラレタルガ、曩ニ市會ノ意見トシテ、大捷ノ際適當ノ時機ニ於テ、祝捷ノ意ヲ表スルコトヲ參事會ニ一任セリ。此遼陽ノ大捷ハ、即チ其時機ナリト信ズルヲ以テ、速ニ祝賀會ヲ擧行セラレンコトヲ望ムト。**田口卯吉君**モ亦曰ク、今回ノ戰爭タルヤ、實ニ我國未曾有ノ重大事ナルノミナラズ之ヲ外國ノ歷史ニ徵スルモ、殆ド其例ヲ見ズ、彼ノ普佛戰爭ニ於ケル「セダン」ノ大戰ニ際シ、奈翁ノ兵力八萬ニ過ギザリキ。然ルニ今回遼陽ニ於ケル我軍ハ、實ニ十三萬ナリ、又兵器ノ點ヨリ考フルモ、今日ノ進步セル利器ヲ以テ大劇戰ヲ試ミタルモノナレバ、今回ノ戰捷ハ、實ニ世界ニ誇ルニ足ルベク世界モ亦擧ゲテ驚嘆セルナラン。顧フニ曩日ノ決議ハ暗ニ旅順陷落ノ時ヲ含意シタルモノナランモ、戰局ノ展開ハ豫想ト異リ、先ヅ遼陽ニ於テ此大勝利ヲ擧ゲタルヲ以上ハ、東京市民トシテ大ニ之ヲ祝賀セザルヲ得ズ。故ニ參事會諸君ハ、速ニ先般ノ決議ヲ實行セラレシコトヲ希望スト。**大岡議長**ハ、單ニ希望ニ止ムルカ、或ハ希望ノ意思ヲ以テ決議ヲ爲スカヲ諮リ、**杉原榮三郎君**ハ、若シ決議ナリトセバ、苟モ本日ハ上奏文ノ議事アルヲ以テ、其後ニ於テ之ヲ爲スベシト發議シ、滿場之ニ贊シタルヲ以テ、直チニ左ノ議事ニ入レリ。

第百號

天機ヲ伺ヒ戰捷ヲ祝賀シ奉ルノ件

帝國ハ露國ト干戈ヲ交ヘテヨリ連戰連勝遂ニ遼陽ノ大捷ヲ得タリ依テ玆ニ東京市長ヲシテ天機ヲ伺ヒ戰捷ノ祝意

ヲ表シ奉リ又滿洲軍總司令官ニ對シ祝辭ヲ呈セシムルモノトス

滿場一致本案ヲ可決シタル後、大岡議長ハ左ノ賀表竝ニ祝電ヲ朗讀セシメ、孰レモ滿場一致ヲ以テ可決セリ

（賀　表）

臣行雄誠恐誠惶頓首頓首伏テ惟レハ、

叡聖文武天皇陛下神功聖烈寰宇ニ光被ス。前キニ露國ニ對シ戰ヲ宣シタマヒテヨリ既ニ半歲、海陸ノ捷報荐リニ臻リ六師ノ鬱フ所風靡セサルナシ。臣聞ク遼陽ハ險惡ノ地敵ノ牙營ヲ張リ防備ヲ嚴ニシ死力ヲ竭シテ拒守シタル所ナリト、而シテ我主將ノ智謀ハ克ク機宜ニ合シ我士卒ノ勇武ハ克ク堅壘ヲ拔キ一擧敵ヲシテ潰裂復タ收拾スルコト能ハサラシメタリ。是レ偏ニ

陛下威德ノ然ラシムル所臣感激ノ至リニ禁ヘス爰ニ東京市會ノ決議ニ因リ謹ミテ表ヲ奉リテ以聞ス。

明治三十七年九月五日

東京市參事會

東京市長　正三位　臣　尾崎行雄

（祝　電　文）

閣下ノ統率セラル滿洲軍カ各方面ヨリ齊シク改進ヲ開始シテ頑硬ナル敵兵ヲ擊攘シ、奮鬪連日遂ニ遼陽ニ薄リテ是レヲ占略シ以テ空前ノ偉功ヲ收メタルハ、洵ニ閣下ノ周到ナル劃策ト義勇壯烈ナル將士ノ精勵トニ因ルモノニシテ轉タ感激ノ至リニ勝ヘス。茲ニ本市會ノ決議ニ依リ恭シク祝詞ヲ呈シ、併セテ閣下及將士ノ健康ヲ祈リ尙名譽ノ死傷者ニ對シ切ニ同情ヲ表ス。

明治三十七年九月五日

東京市參事會

東京市長　尾崎行雄

滿洲軍總司令官宛

次イデ**大岡議長**再ビ祝捷會擧行ノ件ヲ付議スルヤ、**江間俊一君**ハ先般決議シタル祝捷會ヲ此際斷行スルコトヲ望ムトノ滿場ノ決議ヲ求メ、**丸山勳復若シ**此決議ヲ見ルニ至ラハ、參事會ハ準備既ニ成レルヲ以テ、何時ニテモ之ヲ擧行スルヲ得ベシ、唯同時ニ爰ニ決定スベキ點ハ、近日旅順ノ必然的陷落ニ方リ再ビ祝捷會ヲ擧行スルヤ否ノ問題ナリ。右ハ費用ニモ關係スルコトニシテ、實ハ內務省ガ祝捷ニ關シ、市費支出ヲ認メザル爲、短期間ニ再度祝捷會ヲ擧行スルハ如何ナルベキカ、篤ト協議ヲ煩シタシト述ブレバ、**田口卯吉君**ハ、市會ノ祝捷ナル意味ハ、市民ガ祝捷等ヲ催スノ準備トシテ市會ハ公園ヲ裝飾シ、電燈ヲ點ジ、其他綠門ヲ建ツル等ノ施設ヲ爲スニ在リテ、市民ハ之ヲ利用シテ自カラ祝捷會ヲ開クベキヲ以テ、斯ル費用ニ對シテハ、內務省モ故障ヲ稱ヘザルベシ。而シテ斯ノ如キ祝捷ノ場合ハ、今後幾回カ生ズベク、殊ニ凱旋ニ方ツテハ、市民ハ大ニ歡迎セザルベカラズト信ズ。故ニ豫メ旅順陷落ノ場合ハ如何ニスルト云フガ如キコトヲ決議セズシテ、其時ニ應ジテ之ヲ爲セバ可ナリ。而シテ今回遼陽ノ大勝利ニ對シ、市民ガ祝意ヲ表セントスルニ當リ、市會ガ彼等ノ爲メニ能フ限リノ準備ヲ爲スハ當然ノ責任ナリト論ジ、結局江間君ノ動議ハ多數ヲ以テ可決セラレタリ。

第拾壹節　東京市制調査委員設置ノ建議

五月十一日ノ會議ニ於テ、**松田秀雄君**ハ左ノ如ク建議セリ。

余ハ玆ニ諸君ノ同意ヲ得テ建議セントスル事アリ、即チ東京市ノ自治團體ヲ中央政府ノ直轄ノ下ニ置クノ制度ヲ確立スルコト是ナリ、其時機ニ關シテハ、世間多少ノ議論アランモ、余ハ現今ヲ以テ好機ナリト信ズルガ故ニ、一言其理由ヲ述ベント欲ス。東京市ハ之ヲ內務省直轄ト爲サザルベカラズトシテ、政府ハ既ニ明治二十八九年頃ニ東京都制案ヲ議會ニ提出セリ、然レドモ同案ハ官治ノ色彩濃厚ニシテ、自治ノ機能ニ乏キモノナリシヲ以テ、貴衆兩院ヲ初メ、當市會モ亦是ニ反對セリ。而カモ政府ガ東京市ヲシテ內務省直轄ノ下ニ置カザルベカラズトノ意見ヲ有スルコトハ、都制案ノ明示スル所ニシテ、當市會モ亦多年之ヲ翹望シ、其第一歩トシテ特別市制ノ廢止ヲ請願シテ、終ニ之ヲ實現セリ、而カモ現在ノ狀態ニ在リテ、市ノ事務ノ處理ニ關シ、其權利云々ハ暫ク措クモ、事實上不利不便ノ點ハ枚擧ニ遑アラズ、此故ニ當市會ハ速ニ制度ヲ改正スルノ必要ヲ認メ、滿場一致ヲ以テ三名ノ調査委員ヲ設置シ、東京市制ナルモノヲ編製シテ、之ヲ貴衆兩院ニ提出シ、前實施ヲ請願セリ。而シテ政府ノ編製シタル都制案ハ、東京都制ニ併セテ武藏縣ヲ新設スルノ計畫ニシテ、當市會ノ編製シタル東京市制ハ、別ニ千代田縣ヲ設置スル事トシタルモノナルガ、斯ノ如キ縣設置ノ計畫ハ圖ラズモ郡部ノ反對スル所ト爲リ、衆議院ニ於テ否決サレタルヲ以テ其後四ケ條ヨリ成レル自治事務ヲシテ內務省ノ直轄タラシムル事ヲ提案シ、衆議院ハ殆ド全會一致之ヲ可決シタルモ、貴族院ニ於テ否決サレ、翌年再ビ同一ノ提案ヲ爲シタルモ、是レ亦前年同樣ノ結果トナレリ。然レドモ東京市ガ特別ノ制度ヲ有セザル可ラズトハ、當市會ニ於テハ既ニ業ニ決定シ居レル事前述ノ如クナルガ、其後貴族院ニ於テモ、新ニ東京都制ナルモノヲ編製シタルガ、此案モ亦別ニ千代田縣ヲ置クコトヽシ、東京市ノ事務ヲシテ內務省ノ直轄タラシムルコトヲ期セリ。帝國議會ノ意嚮モ政府ノ意嚮モ前述ノ如クニシテ、當市會多年ノ希望モ、亦高級市制ノ實施ニ在リトセバ、玆ニ之ガ調査委員ヲ設クルノ必要ナルハ論ヲ俟タズ、而カモ之ガ爲メニ別ニ費用ヲ要セザルハ言ヲ俟タズ。以上ノ理由ニ因リ當市會ニ委員ヲ設置シテ、東京市制ヲ編製シ、之ヲ其筋ニ建議シテ、其實現ニ努ムルハ刻下ノ急務ナリト信ズ。委員ノ選定及ビ其員數等ハ議長ニ一任スベシ。

右ノ建議ハ滿場一致ヲ以テ可決セラレ、委員ハ議長指名五名ト決シタルヲ以テ、議長ハ左ノ如ク指名セリ。

松田秀雄　坪谷善四郎　江間俊一　關直彥　松長信氏

委員ハ**松田秀雄君**ヲ委員長ニ推シ、調査ニ從事シタルガ、其經過ニ就テ三十八年ニ到ッテ記述スル所アルベシ（第三卷第一章、第四節參照）

第拾貳節　水道事務監査委員報告

▽**水道事務監査ノ報告**　五月十一日ノ會議ニ於テ、三十六年十二月二十三日ノ市會決議ニ基キ設置セラレタル水道事務監査委員（第六章、第二十四節參照）ガ爾來百數回ノ會合ヲ遂ゲテ調査シタル左記報告書ヲ議題ニ供スルヤ、**江間俊一君**、本報告ハ昨日活版摺ニシテ配布シタルガ、是レ頗ル綿密ナル調査ノ結果ナルガ故ニ、說明ノ爲ニハ二時間內